

# 市民意識調査

平成 17 年 3 月

座間市

## はじめに

座間市では、行財政改革や地方分権など大きな課題を抱えながらも、将来の都市像「みなぎる活力とやすらぎが調和するときめきのまち」の実現に向け、諸施策に積極的に取り組んでいるところであります。

このような状況のなか、市民の皆さまの意識やご要望を的確に把握し、今後の市政に反映させるため「市民意識調査」を実施いたしました。

前回の平成10年の調査同様、定住意識や市政に関する基礎事項についてお尋ねしたほか、今回はインターネットの利用状況、男女共同参画などの新たな課題についても調査させていただき、たくさんの貴重なご意見をいただくことができました。

この調査結果は、市政推進の参考とさせていただきながら、諸計画立案の基礎資料として活用させていただきます。

調査にご協力いただきました多くの皆さまに心からお礼申し上げますとともに、今後も市政に対する一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成17年3月

座間市長 星野勝司

# も く じ

|                           |    |
|---------------------------|----|
| <b>I. 調査概要</b> .....      | 1  |
| 1 調査の目的.....              | 1  |
| 2 調査の仕様.....              | 1  |
| 3 回収結果.....               | 1  |
| 4 調査結果をみる上での注意事項.....     | 2  |
| <b>II. 調査結果の概要</b> .....  | 3  |
| 1 回答者の基本属性.....           | 3  |
| 2 生活環境について.....           | 3  |
| 3 地域活動について.....           | 4  |
| 4 市民参加や広報、情報化について.....    | 5  |
| 5 健康づくりについて.....          | 6  |
| 6 高齢化社会について.....          | 6  |
| 7 自由時間（余暇）について.....       | 6  |
| 8 環境問題について.....           | 6  |
| 9 防災について.....             | 6  |
| 10 男女共同参画について.....        | 7  |
| 11 国際化について.....           | 7  |
| <b>III. 調査結果</b> .....    | 8  |
| 1 回答者の基本属性.....           | 8  |
| (1) 性別.....               | 8  |
| (2) 年齢.....               | 8  |
| (3) 職業.....               | 9  |
| (4) 勤務地（通学地）.....         | 9  |
| (5) 同居の家族構成.....          | 10 |
| (6) 住まいの形態.....           | 11 |
| (7) 在住年数.....             | 12 |
| (8) 住まいの地域.....           | 13 |
| 2 生活環境について.....           | 14 |
| (1) 座間市に住んだ理由.....        | 14 |
| (2) 定住意識.....             | 15 |
| (3) 今の場所に住み続けたい理由.....    | 19 |
| (4) 他のところに移りたい主な理由.....   | 20 |
| (5) 住まいの周辺環境についての満足度..... | 21 |
| 1 新田宿・四ツ谷地区.....          | 23 |
| 2 座間地区.....               | 24 |
| 3 入谷・明王地区.....            | 25 |
| 4 立野台地区.....              | 26 |
| 5 緑ヶ丘地区.....              | 27 |
| 6 相武台・栗原・広野台地区.....       | 28 |
| 7 相模が丘地区.....             | 29 |
| 8 小松原地区.....              | 30 |
| 9 ひばりが丘地区.....            | 31 |
| 10 東原・さがみ野地区.....         | 32 |

|                                  |     |
|----------------------------------|-----|
| 11 栗原中央・西栗原・南栗原地区                | 33  |
| (6) 総合的なまわりの環境                   | 34  |
| 3 地域活動について                       | 36  |
| (1) 今後の近所づきあい                    | 36  |
| (2) 実際に参加している団体・活動               | 41  |
| (3) 地域活動をしていない主な理由               | 45  |
| 4 市民参加や広報、情報化について                | 47  |
| (1) 要求や問題を市政に反映させる方法             | 47  |
| (2) 日常生活に役立つ情報を得るための媒体(メディア)     | 49  |
| (3) 市のお知らせの便利な伝達方法               | 52  |
| (4) 「高度情報化」において重点的に行うこと          | 54  |
| (5) 日常の場面でのインターネット利用状況           | 56  |
| (6) インターネットの主な利用場所               | 58  |
| (7) 座間市のホームページの閲覧経験              | 59  |
| (8) 座間市のホームページの満足度               | 60  |
| (9) 座間市のホームページで充実を図るべき内容         | 61  |
| 5 健康づくりについて                      | 63  |
| (1) 健康づくりのために重要だと思うこと            | 63  |
| 6 高齢化社会について                      | 65  |
| (1) 高齢者が安心して暮らしていくために大切なこと       | 65  |
| 7 自由時間(余暇)について                   | 67  |
| (1) 自由時間(余暇)を過ごすために必要な施策・施設      | 67  |
| 8 環境問題について                       | 69  |
| (1) 一番気になる環境問題                   | 69  |
| (2) 環境のため日ごろから気を付けていること          | 71  |
| (3) 環境のために今後とも気をつけて実行したいと思っていること | 73  |
| 9 防災について                         | 75  |
| (1) 地震や火災に備えてとっている対策             | 75  |
| (2) 防災対策として力を入れるべき施策             | 78  |
| 10 男女共同参画について                    | 80  |
| (1) 「男は仕事、女は家庭」といった考えについて        | 80  |
| (2) 「男は仕事、女は家庭」といった考えに「同感する」理由   | 82  |
| (3) 「男は仕事、女は家庭」といった考えに「同感しない」理由  | 83  |
| (4) 男女平等の観点から学校教育で取り入れてほしいこと     | 84  |
| (5) 家庭内・家族間で起こる暴力で受けた具体的な内容      | 86  |
| (6) 男女共同参画社会を実現していくための施策         | 87  |
| 11 国際化について                       | 89  |
| (1) 市民の国際交流を進めるために必要なこと          | 89  |
| 12 自由意見                          | 91  |
| まちづくりに関する意見                      | 91  |
| ごみ処理に関する意見                       | 93  |
| 基地問題に関する意見                       | 94  |
| 健康・医療・福祉に関する意見                   | 95  |
| 交通に関する意見                         | 97  |
| 交通安全対策に関する意見                     | 98  |
| 教育・文化に関する意見                      | 99  |
| スポーツ・レクリエーションに関する意見              | 100 |
| 道路に関する意見                         | 101 |

|                      |            |
|----------------------|------------|
| 上水道・下水道に関する意見.....   | 102        |
| 公園に関する意見.....        | 103        |
| 公共施設に関する意見 .....     | 104        |
| 自然環境に関する意見 .....     | 105        |
| 商工業に関する意見 .....      | 105        |
| 防犯対策に関する意見 .....     | 106        |
| 防災に関する意見.....        | 106        |
| コミュニティに関する意見 .....   | 107        |
| その他の意見.....          | 108        |
| <b>IV. 調査票 .....</b> | <b>110</b> |

# I. 調査概要

## 1 調査の目的

市民の市政に対する意識、意見、要望などを的確に把握し、今後の市政運営に反映させることを目的とする。

## 2 調査の仕様

調査の仕様は以下の表に示すとおりである。

|         |                                 |
|---------|---------------------------------|
| (1)調査地域 | 座間市全域                           |
| (2)調査対象 | 平成16年11月1日現在、座間市在住の満20歳以上の男女個人  |
| (3)対象者数 | 3,000人                          |
| (4)抽出方法 | 住民基本台帳から単純無作為抽出                 |
| (5)調査方法 | 訪問配布(600)・郵送配布(2,400)・郵送回収、督促なし |
| (6)調査期間 | 平成16年12月10日(金)～平成16年12月28日(火)   |

## 3 回収結果

全体の回収結果

| 抽出数   | 回収数   | 回収率   | 不明戻り等 | 無効票数 | 有効回収数 | 有効回収率 |
|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|
| 3,000 | 1,472 | 49.1% | 49    | 15   | 1,457 | 49.4% |

地区別回収数・回収率

| 地域名 | 新宿・四ツ谷 | 座間    | 入谷・明王 | 立野台   | 緑ヶ丘   | 相武台・栗原・広野台 | 相模が丘  | 小松原   | ひばりが丘 | 東原・さがみ野 | 栗原中央・西栗原・南栗原 | 無回答 | 無効票 | 全体    |
|-----|--------|-------|-------|-------|-------|------------|-------|-------|-------|---------|--------------|-----|-----|-------|
| 抽出数 | 112    | 126   | 476   | 121   | 202   | 345        | 519   | 112   | 384   | 250     | 353          | —   | —   | 3,000 |
| 回収数 | 59     | 90    | 234   | 70    | 108   | 141        | 225   | 59    | 192   | 114     | 164          | 1   | 15  | 1,472 |
| 回収率 | 52.7%  | 71.4% | 49.2% | 57.9% | 53.5% | 40.9%      | 43.4% | 52.7% | 50.0% | 45.6%   | 46.5%        | —   | —   | 49.1% |

#### 4 調査結果をみる上での注意事項

- ①本文、表、グラフなどに使われる n は、質問の回答者数を表す。
- ②百分率(%)の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示した。したがって、単数回答(1つだけ選ぶ問)においても、四捨五入の影響で、%を足し合わせて100%にならない場合がある。
- ③複数回答(2つ以上選んでよい問)においては、%の合計が100%を超える。
- ④文、表、グラフの表示の都合上、項目名を省略して表現する場合がある。
- ⑤本報告書で表現された百分率には、95%の信頼度(信頼度係数1.96)で、下表のような誤差がある。

| 回答者数(n)  | 1,457 | 840  | 823  | 727  | 685  | 616  | 410  | 353  | 188  |
|----------|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| データの比率   | 誤差±   | 誤差±  | 誤差±  | 誤差±  | 誤差±  | 誤差±  | 誤差±  | 誤差±  | 誤差±  |
| 10%, 90% | 1.5%  | 2.0% | 2.0% | 2.2% | 2.2% | 2.4% | 2.9% | 3.1% | 4.3% |
| 20%, 80% | 2.1%  | 2.7% | 2.7% | 2.9% | 3.0% | 3.2% | 3.9% | 4.2% | 5.7% |
| 30%, 70% | 2.4%  | 3.1% | 3.1% | 3.3% | 3.4% | 3.6% | 4.4% | 4.8% | 6.6% |
| 40%, 60% | 2.5%  | 3.3% | 3.3% | 3.6% | 3.7% | 3.9% | 4.7% | 5.1% | 7.0% |
| 50%      | 2.6%  | 3.4% | 3.4% | 3.6% | 3.7% | 3.9% | 4.8% | 5.2% | 7.1% |

$$\text{誤差率} = 1.96 \times \sqrt{\frac{\text{座間市の人口} - \text{質問の回答者数}}{\text{座間市の人口} - 1} \times \frac{\text{回答比率} \times (1 - \text{回答比率})}{\text{質問の回答者数}}}$$

## II. 調査結果の概要

### 1 回答者の基本属性

(1) 性別

「男性」(45.6%)、「女性」(53.9%)、「無回答」(0.5%)

(2) 年齢

「20～29歳」(10.6%)、「30～39歳」(18.5%)、「40～49歳」(17.8%)、「50～59歳」(18.5%)、「60～69歳」(20.2%)、「70歳以上」(14.1%)、「無回答」(0.2%)

(3) 職業

「商工・サービス業」(6.8%)、「農林業」(0.7%)、「その他自由業」(3.5%)、「専門・技術職」(11.2%)、「事務職」(14.2%)、「労務職」(7.1%)、「人材派遣会社への登録」(0.7%)、「パート、アルバイト、内職」(10.2%)、「学生」(2.2%)、「専業主婦」(24.3%)、「無職」(15.9%)、「その他」(2.3%)、「無回答」(1.0%)

(4) 勤務地（通学地）

「自宅」(8.0%)、「座間市内」(17.4%)、「県央地区」(26.7%)、「横浜市・川崎市」(15.2%)、「その他の県内」(6.6%)、「東京都内」(20.2%)、「その他」(1.1%)、「無回答」(4.9%)

(5) 同居の家族構成

「単身世帯」(10.5%)、「夫婦のみ」(22.9%)、「二世帯世帯(親と子)」(55.3%)、「三世帯世帯(親と子と孫)」(8.2%)、「その他」(2.9%)、「無回答」(0.2%)

(6) 住まいの形態

「持家(一戸建て)」(60.9%)、「持家(共同住宅)」(20.3%)、「民営借家(一戸建て)」(2.0%)、「民営借家(共同住宅)」(11.8%)、「公社・公団の共同住宅」(2.2%)、「公営住宅」(0.6%)、「官・公舎」(0.0%)、「その他」(1.9%)、「無回答」(0.3%)

(7) 在住年数

「昭和19年以前」(3.3%)、「昭和20年～昭和29年」(1.9%)、「昭和30年～昭和39年」(6.3%)、「昭和40年～昭和49年」(20.9%)、「昭和50年～昭和59年」(21.3%)、「昭和60年～平成6年」(18.3%)、「平成7年以降」(28.0%)、「無回答」(0.1%)

(8) 住まいの地域

「新田宿・四ツ谷」(4.0%)、「座間」(6.2%)、「入谷・明王」(16.1%)、「立野台」(4.8%)、「緑ヶ丘」(7.4%)、「相模台・栗原・広野台」(9.7%)、「相模が丘」(15.4%)、「小松原」(4.0%)、「ひばりが丘」(13.2%)、「東原・さがみ野」(7.8%)、「栗原中央・西栗原・南栗原」(11.3%)、「無回答」(0.1%)

### 2 生活環境について

(1) 座間市に住んだ理由

座間市に住んだ理由を聞いた結果最も多かったのは、「手ごろな家や土地があったから」(37.3%)であった。

(2) 定住意識

定住意識を聞いた結果最も多かったのは、「住み続けたい」(49.9%)であったが、過去の調査結果と比較すると、「住み続けたい」は減少傾向にある。

住まいの地域別にみると、「住み続けたい」の比率が高い地域は60%以上の比率を示した座間、立野台などで、11地域中6地域で50%を超えた。



### (3) 今の場所に住み続けたい理由

今の場所に住み続けたい理由を聞いた結果最も多かったのは、「自分の家や土地があるから」(52.3%)であった。過去の調査結果と比較すると「自分の家や土地があるから」の比率が伸びている以外は、ほぼ横ばいかまたは減少傾向がみられる。

### (4) 他のところに移りたい主な理由

他のところに移りたい主な理由を聞いた結果最も多かったのは、「航空機騒音がひどいから」(21.8%)であった。過去の調査結果と比較すると、今回から加わった「航空機騒音がひどいから」の影響で、多くの項目に減少傾向がみられる。中でも「自然環境が悪いから」の減少が目立っている。

### (5) 住まいの周辺環境についての満足度

周辺環境を 18 項目について評価してもらった結果、「満足」+「まあ満足」-「やや不満」-「不満」の比率で 30%を超える良い評価だった項目は、「飲み水」、「日当たりや風通しなど」、「台所・風呂などの排水処理」、「日常の買い物」の 4 項目であった。反対に-30%を下回る悪い評価だった項目は、「騒音・大気汚染など」、「道路の整備状況」、「文化・スポーツ・娯楽などの施設」、「交通安全について」の4項目であった。

### (6) 総合的なまわりの環境

総合的なまわりの環境を聞いた結果最も多かったのは、「まあ住みやすい」(48.8%)であった。「住みやすい」+「まあ住みやすい」-「やや住みにくい」-「住みにくい」の比率を《住みやすさ》とすると、《住みやすさ》は 37.3 ポイントであった。

過去の調査(平成10年調査)と比較すると、《住みやすさ》は 36.7 ポイントから 37.3 ポイントへ微増している。

また、《住みやすさ》のポイントはすべての地域でプラスとなっている。

## 3 地域活動について

### (1) 今後の近所づきあい

今後の近所づきあいを聞いた結果最も多かったのは、「世間話をする程度の気軽なつきあいをしたい」(49.0%)であった。

過去の調査結果と比較すると、「お互いに助け合うなど親密なつきあいをしたい」は減少し、「世間話をする程度の気軽なつきあいをしたい」、「あいさつ程度のつきあいをしたい」は増加しており、密なつきあいから、より希薄なつきあいへシフトしてきている様子が見えてくる。

### (2) 実際に参加している団体・活動

実際に参加している団体・活動を聞いた結果最も多かったのは、「自治会」(43.0%)であった。「特に活動していない」(42.3%)も多い。

職業別にみると、「特に活動していない」の比率が高かったのは常勤の勤め人で、半数を超えた。反対に少なかったのは、専業主婦であった。

自営業などでは「農協・商工会など経済団体」、「スポーツ団体」、「リサイクル、不用品交換会などの消費生活活動」、その他勤め人では「子供会」、「PTA」、「ごま遊友クラブ」、専業主婦では「自治会」、「趣味・学習・伝統文化などの団体活動」、「高齢者、身体・知的・精神障害者などに対する社会福祉活動」などが他の層より比較的高い。

### (3) 地域活動をしていない主な理由

地域活動をしていない主な理由を聞いた結果多かったのは、「活動する時間がないから」(50.8%)、「どのような活動が行われているのかあまり知らないから」(45.9%)であった。

## 4 市民参加や広報、情報化について

### (1) 要求や問題を市政に反映させる方法

要求や問題を市政に反映させる方法を聞いた結果最も多かったのは、「自分で直接市役所に連絡する」(32.8%)であった。「言っても無駄だと思う」(24.3%)も多かった。

過去の調査(平成10年調査)と比較すると、「自治会を通して連絡する」、「住民運動をして伝える」の比率が減少し、「言っても無駄だと思う」、「市長あてに手紙・電子メールを出す」などの比率が増加していることが目立つ。

### (2) 日常生活に役立つ情報を得るための媒体(メディア)

日常生活に役立つ情報を得るため1番よく使う媒体(メディア)を聞いた結果最も多かったのは、「テレビ」(38.0%)であった。

過去の調査(平成10年調査)と比較すると、「インターネット」が大きく増加し、「新聞・雑誌」、「書籍・チラシ」、「広報さま」などの広報紙」といった活字媒体が減少していることが目立つ。

日常生活に役立つ情報を得るために1番良く使う媒体は「テレビ」であったが、「新聞・雑誌」はそれを補完する最も重要な媒体となっており、3番目によく使う媒体として比率が高かった「広報さま」などの広報紙や「家族・友人・知人」も補助的な媒体として重要度が高い。

### (3) 市のお知らせの便利な伝達方法

市のお知らせの便利な伝達方法を聞いた結果多かったのは、「新聞折り込みのタウン紙」(62.1%)、「インターネット」(43.1%)、「テレビ」(21.1%)であった。

過去の調査(平成10年調査)と比較すると、「インターネット」、「ケーブルテレビ」が増加し、「録音テープによる電話サービス」が減少していることが目立つ。

### (4) 「高度情報化」において重点的に行うこと

「高度情報化」において市が重点的に行うべきことを聞いた結果多かったのは、「インターネットやケーブルテレビなどを活用し、必要な情報を市民が得やすい環境を整える」(30.7%)、「市役所の情報化を進め、行政サービスや仕事の効率を向上させる」(25.7%)であった。

過去の調査(平成10年調査)と比較すると、平成10年調査で最も支持された「市役所の情報化を進め、行政サービスや仕事の効率を向上させる」が減少し、「インターネットやケーブルテレビなどを活用し、必要な情報を市民が得やすい環境を整える」が最も支持を集めたことが目立つ。

### (5) 日常の場面でのインターネット利用状況

日常の場面でのインターネット利用状況を聞いた結果は、「利用することがある」(57.7%)であった。

性別・年齢別にみると、男性では50歳代以下で、女性では40歳代以下で「利用することがある」の比率が70%を超えている。

### (6) インターネットの主な利用場所

インターネットの主な利用場所を聞いた結果多かったのは、「家」(81.7%)、「職場」(38.1%)であった。

### (7) 座間市のホームページの閲覧経験

日常の場面でインターネットを「利用することがある」と回答した人のうち、座間市のホームページの閲覧経験を聞いた結果、「ある」と回答した人は48.8%であった。

### (8) 座間市のホームページの満足度

座間市のホームページの満足度を聞いた結果最も多かったのは、「ふつう」(59.3%)であった。「満足」+「まあ満足」-「やや不満」-「不満」は-5.4ポイントとなった。

### (9) 座間市のホームページで充実を図るべき内容

座間市のホームページで充実を図るべき内容を聞いた結果多かったのは、「暮らしのガイド」(56.7%)、「公共施設案内の予約」(46.9%)、「イベント等のインフォメーション」(46.1%)、「市政情報」(39.8%)であった。

## 5 健康づくりについて

### (1) 健康づくりのために重要だと思うこと

健康づくりのために重要だと思うことを聞いた結果最も多かったのは、「定期検診などによる健康管理」(64.6%)、「スポーツ・レクリエーションなどでの体力づくり」(36.4%)、「生活習慣病(成人病)などを予防する食生活」(36.0%)であった。

過去の調査(平成10年調査)と比較すると、「過労防止のための適切な休養」の比率が大きく減少し、「定期検診などによる健康管理」、「生活習慣病(成人病)などを予防する食生活」は微増している。

## 6 高齢化社会について

### (1) 高齢者が安心して暮らしていくために大切なこと

高齢者が安心して暮らしていくために大切なことを聞いた結果多かったのは、「介護が必要になったときのための福祉サービスの充実」(43.0%)、「年金の充実」(34.3%)であった。

過去の調査(平成10年調査)と比較すると、「年金の充実」、「病気にかからないよう、生活指導や健康診断などの充実」の2項目が増加していることが目立つ。

## 7 自由時間(余暇)について

### (1) 自由時間(余暇)を過ごすために必要な施策・施設

自由時間(余暇)を過ごすために必要な施策・施設を聞いた結果多かったのは、「趣味・教養講座の開催」(49.9%)、「公民館・コミュニティセンターなど学習・文化活動の場の提供」(27.9%)、「スポーツ施設の整備」(26.5%)であった。

## 8 環境問題について

### (1) 一番気になる環境問題

一番気になる環境問題を聞いた結果最も多かったのは、「航空機騒音」(63.3%)であった。住まいの地域別にみると、「航空機騒音」は、すべての住まいの地域で1位であった。

### (2) 環境のため日ごろから気を付けていること

環境のため日ごろから気を付けていることを聞いた結果最も多かったのは、「ごみの分別を徹底して行っている」(69.4%)であった。次いで、「電気や水道水の無駄づかいをしない」(57.7%)、「家庭内のごみの減量化に努めている」(47.1%)、「油や味噌汁などを下水に流さない」(38.5%)、「自宅の植木や鉢植えを増やしている」(24.1%)が続く。

### (3) 環境のために今後とも気をつけて実行したいと思っていること

環境のために今後とも気をつけて実行したいと思っていることを聞いた結果最も多かったのは、「ごみの分別の徹底」(73.9%)であった。次いで、「家庭内のごみの減量化」(68.7%)、「電気や水道水の無駄づかいをしない」(68.2%)、「油や味噌汁などを下水に流さない」(48.1%)、「自宅の植木や鉢植えを増やす」(23.5%)が続く。

## 9 防災について

### (1) 地震や火災に備えてとっている対策

地震や火災に備えてとっている対策を聞いた結果多かったのは、「近くの学校や公園など避難場所を決めている」(38.7%)、「飲料水や食料を準備している」(30.8%)であった。「特に何もしていない」(28.3%)も多い。

## (2) 防災対策として力を入れるべき施策

防災対策として力を入れるべき施策を聞いた結果最も多かったのは、「正確な情報を伝達する体制づくり」(42.5%)であった。

過去の調査と比較すると、「正確な情報を伝達する体制づくり」、「飲料水、食料などの確保」、「市民の防災意識の高揚」などの順で比率が高いということに変わりはない。

## 10 男女共同参画について

### (1) 「男は仕事、女は家庭」といった考えについて

「男は仕事、女は家庭」といった考えについて聞いた結果は、「同感する」(12.9%)、「同感しない」(47.0%)、「どちらともいえない」(36.4%)であった。

性別・年齢別にみると、「同感する」の比率はどの年代においても女性より男性の比率が高くなっており、男女とも加齢にともなって比率が高くなる傾向がみられる。

### (2) 「男は仕事、女は家庭」といった考えに「同感する」理由

「男は仕事、女は家庭」といった考えに「同感する」理由を聞いた結果多かったのは、「子どもを育てるには、家庭にいたほうがよいから」(44.7%)、「それが男女それぞれの生まれつきの特性だから」(29.8%)、「従来の経験や習慣から」(17.6%)であった。

性別にみると、項目の順位は男女とも全体と同じであったが、女性で「子どもを育てるには、家庭にいたほうがよいから」、男性で「それが男女それぞれの生まれつきの特性だから」の比率が比較的高くなっている。

### (3) 「男は仕事、女は家庭」といった考えに「同感しない」理由

「男は仕事、女は家庭」といった考えに「同感しない」理由を聞いた結果多かったのは、「従来の経験や習慣では、おしはかれない状況となっているから」(36.2%)、「生まれつき男女の役割は決められているものではないから」(22.0%)、「現在、仕事の面でも活躍している女性が多くなったから」(20.9%)であった。

### (4) 男女平等の観点から学校教育で取り入れてほしいこと

男女平等の観点から学校教育で取り入れてほしいことを聞いた結果多かったのは、「男女平等の観点に立って性別にとらわれず、ひとりひとりの個性をはぐくむような授業をする」(67.9%)、「教員自身の固定観念をとりのぞく研修を行う」(42.8%)、「生活指導や進路指導において、男女の差をなくす配慮をする」(37.1%)であった。

### (5) 家庭内・家族間で起こる暴力で受けた具体的な内容

家庭内・家族間で起こる暴力で受けた具体的な内容を聞いた結果最も多かったのは、「特にない」(77.1%)であった。受けた具体的な内容で多かったのは、「ばかにされたり、ののしられたり、命令口調でものを言われた」(6.2%)、「身体を傷つけられたり、傷つける可能性のある行為を受けた」(3.6%)等であった。

### (6) 男女共同参画社会を実現していくための施策

男女共同参画社会を実現していくための施策を聞いた結果多かったのは、「病気や緊急時に家事・育児を手助けする人を派遣する制度の創設」(33.5%)、「延長保育等の保育事業や学童クラブの拡充」(30.2%)、「就労条件改善の啓発」(25.5%)であった。

## 11 国際化について

### (1) 市民の国際交流を進めるために必要なこと

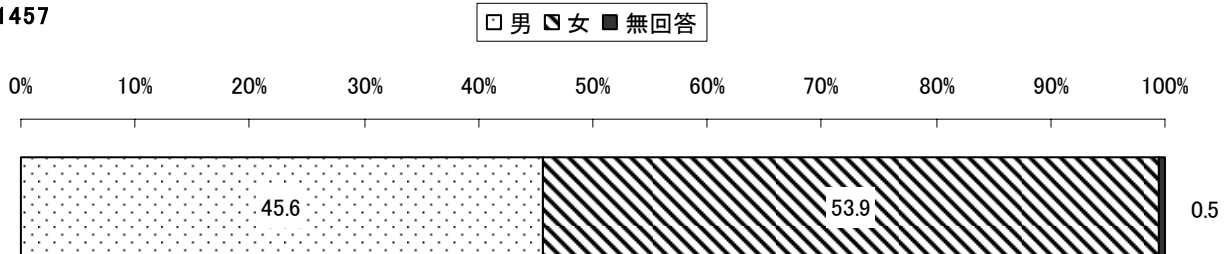
市民の国際交流を進めるために必要なことを聞いた結果多かったのは、「国際交流に関する各種イベントの開催」(29.2%)、「国内外の生活・文化の紹介や国際交流の情報提供」(22.9%)であった。

### III. 調査結果

#### 1 回答者の基本属性

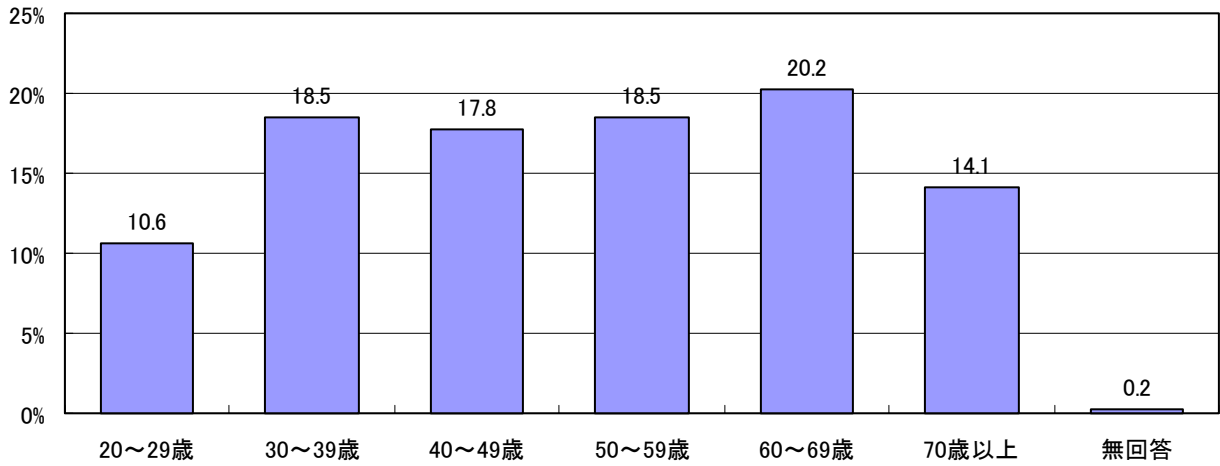
##### (1) 性別

n=1457

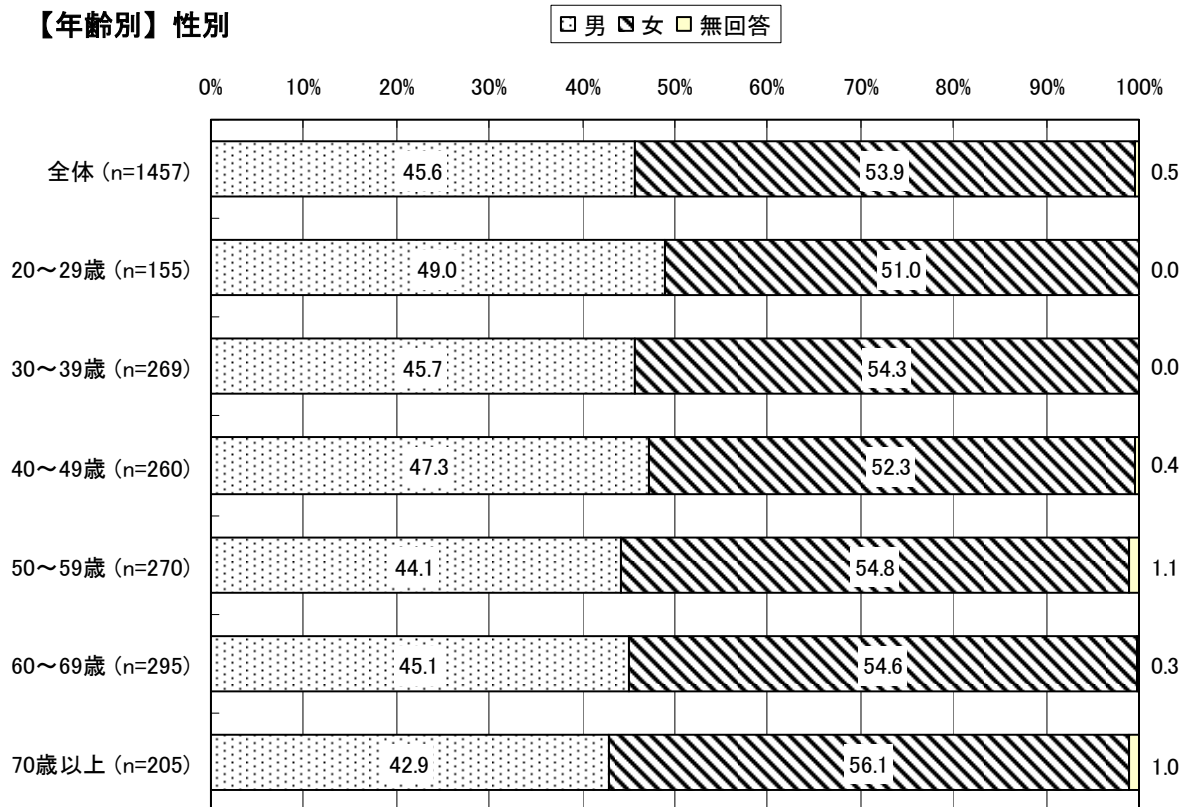


##### (2) 年齢

n=1457

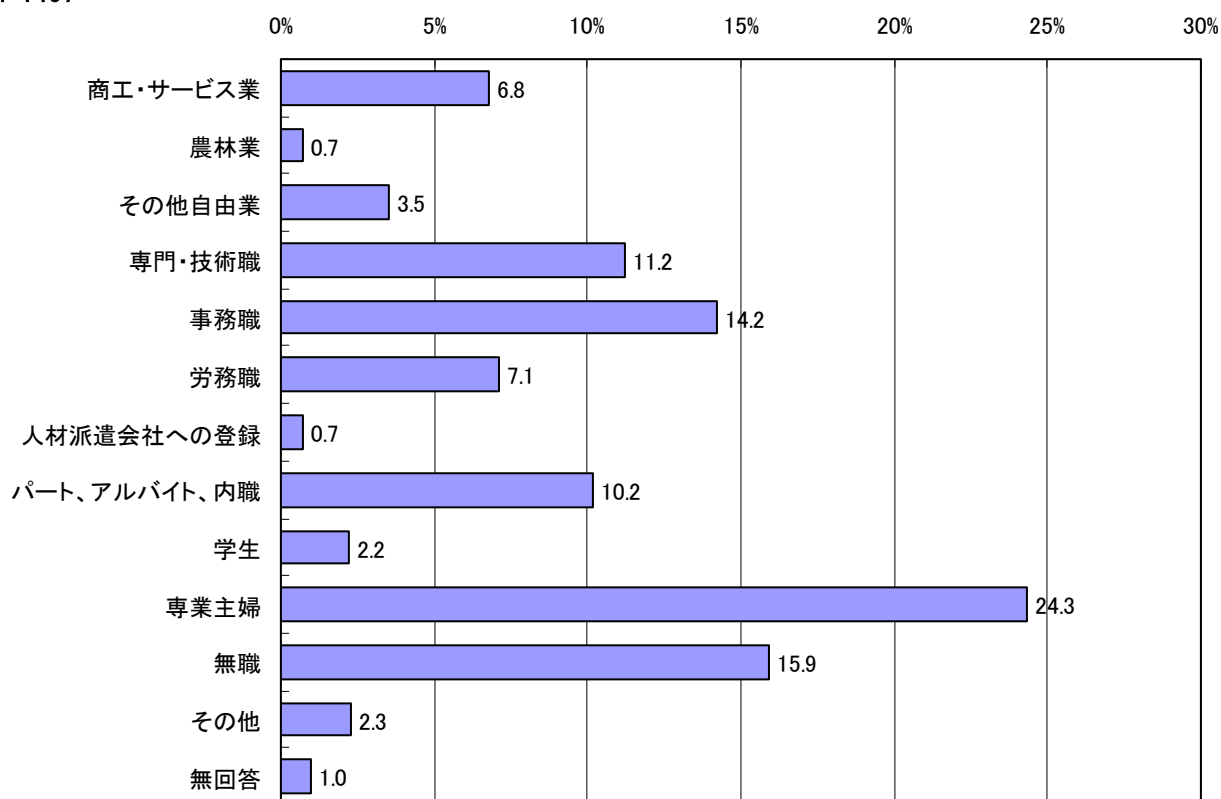


##### 【年齢別】性別



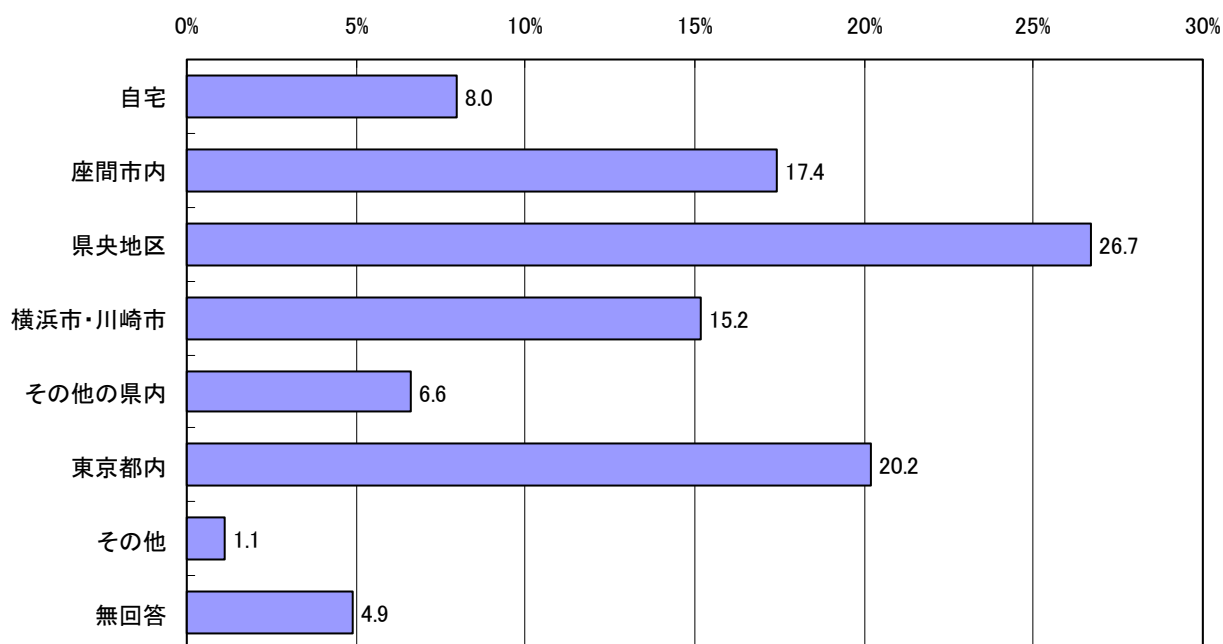
### (3) 職業

n=1457

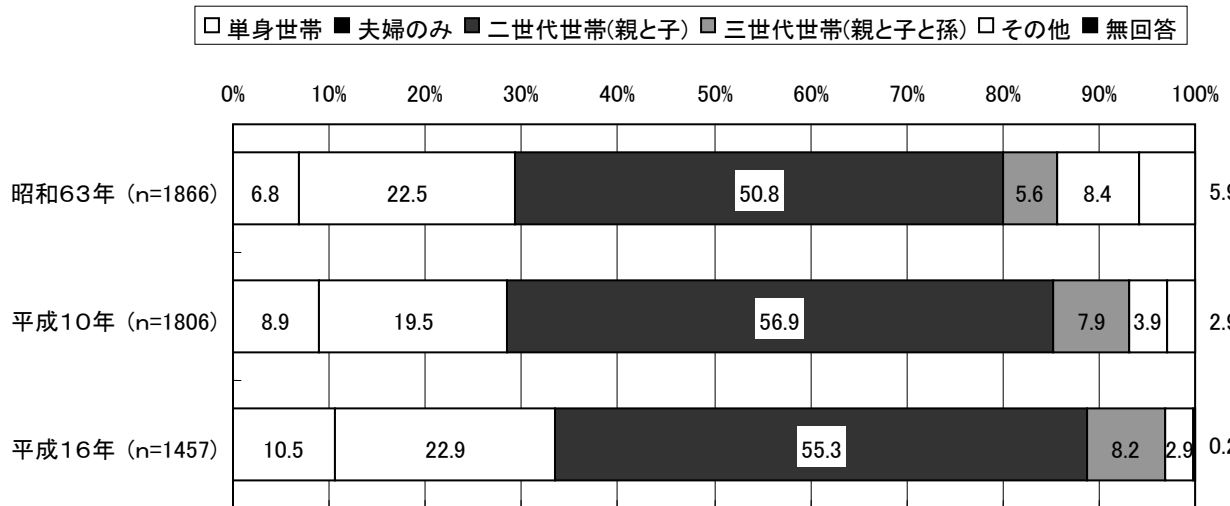


### (4) 勤務地(通学地)

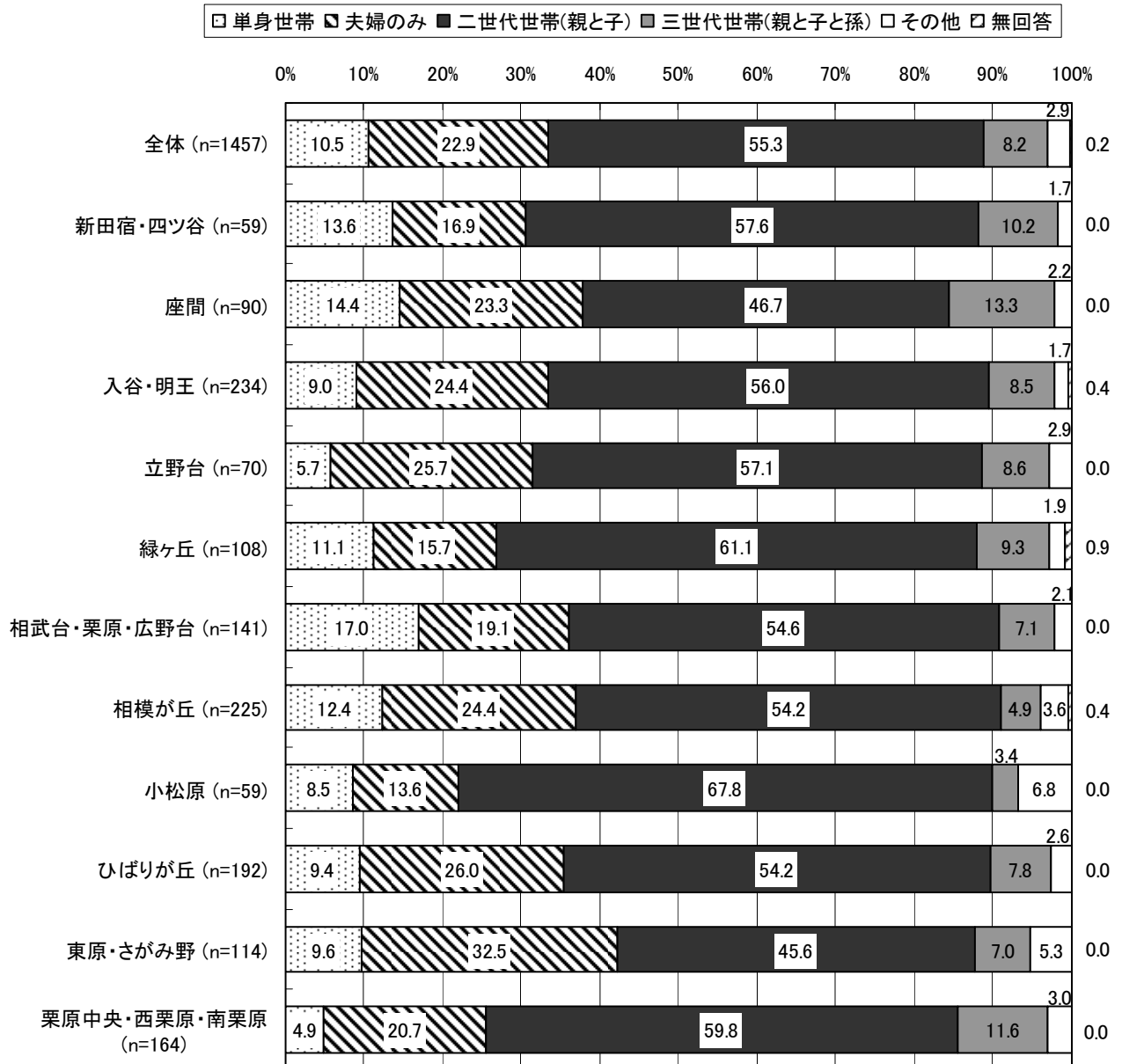
n=823



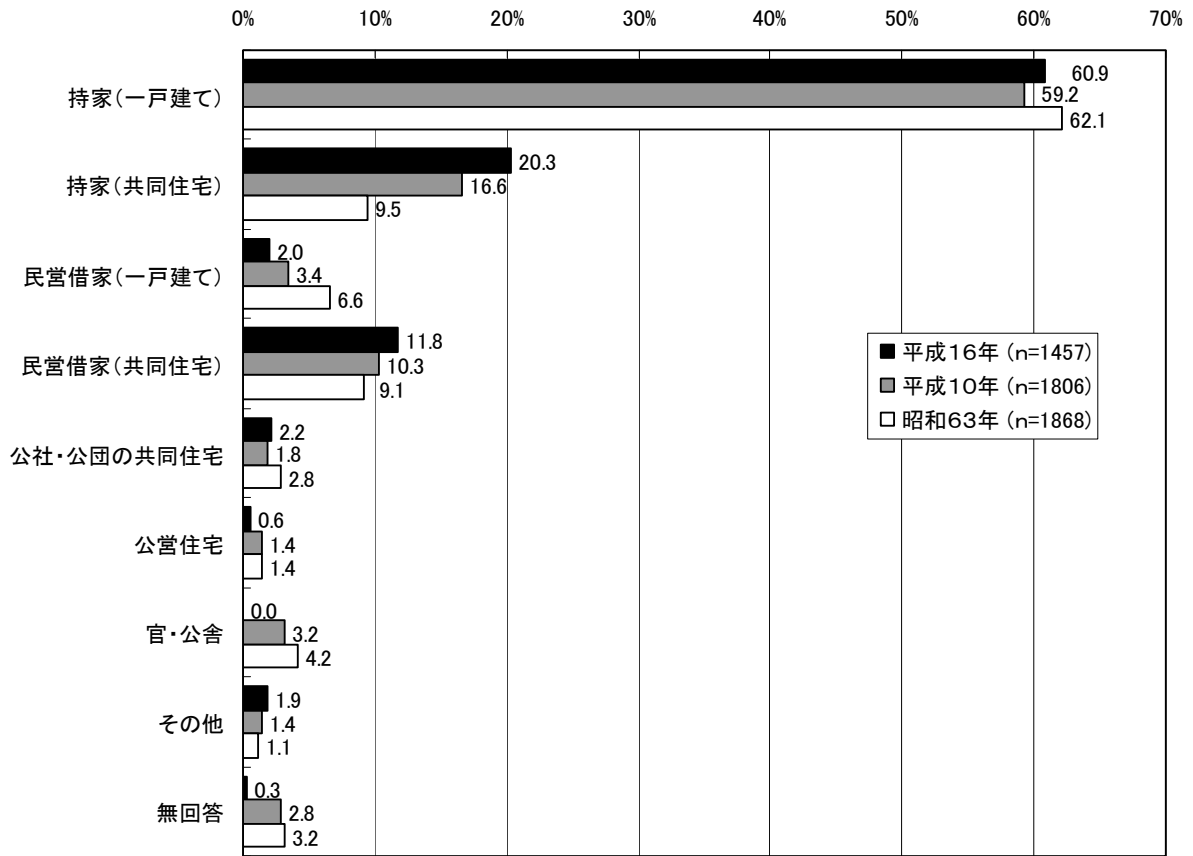
## (5) 同居の家族構成



### 【住まいの地域別】同居家族の構成



(6) 住まいの形態



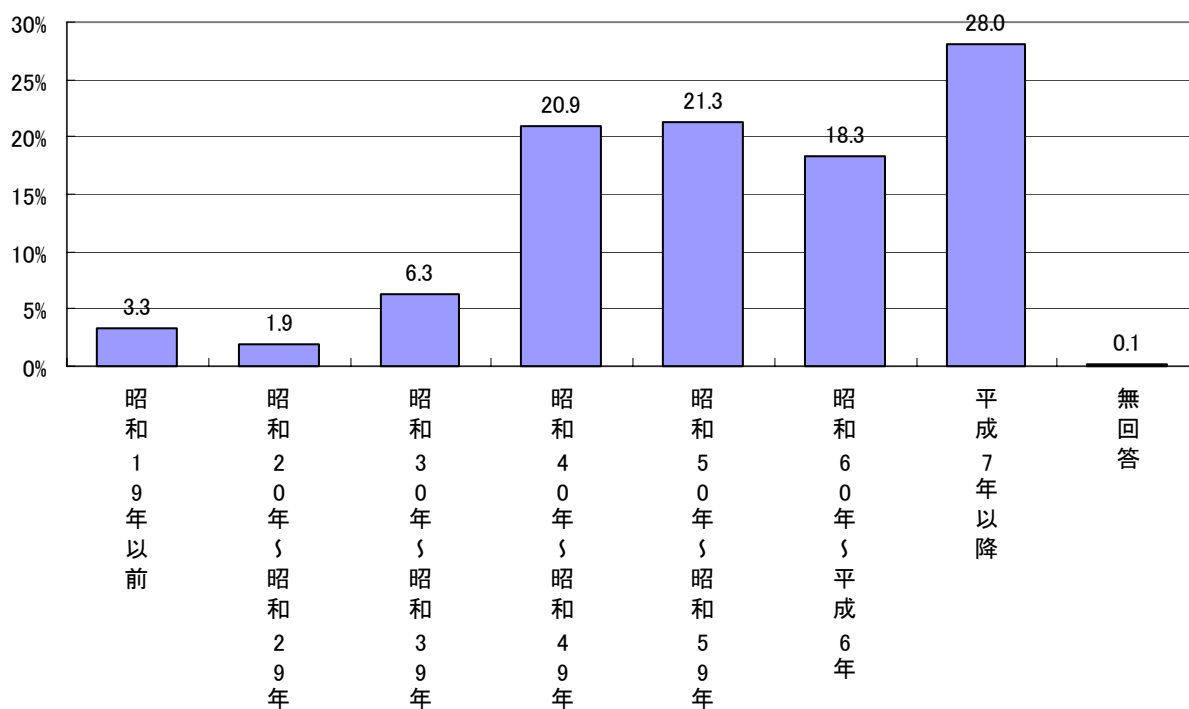
【住まいの地域別】住まいの形態

|        | %            | 住まいの形態  |           |           |             |             |            |       |      |     |     |
|--------|--------------|---------|-----------|-----------|-------------|-------------|------------|-------|------|-----|-----|
|        |              | 全体 (実数) | 持家 (一戸建て) | 持家 (共同住宅) | 民営借家 (一戸建て) | 民営借家 (共同住宅) | 公社・公団の共同住宅 | 公営住宅  | 官・公舎 | その他 | 無回答 |
| 全体     |              | 1457    | 60.9      | 20.3      | 2.0         | 11.8        | 2.2        | 0.6   | -    | 1.9 | 0.3 |
| 住まいの地域 | 新田宿・四ツ谷      | 59      | 83.1      | 1.7       | -           | 11.9        | -          | -     | -    | 3.4 | -   |
|        | 座間           | 90      | 64.4      | 15.6      | 1.1         | 8.9         | 2.2        | 2.2   | -    | 4.4 | 1.1 |
|        | 入谷・明王        | 234     | 52.6      | 33.3      | 1.7         | 11.1        | 0.4        | 0.4   | -    | 0.4 | -   |
|        | 立野台          | 70      | 77.1      | 5.7       | 4.3         | 11.4        | -          | 1.4   | -    | -   | -   |
|        | 緑ヶ丘          | 108     | 75.9      | 4.6       | 3.7         | 13.0        | 0.9        | -     | -    | 1.9 | -   |
|        | 相武台・栗原・広野台   | 141     | 53.9      | 19.9      | 1.4         | 19.9        | 0.7        | -     | -    | 2.8 | 1.4 |
|        | 相模が丘         | 225     | 48.0      | 36.9      | 3.1         | 10.7        | 0.4        | -     | -    | 0.4 | 0.4 |
|        | 小松原          | 59      | 54.2      | 30.5      | -           | 10.2        | -          | 1.7   | -    | 3.4 | -   |
|        | ひばりが丘        | 192     | 65.1      | 18.2      | 2.1         | 8.3         | 5.7        | -     | -    | 0.5 | -   |
|        | 東原・さがみ野      | 114     | 52.6      | 12.3      | -           | 14.9        | 12.3       | 1.8   | -    | 6.1 | -   |
|        | 栗原中央・西栗原・南栗原 | 164     | 73.8      | 9.8       | 2.4         | 11.0        | 0.6        | 0.6   | -    | 1.8 | -   |
|        | 無回答          | 1       | -         | -         | -           | -           | -          | 100.0 | -    | -   | -   |



(7) 在住年数

n=1457

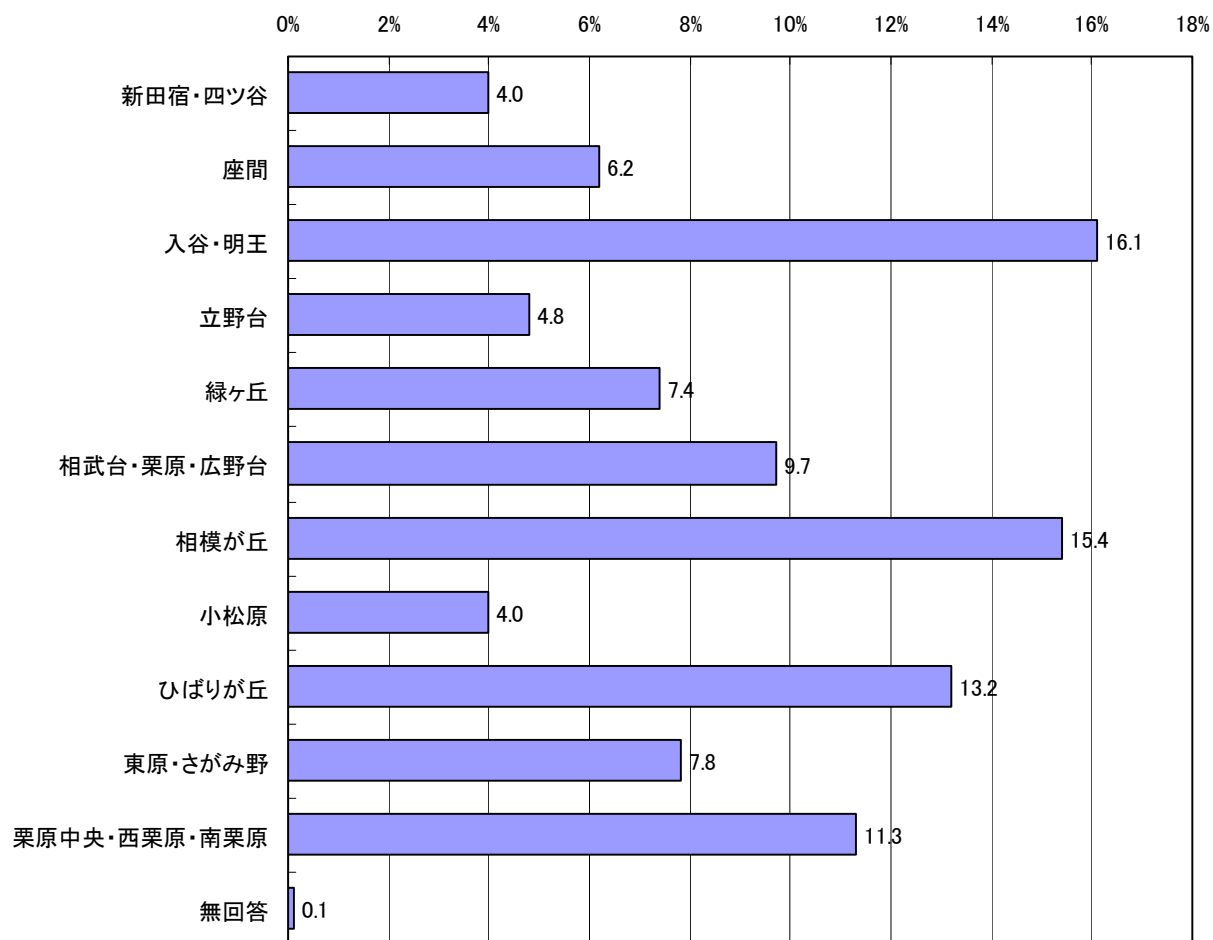


【住まいの地域別】在住年数

|        | %            | 全体<br>(実数<br>) | 昭和19年以前 | 昭和20年〜昭和29年 | 昭和30年〜昭和39年 | 昭和40年〜昭和49年 | 昭和50年〜昭和59年 | 昭和60年〜平成6年 | 平成7年以降 | 無回答  |
|--------|--------------|----------------|---------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|--------|------|
|        |              |                | 全体      | 1457        | 3.3         | 1.9         | 6.3         | 20.9       | 21.3   | 18.3 |
| 住まいの地域 | 新田宿・四ツ谷      | 59             | 5.1     | 6.8         | 16.9        | 13.6        | 23.7        | 11.9       | 22.0   | -    |
|        | 座間           | 90             | 12.2    | 3.3         | 4.4         | 14.4        | 25.6        | 20.0       | 18.9   | 1.1  |
|        | 入谷・明王        | 234            | 4.7     | 2.6         | 4.7         | 13.7        | 29.1        | 21.4       | 23.9   | -    |
|        | 立野台          | 70             | 1.4     | -           | 8.6         | 25.7        | 28.6        | 18.6       | 17.1   | -    |
|        | 緑ヶ丘          | 108            | 7.4     | 0.9         | 10.2        | 27.8        | 19.4        | 15.7       | 18.5   | -    |
|        | 相模台・栗原・広野台   | 141            | 2.1     | 0.7         | 5.0         | 19.9        | 17.0        | 15.6       | 39.7   | -    |
|        | 相模が丘         | 225            | 0.9     | 1.8         | 7.1         | 20.9        | 18.7        | 16.0       | 34.7   | -    |
|        | 小松原          | 59             | 1.7     | 1.7         | 5.1         | 20.3        | 16.9        | 15.3       | 39.0   | -    |
|        | ひばりが丘        | 192            | -       | 0.5         | 4.2         | 27.6        | 22.9        | 17.2       | 27.6   | -    |
|        | 東原・さがみ野      | 114            | 1.8     | 2.6         | 7.9         | 19.3        | 16.7        | 21.9       | 29.8   | -    |
|        | 栗原中央・西栗原・南栗原 | 164            | 3.7     | 1.8         | 4.3         | 25.0        | 15.2        | 22.0       | 28.0   | -    |
|        | 無回答          | 1              | -       | -           | -           | -           | -           | 100.0      | -      | -    |

## (8) 住まいの地域

n=1457



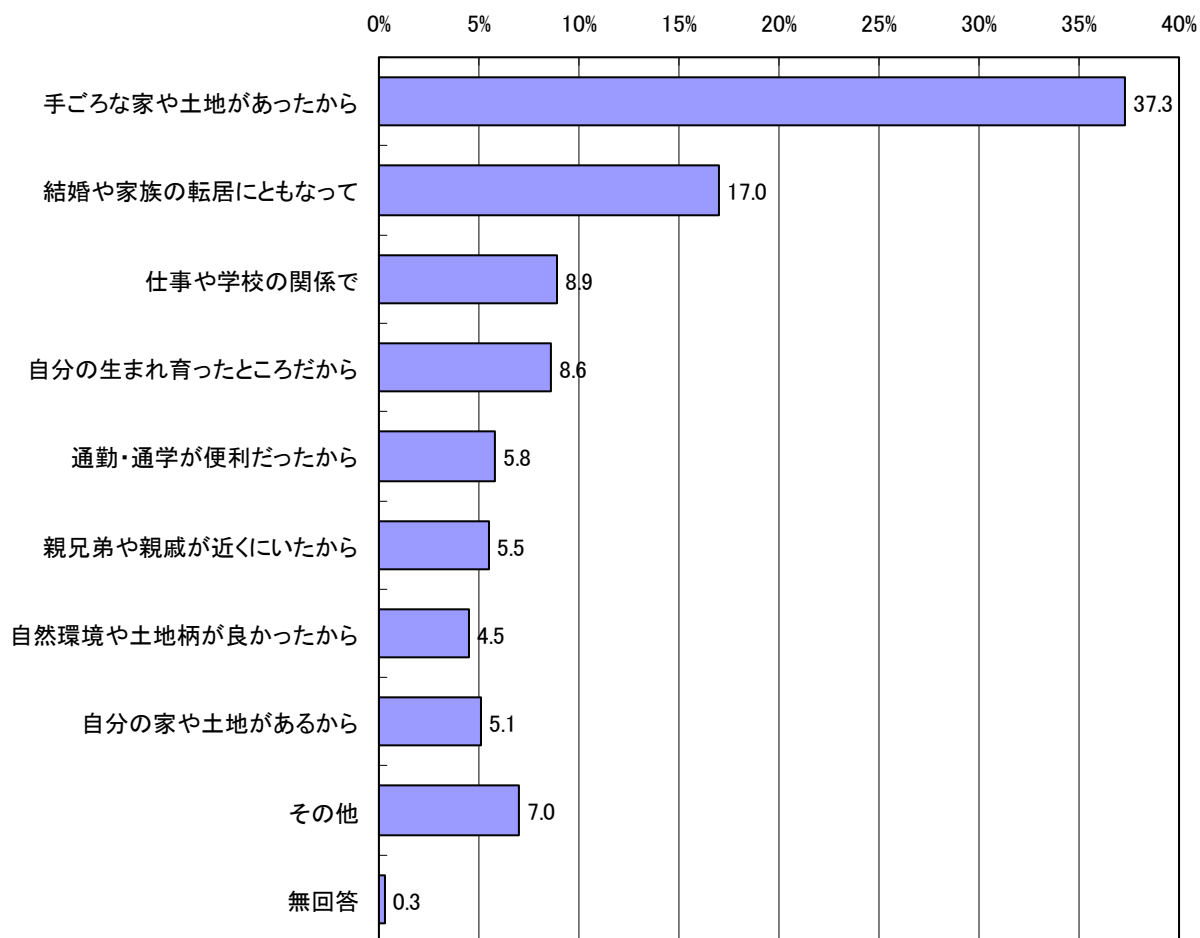
## 2 生活環境について

### (1) 座間市に住んだ理由

1 あなたが座間市にお住まいになった主な理由は何ですか。  
【一つだけ選んでください。】

座間市に住んだ理由を聞いた結果最も多かったのは、「手ごろな家や土地があったから」(37.3%)であった。次いで、「結婚や家族の転居にともなって」(17.0%)、「仕事や学校の関係で」(8.9%)、「自分の生まれ育ったところだから」(8.6%)、「その他」(7.0%)が続く。

n=1457

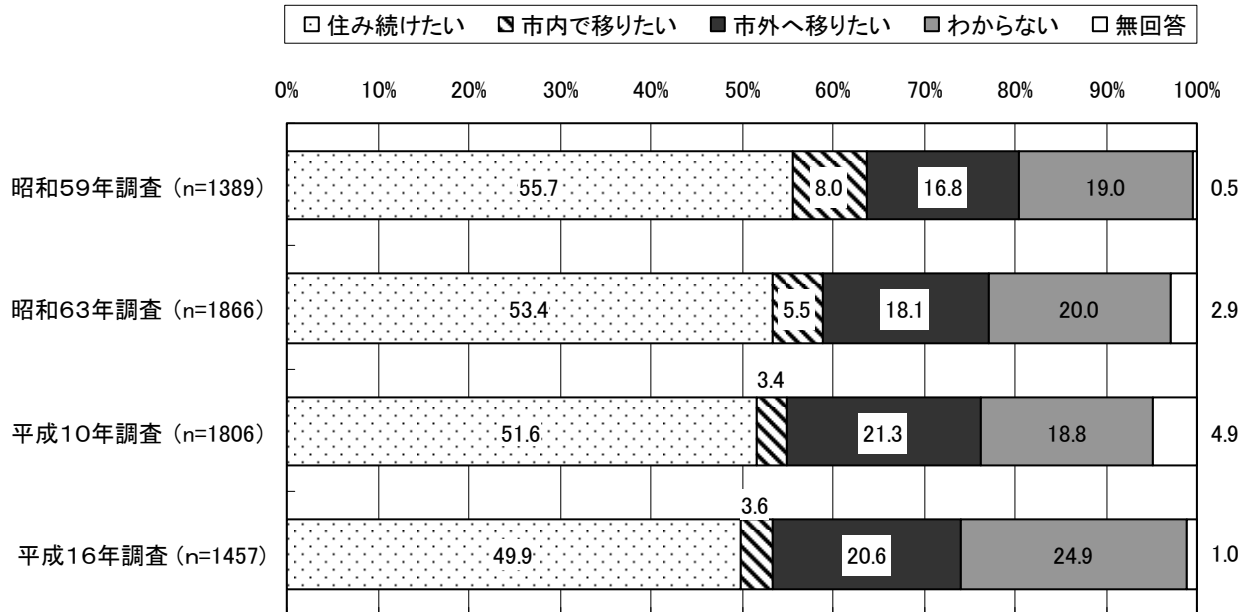


## (2) 定住意識

2-1 あなたは、これからも今の場所に住み続けたいと思いますか。それとも他へ移りたいと思いますか。【一つだけ選んでください。】

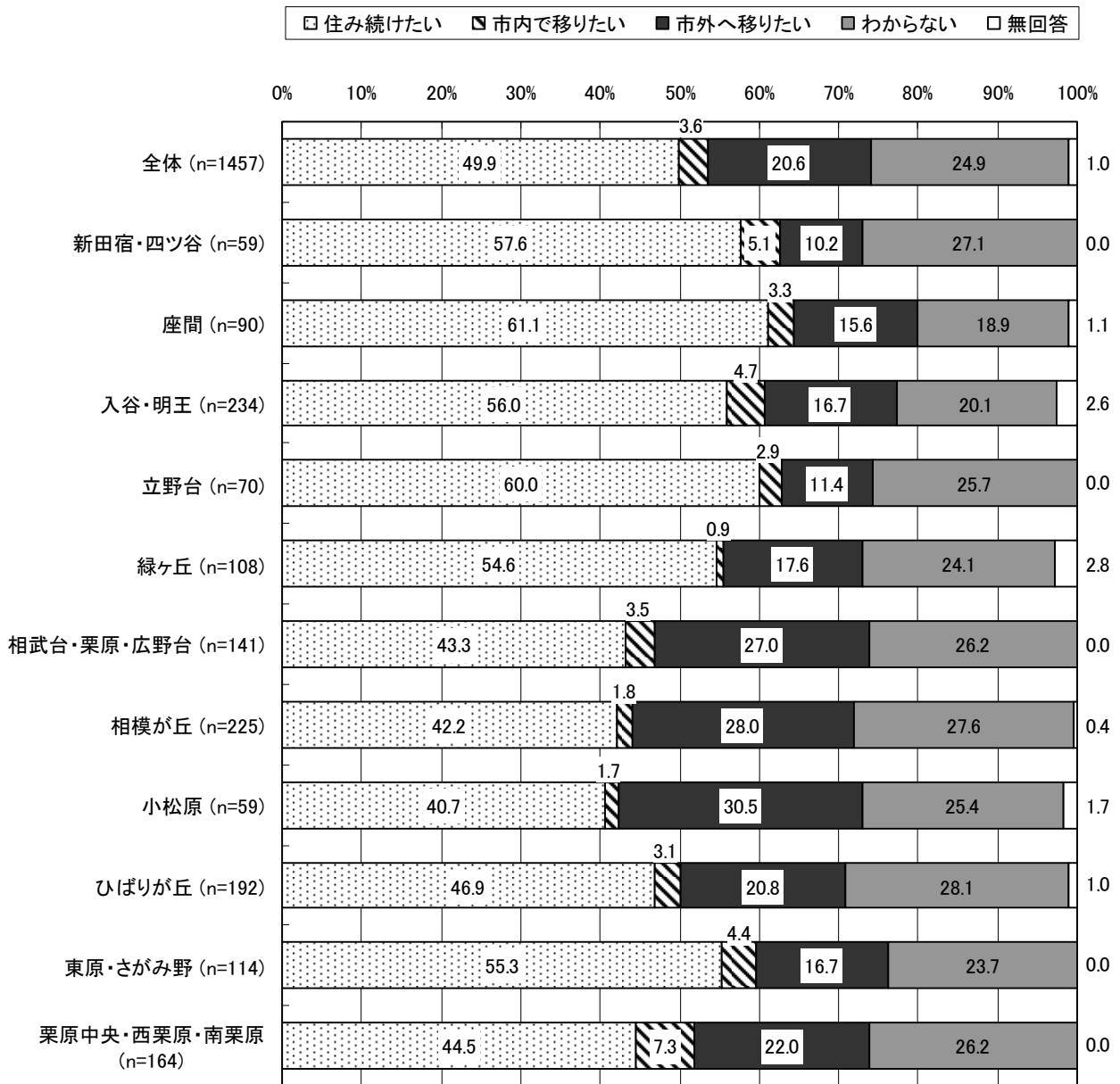
これからも今の場所に住み続けたいかを聞いた結果最も多かったのは、「住み続けたい」(49.9%)であった。次いで、「わからない」(24.9%)、「市外へ移りたい」(20.6%)、「市内で移りたい」(3.6%)が続く。

過去の調査結果と比較すると、「住み続けたい」、「市内で移りたい」は減少傾向にあり、「市外へ移りたい」はわずかながら増加の傾向がみられる。



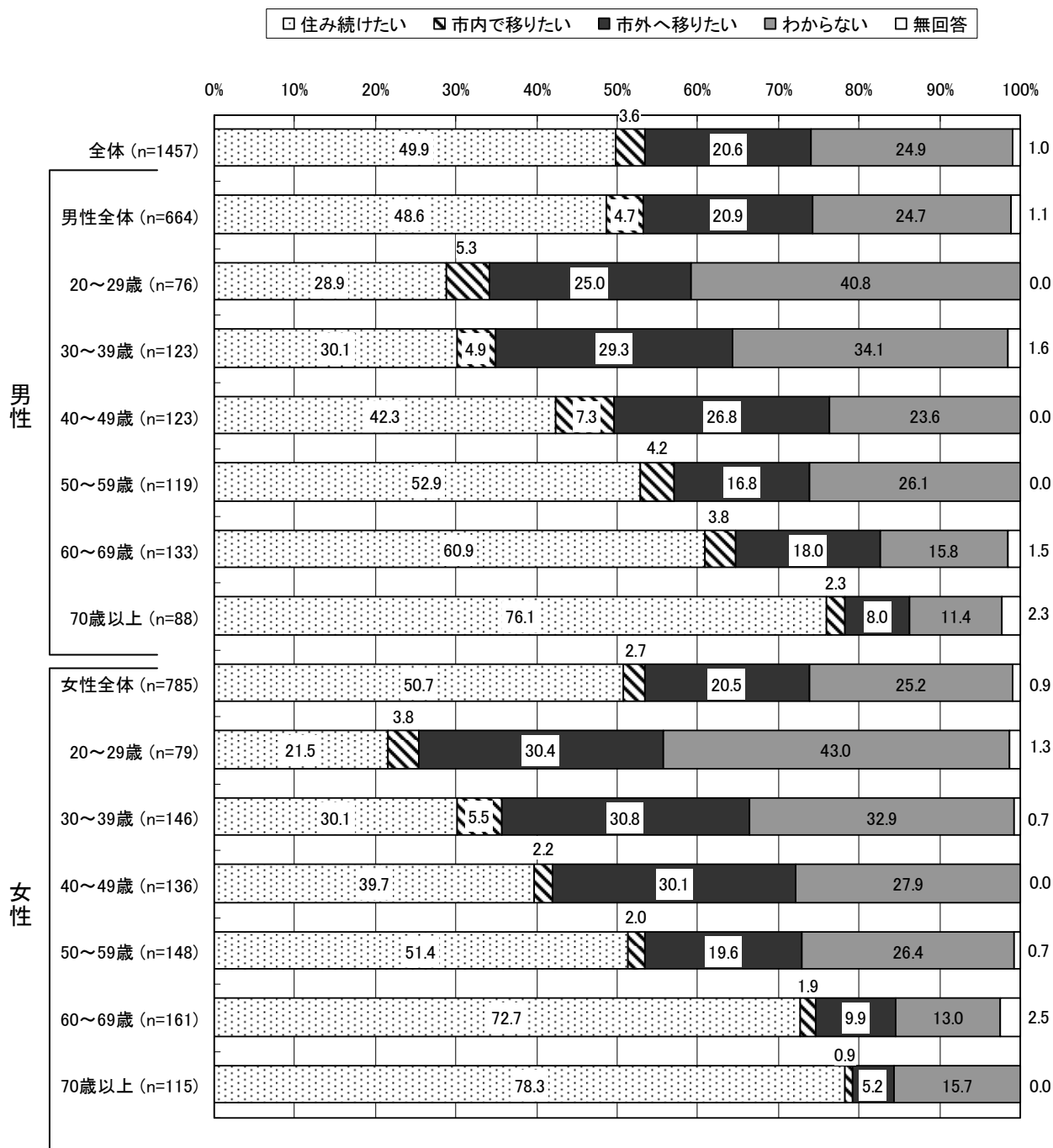
## 【住まいの地域別】定住意識

住まいの地域別にみると、「住み続けたい」の比率が高い地域は 60%以上の比率を示した座間、立野台などで、11 地域中 6 地域で 50%を超えた。反対に小松原、相模が丘、相武台・栗原・広野台などでは 40%強と比較的低い比率であった。



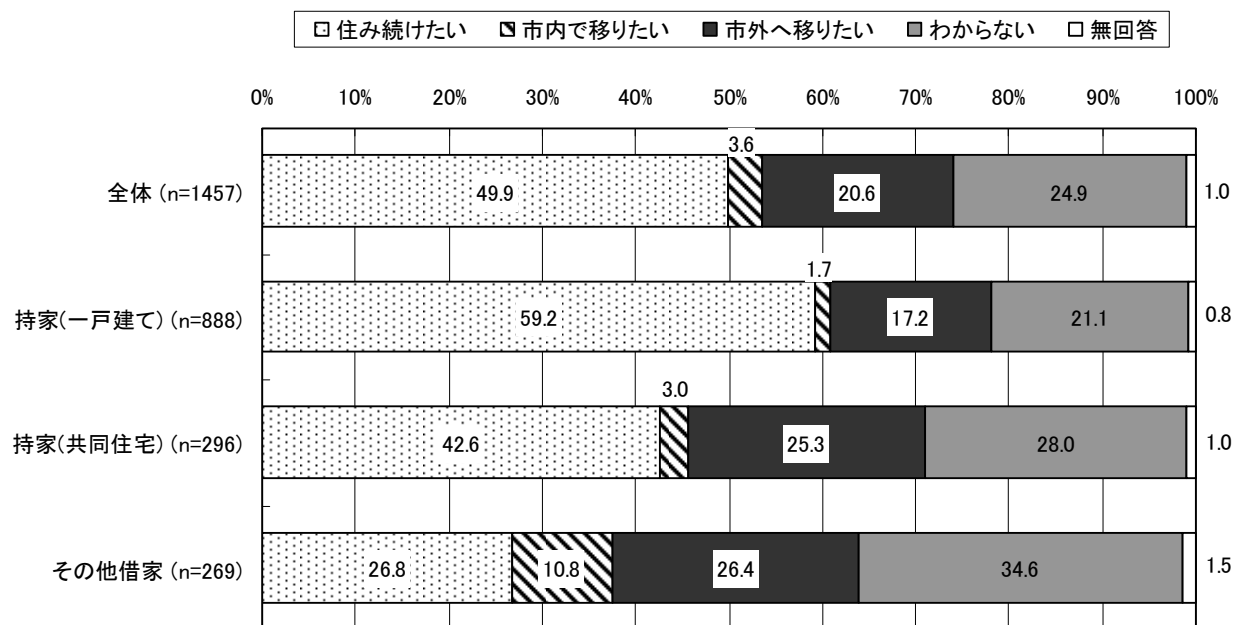
## 【性別・年齢別】定住意識

性別・年齢別にみると、男女とも加齢とともに定住意向が高くなる傾向が明確にみられる。



## 【住まいの形態別】定住意識

住まいの形態別にみると、「住み続けたい」は、持家(一戸建て)で**60%弱**と比較的高いが、持家(共同住宅)では半数を割り込み、その他借家では**30%に満たない**。

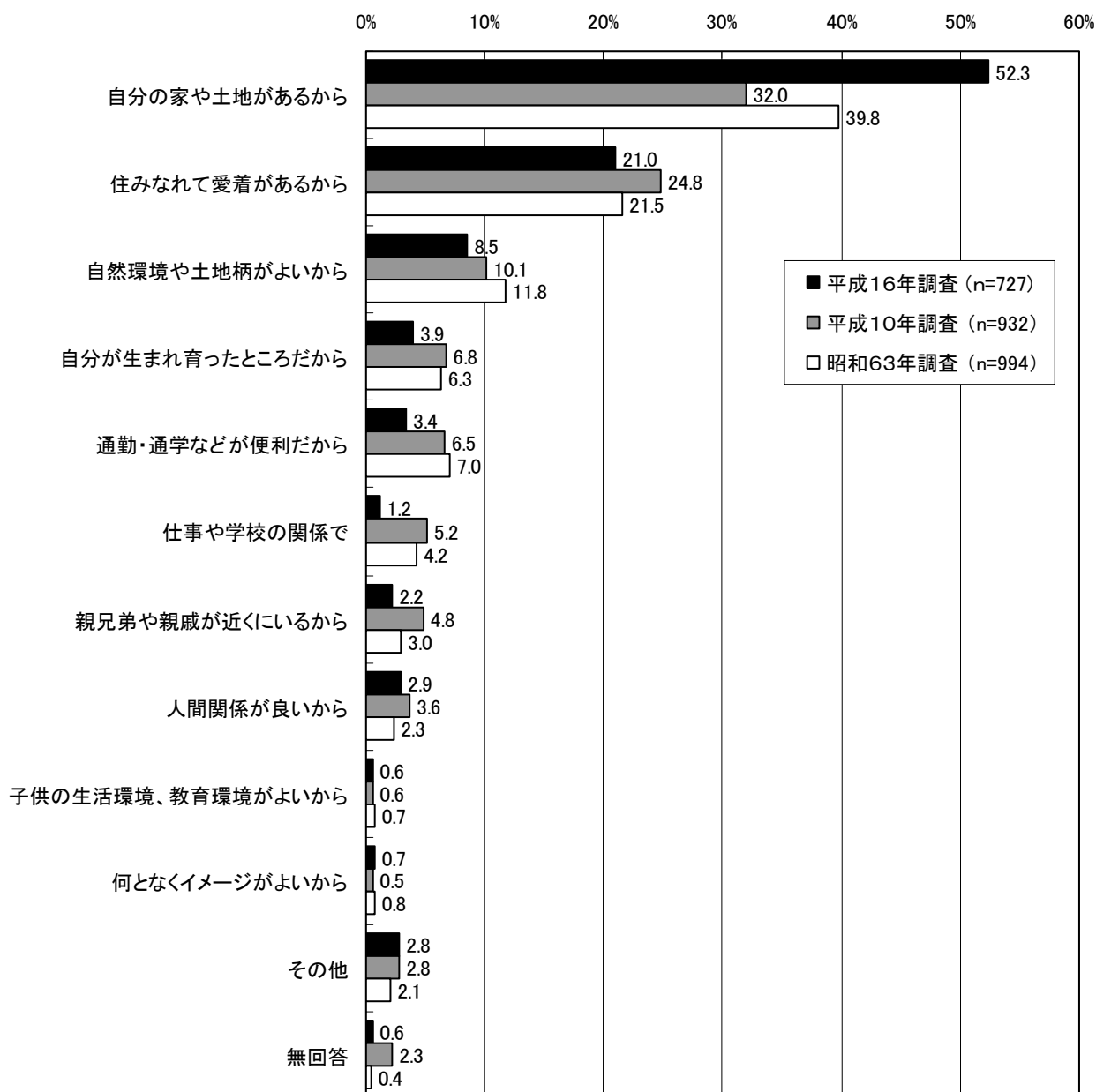


### (3) 今の場所に住み続けたい理由

2-2 設問2-1で1とお答えの方にお伺いします。今の場所に住み続けたい理由は何ですか。【一つだけ選んでください。】

今の場所に住み続けたい理由を聞いた結果最も多かったのは、「自分の家や土地があるから」(52.3%)であった。次いで、「住みなれて愛着があるから」(21.0%)、「自然環境や土地柄がよいから」(8.5%)、「自分が生まれ育ったところだから」(3.9%)、「通勤・通学などが便利だから」(3.4%)が続く。

過去の調査結果と比較すると「自分の家や土地があるから」の比率が伸びている以外は、ほぼ横ばいかまたは減少傾向がみられる。



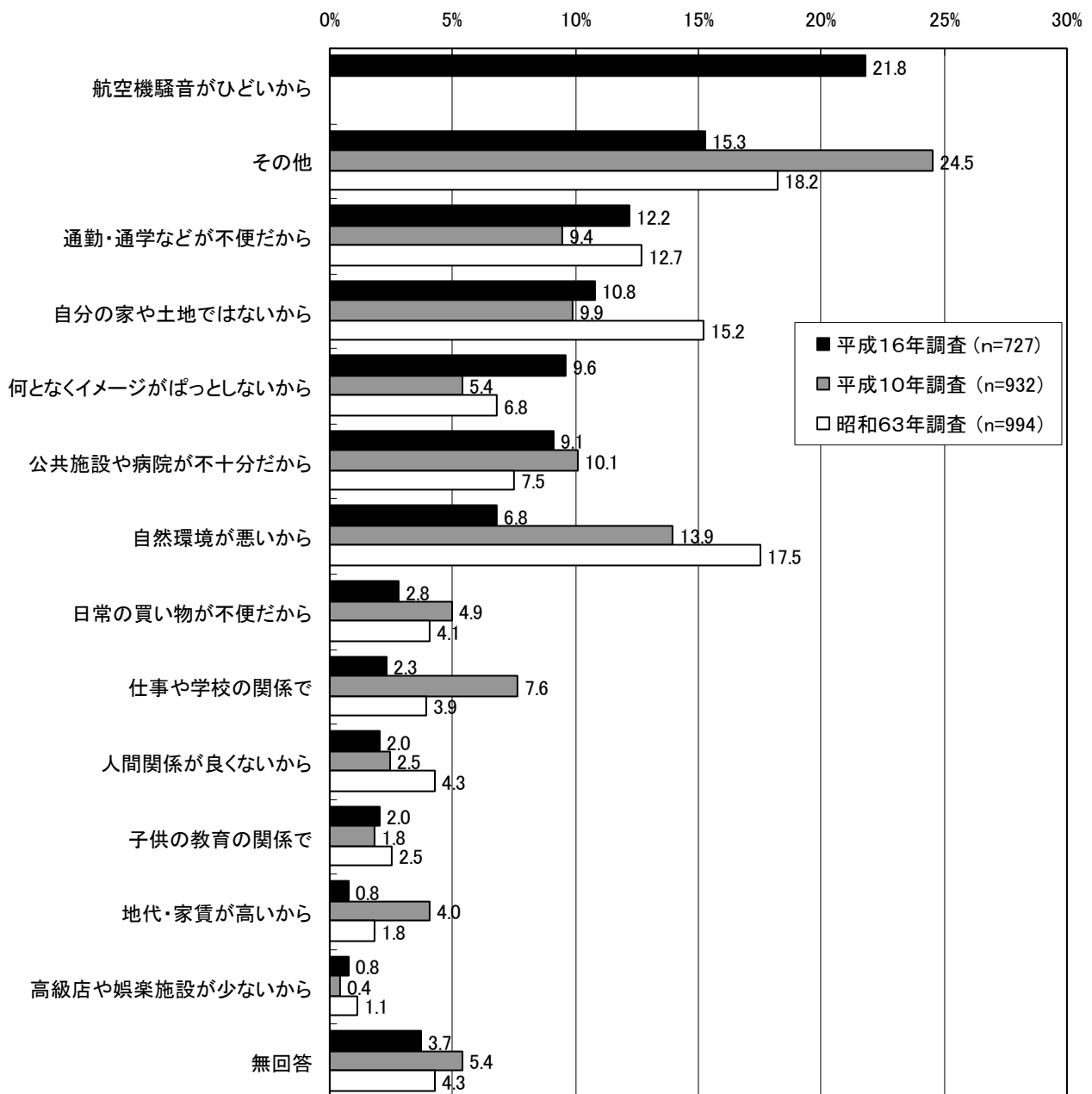


(4) 他のところに移りたい主な理由

2-3 設問2-1で2または3とお答えの方にお伺いします。他のところに移りたい主な理由は何ですか。【一つだけ選んでください。】

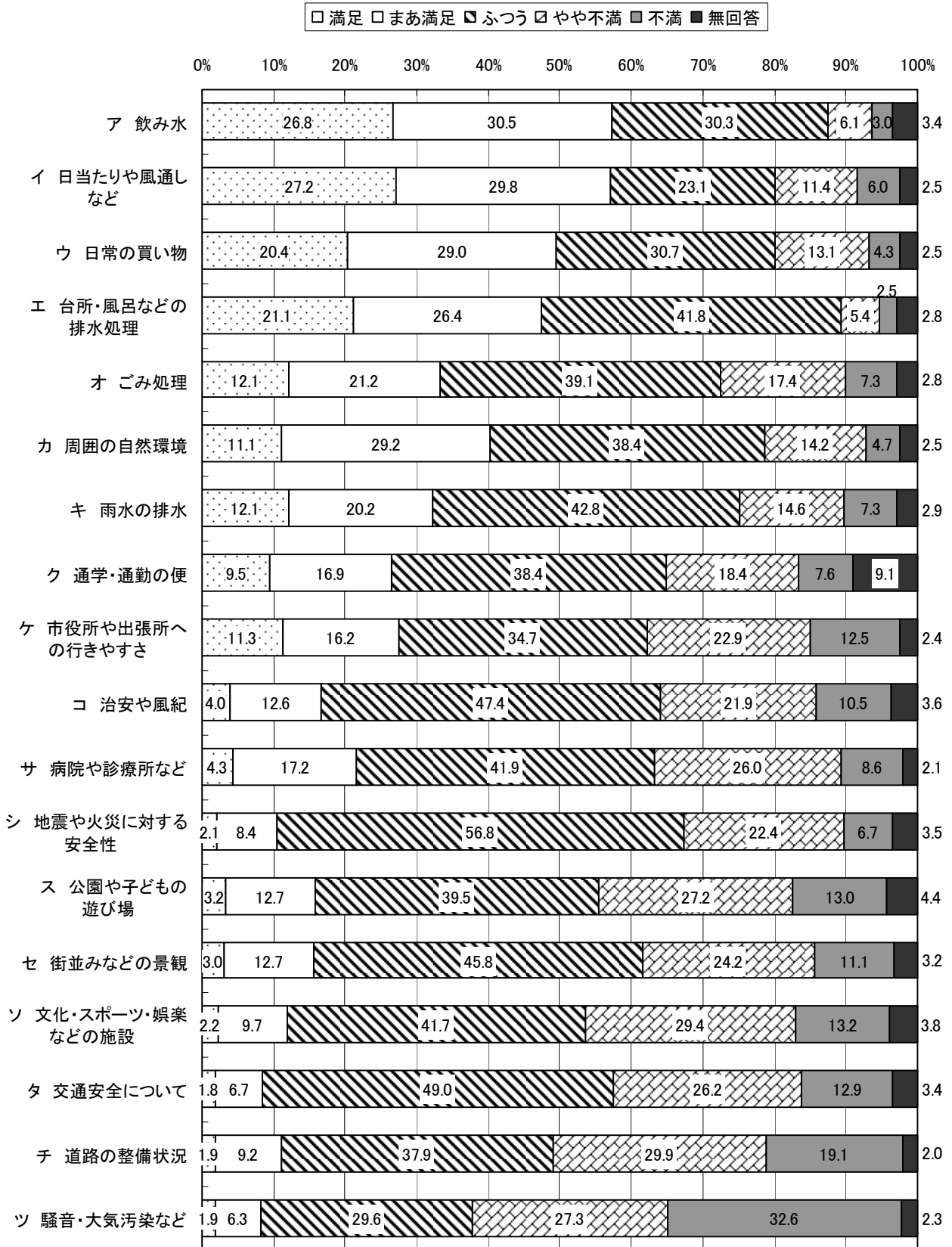
他のところに移りたい主な理由を聞いた結果最も多かったのは、「航空機騒音がひどいから」(21.8%)であった。次いで、「その他」(15.3%)、「通勤・通学などが不便だから」(12.2%)、「自分の家や土地ではないから」(10.8%)、「何となくイメージがぱっとしないから」(9.6%)が続く。

過去の調査結果と比較すると、今回から加わった「航空機騒音がひどいから」の影響で、多くの項目に減少傾向がみられる。中でも「自然環境が悪いから」の減少は目立っている。増加傾向がみられたのは「何となくイメージがぱっとしないから」くらいであった。



### (5) 住まいの周辺環境についての満足度

周辺環境を下のア～ツの18項目について評価してもらった結果、「満足」+「まあ満足」-「やや不満」-「不満」の比率で30%を超える良い評価だった項目は、ア 飲み水、イ 日当たりや風通しなど、エ 台所・風呂などの排水処理、ウ 日常の買い物の4項目であった。反対に-30%を下回る悪い評価だった項目は、ツ 騒音・大気汚染など、チ 道路の整備状況、ソ 文化・スポーツ・娯楽などの施設、タ 交通安全についての4項目であった。

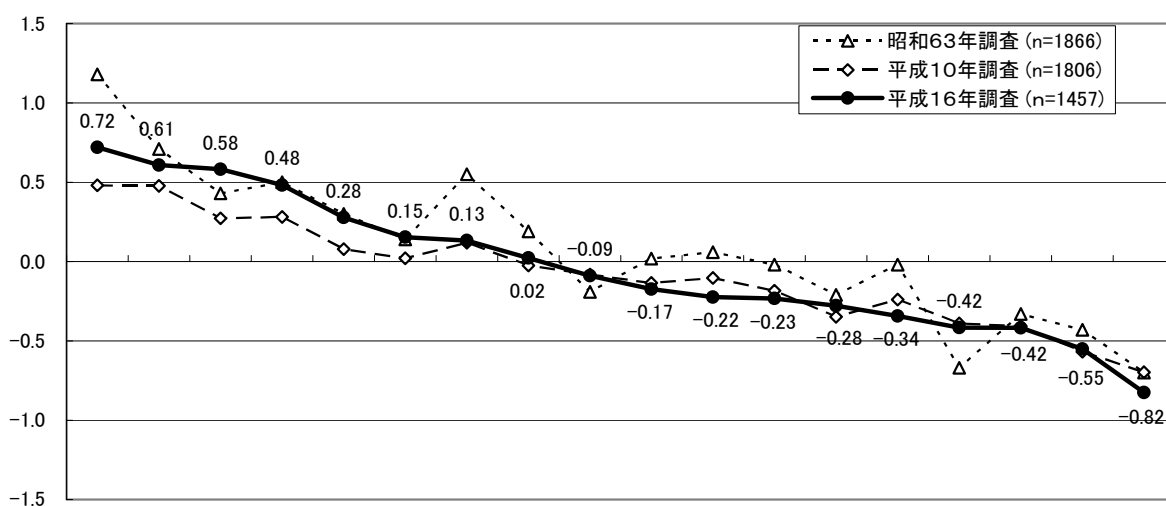


周辺環境を下の評価(加重平均)によって平均点を算出し、今回(平成16年)の調査で平均点の高い順に左から並べて過去の調査と比較したものが下のグラフと表である。

$$\text{平均点} = \frac{\text{「満足」の回答者数} \times 2 \text{点} + \text{「まあ満足」の回答者数} \times 1 \text{点} + \text{「やや不満」の回答者数} \times -1 \text{点} + \text{「不満」の回答者数} \times -2 \text{点}}{\text{回答者数}}$$

今回(平成16年)の調査で平均点が高かった項目は、「飲み水」、「日当たりや風通しなど」、「台所・風呂などの排水処理」などで、低かった項目は、「騒音・大気汚染など」、「道路の整備状況」、「交通安全について」などであった。

過去の調査結果と平均点を比較すると、今回(平成16年)の平均点が最も高かった項目は、「台所・風呂などの排水処理」、「雨水の排水」の2項目で「日常の買い物」、「周囲の自然環境」、「市役所や出張所への行きやすさ」、「文化・スポーツ・娯楽などの施設」なども比較的高い。反対に平均点が最も低かったのは、「病院や診療所など」、「治安や風紀」、「地震や火災に対する安全性」、「公園や子どもの遊び場」、「交通安全について」、「騒音・大気汚染など」であった。



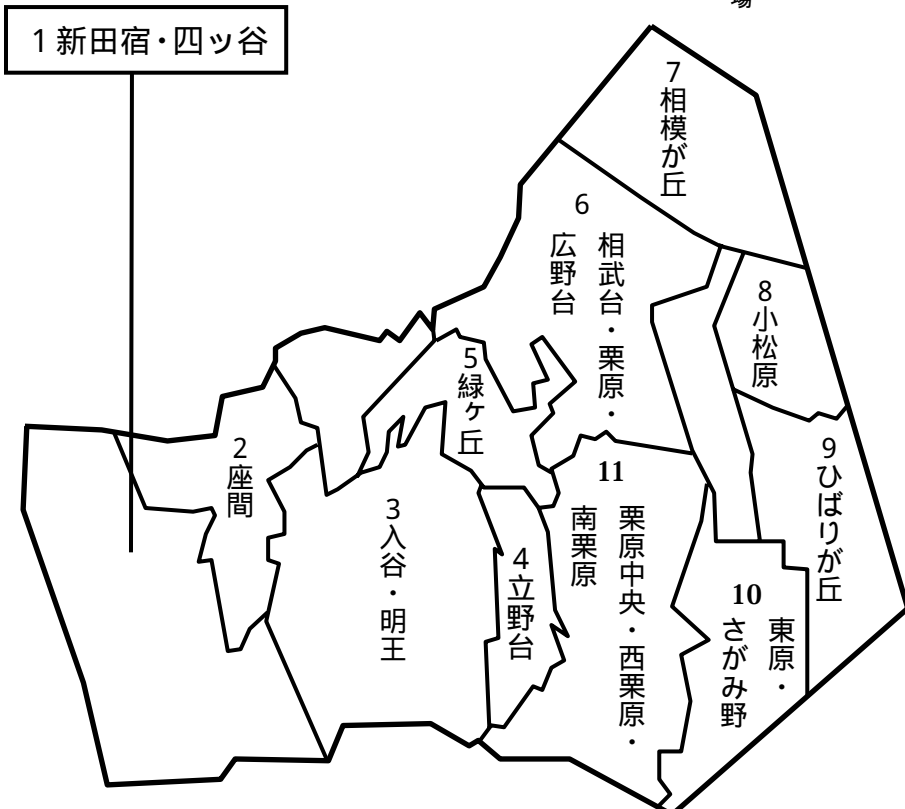
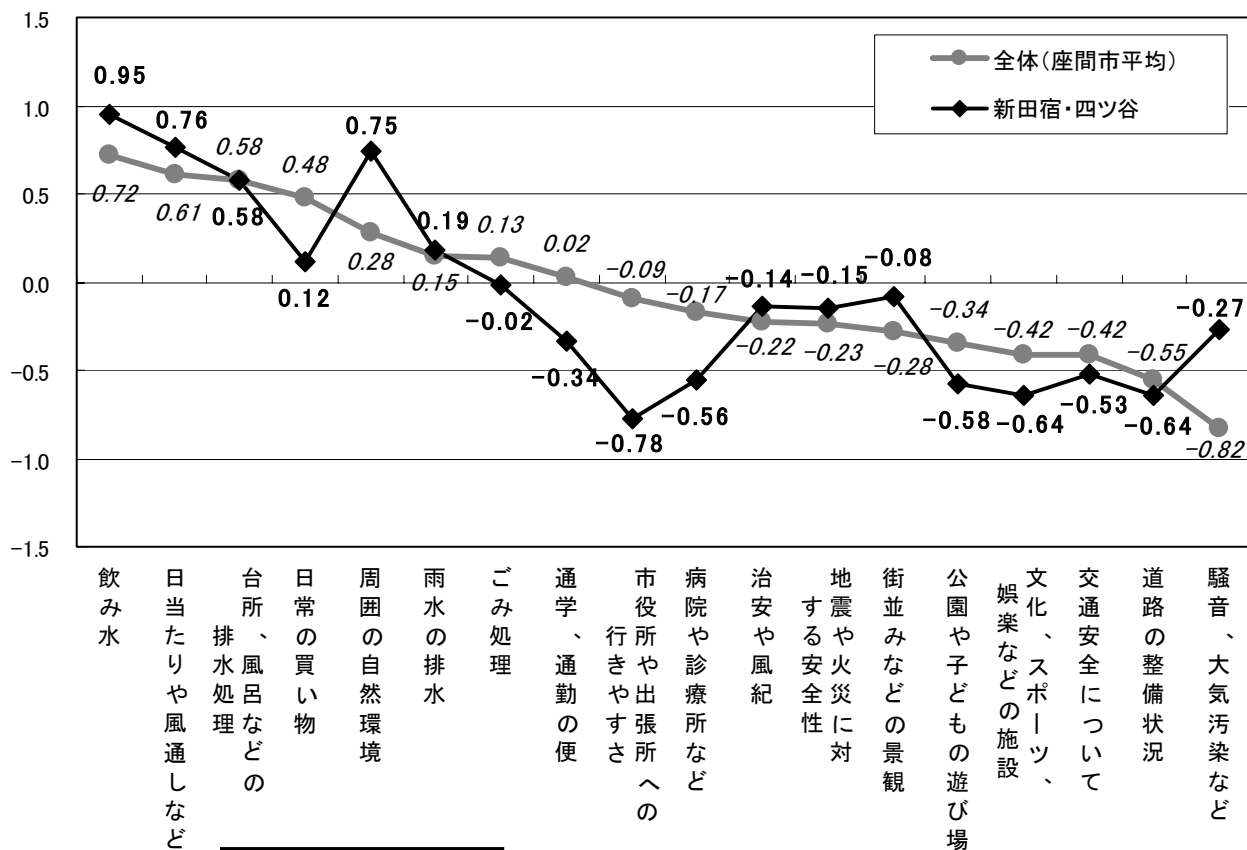
| 平均点   | 飲み水  | 日当たりや風通しなど | 台所・風呂などの排水処理 | 日常の買い物 | 周囲の自然環境 | 雨水の排水 | ごみ処理 | 通学、通勤の便 | 市役所や出張所への行きやすさ | 病院や診療所など | 治安や風紀 | 地震や火災に対する安全性 | 街並みなどの景観 | 公園や子どもの遊び場 | 文化・スポーツ・娯楽などの施設 | 交通安全について | 道路の整備状況 | 騒音、大気汚染など |
|-------|------|------------|--------------|--------|---------|-------|------|---------|----------------|----------|-------|--------------|----------|------------|-----------------|----------|---------|-----------|
| 昭和63年 | 1.18 | 0.71       | 0.43         | 0.50   | 0.30    | 0.14  | 0.55 | 0.19    | -0.19          | 0.02     | 0.06  | -0.02        | -0.21    | -0.02      | -0.67           | -0.33    | -0.43   | -0.70     |
| 平成10年 | 0.48 | 0.48       | 0.27         | 0.28   | 0.08    | 0.02  | 0.12 | -0.02   | -0.08          | -0.13    | -0.10 | -0.18        | -0.35    | -0.24      | -0.39           | -0.41    | -0.57   | -0.70     |
| 平成16年 | 0.72 | 0.61       | 0.58         | 0.48   | 0.28    | 0.15  | 0.13 | 0.02    | -0.09          | -0.17    | -0.22 | -0.23        | -0.28    | -0.34      | -0.42           | -0.42    | -0.55   | -0.82     |

今回(平成16年)の調査の平均点を各住まいの地域(11地域)別にみると、以下のようになる。

## 1 新田宿・四ツ谷地区

(回答者数=59)

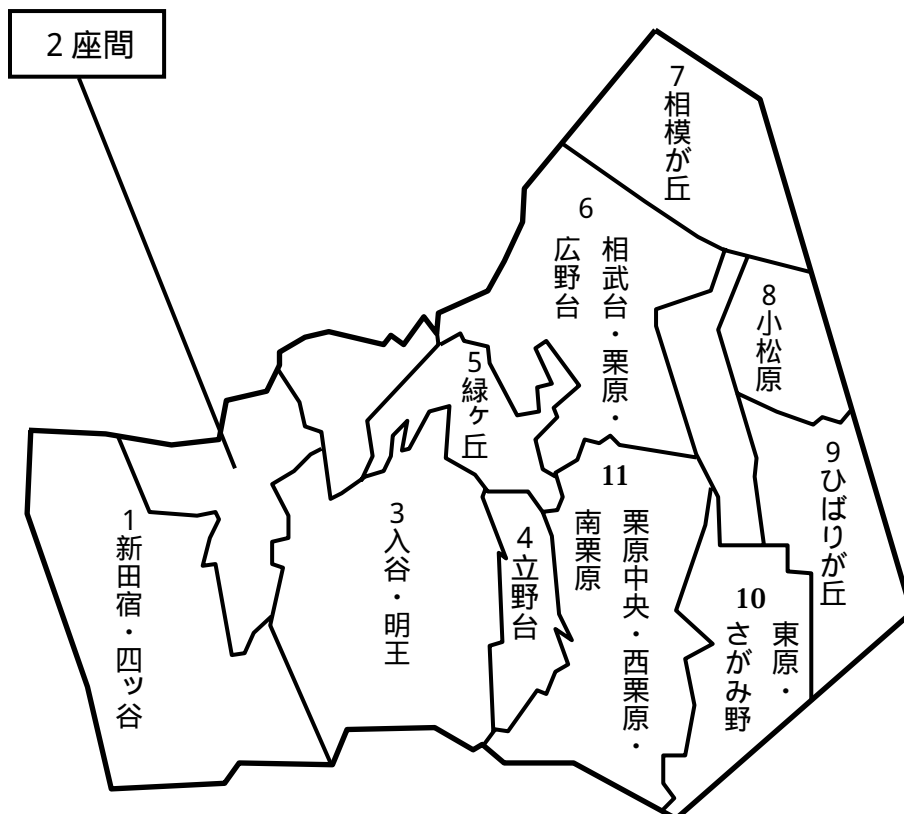
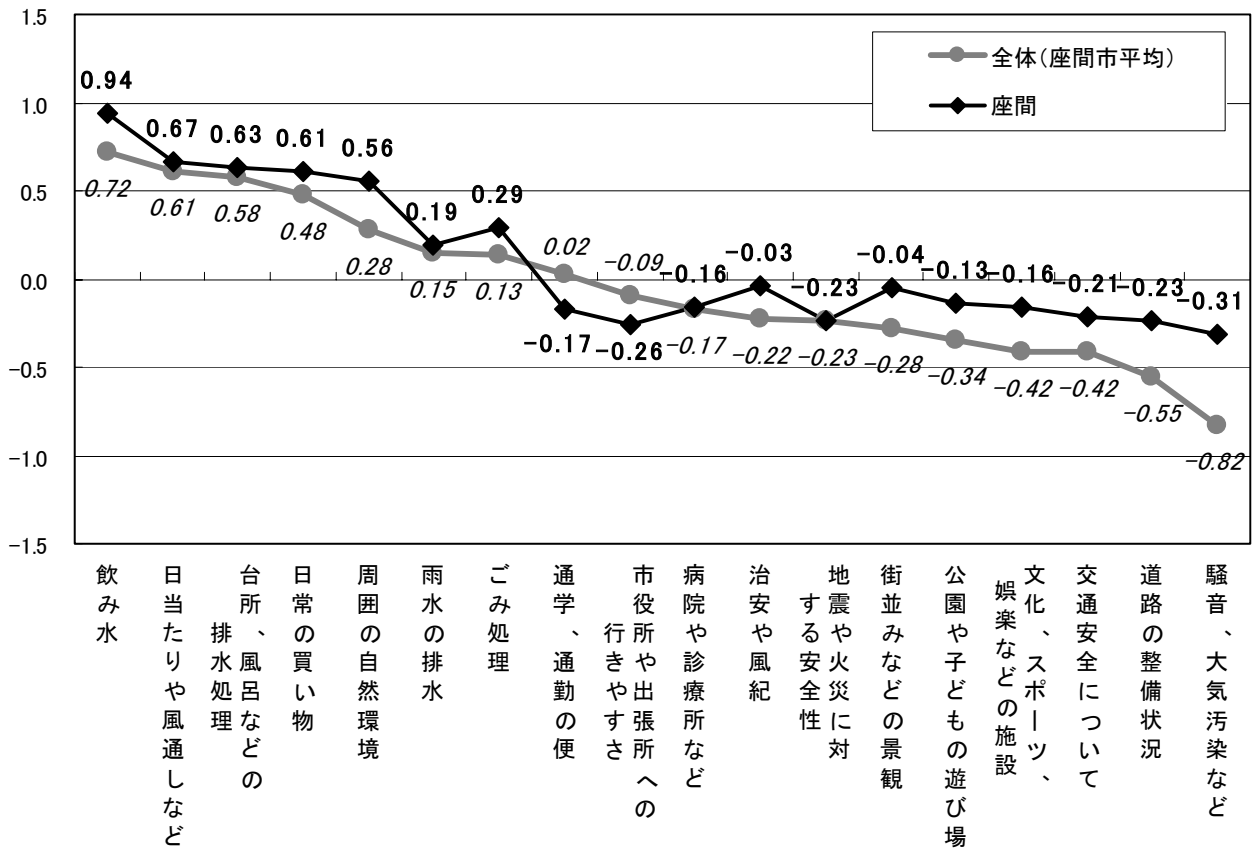
新田宿・四ツ谷地域で全体より比較的评价が高かった項目は、「飲み水」、「周囲の自然環境」、「騒音・大気汚染など」などで、評価が低かったのは「市役所や出張所への行きやすさ」、「病院や診療所など」、「日常の買い物」、「通学・通勤の便」などであった。



## 2 座間地区

(回答者数=90)

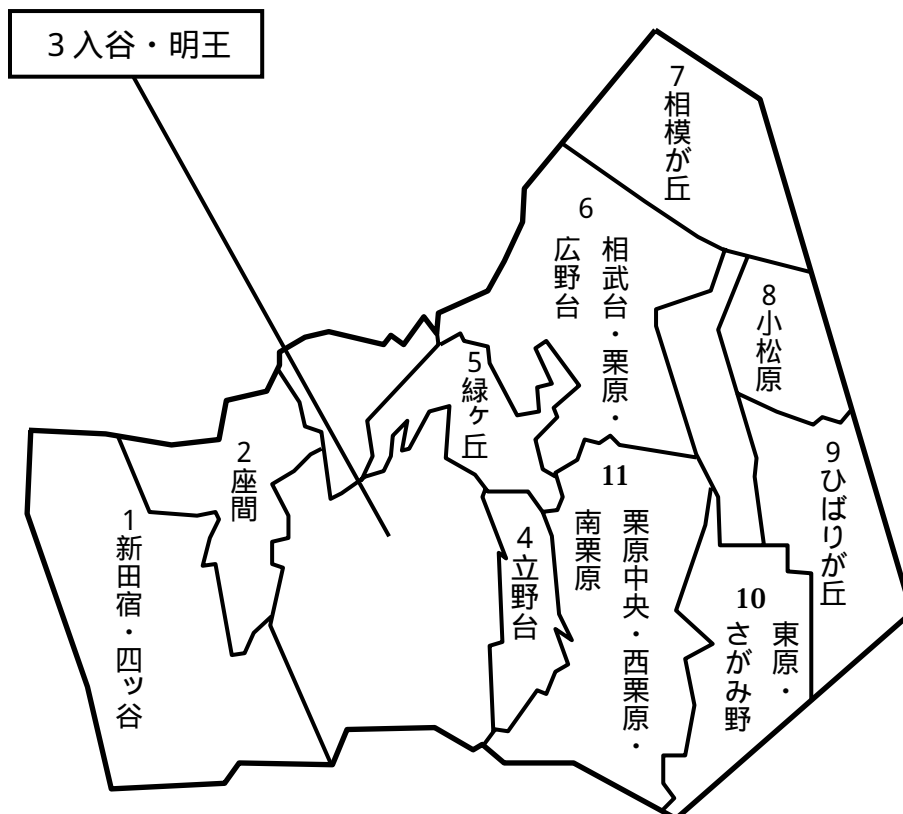
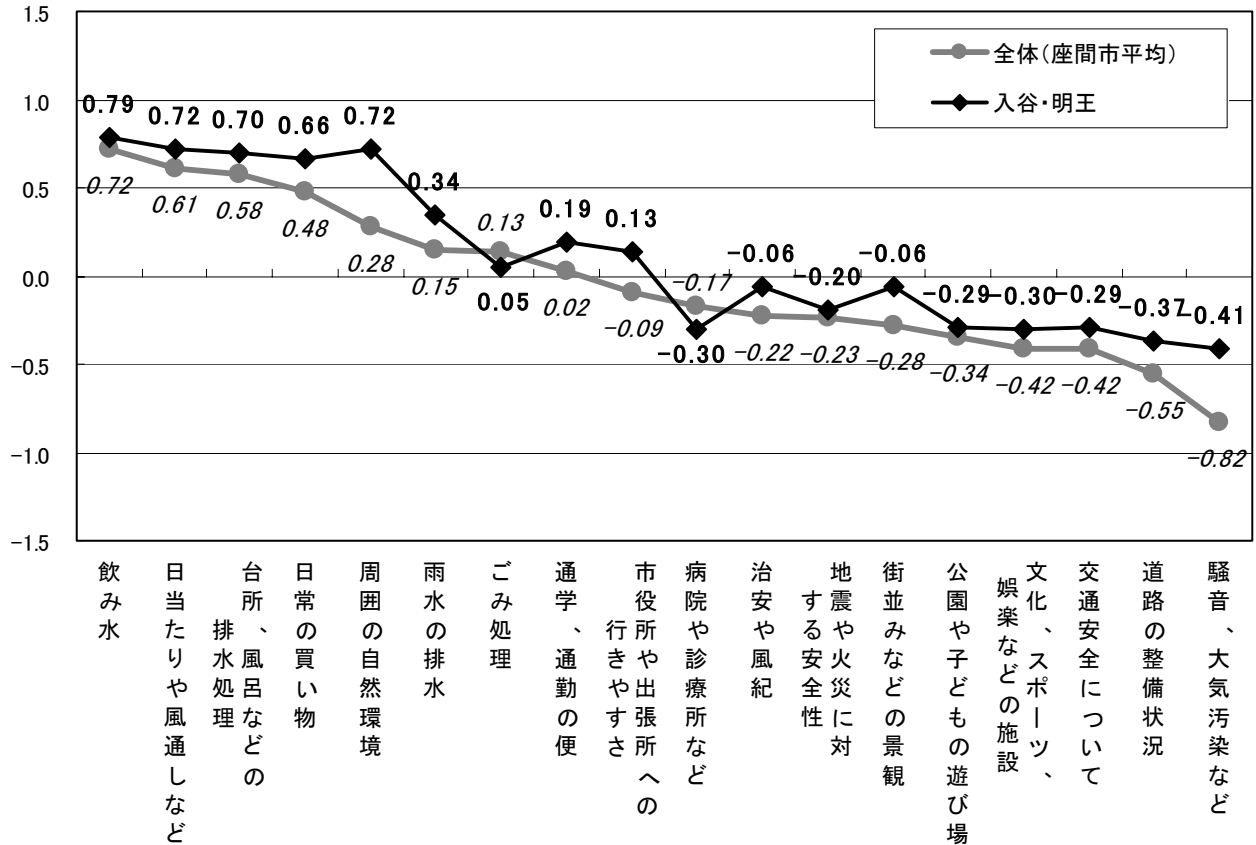
座間地域で全体より比較的評価が高かった項目は、「騒音・大気汚染など」、「道路の整備状況」、「周囲の自然環境」、「文化・スポーツ・娯楽などの施設」などで、評価が低かったのは「通学・通勤の便」、「市役所や出張所への行きやすさ」であった。



### 3 入谷・明王地区

(回答者数=234)

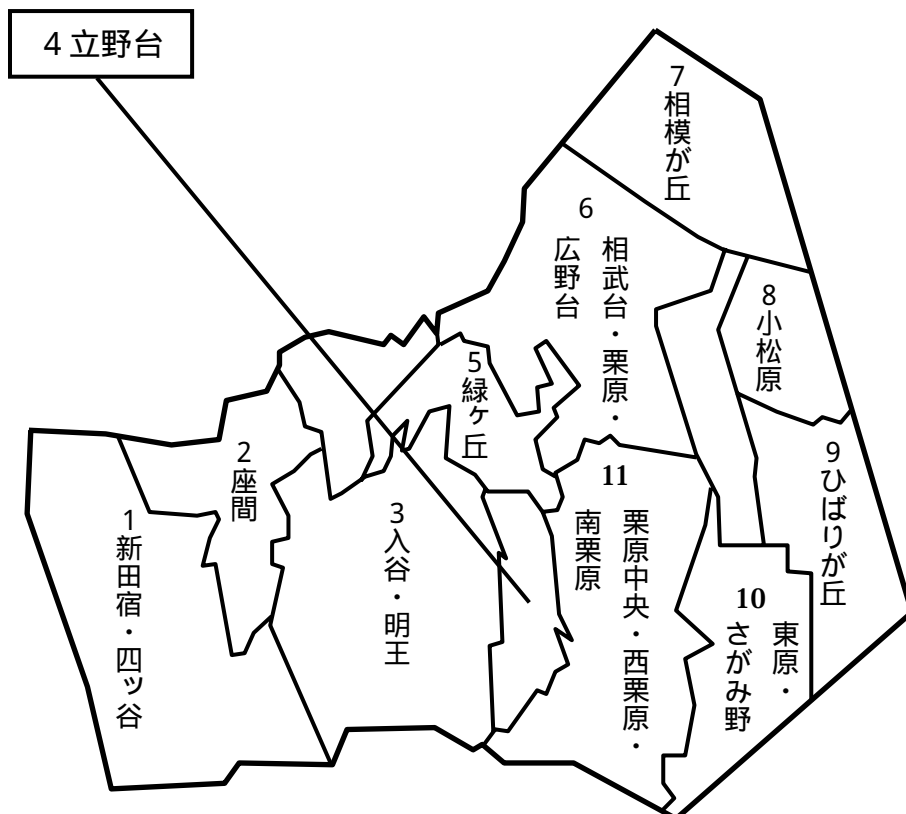
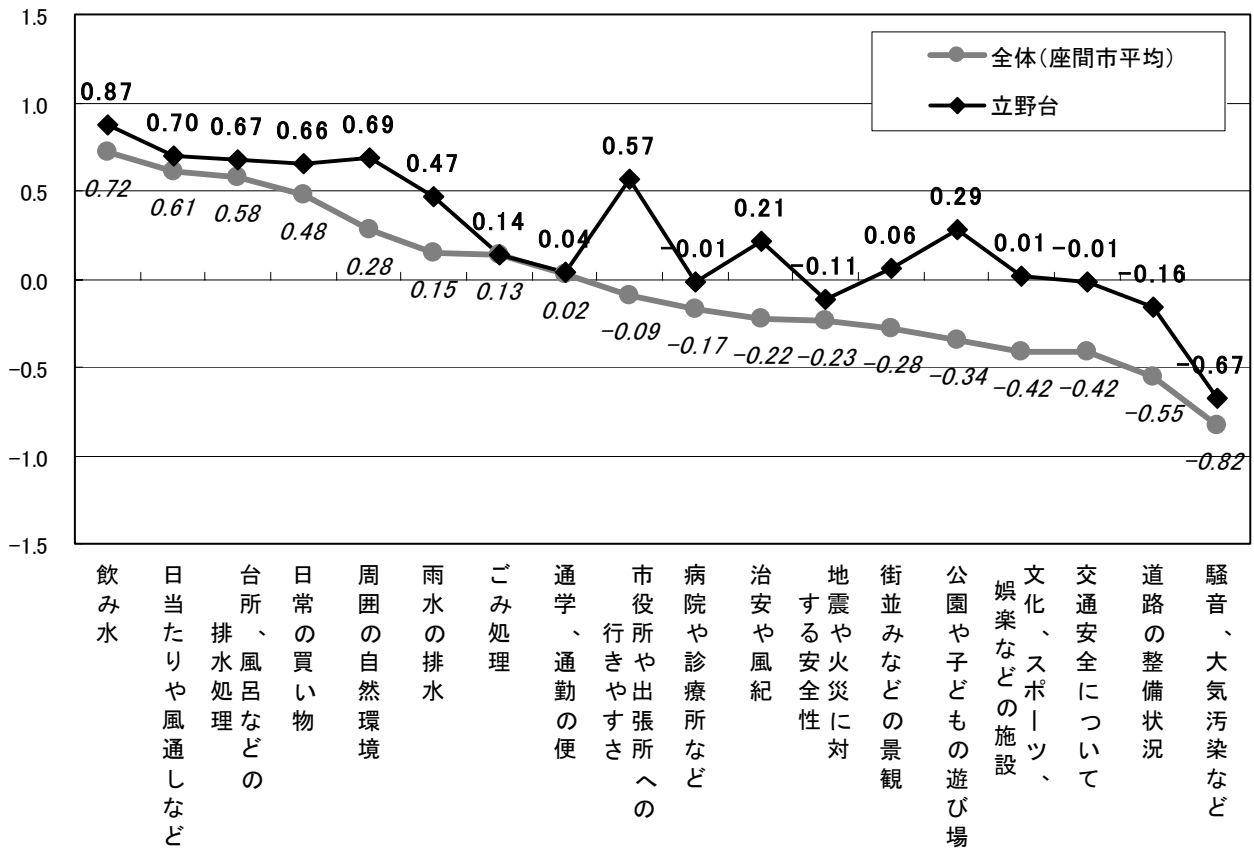
入谷・明王地域で全体より比較的評価が高かった項目は、「周囲の自然環境」、「騒音・大気汚染など」などで、評価が低かったのは「病院や診療所など」、「ごみ処理」であった。



#### 4 立野台地区

(回答者数=70)

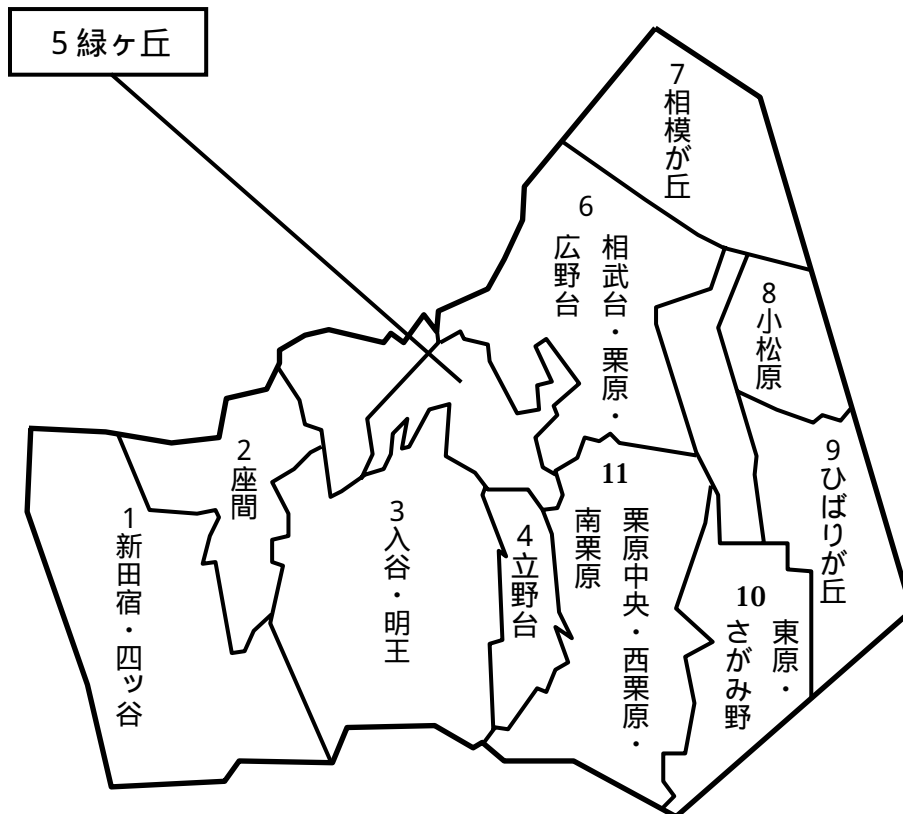
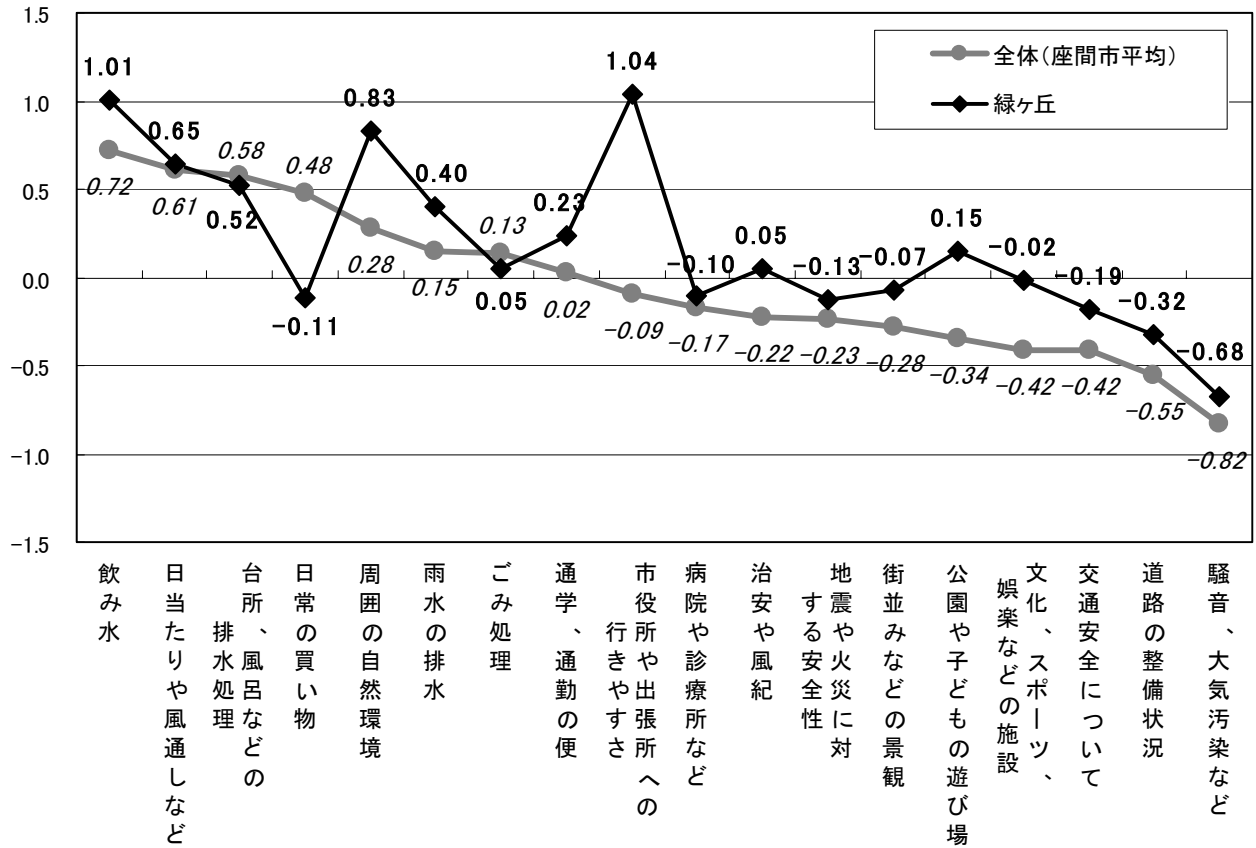
立野台地域ではすべての項目で全体より評価が高かった。特に、「市役所や出張所への行きやすさ」、「公園や子どもの遊び場」、「治安や風紀」、「文化・スポーツ・娯楽などの施設」、「周囲の自然環境」、「交通安全について」などの評価が高い。



## 5 緑ヶ丘地区

(回答者数=108)

緑ヶ丘地域で全体より評価が高かった項目は、「市役所や出張所への行きやすさ」、「周囲の自然環境」、「公園や子どもの遊び場」、「文化・スポーツ・娯楽などの施設」などで、評価が低かったのは「日常の買い物」などであった。

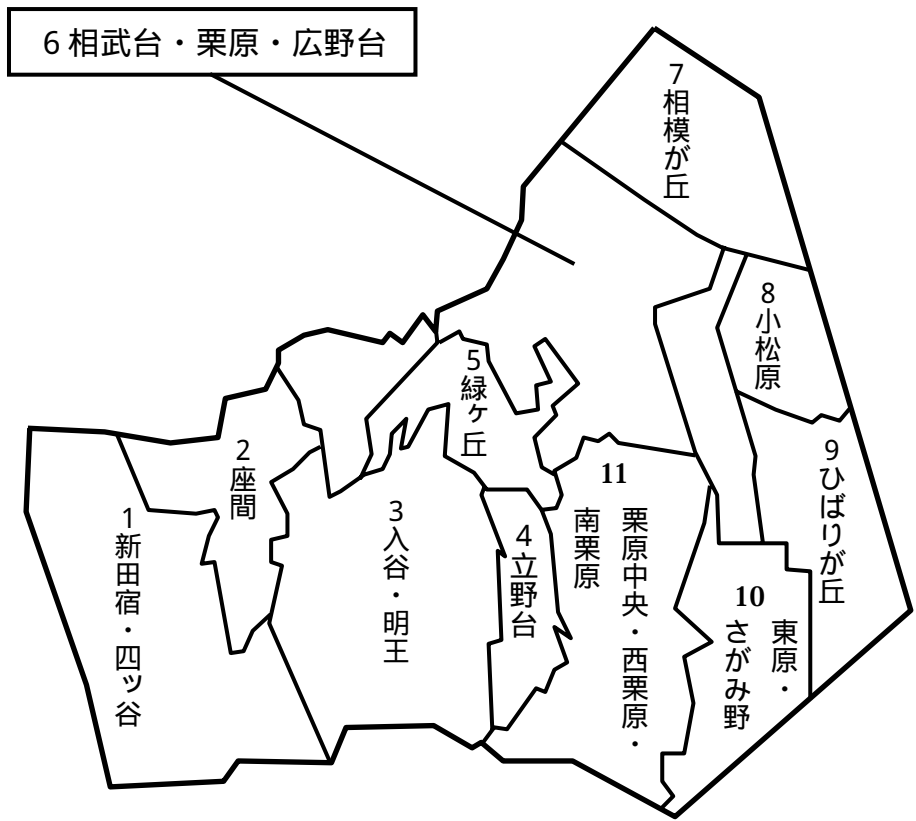
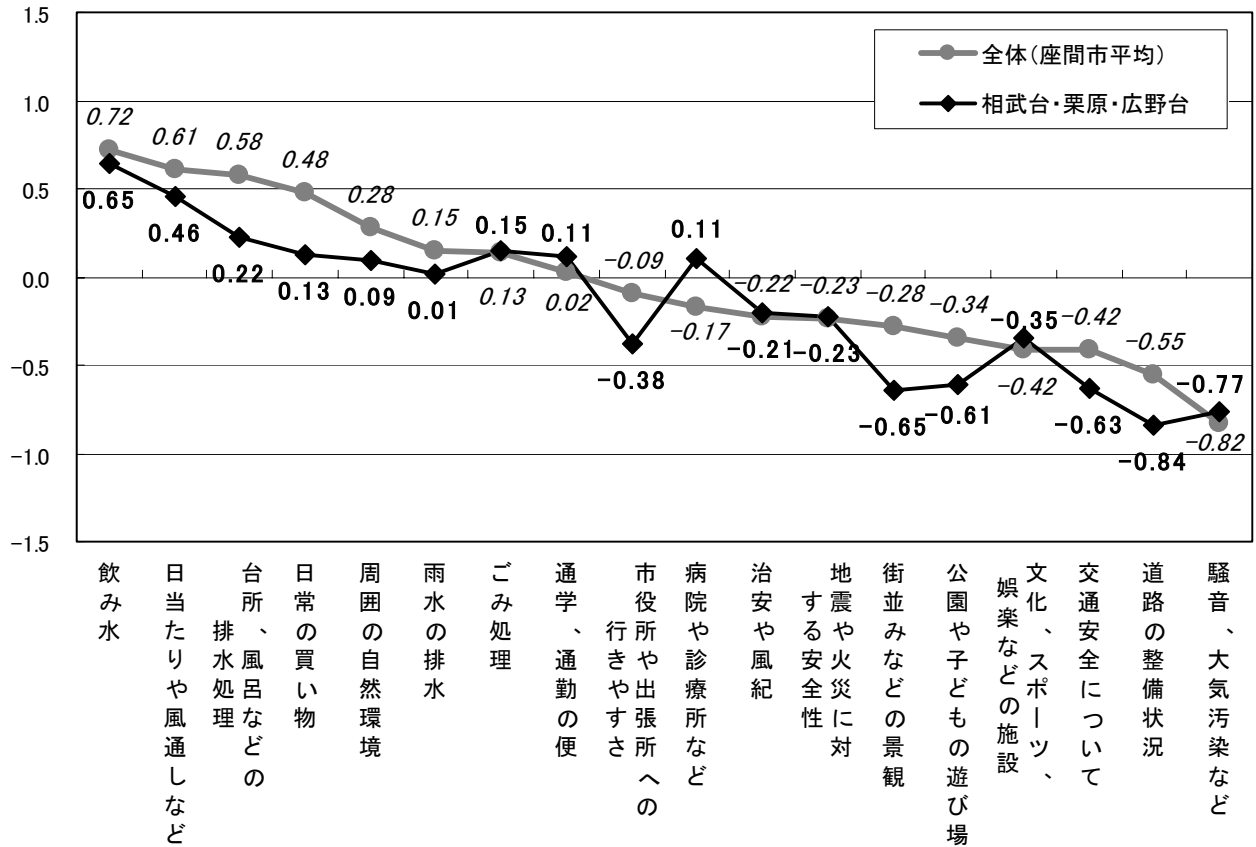




6 相武台・栗原・広野台地区

(回答者数=141)

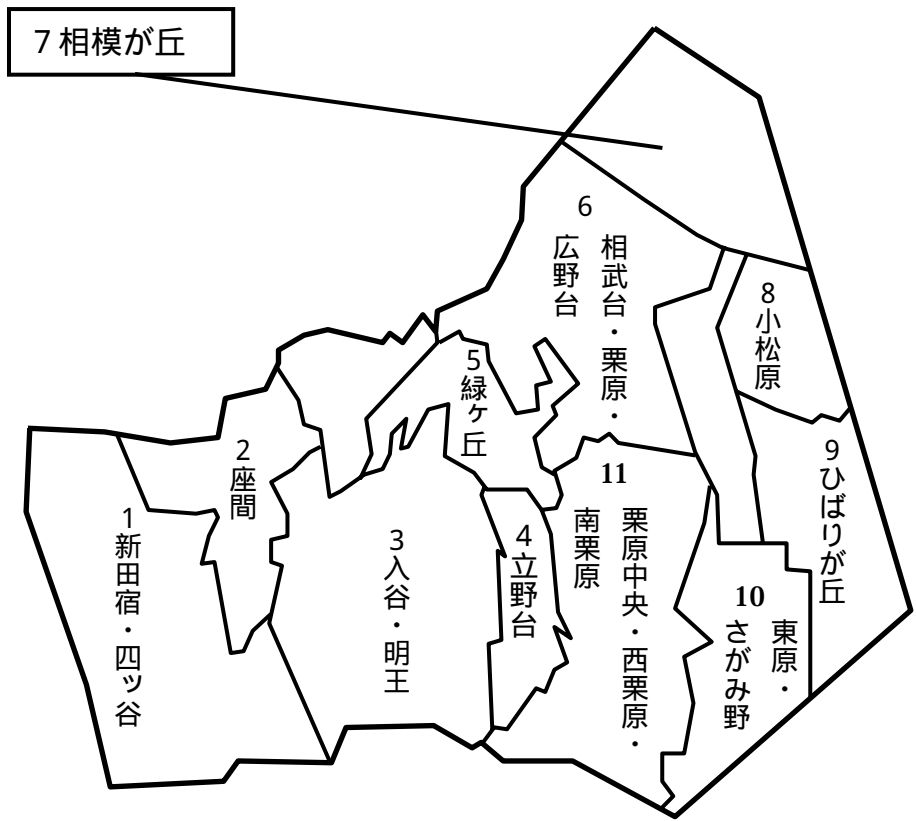
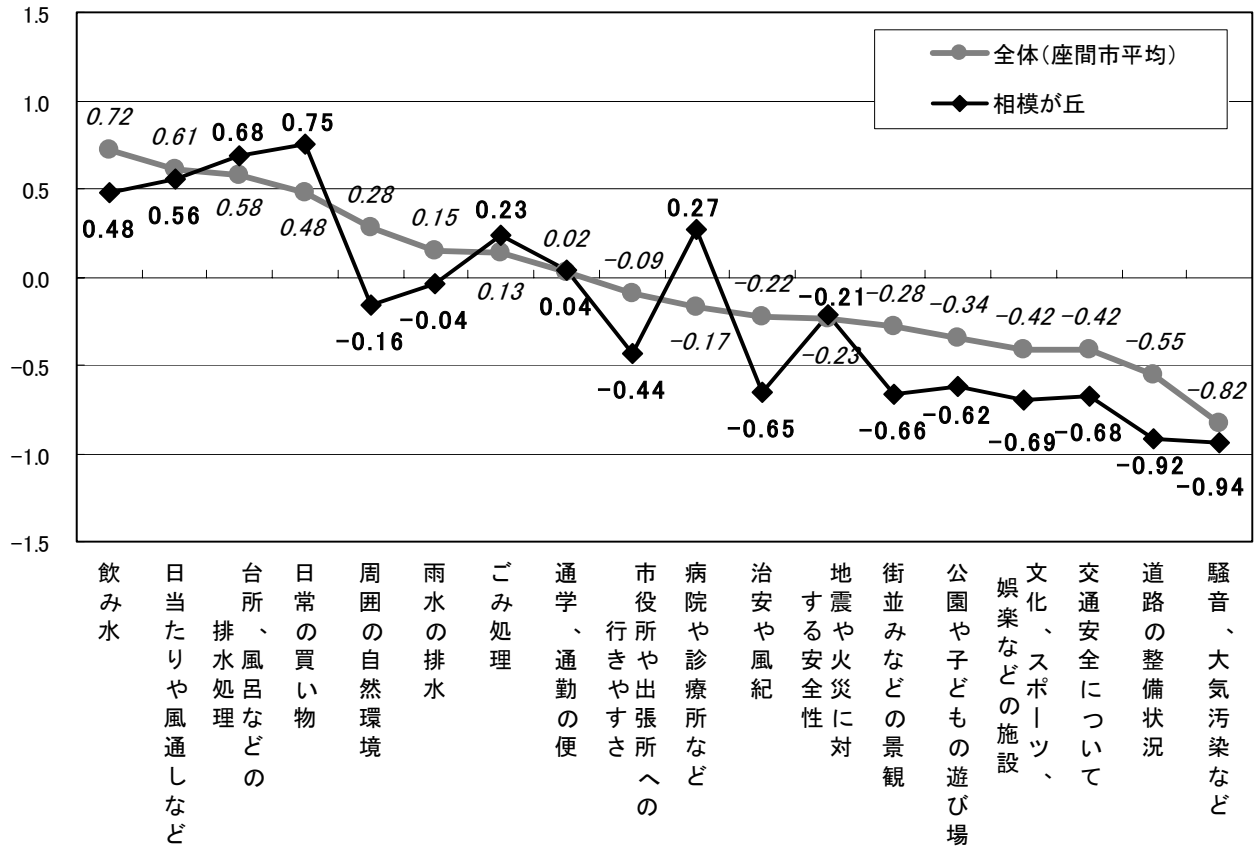
相武台・栗原・広野台地域で全体より比較的評価が高かった項目は、「病院や診療所など」、「通学・通勤の便」などで、評価が低かったのは「街並みなどの景観」、「台所・風呂などの排水処理」、「日常の買い物」などであった。



## 7 相模が丘地区

(回答者数=225)

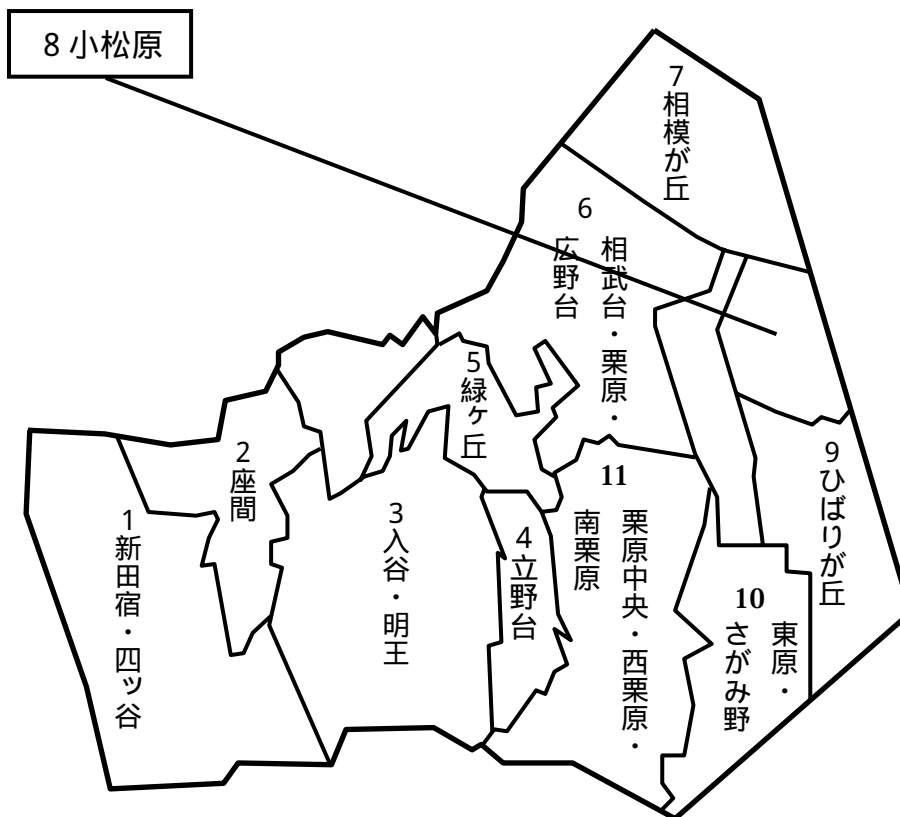
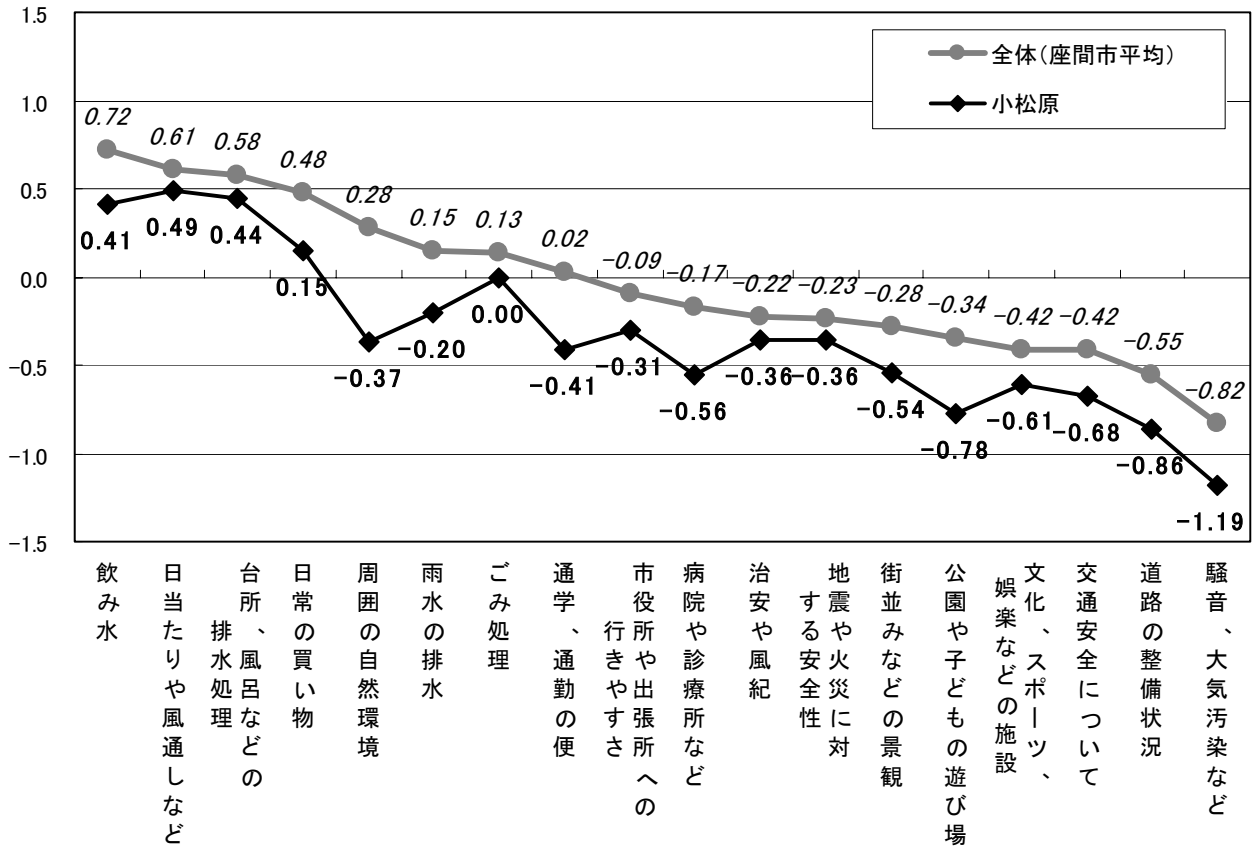
相模が丘地域で全体より比較的评价が高かった項目は、「病院や診療所など」、「日常の買い物」などで、評価が低かったのは「周囲の自然環境」、「治安や風紀」、「街並みなどの景観」、「道路の整備状況」、「市役所や出張所への行きやすさ」などであった。



## 8 小松原地区

(回答者数=59)

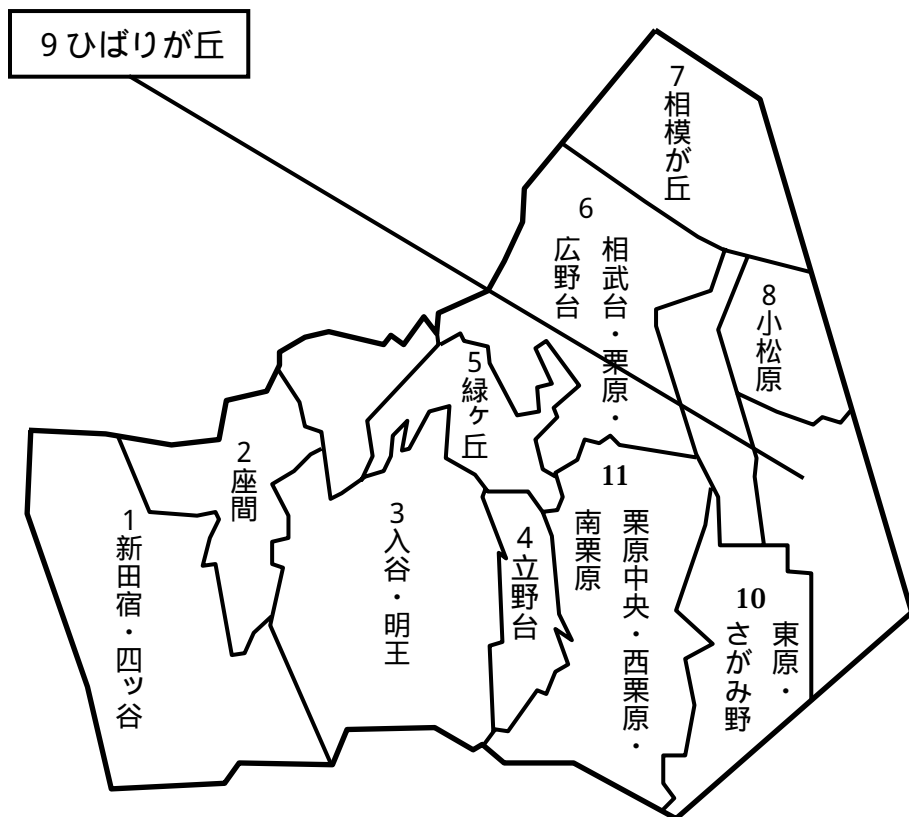
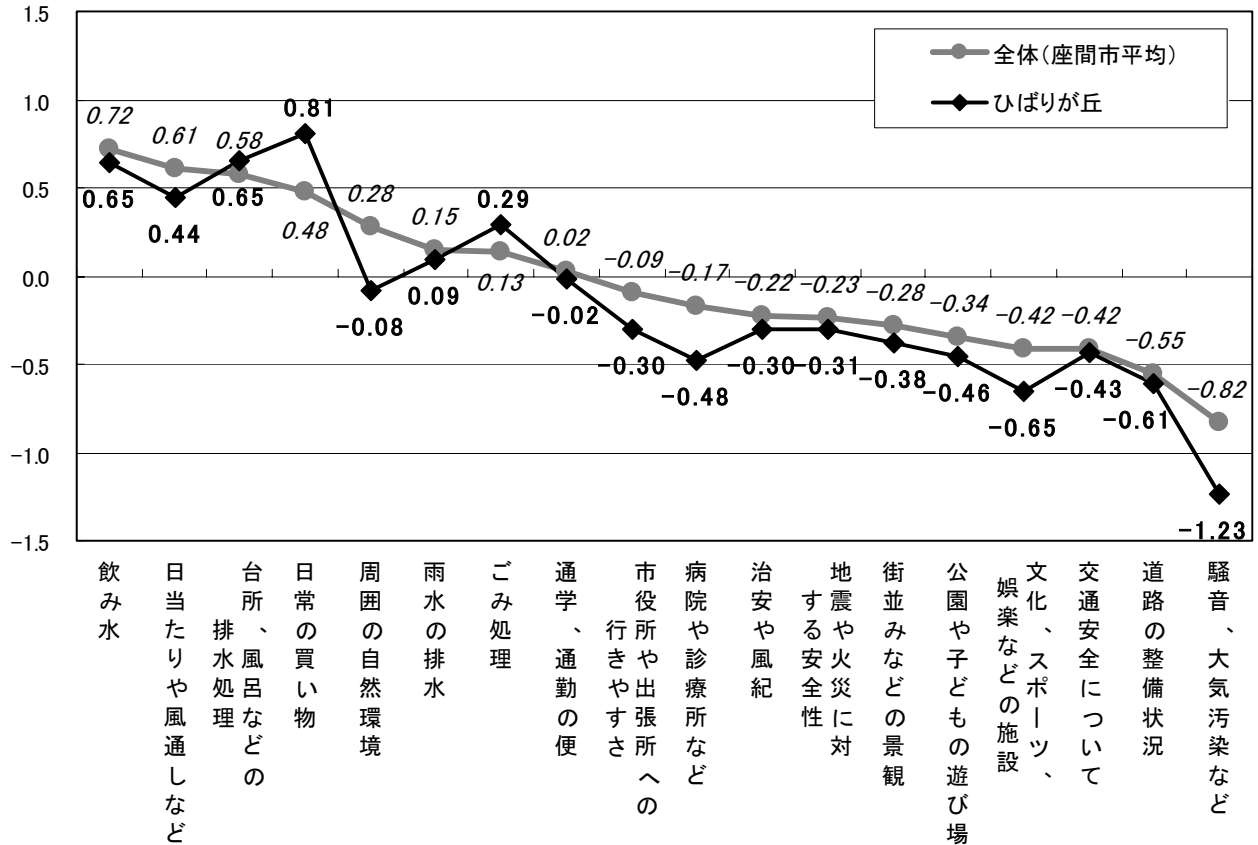
小松原地域ではすべての項目で全体より評価が低かったが、比較的高い評価であったのは「日当たりや風通しなど」、「地震や火災に対する安全性」、「治安や風紀」、「ごみ処理」などで、評価が低かったのは「周囲の自然環境」、「公園や子どもの遊び場」、「通学・通勤の便」などであった。



9 ひばりが丘地区

(回答者数=192)

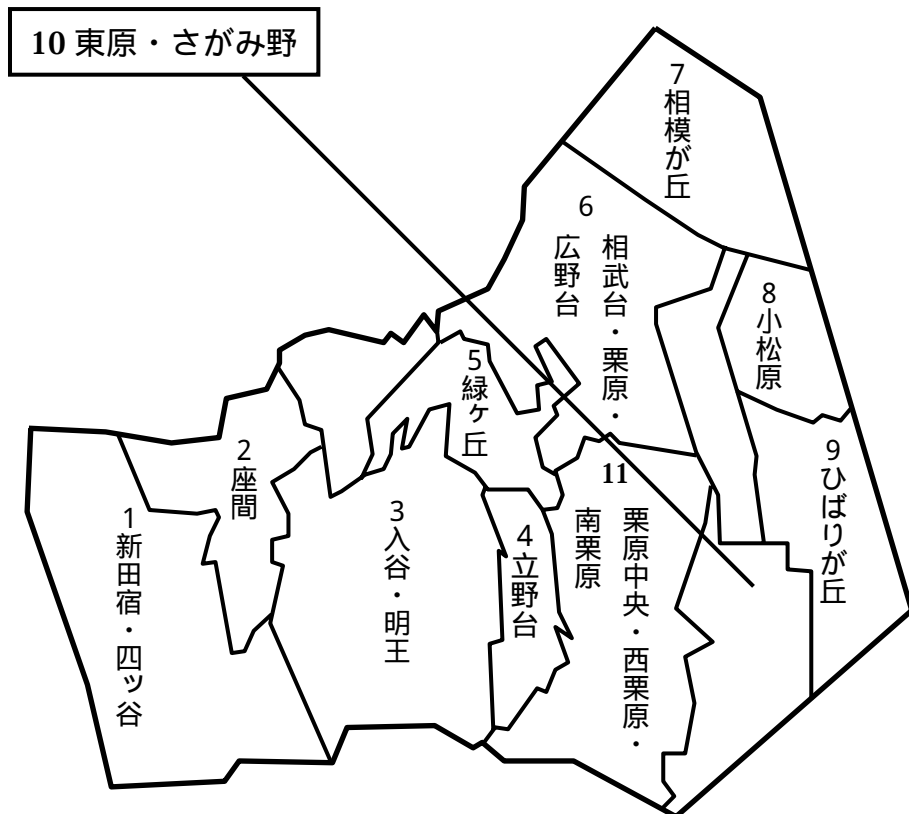
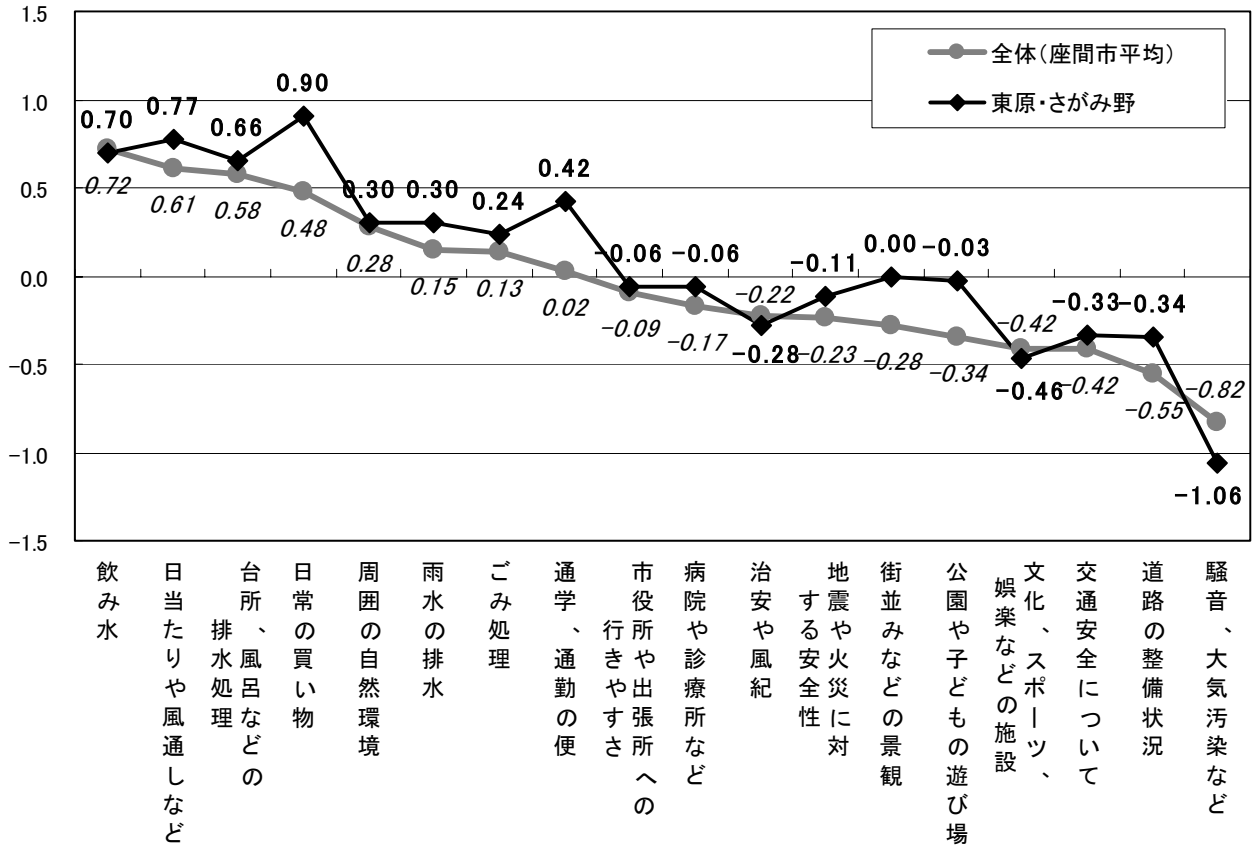
ひばりが丘地域で全体より比較的評価が高かった項目は、「日常の買い物」、「ごみ処理」、「台所・風呂などの排水処理」で、評価が低かったのは「騒音・大気汚染など」、「周囲の自然環境」、「病院や診療所など」などであった。



10 東原・さがみ野地区

(回答者数=114)

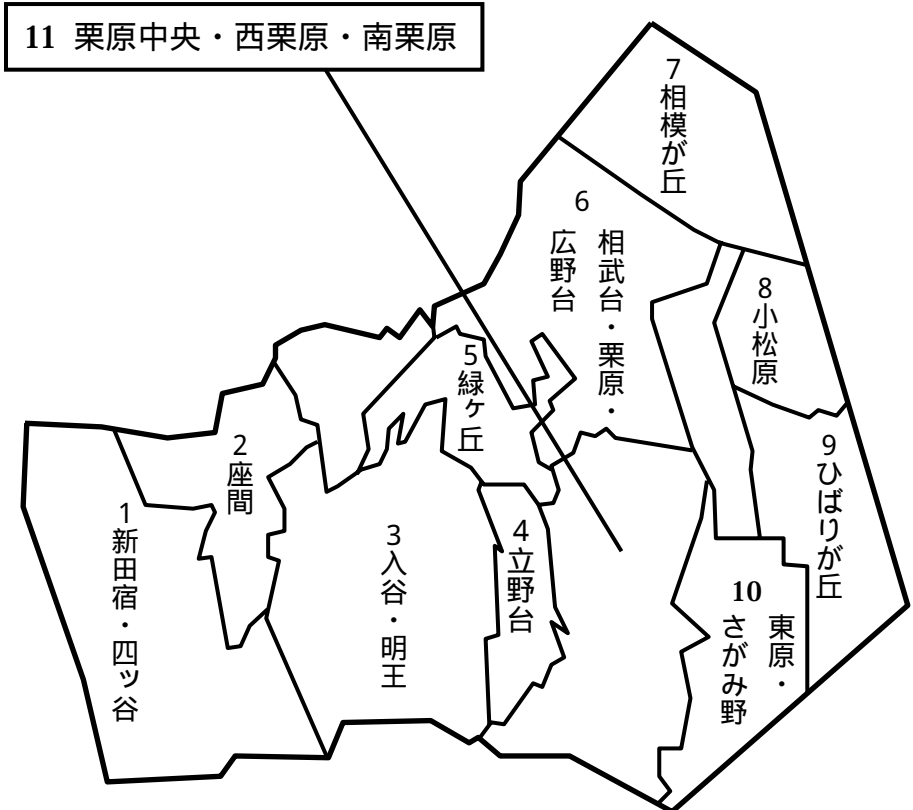
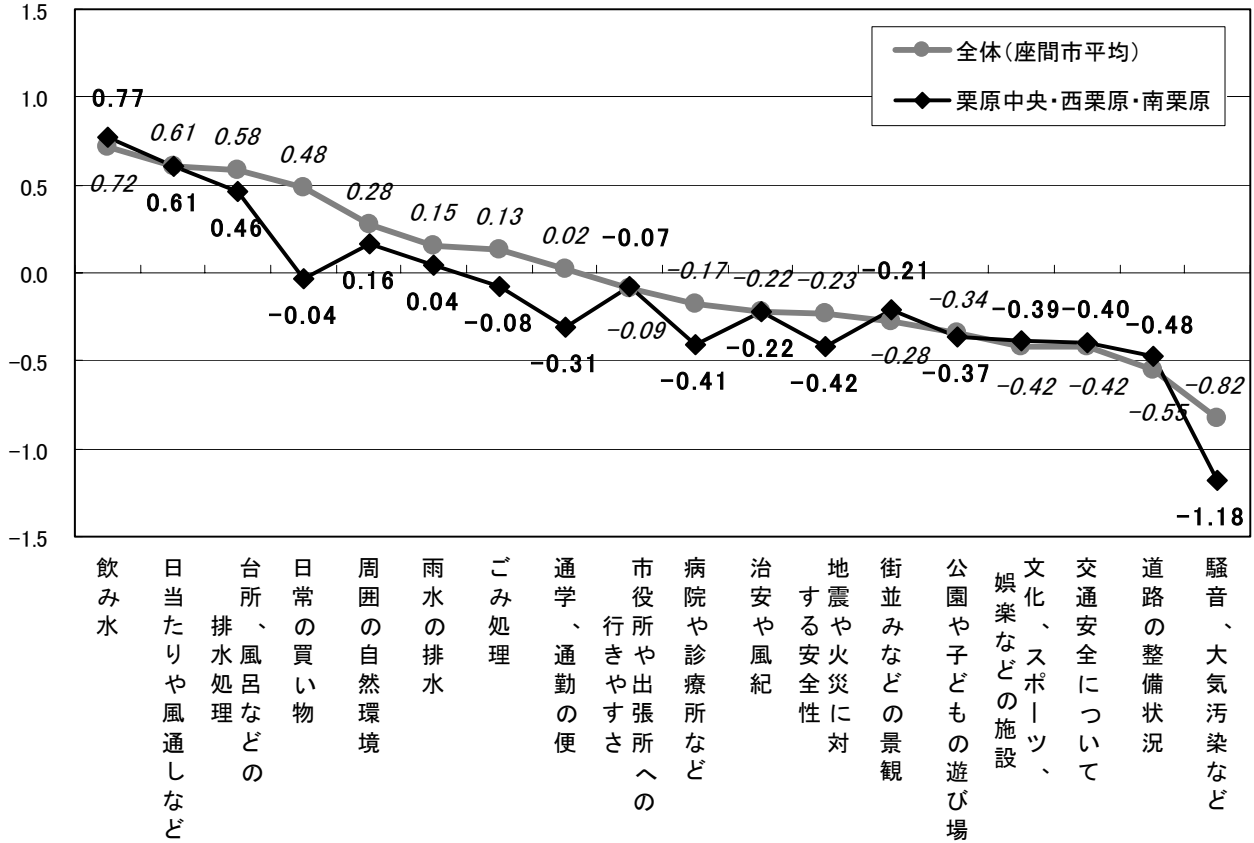
東原・さがみ野地域で全体より比較的评价が高かった項目は、「日常の買い物」、「通学・通勤の便」、「公園や子どもの遊び場」などで、評価が低かったのは「騒音・大気汚染など」などであった。



11 栗原中央・西栗原・南栗原地区

(回答者数=164)

栗原中央・西栗原・南栗原地域で全体より比較的評価が高かった項目は、「道路の整備状況」、「街並みなどの景観」などで、評価が低かったのは「日常の買い物」、「騒音・大気汚染など」、「通学・通勤の便」などであった。

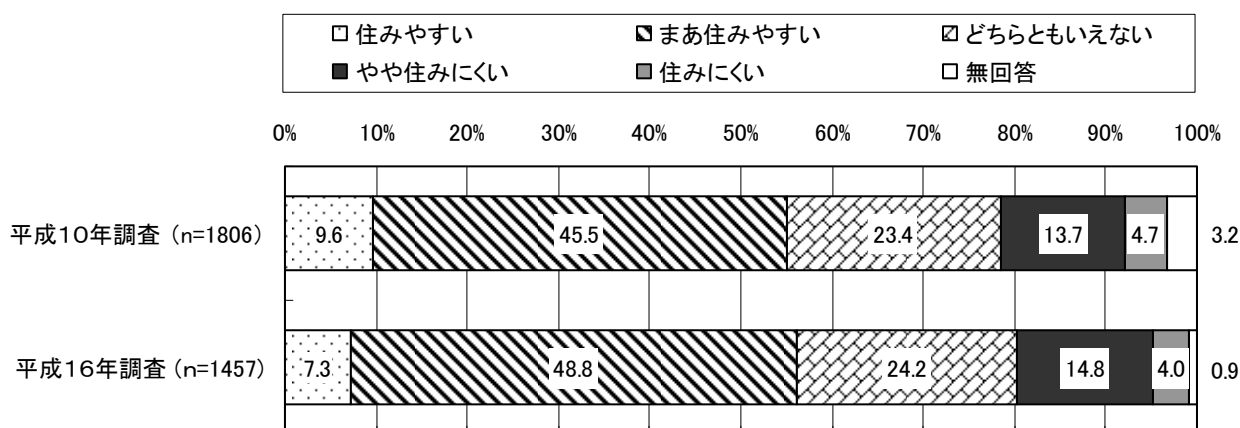


## (6) 総合的なまわりの環境

4 設問3のアからツまでの項目を総合的に考えて、あなたのまわりの環境はいかがですか。【一つだけ選んでください。】

総合的なまわりの環境を聞いた結果最も多かったのは、「まあ住みやすい」(48.8%)であった。次いで、「どちらともいえない」(24.2%)、「やや住みにくい」(14.8%)、「住みやすい」(7.3%)、「住みにくい」(4.0%)が続く。「住みやすい」+「まあ住みやすい」-「やや住みにくい」-「住みにくい」の比率を《住みやすさ》とすると、《住みやすさ》は 37.3 ポイントであった。

過去の調査(平成10年調査)と比較すると、「住みやすい」が少し減り、「まあ住みやすい」が少し増えており、《住みやすさ》は 36.7 ポイントから 37.3 ポイントへ微増している。

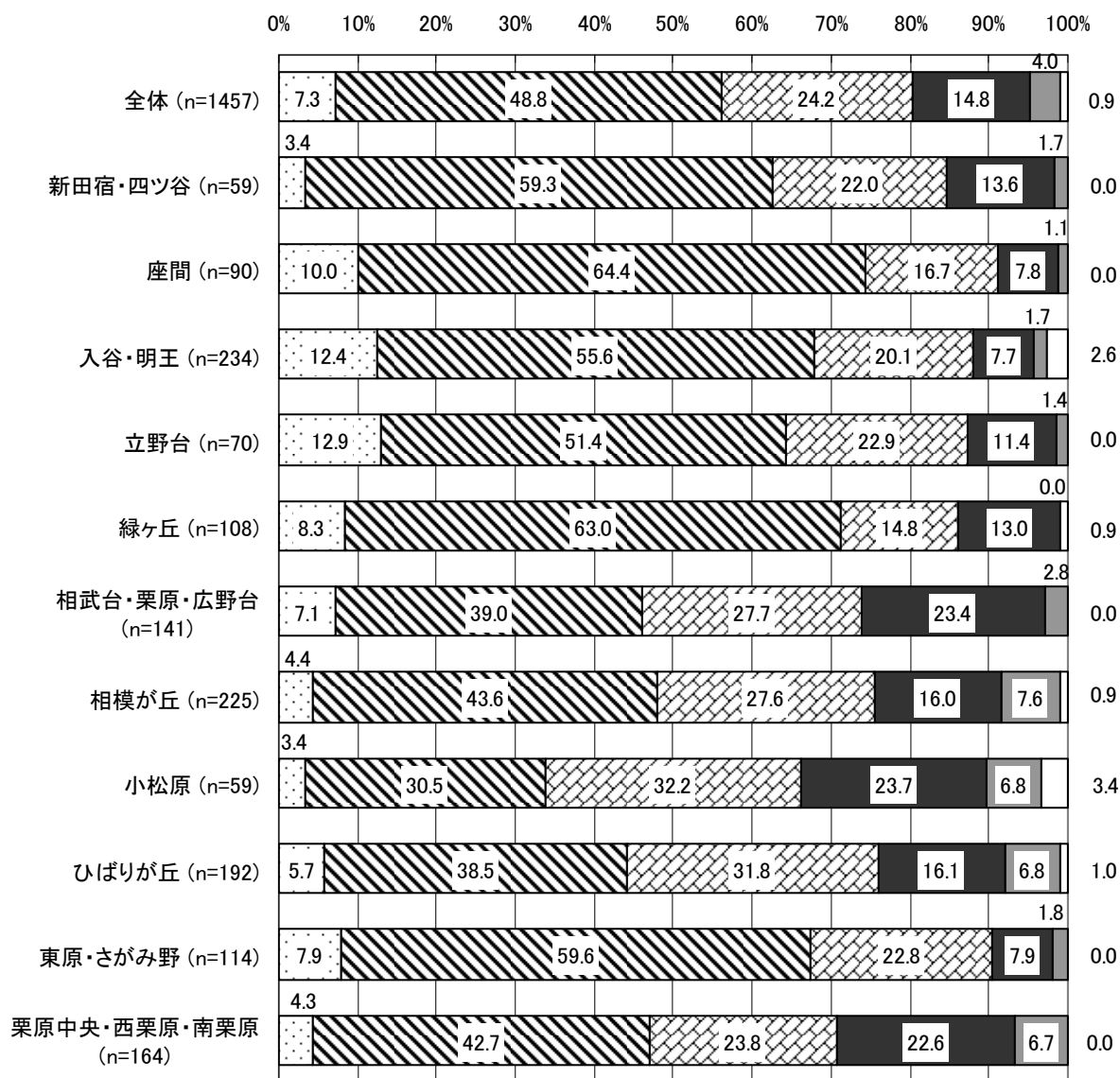


### 【住まいの地域別】総合的なまわりの環境

住まいの地域別にみると、《住みやすさ》のポイントはすべての地域でプラスとなっており、特に座間、入谷・明王、緑ヶ丘、東原・さがみ野、立野台では 50 ポイントを超えた。一方比較的低いポイントであったのは、相武台・栗原・広野台、栗原中央・西栗原・南栗原、小松原などであった。

| ポイント   |              | 住みやすさ |
|--------|--------------|-------|
| 全体     |              | 37.3  |
| 住まいの地域 | 新田宿・四ツ谷      | 47.4  |
|        | 座間           | 65.5  |
|        | 入谷・明王        | 58.6  |
|        | 立野台          | 51.5  |
|        | 緑ヶ丘          | 58.3  |
|        | 相武台・栗原・広野台   | 19.9  |
|        | 相模が丘         | 24.4  |
|        | 小松原          | 3.4   |
|        | ひばりが丘        | 21.3  |
|        | 東原・さがみ野      | 57.8  |
|        | 栗原中央・西栗原・南栗原 | 17.7  |

□ 住みやすい ■ まあ住みやすい ▨ どちらともいえない ■ やや住みにくい ■ 住みにくい □ 無回答





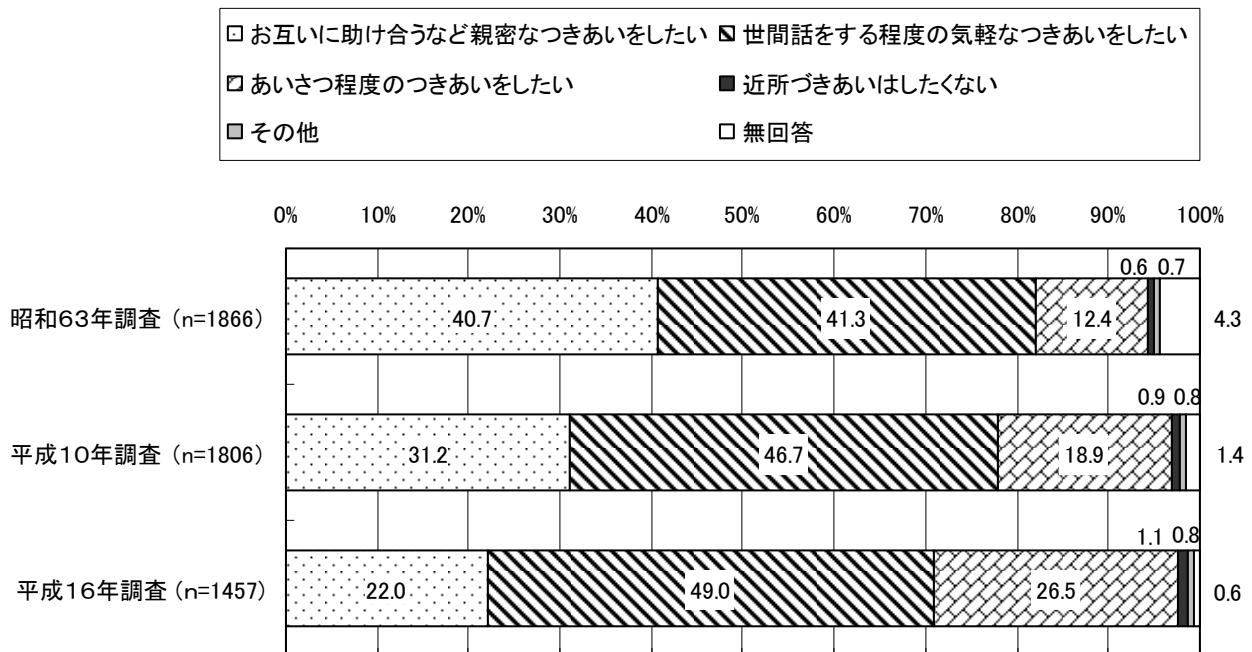
### 3 地域活動について

#### (1) 今後の近所づきあい

5 あなたは今後どのような近所づきあいをしていきたいと思えますか。  
【一つだけ選んでください。】

今後の近所づきあいを聞いた結果最も多かったのは、「世間話をする程度の気軽なつきあいをしたい」(49.0%)であった。次いで、「あいさつ程度のつきあいをしたい」(26.5%)、「お互いに助け合うなど親密なつきあいをしたい」(22.0%)、「近所づきあいはしたくない」(1.1%)、「その他」(0.8%)が続く。

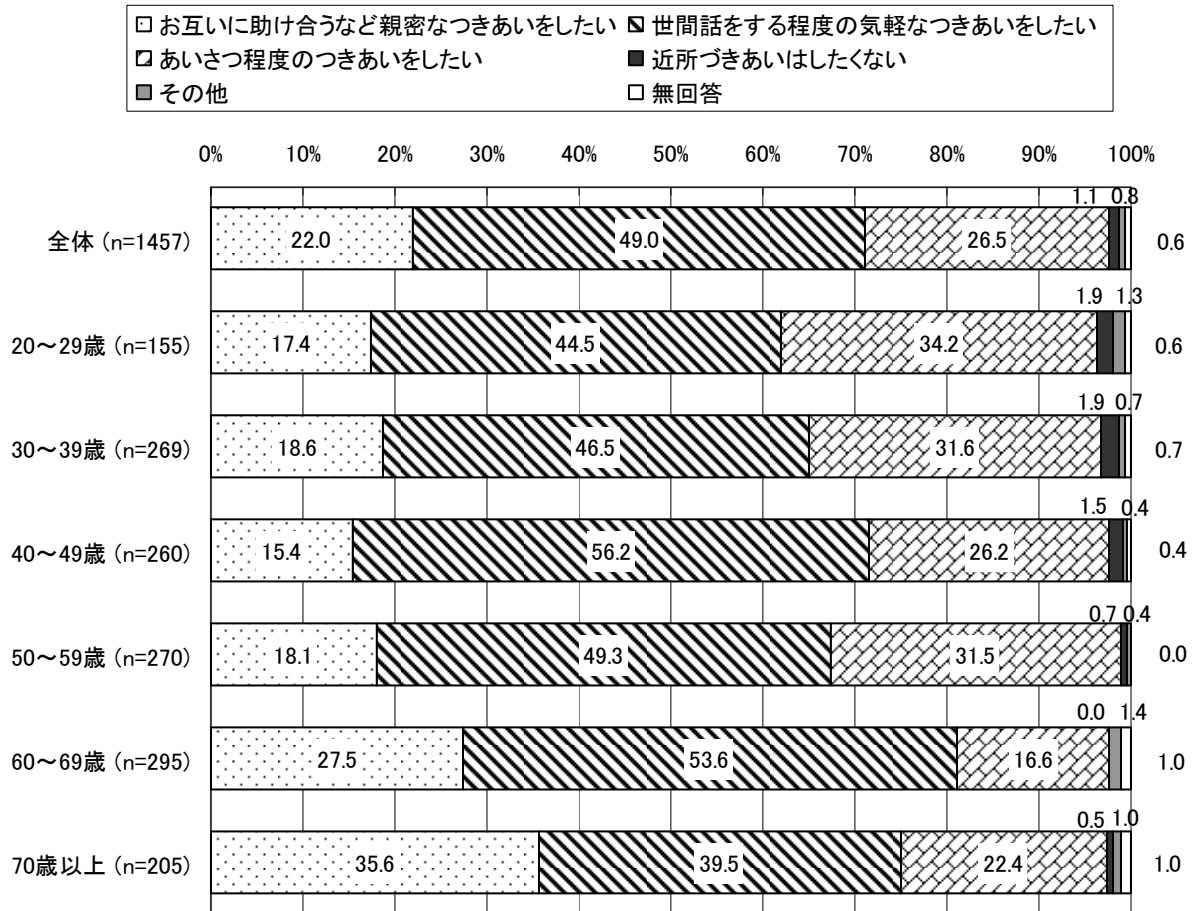
過去の調査結果と比較すると、「お互いに助け合うなど親密なつきあいをしたい」は減少し、「世間話をする程度の気軽なつきあいをしたい」、「あいさつ程度のつきあいをしたい」は増加している。また、「近所づきあいはしたくない」は 1%程度の非常に低い水準である。これらのことから、近所づきあいを否定はしないが、密なつきあいから、より希薄なつきあいへシフトしてきている様子がうかがえる。



## 【年齢別】今後の近所づきあい

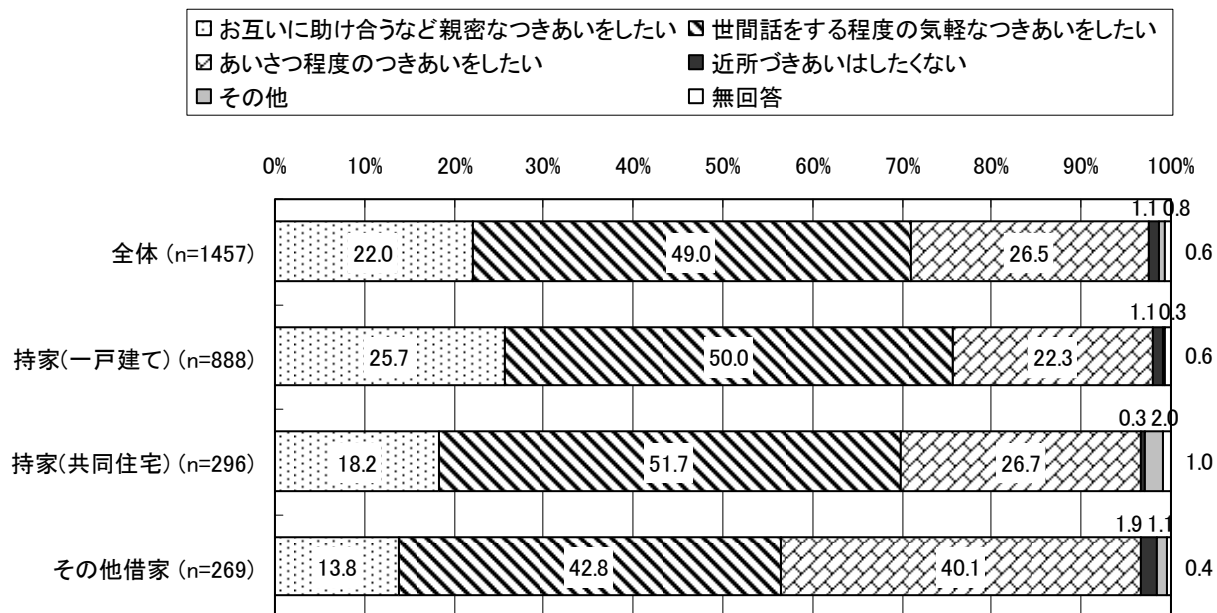
年齢別にみると、全体で1位だった「世間話をする程度の気軽なつきあいをしたい」は、すべての年齢で1位、全体で2位だった「あいさつ程度のつきあいをしたい」と3位だった「お互いに助け合うなど親密なつきあいをしたい」は、すべての年齢で2位または3位であった。

「お互いに助け合うなど親密なつきあいをしたい」という親密な近所づきあいは、50歳代以下で20%を下回り、60歳代、70歳以上と比率が増加しているなど、加齢にともなって親密な近所づきあいの割合は高くなる傾向がみられる。



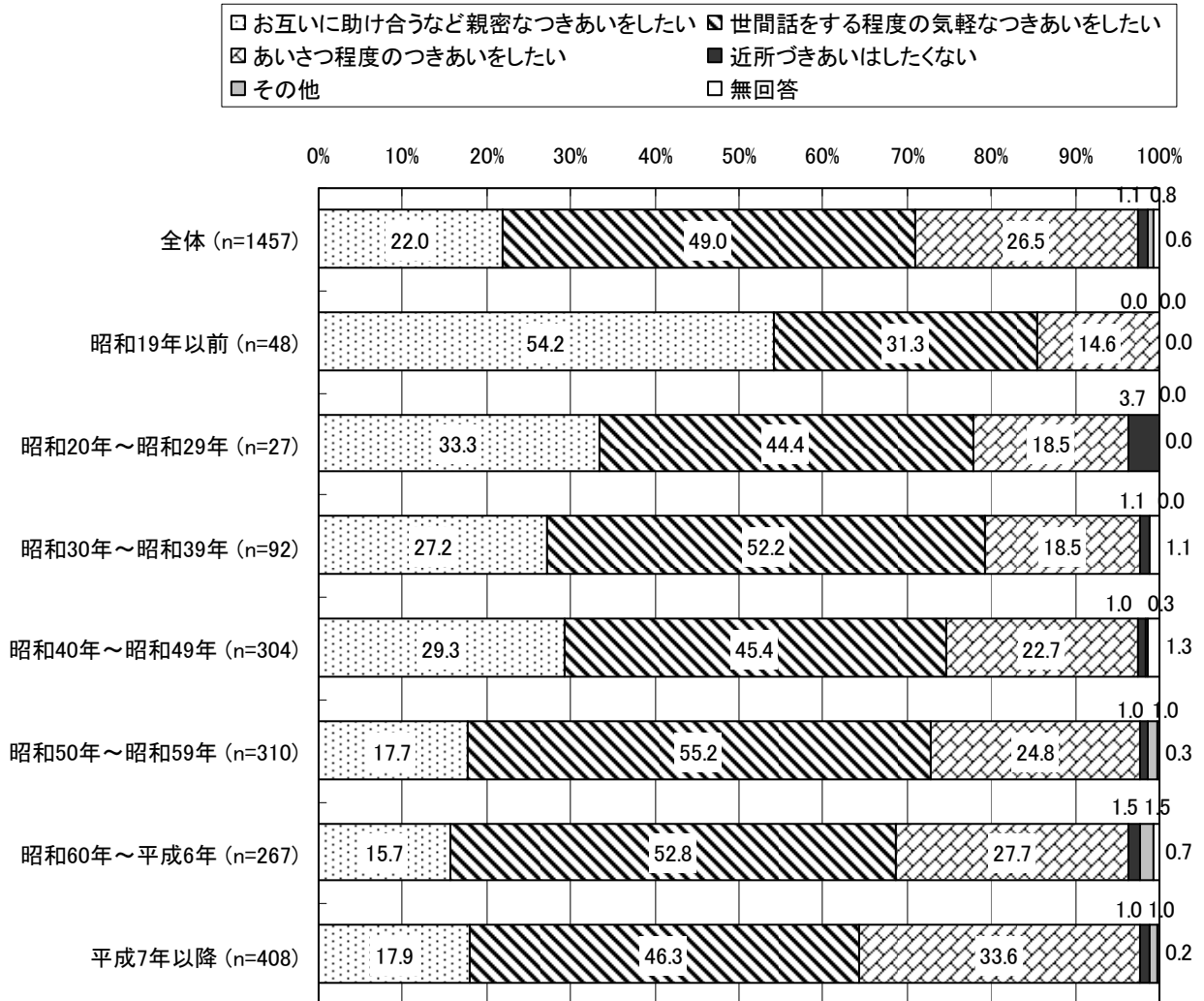
## 【住まいの形態別】今後の近所づきあい

住まいの形態別にみると、どの形態においても「世間話をする程度の気軽なつきあいをしたい」の比率が最も高かった。持家(一戸建て)、持家(共同住宅)、その他借家の順で、「お互いに助け合うなど親密なつきあいをしたい」の比率は高く、「あいさつ程度のつきあいをしたい」の比率は低いことから、近所づきあいは、持家(一戸建て)、持家(共同住宅)、その他借家の順で近所づきあいをより親密にしたいと考える傾向がみられる。



## 【在住年数別】今後の近所づきあい

在住年数別にみると、昭和 20 年以降では「世間話をする程度の気軽なつきあいをしたい」が最も高い比率であった。昭和 19 年以前では「お互いに助け合うなど親密なつきあいをしたい」が最も高い比率で、過半数を占めている。在住年数が長いほど近所づきあいをより親密にしたいと考える傾向がみられる。

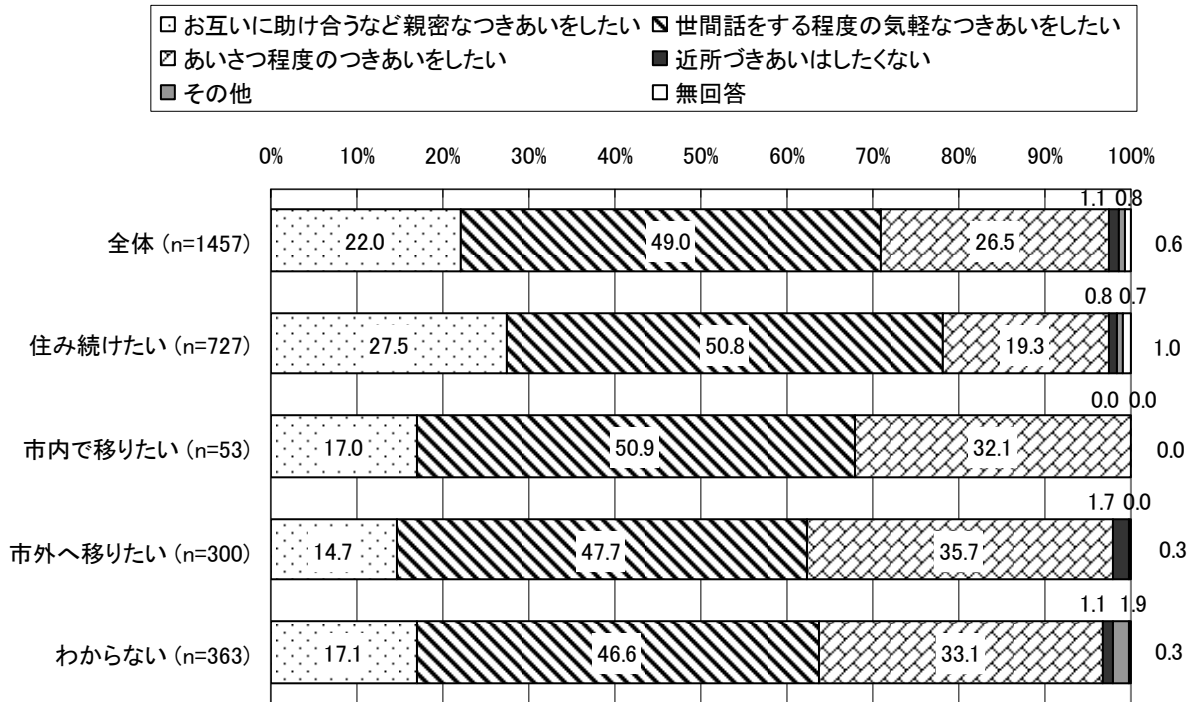


## 【定住意識別】今後の近所づきあい

定住意識別にみると、全体で1位だった「世間話をする程度の気軽なつきあいをしたい」は、すべてのこれから今の場所に住み続けたいかで1位であった。

全体で2位だった「あいさつ程度のつきあいをしたい」は、市内で移りたい、市外へ移りたい、わからないでも2位であったが、住み続けたいでは3位であった。

住み続けたいと回答したグループでは比較的親密な近所づきあいを望む比率が高かったが、それ以外ではあまり高くない。

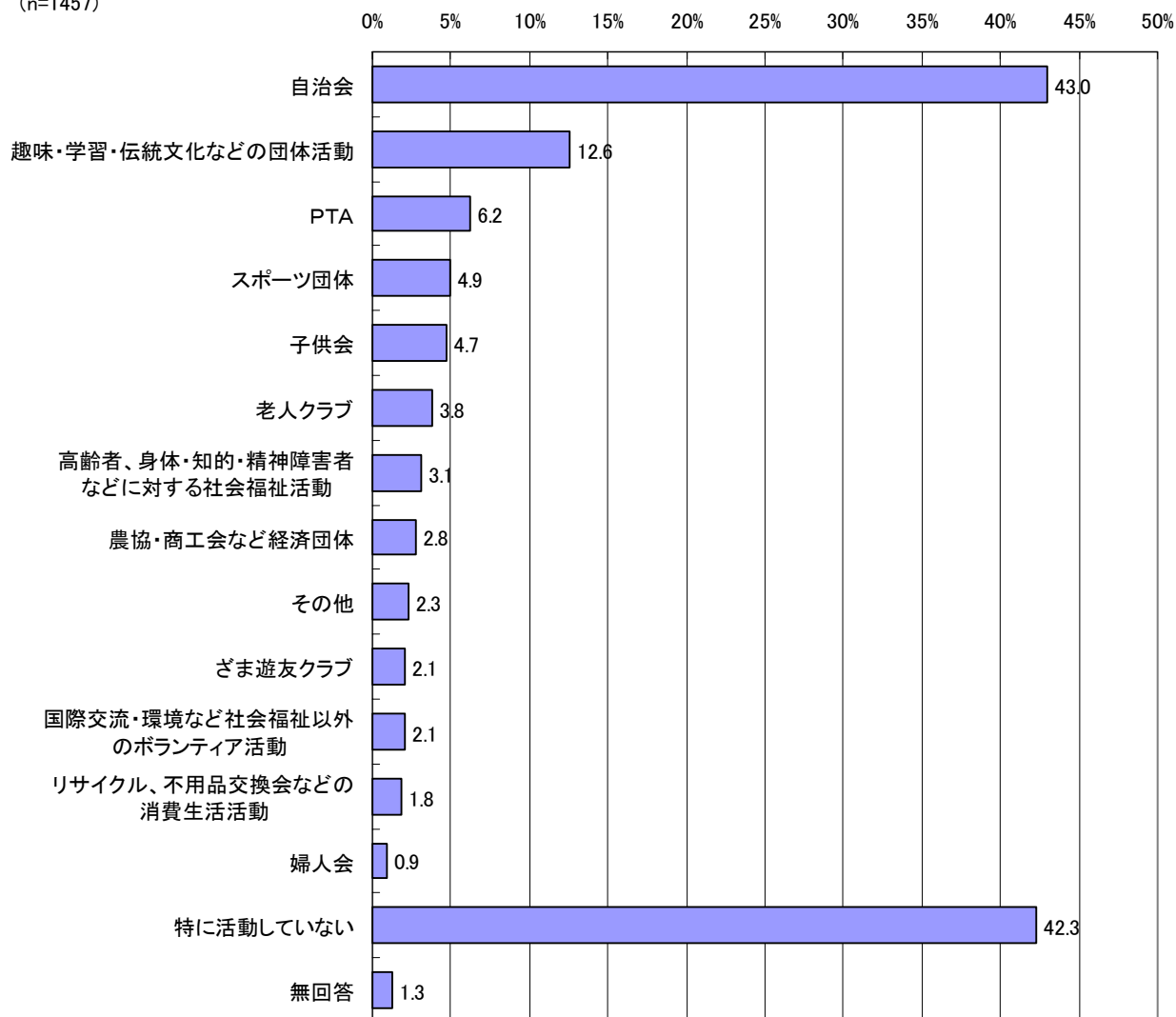


## (2) 実際に参加している団体・活動

6-1 あなたはどのような地域活動に参加していますか。実際に参加している団体・活動すべてに○を付けてください。

実際に参加している団体・活動を聞いた結果最も多かったのは、「自治会」(43.0%)であった。次いで、「特に活動していない」(42.3%)、「趣味・学習・伝統文化などの団体活動」(12.6%)、「PTA」(6.2%)、「スポーツ団体」(4.9%)が続く。

(n=1457)



## 【職業別】実際に参加している団体・活動

職業別にみると、「特に活動していない」の比率が高かったのは常勤の勤め人で、半数を超えた。反対に少なかったのは、専業主婦であった。

自営業などでは「農協・商工会など経済団体」、「スポーツ団体」、「リサイクル、不用品交換会などの消費生活活動」、その他勤め人では「子供会」、「PTA」、「ごま遊友クラブ」、専業主婦では「自治会」、「趣味・学習・伝統文化などの団体活動」、「高齢者、身体・知的・精神障害者などに対する社会福祉活動」などが他の層より比較的高い。

(その1)

| %  |         | 全体<br>(実数) | 自治会  | 農協・<br>商工会など<br>経済団体 | 子供会  | 婦人会 | 老人<br>クラブ | P<br>T<br>A | ごま<br>遊友<br>クラブ | スポ<br>ーツ<br>団体 | 趣味・<br>学習・<br>伝統<br>文化な<br>ど |
|----|---------|------------|------|----------------------|------|-----|-----------|-------------|-----------------|----------------|------------------------------|
| 全体 |         | 1457       | 43.0 | 2.8                  | 4.7  | 0.9 | 3.8       | 6.2         | 2.1             | 4.9            | 12.6                         |
| 職業 | 自営業など   | 160        | 48.1 | 13.8                 | 5.0  | 2.5 | 3.1       | 5.0         | 2.5             | 7.5            | 10.0                         |
|    | 常勤の勤め人  | 473        | 35.3 | 0.6                  | 3.2  | 0.2 | 0.4       | 3.8         | 0.6             | 4.4            | 5.9                          |
|    | その他の勤め人 | 158        | 39.9 | 0.6                  | 16.5 | -   | 1.3       | 19.6        | 6.3             | 6.3            | 8.2                          |
|    | 専業主婦    | 354        | 54.2 | 2.0                  | 4.8  | 2.3 | 5.6       | 9.3         | 3.1             | 4.8            | 23.2                         |
|    | その他     | 297        | 40.1 | 2.7                  | 1.0  | -   | 8.8       | 0.3         | 0.7             | 4.0            | 13.8                         |
|    | 無回答     | 15         | 53.3 | -                    | -    | -   | 6.7       | -           | -               | -              | 26.7                         |

(その2)

| %  |         | 全体<br>(実数) | 会神高<br>福祉障<br>社害者<br>活動者<br>など<br>に<br>対<br>す<br>る<br>社<br>精 | 福社以<br>外のボ<br>ランテ<br>ィア<br>活動 | 国際交<br>流・環<br>境など<br>社会 | 会リ<br>サイク<br>ルの消<br>費生活<br>活動 | その<br>他 | 特に<br>活動し<br>ていな<br>い | 無<br>回<br>答 |
|----|---------|------------|--|-------------------------------|-------------------------|-------------------------------|---------|-----------------------|-------------|
| 全体 |         | 1457       | 3.1  | 2.1                           | 1.8                     | 2.3                           | 42.3    | 1.3                   |             |
| 職業 | 自営業など   | 160        | 1.9  | 1.3                           | 5.0                     | 1.3                           | 38.1    | 0.6                   |             |
|    | 常勤の勤め人  | 473        | 0.8  | 1.5                           | 1.3                     | 1.9                           | 54.3    | 1.1                   |             |
|    | その他の勤め人 | 158        | 3.8  | 2.5                           | 3.8                     | 1.9                           | 43.7    | -                     |             |
|    | 専業主婦    | 354        | 5.6  | 3.1                           | 1.4                     | 2.8                           | 27.1    | 1.1                   |             |
|    | その他     | 297        | 4.0  | 2.0                           | 0.3                     | 3.0                           | 43.1    | 2.7                   |             |
|    | 無回答     | 15         | -  | -                             | -                       | -                             | 33.3    | 6.7                   |             |

### 職業の分類

|        |   |
|--------|---|
| 自営業など  | 商工・サービス業、農林業、その他自由業(作家、弁護士など)                         |
| 常勤の勤め人 | 専門・技術職(医師、教授、技師など)、事務職(一般事務、経理、営業など)、労務職(店員、工員、作業員など) |
| その他勤め人 | 人材派遣会社への登録、パート、アルバイト、内職                               |
| 専業主婦   | 専業主婦  |
| その他    | 学生、無職、その他   |

【性別・年齢別】実際に参加している団体・活動

性別・年齢別にみると、「特に活動していない」は男女とも加齢ともなって減少する傾向がみられる。男性40歳代以下と女性20歳代では「特に活動していない」の比率が50%を超えている。

「自治会」は男女とも60歳代をピークに加齢ともなって増加する傾向がみられ、「子供会」、「PTA」が30歳代、40歳代の女性で比較的高い比率となっていることなどが目立つ。

(その1)

|           |    | 全体（実数） | 自治会  | 農協・<br>商工会など<br>経済団 | 子供会 | 婦人会  | 老人クラブ | PTA  | さま遊友クラブ | スポーツ団体 | 趣味・学習・<br>伝統文化な<br>どの団体活動 |      |
|-----------|----|--------|------|---------------------|-----|------|-------|------|---------|--------|---------------------------|------|
| 全体        |    | 1457   | 43.0 | 2.8                 | 4.7 | 0.9  | 3.8   | 6.2  | 2.1     | 4.9    | 12.6                      |      |
| 性別・<br>年齢 | 男性 | 男性全体   | 664  | 39.6                | 3.8 | 3.3  | 0.2   | 2.9  | 2.3     | 1.1    | 5.9                       | 7.5  |
|           |    | 20～29歳 | 76   | 15.8                | 1.3 | -    | -     | -    | -       | 1.3    | 11.8                      | 1.3  |
|           |    | 30～39歳 | 123  | 27.6                | 1.6 | 3.3  | -     | -    | 2.4     | -      | 0.8                       | 2.4  |
|           |    | 40～49歳 | 123  | 36.6                | 0.8 | 8.9  | -     | -    | 8.9     | 2.4    | 6.5                       | 3.3  |
|           |    | 50～59歳 | 119  | 42.9                | 5.9 | 2.5  | -     | -    | 0.8     | -      | 5.0                       | 9.2  |
|           |    | 60～69歳 | 133  | 55.6                | 5.3 | 2.3  | 0.8   | 4.5  | -       | 1.5    | 9.8                       | 12.0 |
|           |    | 70歳以上  | 88   | 53.4                | 8.0 | 1.1  | -     | 14.8 | -       | 1.1    | 2.3                       | 17.0 |
|           | 女性 | 女性全体   | 785  | 45.9                | 2.0 | 5.9  | 1.4   | 4.7  | 9.6     | 2.9    | 4.2                       | 17.1 |
|           |    | 20～29歳 | 79   | 11.4                | -   | 1.3  | -     | -    | -       | -      | 1.3                       | 8.9  |
|           |    | 30～39歳 | 146  | 35.6                | 0.7 | 10.3 | 0.7   | 0.7  | 13.7    | 4.1    | 3.4                       | 7.5  |
|           |    | 40～49歳 | 136  | 54.4                | 1.5 | 18.4 | -     | -    | 34.6    | 4.4    | 2.9                       | 9.6  |
|           |    | 50～59歳 | 148  | 54.1                | 1.4 | 2.7  | 1.4   | 1.4  | 4.1     | 2.0    | 7.4                       | 23.6 |
|           |    | 60～69歳 | 161  | 57.8                | 5.0 | 0.6  | 4.3   | 5.6  | 1.2     | 3.1    | 4.3                       | 28.0 |
|           |    | 70歳以上  | 115  | 45.2                | 2.6 | -    | 0.9   | 21.7 | -       | 2.6    | 4.3                       | 20.0 |

(その2)

|           |    | 全体（実数） | 会神高<br>福障齡<br>社害者、<br>活動者、<br>身体に<br>対する・<br>社精 | （社社<br>会以<br>外の<br>ボラン<br>ティ<br>ア | 福国<br>社際<br>交<br>流・<br>環<br>境<br>な<br>ど<br>の<br>テ<br>ィ<br>ア | 会リ<br>なサイ<br>ク<br>ル、<br>消<br>費<br>生<br>活<br>活<br>動<br>交<br>換 | そ<br>の<br>他 | 特<br>に<br>活<br>動<br>し<br>て<br>い<br>な<br>い | 無<br>回<br>答 |
|-----------|----|--------|---|-----------------------------------|---|--|-------------|---|-------------|
| 全体        |    | 1457   | 3.1   | 2.1                               | 1.8   | 2.3  | 42.3        | 1.3                                       |             |
| 性別・<br>年齢 | 男性 | 男性全体   | 664   | 1.2                               | 1.4   | 1.2  | 2.3         | 48.9                                      | 1.1         |
|           |    | 20～29歳 | 76  | 1.3                               | 1.3   | -  | 1.3         | 69.7                                      | -           |
|           |    | 30～39歳 | 123   | -                                 | 1.6   | 0.8  | 1.6         | 63.4                                      | 0.8         |
|           |    | 40～49歳 | 123   | 0.8                               | 1.6   | 1.6  | 0.8         | 52.0                                      | 1.6         |
|           |    | 50～59歳 | 119   | 1.7                               | 0.8   | 0.8  | 3.4         | 46.2                                      | -           |
|           |    | 60～69歳 | 133   | 1.5                               | 1.5   | 2.3  | 1.5         | 35.3                                      | 1.5         |
|           |    | 70歳以上  | 88  | 2.3                               | 1.1   | 1.1  | 5.7         | 29.5                                      | 2.3         |
|           | 女性 | 女性全体   | 785   | 4.6                               | 2.7   | 2.2  | 2.3         | 36.8                                      | 1.4         |
|           |    | 20～29歳 | 79  | 1.3                               | 2.5   | 1.3  | 1.3         | 75.9                                      | 2.5         |
|           |    | 30～39歳 | 146   | 1.4                               | 1.4   | 2.7  | 2.7         | 43.8                                      | 1.4         |
|           |    | 40～49歳 | 136   | 3.7                               | 2.2   | 3.7  | 2.2         | 26.5                                      | 0.7         |
|           |    | 50～59歳 | 148   | 8.1                               | 6.1   | 2.7  | 0.7         | 30.4                                      | -           |
|           |    | 60～69歳 | 161   | 8.1                               | 3.1   | 1.2  | 3.1         | 29.2                                      | 1.2         |
|           |    | 70歳以上  | 115   | 2.6                               | -   | 0.9  | 3.5         | 32.2                                      | 3.5         |



## 【在住年数別】実際に参加している団体・活動

在住年数別にみると、「特に活動していない」の比率が、新しく入ってきた人ほど高い傾向がみられることから、新しく入ってきた人ほど地域活動への参加率が低い傾向にあると思われる。「自治会」、「農協・商工会など経済団体」、「老人クラブ」、「趣味・学習・伝統文化などの団体活動」なども新しく入ってきた人ほど地域活動への参加率が低い傾向がみられる。「子供会」、「PTA」などは昭和60年～平成6年で高い。

(その1)

| %                |             | 全体<br>(実数) | 自治会  | 農協・<br>商工会など<br>経済団体 | 子供会  | 婦人会 | 老人<br>クラブ | P<br>T<br>A | ざ<br>ま<br>遊<br>友<br>ク<br>ラ<br>ブ | ス<br>ポ<br>ー<br>ツ<br>団<br>体 | 趣<br>味<br>の<br>団<br>体<br>学<br>習<br>・<br>伝<br>統<br>文<br>化<br>な<br>ど |
|------------------|-------------|------------|------|----------------------|------|-----|-----------|-------------|---------------------------------|----------------------------|--|
| 全体               |             | 1457       | 43.0 | 2.8                  | 4.7  | 0.9 | 3.8       | 6.2         | 2.1                             | 4.9                        | 12.6   |
| 在<br>住<br>年<br>数 | 昭和19年以前     | 48         | 72.9 | 25.0                 | 4.2  | -   | 22.9      | 2.1         | 4.2                             | 4.2                        | 16.7   |
|                  | 昭和20年～昭和29年 | 27         | 59.3 | 25.9                 | -    | -   | 29.6      | -           | 7.4                             | 11.1                       | 22.2   |
|                  | 昭和30年～昭和39年 | 92         | 56.5 | 5.4                  | 3.3  | 6.5 | 9.8       | 3.3         | -                               | 6.5                        | 17.4   |
|                  | 昭和40年～昭和49年 | 304        | 49.3 | 3.0                  | 2.6  | 1.0 | 4.3       | 3.6         | 2.6                             | 4.9                        | 17.8   |
|                  | 昭和50年～昭和59年 | 310        | 46.1 | 1.3                  | 1.0  | 0.6 | 2.9       | 2.9         | 1.9                             | 6.8                        | 13.5   |
|                  | 昭和60年～平成6年  | 267        | 40.8 | 1.1                  | 10.1 | 0.4 | 1.1       | 14.6        | 2.2                             | 4.9                        | 11.6   |
|                  | 平成7年以降      | 408        | 29.7 | 0.2                  | 6.4  | 0.2 | 0.7       | 6.9         | 1.5                             | 2.9                        | 6.6  |
| 無回答              |             | 1          | -    | -                    | -    | -   | -         | -           | -                               | -                          | -  |

(その2)

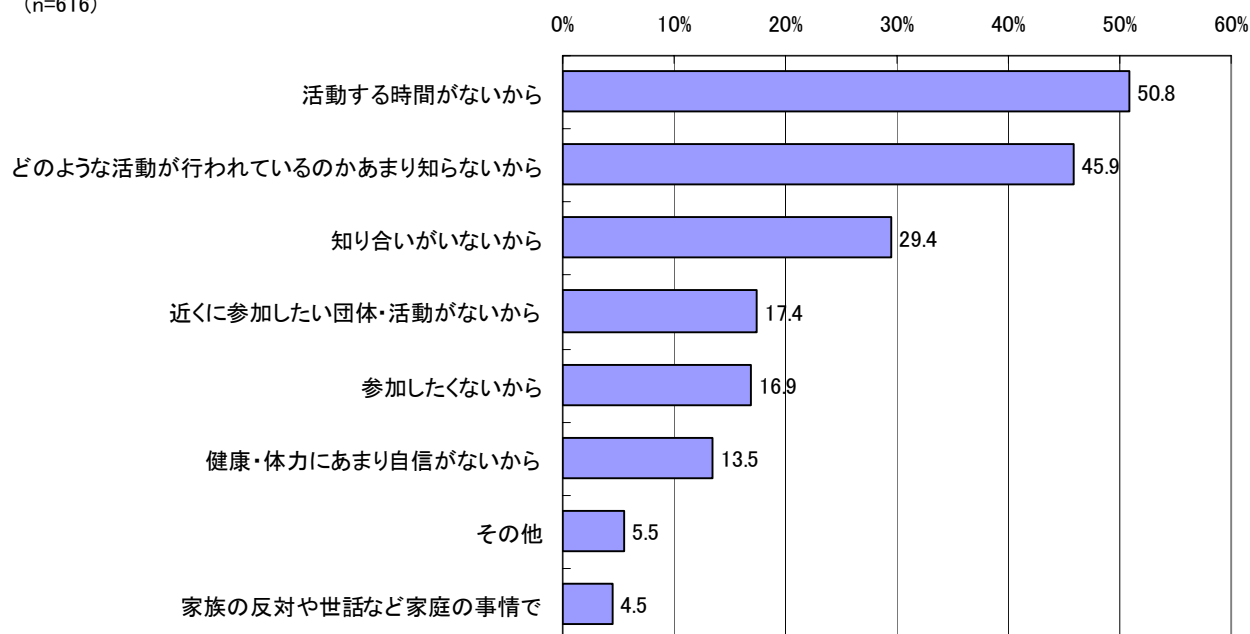
| %                |             | 全体<br>(実数) | 会<br>社<br>活<br>動 | 神<br>社<br>活<br>動 | 高<br>齢<br>者<br>・<br>身<br>体<br>に<br>対<br>す<br>る<br>精<br>神<br>的<br>活<br>動 | 福<br>祉<br>活<br>動<br>(<br>社<br>会<br>奉<br>仕<br>・<br>ボ<br>ラ<br>ン<br>テ<br>ィ<br>ア<br>会<br>) | 国<br>際<br>交<br>流<br>・<br>環<br>境<br>な<br>ど<br>の<br>社<br>会<br>活<br>動 | 会<br>社<br>な<br>ど<br>の<br>消<br>費<br>生<br>活<br>活<br>動 | リ<br>サ<br>イ<br>ク<br>ル<br>・<br>不<br>用<br>品<br>交<br>換 | そ<br>の<br>他 | 特<br>に<br>活<br>動<br>し<br>て<br>い<br>な<br>い | 無<br>回<br>答 |
|------------------|-------------|------------|------------------|------------------|---|--|--|---|---|-------------|---|-------------|
| 全体               |             | 1457       | 3.1              | 2.1              | 1.8   | 2.3  | 42.3   | 1.3   |   |             |   |             |
| 在<br>住<br>年<br>数 | 昭和19年以前     | 48         | 2.1              | -                | 4.2   | 2.1  | 16.7   | -   |   |             |   |             |
|                  | 昭和20年～昭和29年 | 27         | 3.7              | 3.7              | -   | 3.7  | 14.8   | -   |   |             |   |             |
|                  | 昭和30年～昭和39年 | 92         | 4.3              | 2.2              | -   | 3.3  | 37.0   | 1.1   |   |             |   |             |
|                  | 昭和40年～昭和49年 | 304        | 3.6              | 1.6              | 1.6   | 2.6  | 36.5   | 2.0   |   |             |   |             |
|                  | 昭和50年～昭和59年 | 310        | 4.5              | 2.9              | 0.3   | 1.9  | 39.7   | 2.3   |   |             |   |             |
|                  | 昭和60年～平成6年  | 267        | 1.9              | 3.4              | 4.1   | 1.9  | 39.7   | 0.7   |   |             |   |             |
|                  | 平成7年以降      | 408        | 2.2              | 1.0              | 1.7   | 2.0  | 56.4   | 0.7   |   |             |   |             |
| 無回答              |             | 1          | -                | -                | -   | 100.0  | -  | -   |   |             |   |             |

### (3) 地域活動をしていない主な理由

6-2 設問6-1で「14. 特に活動していない」とお答えの方にお伺いします。活動していない主な理由は何ですか。3つまで選んでください。

地域活動をしていない主な理由を聞いた結果最も多かったのは、「活動する時間がないから」(50.8%)であった。次いで、「どのような活動が行われているのかあまり知らないから」(45.9%)、「知り合いがいないから」(29.4%)、「近くに参加したい団体・活動がないから」(17.4%)、「参加したくないから」(16.9%)が続く。

(n=616)



## 【性別・年齢別】地域活動をしていない主な理由

性別・年齢別にみると、全体で1位であった「活動する時間がないから」は、男女とも50歳代以下で高い比率を示している。全体で2位であった「どのような活動が行われているのかあまり知らないから」は、男女とも20歳代で高く、60%を超えている。「健康・体力にあまり自信がないから」は、男女とも加齢とともに増加する傾向にあるが、特に70歳以上で急激に増えている。

| %     |        | 全体<br>(実数) | 家族の反対や世話など家庭の事情で | どのようか活動が行われないから | 近くに参加したい団体・活動がないから | 活動する時間がないから | 健康・体力にあまり自信がないから | 知り合いがないから | 参加したくないから | その他  | 無回答 |     |
|-------|--------|------------|------------------|-----------------|--------------------|-------------|------------------|-----------|-----------|------|-----|-----|
| 全体    |        | 616        | 4.5              | 45.9            | 17.4               | 50.8        | 13.5             | 29.4      | 16.9      | 5.5  | 0.2 |     |
| 性別・年齢 | 男性     | 男性全体       | 325              | 2.8             | 46.2               | 18.2        | 52.6             | 8.9       | 30.5      | 18.8 | 4.3 | -   |
|       | 20～29歳 | 53         | -                | 60.4            | 15.1               | 62.3        | -                | 39.6      | 18.9      | 1.9  | -   |     |
|       | 30～39歳 | 78         | 2.6              | 46.2            | 14.1               | 61.5        | 1.3              | 20.5      | 25.6      | 6.4  | -   |     |
|       | 40～49歳 | 64         | 4.7              | 40.6            | 15.6               | 64.1        | 6.3              | 37.5      | 15.6      | -    | -   |     |
|       | 50～59歳 | 55         | 1.8              | 45.5            | 16.4               | 58.2        | 5.5              | 34.5      | 21.8      | 3.6  | -   |     |
|       | 60～69歳 | 47         | 4.3              | 48.9            | 29.8               | 34.0        | 12.8             | 27.7      | 8.5       | 8.5  | -   |     |
|       | 70歳以上  | 26         | 3.8              | 30.8            | 23.1               | 3.8         | 57.7             | 19.2      | 15.4      | 7.7  | -   |     |
|       | 女性     | 女性全体       | 289              | 6.6             | 46.0               | 16.3        | 49.1             | 18.3      | 28.4      | 14.9 | 6.9 | 0.3 |
|       | 20～29歳 | 60         | 1.7              | 68.3            | 18.3               | 58.3        | -                | 38.3      | 10.0      | 5.0  | -   |     |
|       | 30～39歳 | 64         | 7.8              | 67.2            | 14.1               | 48.4        | 7.8              | 40.6      | 21.9      | 3.1  | -   |     |
|       | 40～49歳 | 36         | 11.1             | 30.6            | 13.9               | 69.4        | 11.1             | 22.2      | 19.4      | 5.6  | -   |     |
|       | 50～59歳 | 45         | 2.2              | 40.0            | 24.4               | 60.0        | 15.6             | 11.1      | 8.9       | 13.3 | -   |     |
|       | 60～69歳 | 47         | 10.6             | 29.8            | 17.0               | 42.6        | 23.4             | 23.4      | 8.5       | 8.5  | -   |     |
| 70歳以上 | 37     | 8.1        | 16.2             | 8.1             | 10.8               | 70.3        | 24.3             | 21.6      | 8.1       | 2.7  |     |     |

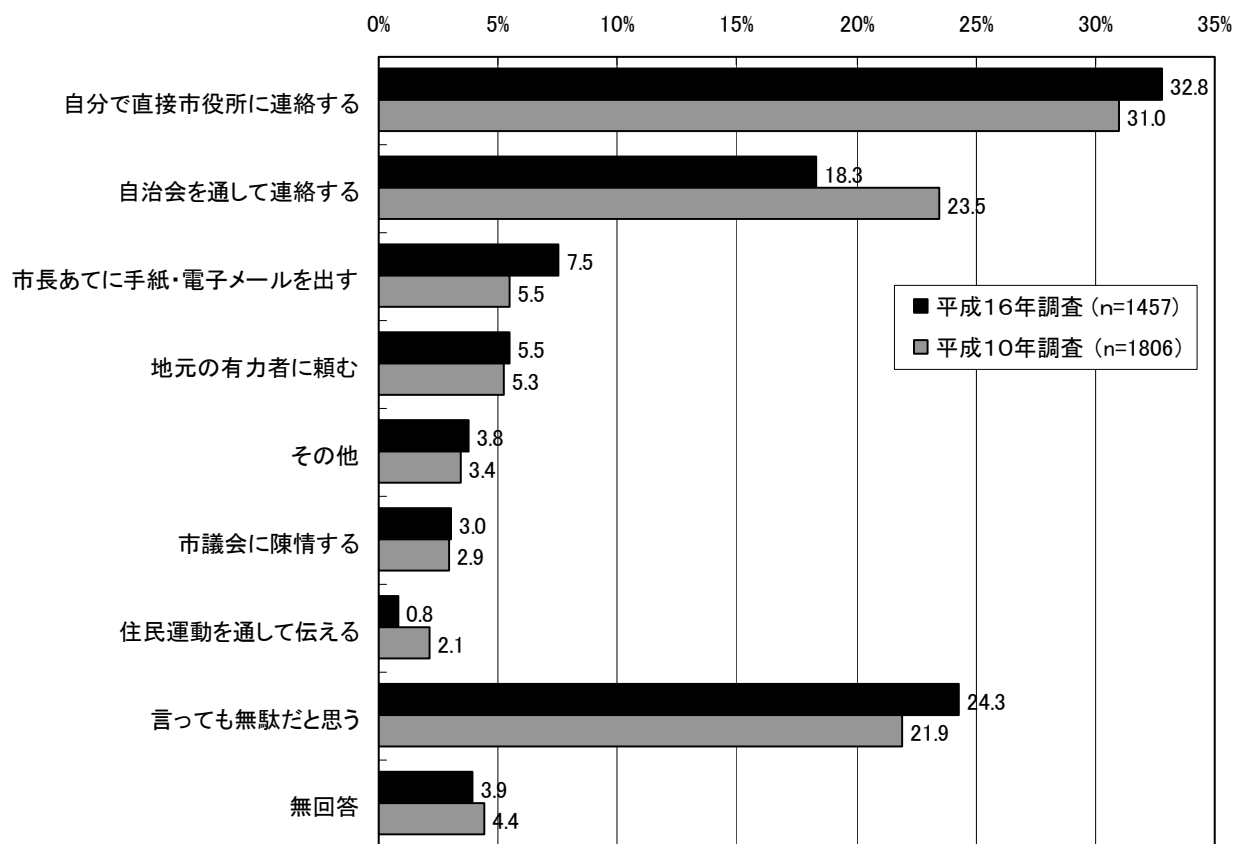
## 4 市民参加や広報、情報化について

### (1) 要求や問題を市政に反映させる方法

7 あなたは身のまわりのことで要求や問題があった場合、それを市政に反映させるためにどのような方法をとりますか。【一つだけ選んでください。】

要求や問題を市政に反映させる方法を聞いた結果最も多かったのは、「自分で直接市役所に連絡する」(32.8%)であった。次いで、「言っても無駄だと思う」(24.3%)、「自治会を通して連絡する」(18.3%)、「市長あてに手紙・電子メールを出す」(7.5%)、「地元の有力者に頼む」(5.5%)が続く。

過去の調査(平成10年調査)と比較すると、「自治会を通して連絡する」、「住民運動をして伝える」の比率が減少し、「言っても無駄だと思う」、「市長あてに手紙・電子メールを出す」などの比率が増加していることが目立つ。



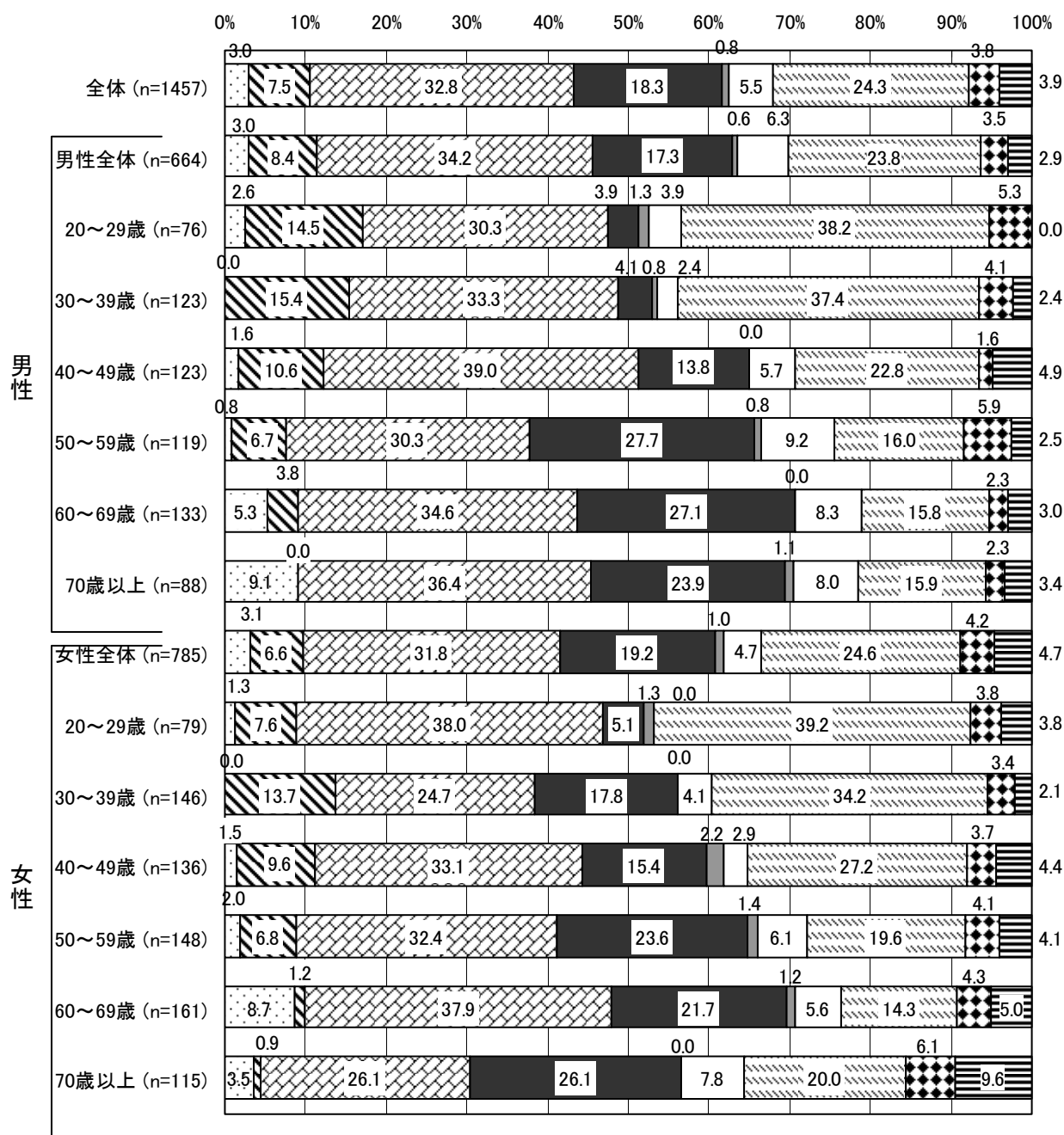
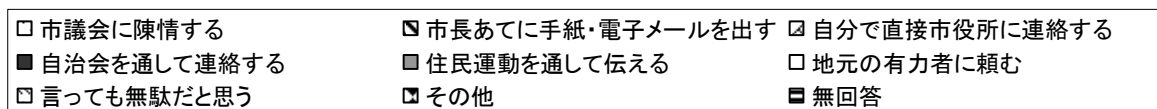
## 【性別・年齢別】要求や問題を市政に反映させる方法

性別・年齢別にみると、全体で1位だった「自分で直接市役所に連絡する」は、すべての性別・年齢で1位または2位で、女性の30歳代、70歳以上で25%前後の比率であったが、それ以外では30%を超えている。

全体で2位だった「言っても無駄だと思う」は、すべての性別・年齢で3位以上であった。男女とも20歳代、30歳代で1位となっており、加齢とともに減少する傾向がみられる。

全体で3位だった「自治会を通して連絡する」は、男女とも50歳代以上で20%を超えて高くなっている。

全体で4位だった「市長あてに手紙・電子メールを出す」は、男性30歳代で最も高く、男性20歳代、女性30歳代などでも高かった。高い年齢層での利用は低く、男女とも60歳代以上では4%未満であった。



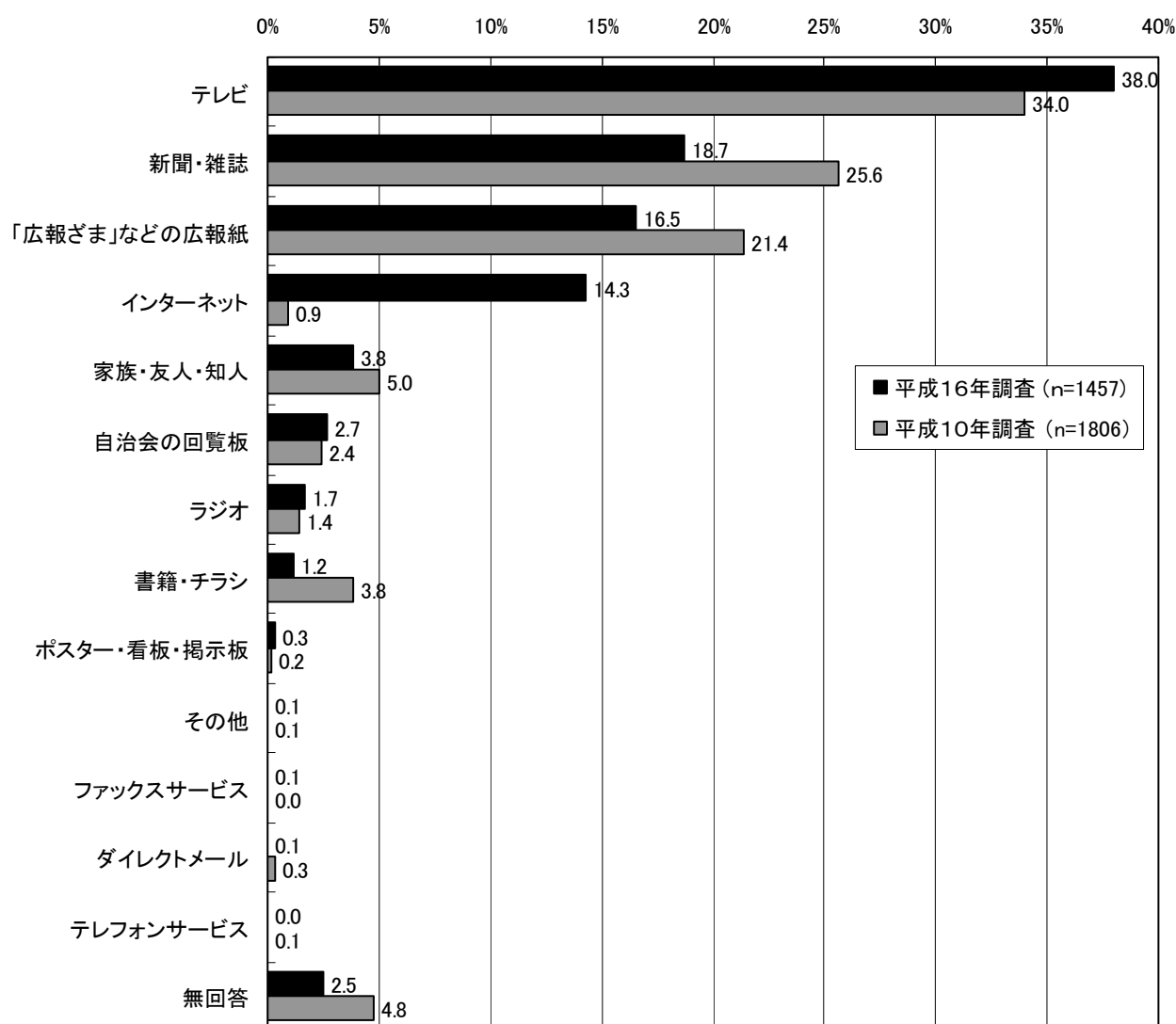
## (2) 日常生活に役立つ情報を得るための媒体(メディア)

8 あなたは現在、自分自身の日常生活に役立つ情報を知るためにどのような媒体(メディア)を使っていますか。よく使う順に3つ選んで、あてはまる選択肢の数字を下の口の中に1つずつ記入してください。

### 最もよく使う媒体

日常生活に役立つ情報を得るため1番よく使う媒体(メディア)を聞いた結果最も多かったのは、「テレビ」(38.0%)であった。次いで、「新聞・雑誌」(18.7%)、「「広報さま」などの広報紙」(16.5%)、「インターネット」(14.3%)、「家族・友人・知人」(3.8%)が続く。

過去の調査(平成10年調査)と比較すると、「インターネット」が大きく増加し、「新聞・雑誌」、「書籍・チラシ」、「「広報さま」などの広報紙」といった活字媒体が減少していることが目立つ。



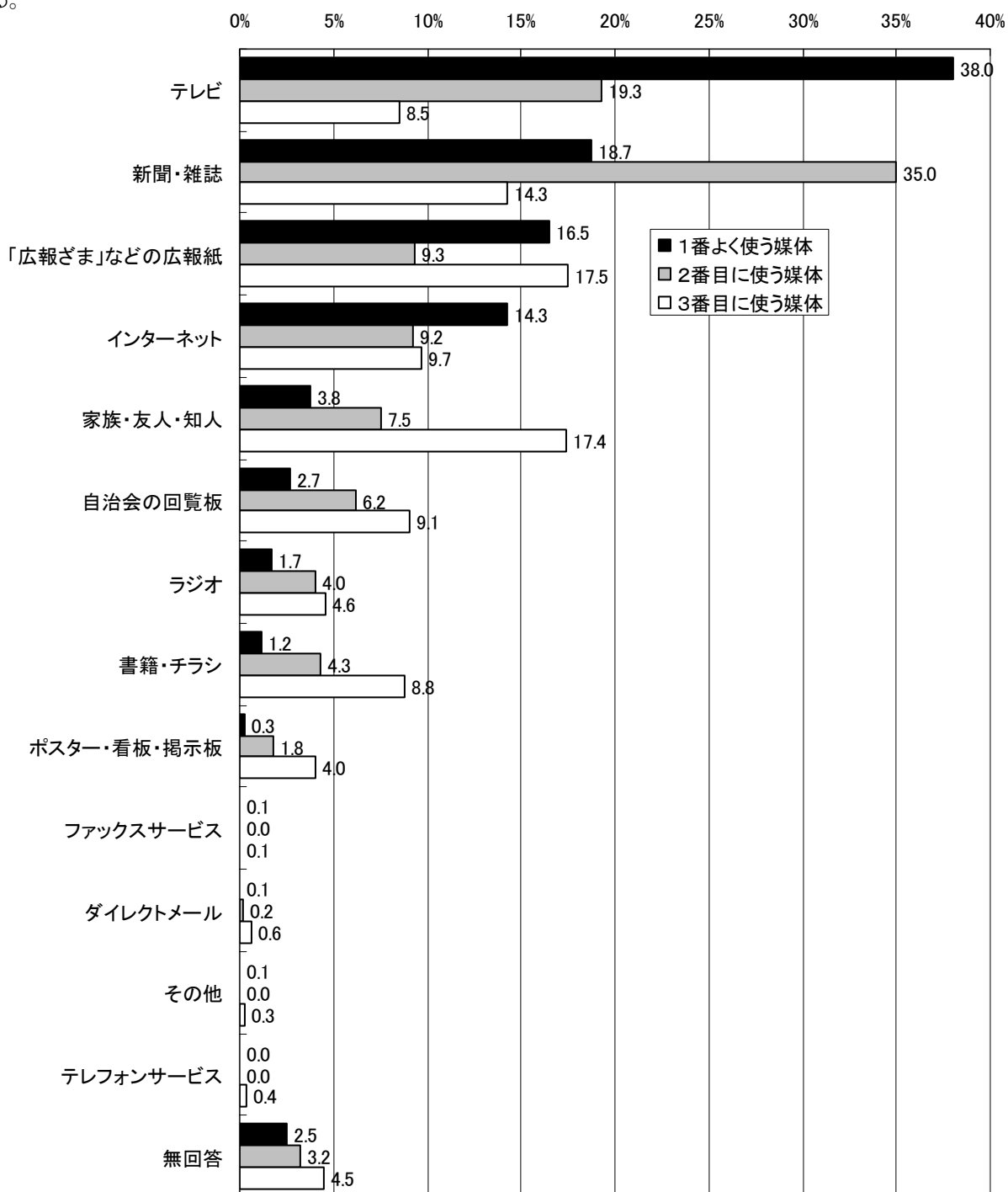


## 2 番目、3 番目によく使う媒体

日常生活に役立つ情報を得るために 2 番目によく使う媒体(メディア)を聞いた結果最も多かったのは、「新聞・雑誌」(35.0%)であった。次いで、「テレビ」(19.3%)、「広報ざま」などの広報紙」(9.3%)、「インターネット」(9.2%)、「家族・友人・知人」(7.5%)が続く。

日常生活に役立つ情報を得るために 3 番目によく使う媒体(メディア)を聞いた結果最も多かったのは、「広報ざま」などの広報紙」(17.5%)であった。次いで、「家族・友人・知人」(17.4%)、「新聞・雑誌」(14.3%)、「インターネット」(9.7%)、「自治会の回覧板」(9.1%)が続く。

日常生活に役立つ情報を得るために 1 番良く使う媒体は「テレビ」であったが、「新聞・雑誌」はそれを補完する最も重要な媒体となっており、3 番目によく使う媒体として比率が高かった「「広報ざま」などの広報紙」や「家族・友人・知人」も補助的な媒体として重要度が高い。大きな媒体ほど良く使われるという傾向がみられる。



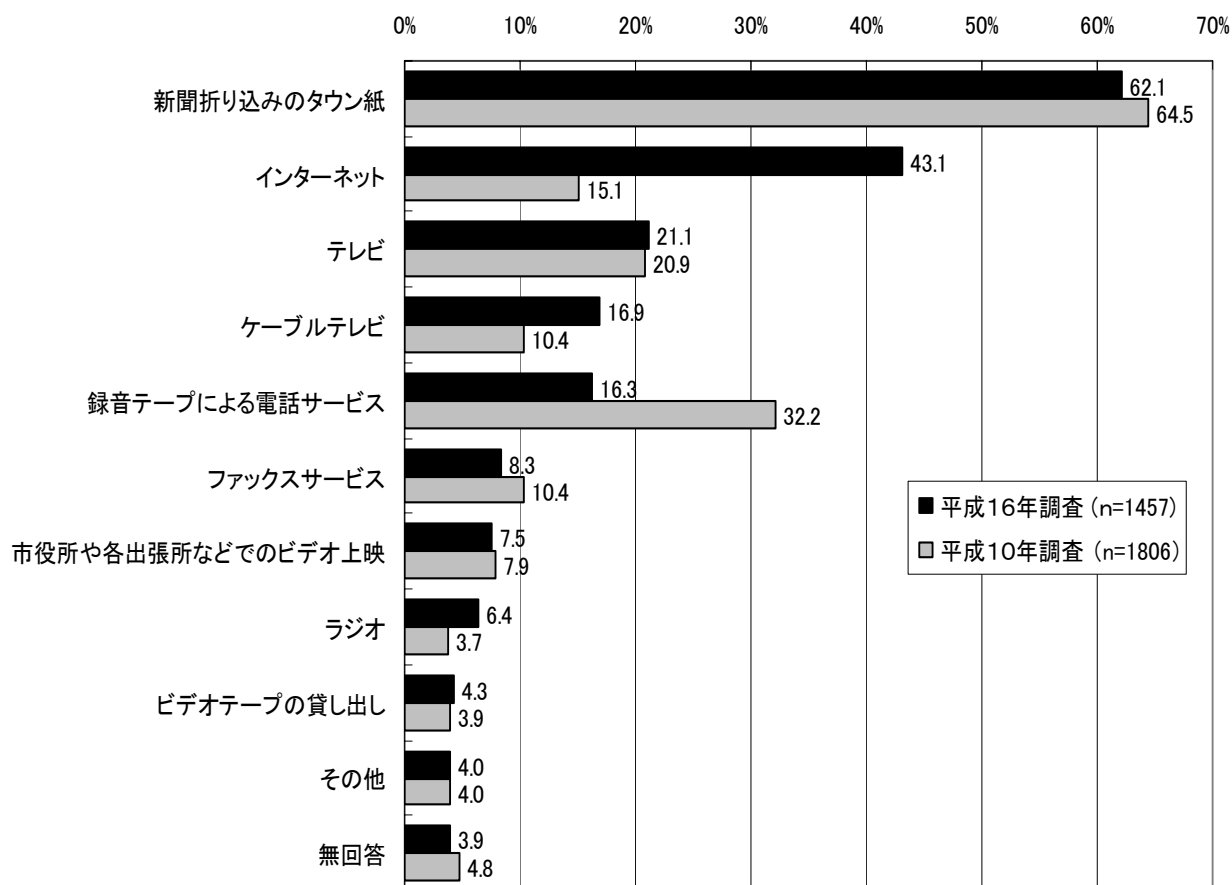


### (3) 市のお知らせの便利な伝達方法

9 市のお知らせについては、「広報ざま」のほか、今後どのようなものを使うと便利だと思いますか。あてはまるものをいくつでも選んでください。

市のお知らせの便利な伝達方法を聞いた結果最も多かったのは、「新聞折り込みのタウン紙」(62.1%)であった。次いで、「インターネット」(43.1%)、「テレビ」(21.1%)、「ケーブルテレビ」(16.9%)、「録音テープによる電話サービス」(16.3%)が続く。

過去の調査(平成10年調査)と比較すると、「インターネット」、「ケーブルテレビ」が増加し、「録音テープによる電話サービス」が減少していることが目立つ。



## 【性別・年齢別】市のお知らせの便利な伝達方法

性別・年齢別にみると、全体で 1 位であった「新聞折り込みのタウン紙」は、どの年代でも男性より女性の比率が高い。また、男性では加齢とともに比率が増加する傾向がみられ、女性では 50 歳代をピークに全年代で 65%を超えているのが目立つ。

全体で 2 位であった「インターネット」は、男女とも加齢とともに比率は減少する傾向がみられ、60 歳代以上では比率が急激に落ちている。男性の 50 歳代以下と女性の 20 歳代では最も支持を集めている。

|           |        | %      | 全体<br>(実数) | ビデオ<br>テープの<br>貸し出し | 市役所や<br>各出張所<br>などの<br>ビデオ<br>上映 | 録音<br>テープ<br>による<br>電<br>話<br>サ<br>ー<br>ビ<br>ス | テ<br>レ<br>ビ | ラ<br>ジ<br>オ | ケ<br>ー<br>ブ<br>ル<br>テ<br>レ<br>ビ | フ<br>ァ<br>ッ<br>ク<br>ス<br>サ<br>ー<br>ビ<br>ス | 新<br>聞<br>折<br>り<br>込<br>み<br>の<br>タ<br>ウ<br>ン<br>紙 | イ<br>ン<br>タ<br>ー<br>ネ<br>ッ<br>ト | そ<br>の<br>他 | 無<br>回<br>答 |
|-----------|--------|--------|------------|---------------------|----------------------------------|--|-------------|-------------|---------------------------------|---|---|---------------------------------|-------------|-------------|
| 全体        |        |        | 1457       | 4.3                 | 7.5                              | 16.3   | 21.1        | 6.4         | 16.9                            | 8.3                                       | 62.1  | 43.1                            | 4.0         | 3.9         |
| 性別・<br>年齢 | 男性     | 男性全体   | 664        | 4.7                 | 7.8                              | 13.1   | 20.9        | 6.5         | 17.9                            | 8.3                                       | 54.5  | 47.6                            | 4.4         | 3.6         |
|           |        | 20～29歳 | 76         | -                   | 5.3                              | 3.9  | 18.4        | 10.5        | 19.7                            | 1.3                                       | 43.4  | 64.5                            | 5.3         | 1.3         |
|           |        | 30～39歳 | 123        | 4.9                 | 4.1                              | 7.3  | 21.1        | 12.2        | 25.2                            | 8.1                                       | 45.5  | 62.6                            | 7.3         | 2.4         |
|           |        | 40～49歳 | 123        | 4.9                 | 4.1                              | 9.8  | 14.6        | 3.3         | 25.2                            | 8.9                                       | 57.7  | 61.8                            | 3.3         | 1.6         |
|           |        | 50～59歳 | 119        | 3.4                 | 4.2                              | 19.3   | 19.3        | 3.4         | 13.4                            | 8.4                                       | 51.3  | 52.9                            | 5.0         | 4.2         |
|           |        | 60～69歳 | 133        | 7.5                 | 9.8                              | 18.0   | 23.3        | 4.5         | 15.0                            | 10.5                                      | 62.4  | 30.8                            | 3.0         | 5.3         |
|           |        | 70歳以上  | 88         | 5.7                 | 22.7                             | 18.2   | 30.7        | 6.8         | 6.8                             | 10.2                                      | 64.8  | 10.2                            | 2.3         | 6.8         |
|           |        | 女性全体   | 785        | 3.9                 | 7.4                              | 19.2   | 21.1        | 6.2         | 16.2                            | 8.3                                       | 68.3  | 39.5                            | 3.8         | 4.2         |
|           | 20～29歳 | 79     | 3.8        | 5.1                 | 8.9                              | 24.1   | 6.3         | 15.2        | 11.4                            | 65.8                                      | 68.4  | 1.3                             | 3.8         |             |
|           | 30～39歳 | 146    | 0.7        | 5.5                 | 13.7                             | 24.0   | 5.5         | 24.7        | 11.0                            | 65.8                                      | 63.7  | 4.1                             | 1.4         |             |
|           | 40～49歳 | 136    | 2.9        | 1.5                 | 22.1                             | 16.2   | 4.4         | 20.6        | 9.6                             | 68.4                                      | 46.3  | 3.7                             | -           |             |
|           | 50～59歳 | 148    | 4.7        | 6.1                 | 23.0                             | 20.9   | 5.4         | 17.6        | 6.1                             | 71.6                                      | 46.6  | 4.1                             | 2.7         |             |
|           | 60～69歳 | 161    | 7.5        | 13.7                | 26.1                             | 15.5   | 6.8         | 8.7         | 9.3                             | 70.8                                      | 13.7  | 3.1                             | 6.8         |             |
|           | 70歳以上  | 115    | 3.5        | 11.3                | 15.7                             | 29.6   | 9.6         | 9.6         | 2.6                             | 65.2                                      | 7.8   | 6.1                             | 11.3        |             |

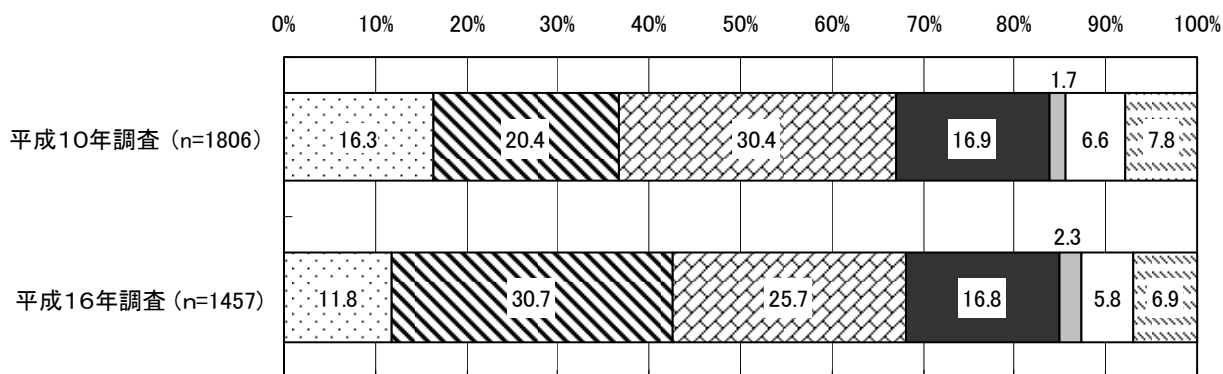
(4) 「高度情報化」において重点的に行うこと

10 最近、「高度情報化」という言葉がよく使われます。このような時代に、今後、座間市はどのようなことを重点的に行えば良いとお考えですか。  
【一つだけ選んでください。】

「高度情報化」において市が重点的に行うべきことを聞いた結果最も多かったのは、「インターネットやケーブルテレビなどを活用し、必要な情報を市民が得やすい環境を整える」(30.7%)であった。次いで、「市役所の情報化を進め、行政サービスや仕事の効率を向上させる」(25.7%)、「コンピュータの使い方などの市民向けの講座を開き、多くの市民が情報化に対応できるようにする」(16.8%)、「情報産業や研究機関を振興・誘致することで、働く場を確保するとともに情報化に強い人材を育てる」(11.8%)、「特に情報化に対応する必要はない」(5.8%)が続く。

過去の調査(平成10年調査)と比較すると、「情報産業や研究機関を振興・誘致することで、働く場を確保するとともに情報化に強い人材を育てる」や平成10年調査で最も支持された「市役所の情報化を進め、行政サービスや仕事の効率を向上させる」が減少し、「インターネットやケーブルテレビなどを活用し、必要な情報を市民が得やすい環境を整える」が増加し、最も支持を集めたことが目立つ。

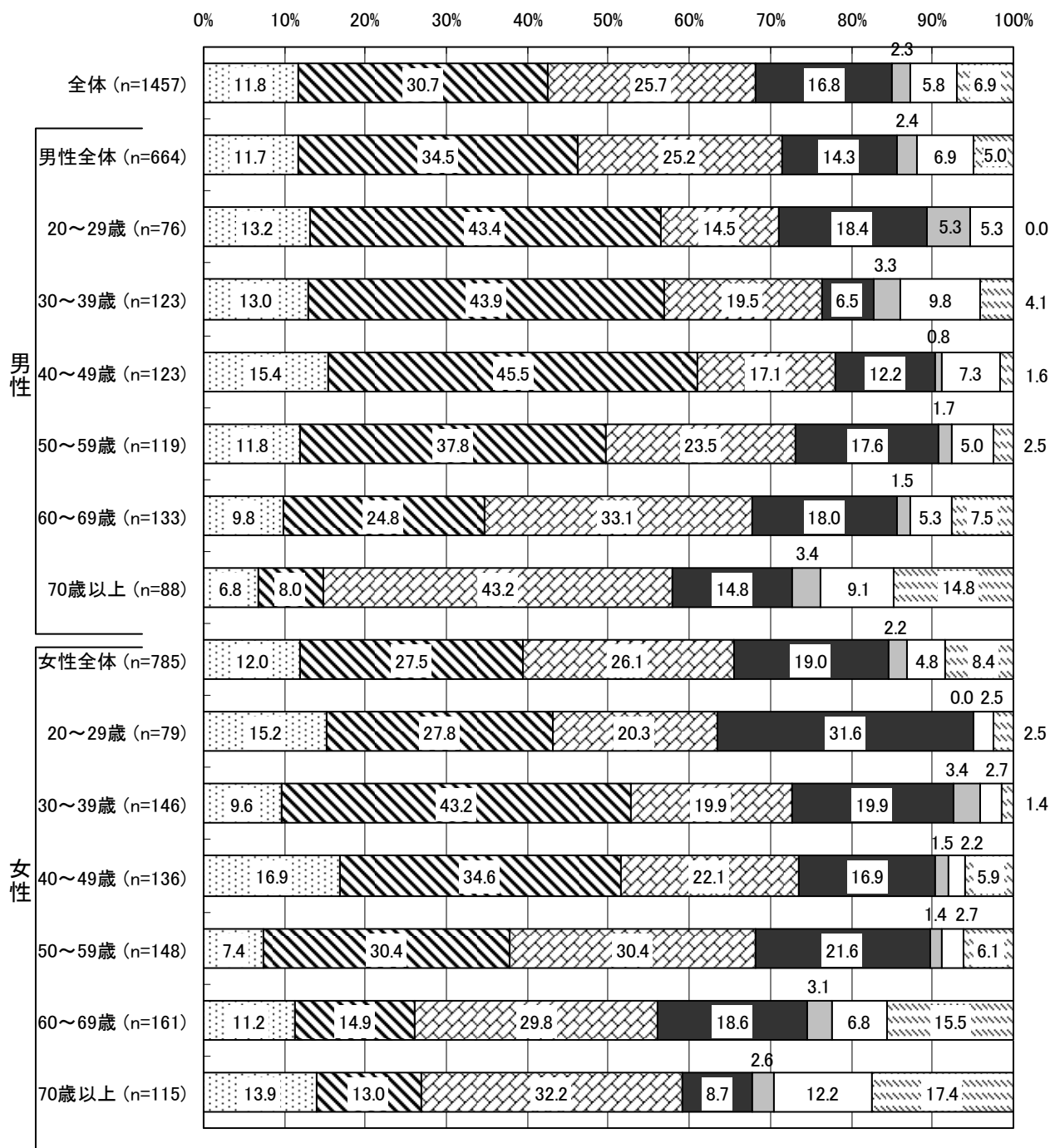
- 情報産業や研究機関を振興・誘致することで、働く場を確保するとともに情報化に強い人材を育てる
- インターネットやケーブルテレビなどを活用し、必要な情報を市民が得やすい環境を整える
- 市役所の情報化を進め、行政サービスや仕事の効率を向上させる
- コンピュータの使い方などの市民向けの講座を開き、多くの市民が情報化に対応できるようにする
- その他
- 特に情報化に対応する必要はない
- 無回答



## 【性別・年齢別】「高度情報化」において市が重点的に行うべきこと

性別・年齢別にみると、全体で1位であった「インターネットやケーブルテレビなどを活用し、必要な情報を市民が得やすい環境を整える」の比率は男性で40歳代、女性で30歳代をピークに若い世代で高く、2位であった「市役所の情報化を進め、行政サービスや仕事の効率を向上させる」は、男女とも加齢とともに比率が高くなっている。また、3位であった「コンピュータの使い方などの市民向けの講座を開き、多くの市民が情報化に対応できるようにする」は、男女とも20歳代で最も高い比率となっており、70歳以上を除くすべての年代で女性の方が高い比率となっている。

- 情報産業や研究機関を振興・誘致することで、働く場を確保するとともに情報化に強い人材を育てる
- ▨ インターネットやケーブルテレビなどを活用し、必要な情報を市民が得やすい環境を整える
- ▩ 市役所の情報化を進め、行政サービスや仕事の効率を向上させる
- コンピュータの使い方などの市民向けの講座を開き、多くの市民が情報化に対応できるようにする
- その他
- 特に情報化に対応する必要はない
- ⊠ 無回答

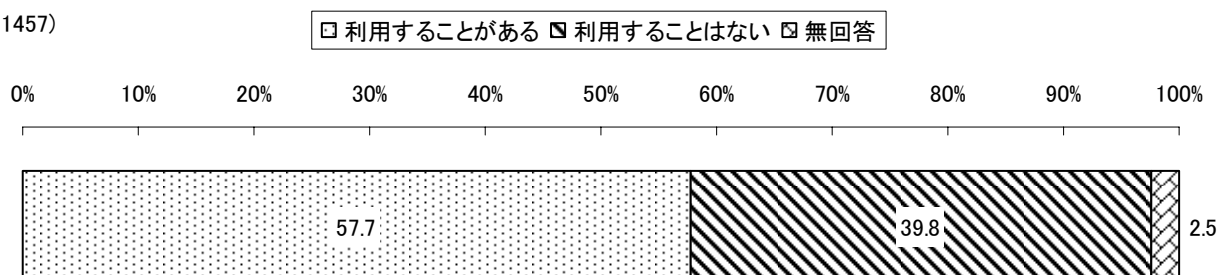


## (5) 日常の場面でのインターネット利用状況

11-1 あなたは、家、学校・職場、外出先などの日常の場面でインターネットを利用することがありますか。【一つだけ選んでください。】

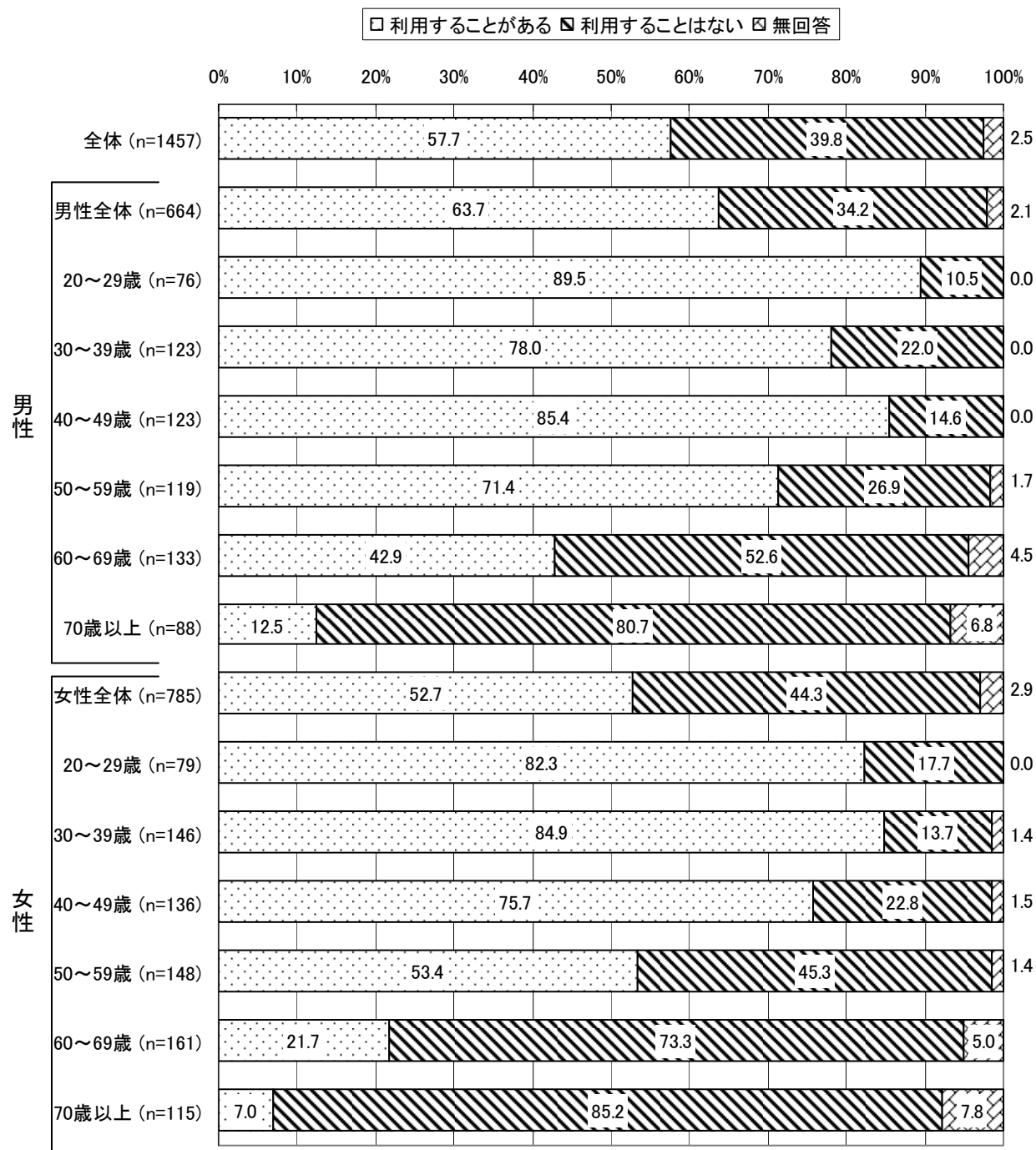
日常の場面でのインターネット利用状況を聞いた結果は、「利用することがある」(57.7%)、「利用することはない」(39.8%)であった。

(n=1457)



## 【性別・年齢別】日常の場面でのインターネット利用状況

性別・年齢別にみると、男性では50歳代以下で、女性では40歳代以下で「利用することがある」の比率が70%を超えているが、男性では60歳代以上から、女性では50歳代以上から「利用することがある」の比率が加齢とともに急に低下している。

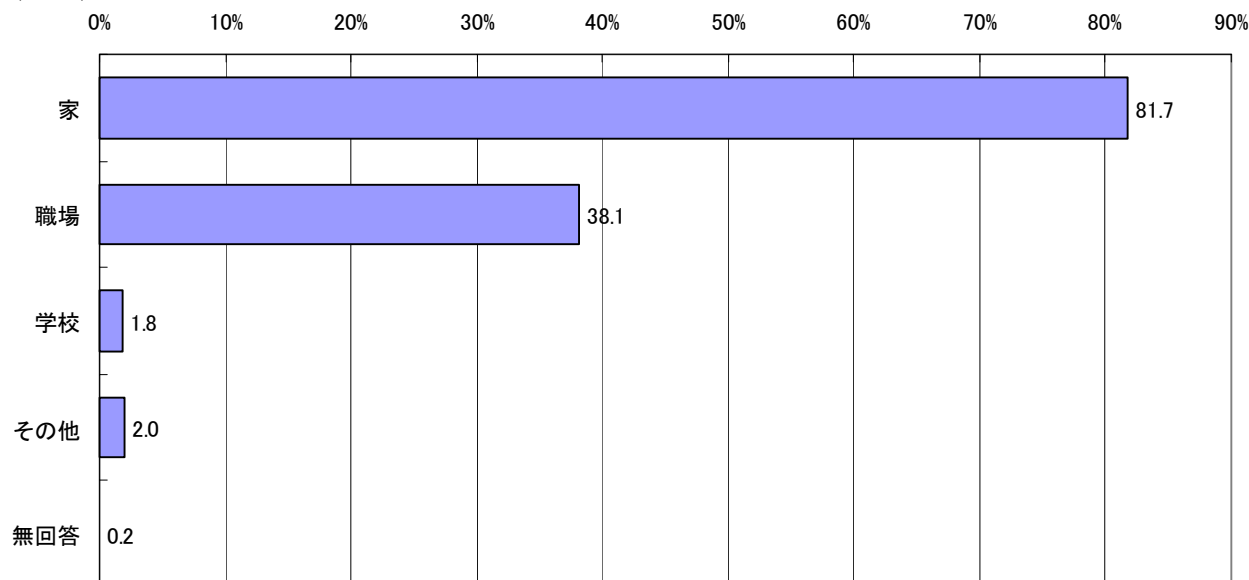


## (6) インターネットの主な利用場所

11-2 設問11-1で「1. 利用することがある」とお答えのかたにお伺いします。インターネットの主な利用場所はどこですか。あてはまるものすべてを選んでください。

インターネットの主な利用場所を聞いた結果最も多かったのは、「家」(81.7%)であった。次いで、「職場」(38.1%)、「その他」(2.0%)、「学校」(1.8%)が続く。

(n=840)



### 【性別・年齢別】インターネットの主な利用場所

性別・年齢別にみると、男性の40歳代、50歳代で「家」と「職場」の比率がともに60%台で拮抗しているが、その他の性別・年齢別では「家」でインターネットを利用している比率がほぼ80%かそれ以上となっている。

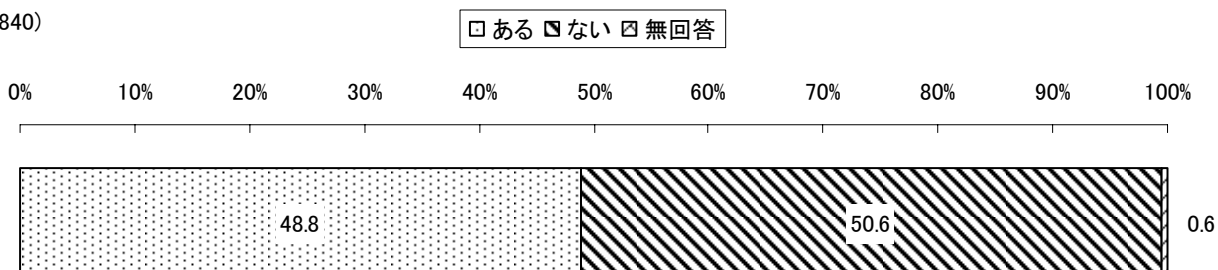
|        |        | %   | 全体<br>(実数) | 家    | 職場   | 学校   | その他 | 無回答 |
|--------|--------|-----|------------|------|------|------|-----|-----|
| 全体     |        |     | 840        | 81.7 | 38.1 | 1.8  | 2.0 | 0.2 |
| 性別・年齢  | 男性全体   |     | 423        | 74.2 | 55.1 | 2.1  | 2.6 | 0.5 |
|        | 20～29歳 |     | 68         | 79.4 | 36.8 | 13.2 | 1.5 | -   |
|        | 30～39歳 |     | 96         | 80.2 | 62.5 | -    | 5.2 | -   |
|        | 40～49歳 |     | 105        | 67.6 | 66.7 | -    | 1.9 | 1.0 |
|        | 50～59歳 |     | 85         | 60.0 | 68.2 | -    | 1.2 | -   |
|        | 60～69歳 |     | 57         | 87.7 | 31.6 | -    | 3.5 | -   |
|        | 70歳以上  |     | 11         | 90.9 | 9.1  | -    | -   | 9.1 |
|        | 女性全体   |     | 414        | 89.4 | 20.8 | 1.4  | 1.4 | -   |
| 20～29歳 |        | 65  | 83.1       | 26.2 | 7.7  | 3.1  | -   |     |
| 30～39歳 |        | 124 | 92.7       | 21.0 | -    | 0.8  | -   |     |
| 40～49歳 |        | 103 | 89.3       | 20.4 | -    | -    | -   |     |
| 50～59歳 |        | 79  | 87.3       | 26.6 | -    | -    | -   |     |
| 60～69歳 |        | 35  | 91.4       | 2.9  | 2.9  | 8.6  | -   |     |
| 70歳以上  |        | 8   | 100.0      | -    | -    | -    | -   |     |

## (7) 座間市のホームページの閲覧経験

11-3 設問11-1で「1. 利用することがある」とお答えの方にお伺いします。座間市のホームページを閲覧したことがありますか。【一つだけ選んでください。】

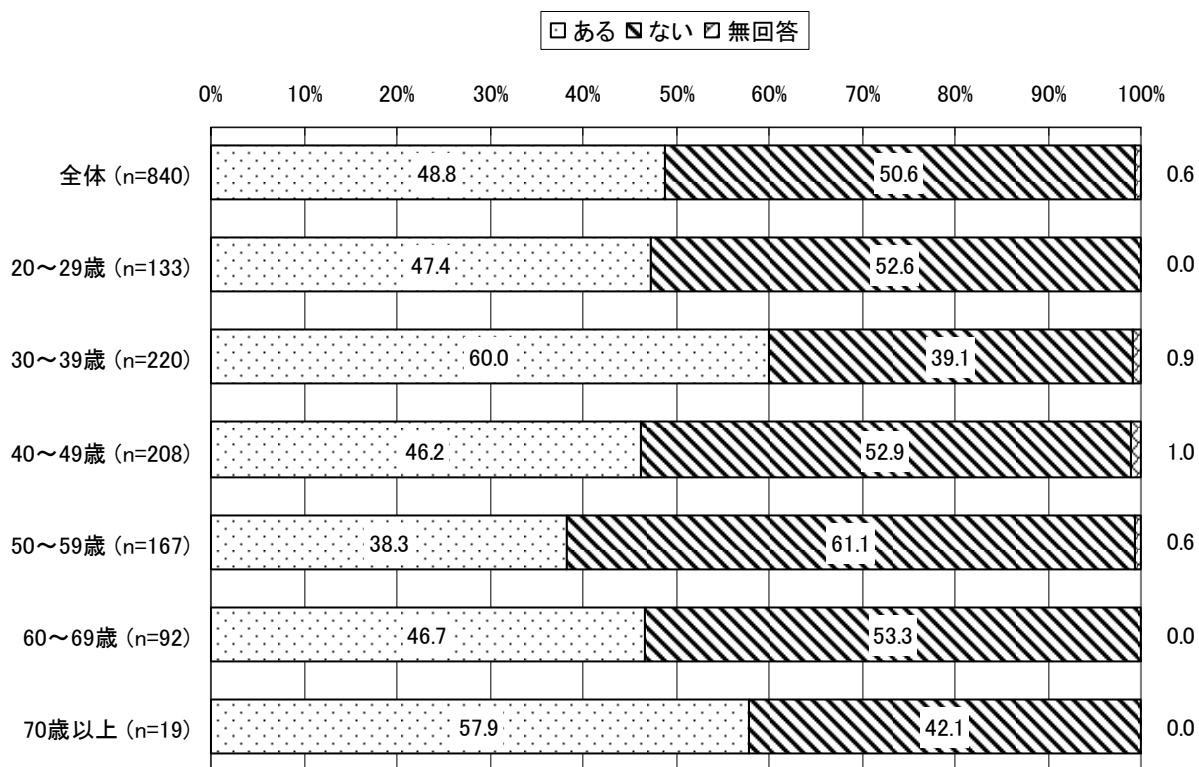
座間市のホームページの閲覧経験を聞いた結果は、「ある」(48.8%)、「ない」(50.6%)であった。

(n=840)



### 【年齢別】座間市のホームページの閲覧経験

年齢別にみると、閲覧経験が「ある」と回答した比率は30歳代、70歳以上で高く、50歳代で低かった。



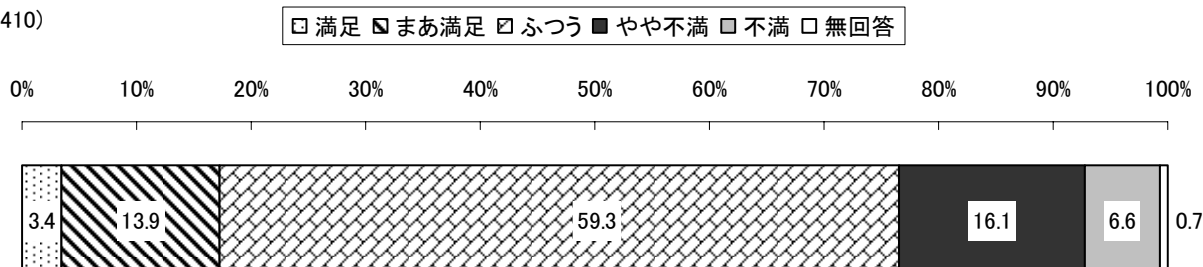


### (8) 座間市のホームページの満足度

11-4 設問11-3で「1. ある」とお答えの方にお伺いします。現在のホームページに満足していますか。【一つだけ選んでください。】

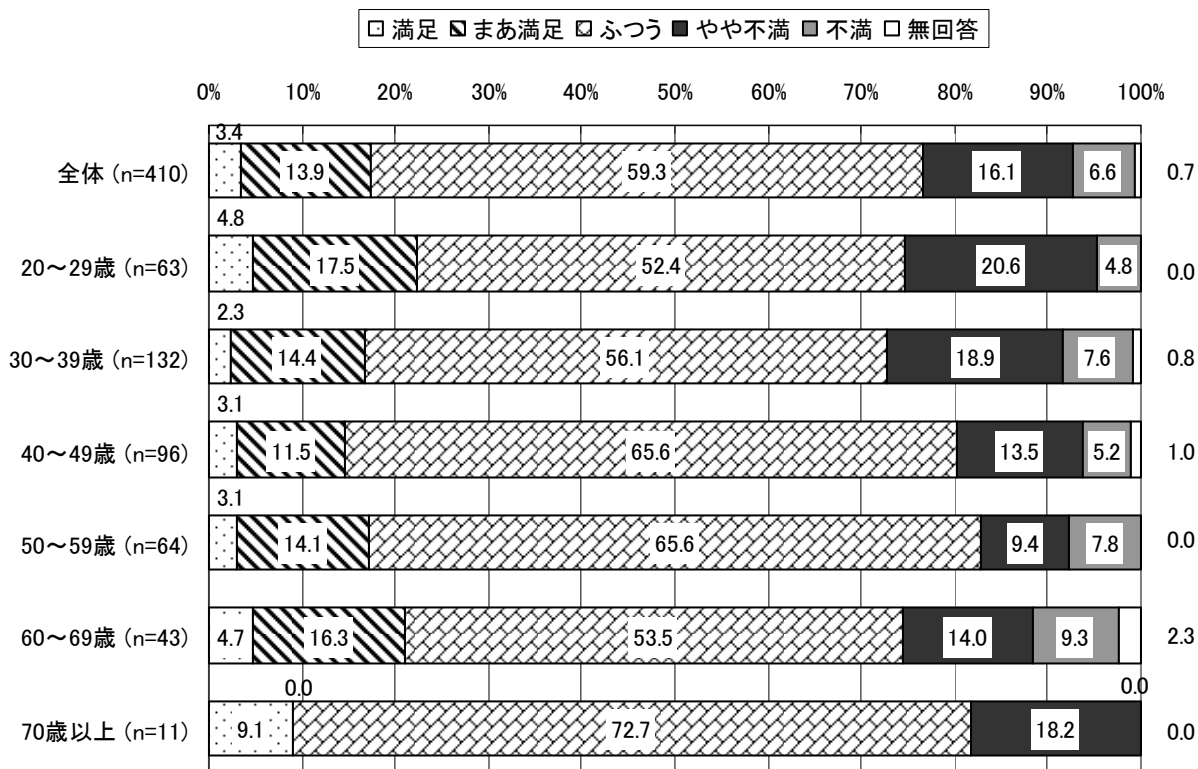
座間市のホームページの満足度を聞いた結果最も多かったのは、「ふつう」(59.3%)であった。次いで、「やや不満」(16.1%)、「まあ満足」(13.9%)、「不満」(6.6%)、「満足」(3.4%)が続く。「満足」と「まあ満足」を合わせた《座間市のホームページの満足度》は、17.3%であった。また、「満足」+「まあ満足」-「やや不満」-「不満」は-5.4ポイントとなった。

(n=410)



### 【年齢別】座間市のホームページの満足度

年齢別にみると、どの年代においても「ふつう」が過半数となっており、一定の評価を得ているが、「満足」+「まあ満足」-「やや不満」-「不満」は50歳代で±0ポイントだった以外すべての年代でマイナスであった。

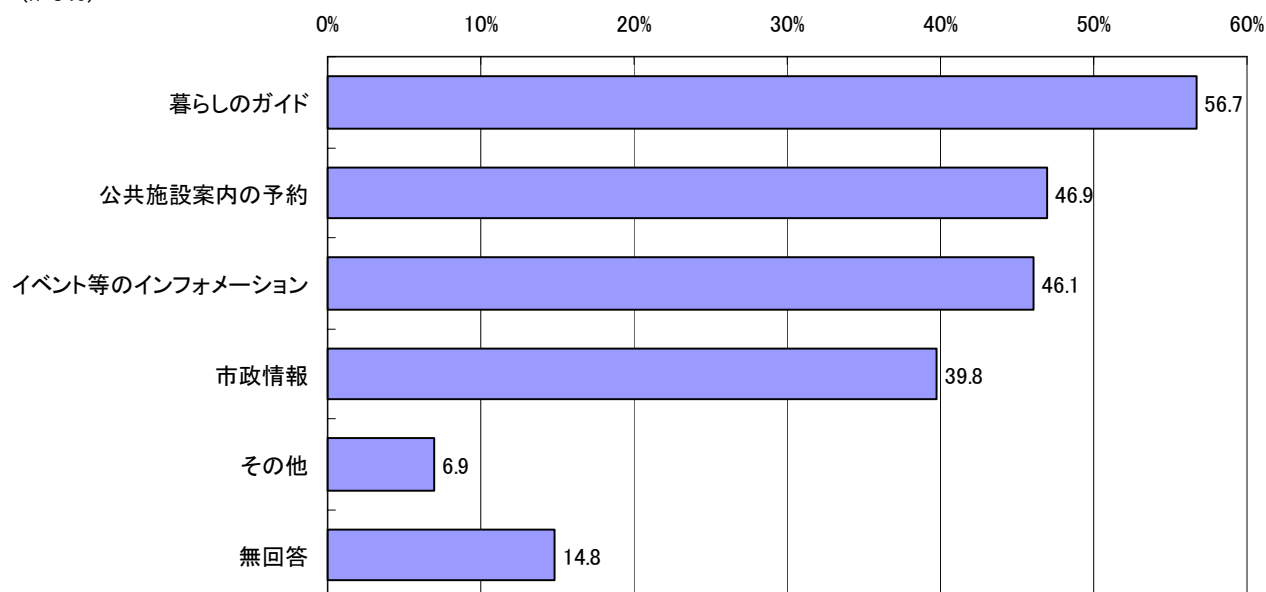


### (9) 座間市のホームページで充実を図るべき内容

11-5 設問11-1で「1. 利用することがある」とお答えの方にお伺いします。今後、座間市のホームページは、どのような内容について充実を図るべきとお考えですか。3つまで選んでください。

座間市のホームページで充実を図るべき内容を聞いた結果最も多かったのは、「暮らしのガイド」(56.7%)であった。次いで、「公共施設案内の予約」(46.9%)、「イベント等のインフォメーション」(46.1%)、「市政情報」(39.8%)、「その他」(6.9%)が続く。

(n=840)



## 【性別・年齢別】座間市のホームページで充実を図るべき内容

性別・年齢別にみると、「暮らしのガイド」は男性の70歳以上で高かった。「公共施設案内の予約」は男性の50歳代、60歳代、女性の30歳代～50歳代で50%を割り込んでいる。「イベント等のインフォメーション」は男性の60歳代以上、女性の30歳代、50歳代、70歳以上で50%以上であった。「市政情報」は男性、女性とも加齢とともに比率が増加する傾向がみられる。

|           |    | 全体<br>(実数) | 暮らしの<br>ガイド | 市政<br>情報 | 公共<br>施設<br>案内<br>の<br>予<br>約 | メ<br>ー<br>シ<br>ョ<br>ン<br>等<br>の<br>イ<br>ン<br>フ<br>ォ | そ<br>の<br>他 | 無<br>回<br>答 |      |
|-----------|----|------------|-------------|----------|-------------------------------|---|-------------|-------------|------|
| %         |    |            |             |          |                               |   |             |             |      |
| 全体        |    | 840        | 56.7        | 39.8     | 46.9                          | 46.1  | 6.9         | 14.8        |      |
| 性別・<br>年齢 | 男性 | 男性全体       | 423         | 55.8     | 43.3                          | 47.8  | 42.8        | 7.1         | 13.5 |
|           |    | 20～29歳     | 68          | 48.5     | 30.9                          | 51.5  | 41.2        | 7.4         | 16.2 |
|           |    | 30～39歳     | 96          | 54.2     | 40.6                          | 51.0  | 46.9        | 13.5        | 8.3  |
|           |    | 40～49歳     | 105         | 63.8     | 43.8                          | 52.4  | 37.1        | 5.7         | 10.5 |
|           |    | 50～59歳     | 85          | 44.7     | 47.1                          | 42.4  | 36.5        | 2.4         | 22.4 |
|           |    | 60～69歳     | 57          | 61.4     | 50.9                          | 35.1  | 54.4        | 7.0         | 14.0 |
|           |    | 70歳以上      | 11          | 90.9     | 63.6                          | 54.5  | 63.6        | -           | -    |
|           |    | 女性全体       | 414         | 58.0     | 36.2                          | 46.4  | 49.8        | 6.8         | 15.7 |
|           | 女性 | 20～29歳     | 65          | 52.3     | 33.8                          | 50.8  | 43.1        | 13.8        | 16.9 |
|           |    | 30～39歳     | 124         | 66.1     | 26.6                          | 47.6  | 59.7        | 8.9         | 12.9 |
|           |    | 40～49歳     | 103         | 52.4     | 39.8                          | 41.7  | 46.6        | 3.9         | 19.4 |
|           |    | 50～59歳     | 79          | 58.2     | 43.0                          | 43.0  | 50.6        | 3.8         | 15.2 |
|           |    | 60～69歳     | 35          | 60.0     | 45.7                          | 51.4  | 34.3        | 2.9         | 17.1 |
|           |    | 70歳以上      | 8           | 37.5     | 50.0                          | 62.5  | 50.0        | -           | -    |

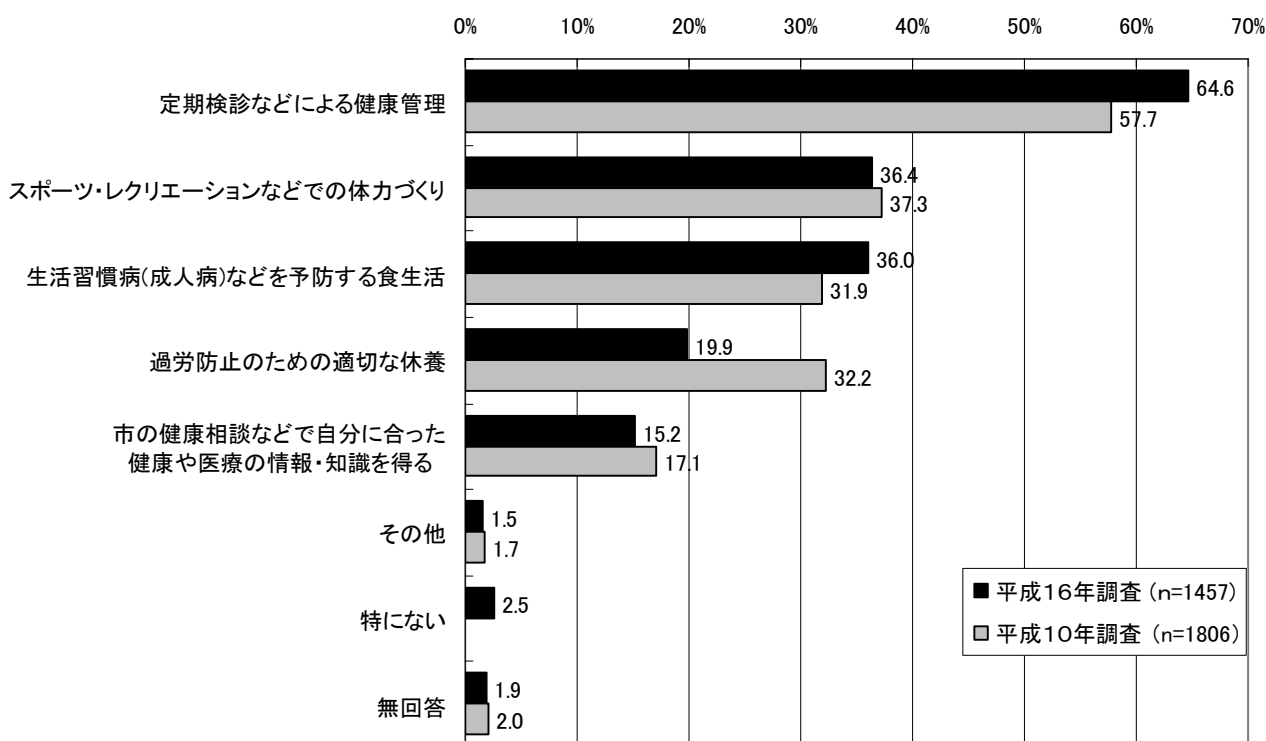
## 5 健康づくりについて

### (1) 健康づくりのために重要だと思うこと

12 あなたは、ご自身の健康づくりのために今後どのようなことが重要だとお考えですか。  
2つまで選んでください。

健康づくりのために重要だと思うことを聞いた結果最も多かったのは、「定期検診などによる健康管理」(64.6%)であった。次いで、「スポーツ・レクリエーションなどでの体力づくり」(36.4%)、「生活習慣病(成人病)などを予防する食生活」(36.0%)、「過労防止のための適切な休養」(19.9%)、「市の健康相談などで自分に合った健康や医療の情報・知識を得る」(15.2%)が続く。

過去の調査(平成10年調査)と比較すると、「過労防止のための適切な休養」の比率が大きく減少し、「定期検診などによる健康管理」、「生活習慣病(成人病)などを予防する食生活」は微増している。



## 【年齢別】健康づくりのために重要だと思うこと

年齢別にみると、「定期検診などによる健康管理」は、加齢にともなって比率が増加する傾向にあり、30歳代以上では6割を超えている。反対に「スポーツ・レクリエーションなどでの体力づくり」、「過労防止のための適切な休養」は20歳代で最も高く、加齢にともなって比率が減少している。「生活習慣病(成人病)などを予防する食生活」、「市の健康相談などで自分に合った健康や医療の情報・知識を得る」は、30歳代を底に加齢とともに比率は増加する傾向がみられる。

| %  |        | 全体<br>(実数) | 定期検診などによる健康管理 | 市の健康相談などによる医療情報・知識を得る | 生活習慣病(成人病)を予防する食生活 | スポーツ・レクリエーションなどでの体力づくり | 過労防止のための適切な休養 | その他 | 特になし | 無回答 |
|----|--------|------------|---------------|-----------------------|--------------------|------------------------|---------------|-----|------|-----|
| 全体 |        | 1457       | 64.6          | 15.2                  | 36.0               | 36.4                   | 19.9          | 1.5 | 2.5  | 1.9 |
| 年齢 | 20～29歳 | 155        | 47.7          | 11.0                  | 35.5               | 48.4                   | 29.0          | 2.6 | 4.5  | -   |
|    | 30～39歳 | 269        | 62.8          | 8.9                   | 33.5               | 41.3                   | 26.4          | 1.1 | 3.3  | 0.4 |
|    | 40～49歳 | 260        | 65.0          | 11.9                  | 35.0               | 40.0                   | 23.8          | 0.4 | 1.9  | 0.8 |
|    | 50～59歳 | 270        | 65.9          | 16.7                  | 36.7               | 39.6                   | 20.0          | 1.5 | 0.7  | 1.5 |
|    | 60～69歳 | 295        | 71.9          | 19.0                  | 36.3               | 35.6                   | 12.2          | 1.7 | 2.0  | 2.4 |
|    | 70歳以上  | 205        | 67.3          | 23.9                  | 40.0               | 13.2                   | 10.2          | 2.4 | 3.9  | 6.3 |

## 6 高齢化社会について

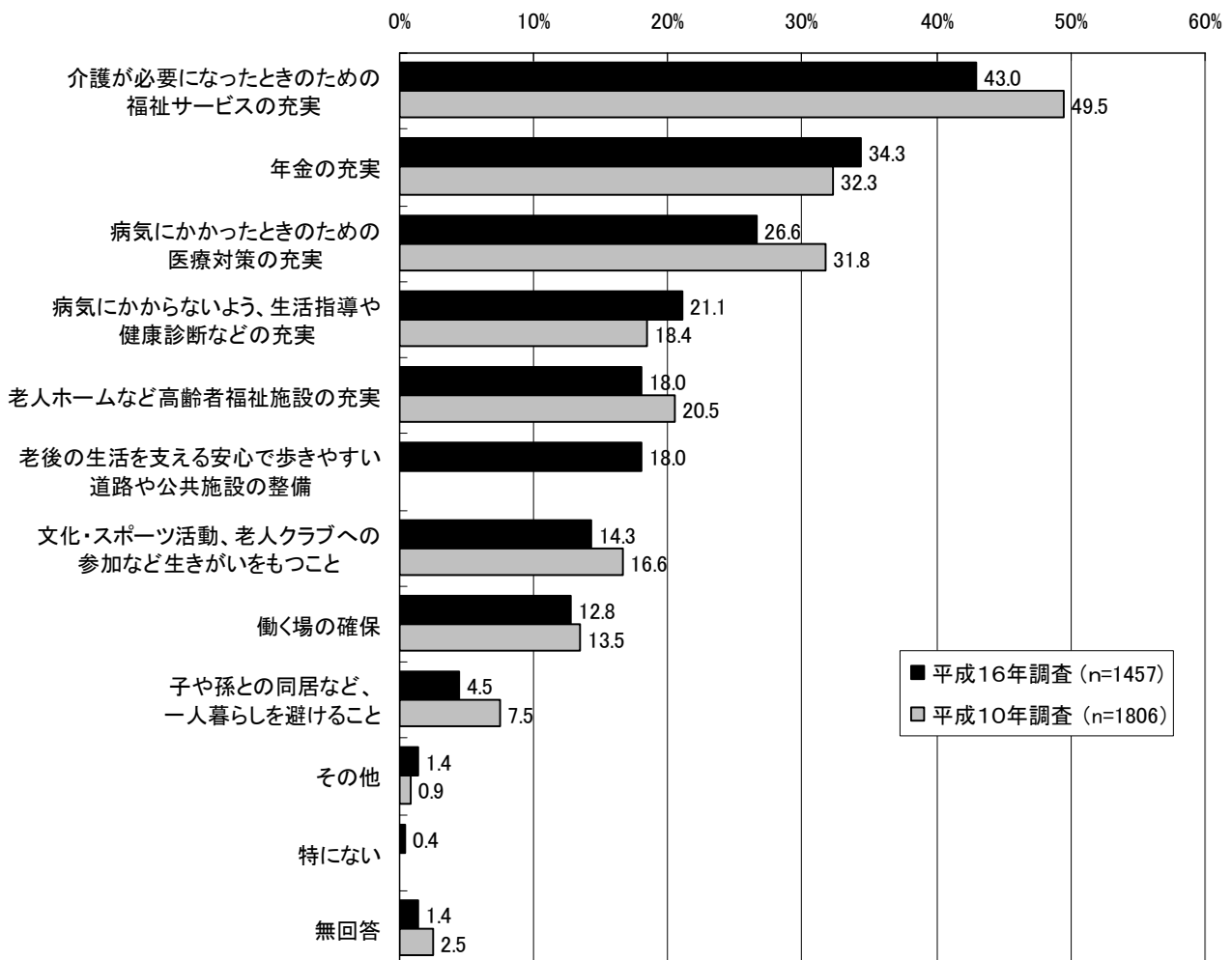
### (1) 高齢者が安心して暮らしていくために大切なこと

13 あなたは、高齢者が安心して暮らしていくには、今後どのようなことが大切だとお考えですか。現在、高齢でない方は、ご自身が高齢になったときを考えてお答えください。2つまで選んでください。

高齢者が安心して暮らしていくために大切なことを聞いた結果最も多かったのは、「介護が必要になったときのための福祉サービスの充実」(43.0%)であった。次いで、「年金の充実」(34.3%)、「病気にかかったときのための医療対策の充実」(26.6%)、「病気にかからないよう、生活指導や健康診断などの充実」(21.1%)が続く。

過去の調査(平成10年調査)と比較すると、「年金の充実」、「病気にかからないよう、生活指導や健康診断などの充実」の2項目が増加していることが目立つ。

※ この質問は、回答数に制限があり、今回の調査(平成16年調査)では「老後の生活を支える安心で歩きやすい道路や公共施設の整備」と「特にない」の2項目が追加されているため、全体的には過去の調査(平成10年調査)より比率が下がる傾向がみられる。



## 【性別・年齢別】高齢者が安心して暮らしていくために大切なこと

性別・年齢別にみると、全体で1位だった「介護が必要になったときのための福祉サービスの充実」は、男女とも50歳代で比率が高いことが目立つが、その他に大きな年齢差はみられなかった。どの年代においても女性の比率が男性の比率よりも高くなっている。

全体で2位だった「年金の充実」は、男性では40歳代をピークに高く、山形の分布をしている。女性では50歳未満で36%前後のほぼ一定の比率であるが、60歳代以上では比率が10ポイント近く減少している。

全体で3位だった「病気にかかったときのための医療対策の充実」は、男性では50歳代、女性では60歳代以上で比較的高い比率となっているが、年代による大きな差はみられない。

全体で4位だった「病気にかからないよう、生活指導や健康診断などの充実」は、男性では60歳代以上、女性では60歳代が高い。

(その1)

|           |    | 全体<br>(実数) | 病気がか<br>つたとき<br>の医療対<br>策の充<br>実 | 介護が必<br>要になっ<br>たとき<br>の福祉<br>サービスの<br>充実 | 働く場<br>の確保 | 年金の<br>充実 | 文化・ス<br>ポーツ活<br>動、老<br>人クラブ<br>への参<br>加など<br>の充実 | 子ども<br>や孫と<br>の同居<br>を避け<br>ること | 老人ホ<br>ームな<br>どの高<br>齢者福<br>祉施設<br>の充実 | 安楽な<br>生活の<br>支え<br>となる<br>施設<br>の整備 |      |
|-----------|----|------------|----------------------------------|---|------------|-----------|--|---------------------------------|--|--------------------------------------|------|
| 全体        |    | 1457       | 21.1                             | 26.6                                      | 43.0       | 12.8      | 34.3   | 14.3                            | 4.5                                    | 18.0                                 |      |
| 性別・<br>年齢 | 男性 | 男性全体       | 664                              | 23.3                                      | 26.1       | 38.1      | 15.7   | 36.4                            | 15.8                                   | 4.8                                  | 13.4 |
|           |    | 20～29歳     | 76                               | 14.5                                      | 25.0       | 38.2      | 17.1   | 32.9                            | 23.7                                   | 7.9                                  | 14.5 |
|           |    | 30～39歳     | 123                              | 19.5                                      | 24.4       | 38.2      | 25.2   | 35.0                            | 17.1                                   | 5.7                                  | 17.9 |
|           |    | 40～49歳     | 123                              | 16.3                                      | 23.6       | 32.5      | 23.6   | 43.1                            | 13.0                                   | 5.7                                  | 9.8  |
|           |    | 50～59歳     | 119                              | 18.5                                      | 36.1       | 46.2      | 14.3   | 35.3                            | 13.4                                   | 4.2                                  | 16.0 |
|           |    | 60～69歳     | 133                              | 35.3                                      | 22.6       | 35.3      | 9.0  | 38.3                            | 18.8                                   | 2.3                                  | 12.0 |
|           |    | 70歳以上      | 88                               | 35.2                                      | 25.0       | 38.6      | 2.3  | 30.7                            | 10.2                                   | 4.5                                  | 25.0 |
|           | 女性 | 女性全体       | 785                              | 19.2                                      | 27.1       | 47.3      | 10.4   | 32.6                            | 13.1                                   | 3.9                                  | 21.8 |
|           |    | 20～29歳     | 79                               | 13.9                                      | 21.5       | 46.8      | 11.4   | 35.4                            | 19.0                                   | 6.3                                  | 19.0 |
|           |    | 30～39歳     | 146                              | 13.0                                      | 27.4       | 41.1      | 15.8   | 36.3                            | 19.9                                   | 3.4                                  | 15.8 |
|           |    | 40～49歳     | 136                              | 13.2                                      | 25.7       | 47.1      | 12.5   | 36.0                            | 16.9                                   | 0.7                                  | 24.3 |
|           |    | 50～59歳     | 148                              | 20.3                                      | 24.3       | 54.7      | 16.2   | 35.8                            | 10.1                                   | 2.0                                  | 20.3 |
|           |    | 60～69歳     | 161                              | 29.8                                      | 29.8       | 46.0      | 4.3  | 26.1                            | 8.1                                    | 3.7                                  | 26.7 |
|           |    | 70歳以上      | 115                              | 21.7                                      | 32.2       | 47.8      | 1.7  | 27.0                            | 7.0                                    | 9.6                                  | 23.5 |

(その2)

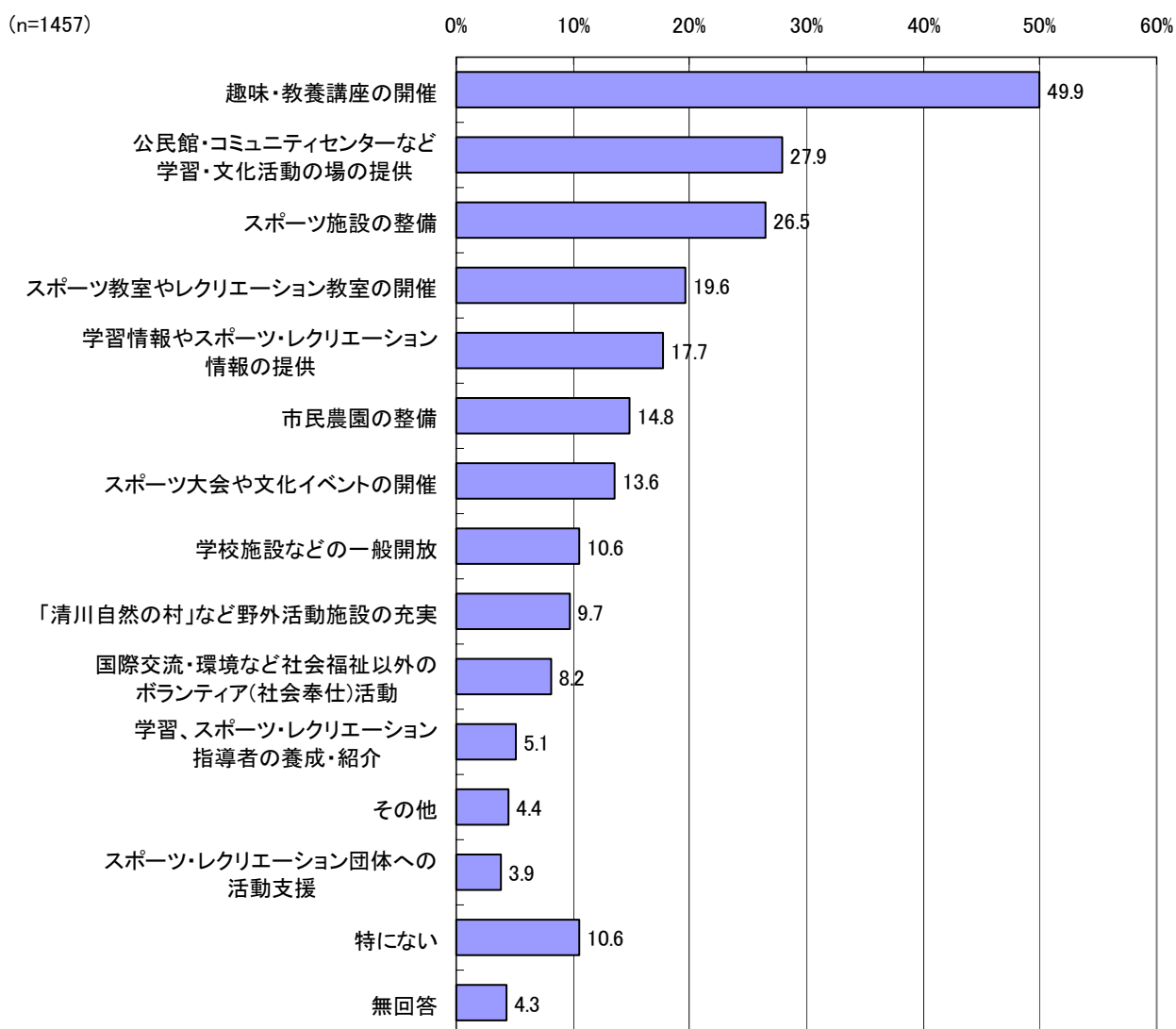
|           |    | 全体<br>(実数) | その他 | 特<br>に<br>な<br>い | 無<br>回<br>答 |     |
|-----------|----|------------|-----|------------------|-------------|-----|
| 全体        |    | 1457       | 1.4 | 0.4              | 1.4         |     |
| 性別・<br>年齢 | 男性 | 男性全体       | 664 | 2.0              | 0.5         | 1.4 |
|           |    | 20～29歳     | 76  | -                | 2.6         | -   |
|           |    | 30～39歳     | 123 | 5.7              | -           | -   |
|           |    | 40～49歳     | 123 | 2.4              | -           | 1.6 |
|           |    | 50～59歳     | 119 | 0.8              | -           | 1.7 |
|           |    | 60～69歳     | 133 | 0.8              | -           | 2.3 |
|           |    | 70歳以上      | 88  | 1.1              | 1.1         | 2.3 |
|           | 女性 | 女性全体       | 785 | 0.9              | 0.4         | 1.4 |
|           |    | 20～29歳     | 79  | 1.3              | 2.5         | -   |
|           |    | 30～39歳     | 146 | 2.1              | -           | 0.7 |
|           |    | 40～49歳     | 136 | 1.5              | -           | 1.5 |
|           |    | 50～59歳     | 148 | -                | -           | 1.4 |
|           |    | 60～69歳     | 161 | 0.6              | -           | 1.9 |
|           |    | 70歳以上      | 115 | -                | 0.9         | 2.6 |

## 7 自由時間(余暇)について

### (1) 自由時間(余暇)を過ごすために必要な施策・施設

14 今後、あなたが自由時間を過ごすために、どのような施策・施設が必要だとお考えですか。3つまで選んでください。

自由時間(余暇)を過ごすために必要な施策・施設を聞いた結果最も多かったのは、「趣味・教養講座の開催」(49.9%)であった。次いで、「公民館・コミュニティセンターなど学習・文化活動の場の提供」(27.9%)、「スポーツ施設の整備」(26.5%)、「スポーツ教室やレクリエーション教室の開催」(19.6%)、「学習情報やスポーツ・レクリエーション情報の提供」(17.7%)が続く。





【性別・年齢別】自由時間(余暇)を過ごすために必要な施策・施設

性別・年齢別にみると、全体で1位であった「趣味・教養講座の開催」は、男性の50歳代、60歳代、女性の70歳以上を除く全年代で50%を超える高い比率を示している。全体で2位であった「公民館・コミュニティセンターなど学習・文化活動の場の提供」は、男性では60歳代以上、女性では50歳代、60歳代で比較的高い。全体で3位であった「スポーツ施設の整備」は、男性では40歳代をピークに若い層で比率が高く、女性では加齢とともに比率が低くなる傾向がみられる。

(その1)

| %     |        | 全体(実数) | スポーツ大会や文化イベントの開催 | スポーツ施設の整備 | 公民館・コミュニティセンターなど学習・文化活動の場の提供 | 学校施設などの一般開放 | 学習情報やスポーツ・レクリエーション情報の提供 | 学習・スポーツ・レクリエーション指導者の養成・紹介 | 学習・スポーツ教室やレクリエーション教室の開催 | 趣味・教養講座の開催 | スポーツ・レクリエーション団体への活動支援 |     |
|-------|--------|--------|------------------|-----------|------------------------------|-------------|-------------------------|---------------------------|-------------------------|------------|-----------------------|-----|
| 全体    |        | 1457   | 13.6             | 26.5      | 27.9                         | 10.6        | 17.7                    | 5.1                       | 19.6                    | 49.9       | 3.9                   |     |
| 性別・年齢 | 男性     | 男性全体   | 664              | 17.0      | 32.2                         | 22.4        | 12.7                    | 18.4                      | 5.6                     | 16.9       | 43.2                  | 5.7 |
|       |        | 20～29歳 | 76               | 22.4      | 36.8                         | 13.2        | 18.4                    | 15.8                      | 1.3                     | 14.5       | 31.6                  | 7.9 |
|       |        | 30～39歳 | 123              | 19.5      | 39.0                         | 21.1        | 17.9                    | 17.1                      | 5.7                     | 14.6       | 32.5                  | 4.9 |
|       |        | 40～49歳 | 123              | 17.1      | 43.1                         | 17.9        | 11.4                    | 18.7                      | 8.9                     | 17.9       | 43.9                  | 3.3 |
|       |        | 50～59歳 | 119              | 16.0      | 26.1                         | 22.7        | 11.8                    | 21.0                      | 2.5                     | 20.2       | 52.1                  | 5.9 |
|       |        | 60～69歳 | 133              | 15.8      | 31.6                         | 27.8        | 9.8                     | 23.3                      | 8.3                     | 18.8       | 54.9                  | 6.0 |
|       |        | 70歳以上  | 88               | 12.5      | 12.5                         | 30.7        | 8.0                     | 11.4                      | 4.5                     | 13.6       | 38.6                  | 8.0 |
| 女性    | 女性全体   | 785    | 10.7             | 21.8      | 32.7                         | 8.8         | 17.2                    | 4.8                       | 21.9                    | 55.5       | 2.4                   |     |
|       | 20～29歳 | 79     | 3.8              | 35.4      | 21.5                         | 17.7        | 12.7                    | 8.9                       | 31.6                    | 67.1       | -                     |     |
|       | 30～39歳 | 146    | 13.0             | 30.1      | 27.4                         | 8.2         | 16.4                    | 7.5                       | 30.1                    | 52.7       | -                     |     |
|       | 40～49歳 | 136    | 6.6              | 25.7      | 33.8                         | 7.4         | 25.0                    | 5.9                       | 22.1                    | 53.7       | 2.9                   |     |
|       | 50～59歳 | 148    | 10.1             | 20.3      | 38.5                         | 4.7         | 17.6                    | 1.4                       | 21.6                    | 63.5       | 6.1                   |     |
|       | 60～69歳 | 161    | 15.5             | 13.0      | 41.0                         | 11.2        | 19.9                    | 5.0                       | 17.4                    | 55.9       | 1.9                   |     |
|       | 70歳以上  | 115    | 11.3             | 11.3      | 27.0                         | 7.0         | 7.8                     | 1.7                       | 11.3                    | 42.6       | 2.6                   |     |

(その2)

| %     |        | 全体(実数) | ボランティア(社会奉仕)活動 | 国際交流・環境ボランティア(社会奉仕)活動 | 野外活動施設の充実 | 市民農園の整備 | その他  | 特になし | 無回答  |
|-------|--------|--------|----------------|-----------------------|-----------|---------|------|------|------|
| 全体    |        | 1457   | 8.2            | 9.7                   | 14.8      | 4.4     | 10.6 | 4.3  |      |
| 性別・年齢 | 男性     | 男性全体   | 664            | 6.8                   | 14.0      | 15.4    | 5.3  | 10.5 | 3.5  |
|       |        | 20～29歳 | 76             | 1.3                   | 18.4      | 6.6     | 7.9  | 14.5 | 3.9  |
|       |        | 30～39歳 | 123            | 5.7                   | 15.4      | 10.6    | 8.1  | 11.4 | 1.6  |
|       |        | 40～49歳 | 123            | 8.1                   | 15.4      | 14.6    | 4.9  | 9.8  | 0.8  |
|       |        | 50～59歳 | 119            | 8.4                   | 10.9      | 26.1    | 4.2  | 7.6  | 2.5  |
|       |        | 60～69歳 | 133            | 9.0                   | 14.3      | 18.8    | 2.3  | 7.5  | 2.3  |
|       |        | 70歳以上  | 88             | 5.7                   | 10.2      | 11.4    | 4.5  | 15.9 | 12.5 |
| 女性    | 女性全体   | 785    | 9.4            | 6.2                   | 14.4      | 3.7     | 10.6 | 5.0  |      |
|       | 20～29歳 | 79     | 8.9            | 6.3                   | 10.1      | 3.8     | 8.9  | -    |      |
|       | 30～39歳 | 146    | 11.0           | 8.9                   | 17.1      | 4.1     | 8.2  | 2.1  |      |
|       | 40～49歳 | 136    | 9.6            | 4.4                   | 16.2      | 2.9     | 8.8  | 2.9  |      |
|       | 50～59歳 | 148    | 12.8           | 5.4                   | 16.9      | 4.1     | 10.8 | 2.7  |      |
|       | 60～69歳 | 161    | 11.8           | 8.7                   | 13.7      | 3.1     | 6.8  | 5.6  |      |
|       | 70歳以上  | 115    | -              | 2.6                   | 9.6       | 4.3     | 21.7 | 16.5 |      |

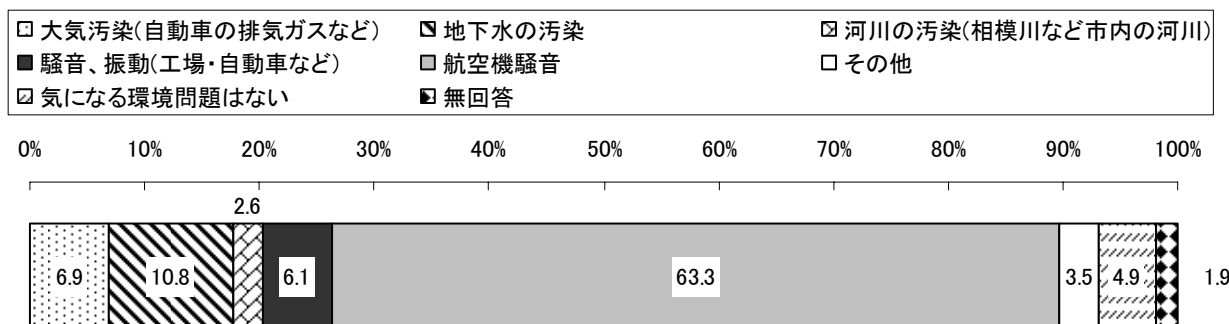
## 8 環境問題について

### (1) 一番気になる環境問題

15 座間市に住んでいて、一番気になる環境問題は何ですか。  
【一つだけ選んでください。】

一番気になる環境問題を聞いた結果最も多かったのは、「航空機騒音」(63.3%)であった。次いで、「地下水の汚染」(10.8%)、「大気汚染(自動車の排気ガスなど)」(6.9%)、「騒音、振動(工場・自動車など)」(6.1%)、「気になる環境問題はない」(4.9%)が続く。

(n=1457)



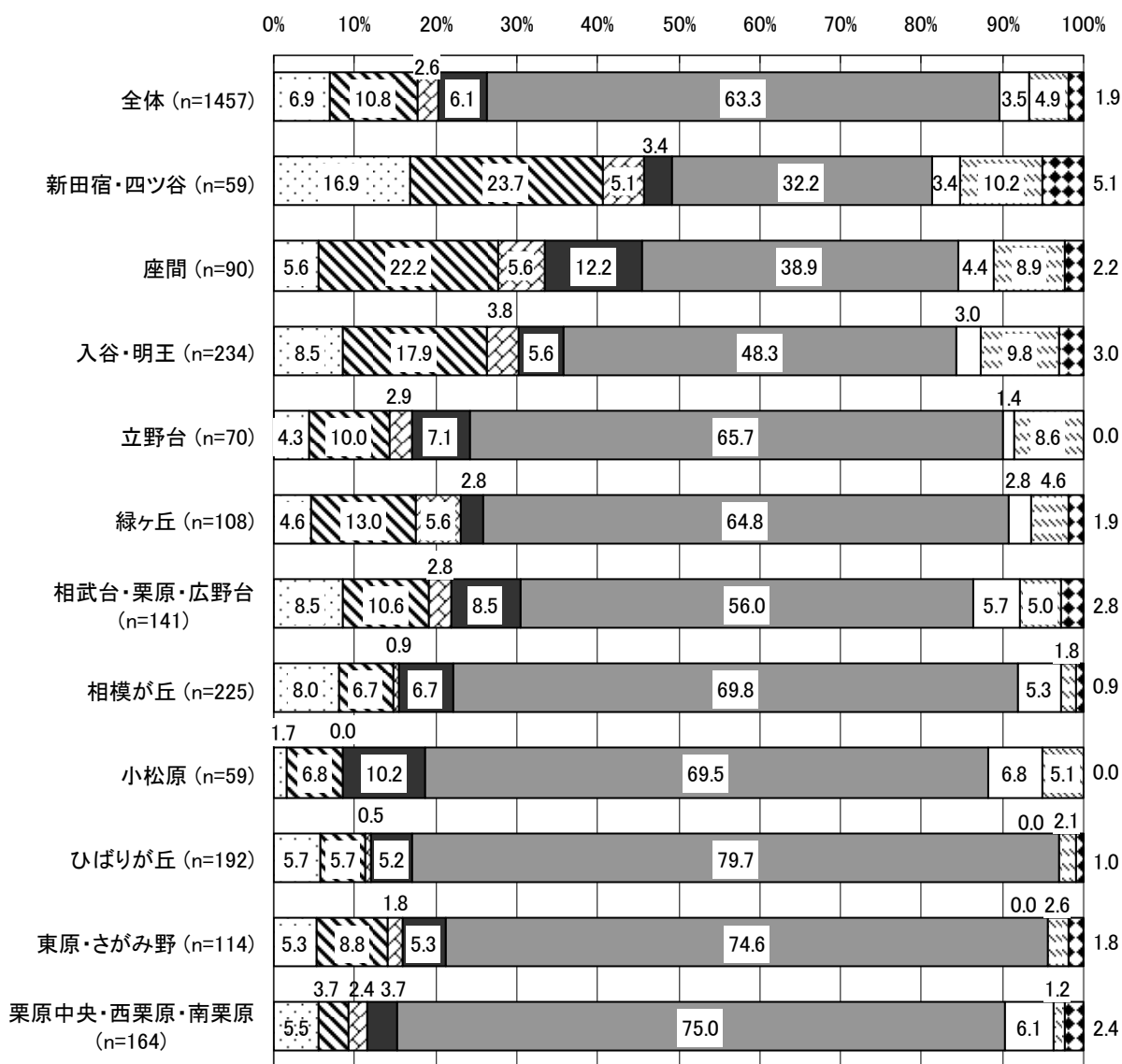
## 【住まいの地域別】一番気になる環境問題

住まいの地域別にみると、全体で1位だった「航空機騒音」は、すべての住まいの地域で1位で、ひばりが丘で最も高く、栗原中央・西栗原・南栗原、東原・さがみ野、相模が丘などでも高かった。一方、座間、入谷・明王では50%を割り、新田宿・四ツ谷で最も低かった。

全体で2位だった「地下水の汚染」は、新田宿・四ツ谷で最も高く、座間などでも高かった。一方、ひばりが丘、相模が丘、小松原などでは低く、栗原中央・西栗原・南栗原で最も低かった。

「気になる環境問題はない」は、新田宿・四ツ谷で最も高く、入谷・明王、座間などでも高かった。

|                    |                   |                     |
|--------------------|-------------------|---------------------|
| □ 大気汚染(自動車の排気ガスなど) | ■ 騒音、振動(工場・自動車など) | ▨ 河川の汚染(相模川など市内の河川) |
| ■ 地下水の汚染           | ■ 航空機騒音           | □ その他               |
| □ 気になる環境問題はない      | ■ 無回答             |                     |

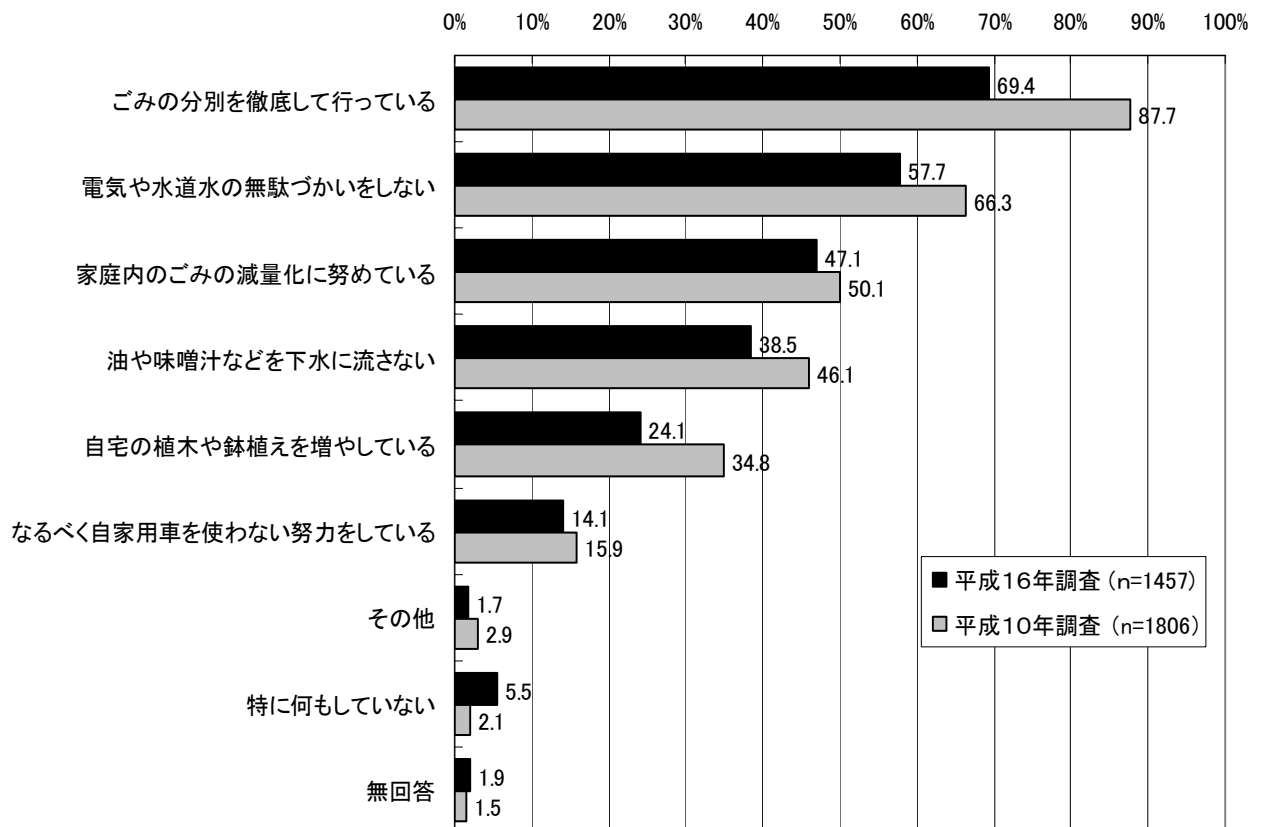


## (2) 環境のため日ごろから気を付けていること

**16-1** あなたは環境のために日ごろから気を付けて実行していることがありますか。あてはまるものをいくつか選んでください。

環境のため日ごろから気を付けていることを聞いた結果最も多かったのは、「ごみの分別を徹底して行っている」(69.4%)であった。次いで、「電気や水道水の無駄づかいをしない」(57.7%)、「家庭内のごみの減量化に努めている」(47.1%)、「油や味噌汁などを下水に流さない」(38.5%)、「自宅の植木や鉢植えを増やしている」(24.1%)が続く。

過去の調査(平成10年調査)と比較すると、「特に何もしていない」が増え、他のすべての項目で比率が低下している。



## 【性別・年齢別】環境のため日ごろから気を付けていること

性別・年齢別にみると、全体で1位であった「ごみの分別を徹底して行っている」は、男性では60歳代以上、女性では50歳代、60歳代で高い比率で、男性20歳代、女性30歳代を除いた層で1番高い比率を示している。男性20歳代で40%弱であったが、その他の層では50%を超えている。

全体で2位であった「電気や水道水の無駄づかいをしない」は、女性30歳代で最も高く、全体的に男性より女性の方が高い比率となっている。男性の20歳代～50歳代では支持率が比較的に低く、50%に達していない。

全体で3位であった「家庭内のごみの減量化に努めている」は、男女とも加齢にともなって比率の増加傾向がみられる。

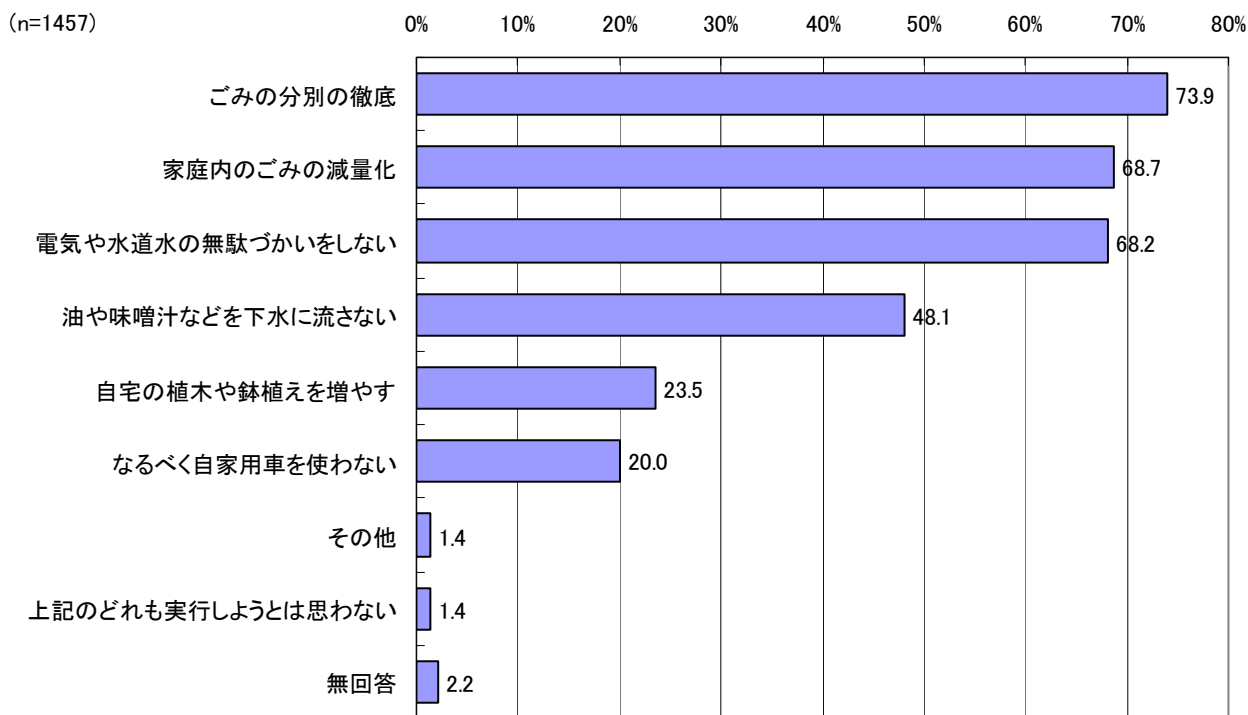
「特に何もしていない」は男女とも20歳代で最も高い比率となっており、特に男性20歳代は20%を超える高い比率となっていることが目立つ。

| %     |        | 全体<br>(実数) | 家庭内のごみの減量化に努めている | ごみの分別を徹底して行っている | なるべく自家用車を使わない努力をしている | 自宅の植木や鉢植えを増やしている | 電気や水道水の無駄づかいをしない | 油や味噌汁などを下水に流さない | その他 | 特に何もしていない | 無回答 |
|-------|--------|------------|------------------|-----------------|----------------------|------------------|------------------|-----------------|-----|-----------|-----|
| 全体    |        | 1457       | 47.1             | 69.4            | 14.1                 | 24.1             | 57.7             | 38.5            | 1.7 | 5.5       | 1.9 |
| 性別・年齢 | 男性全体   | 664        | 41.1             | 63.9            | 14.9                 | 22.1             | 51.1             | 27.9            | 1.2 | 8.4       | 1.7 |
|       | 20～29歳 | 76         | 15.8             | 39.5            | 7.9                  | 11.8             | 46.1             | 9.2             | -   | 21.1      | 5.3 |
|       | 30～39歳 | 123        | 31.7             | 55.3            | 9.8                  | 13.8             | 47.2             | 29.3            | 2.4 | 12.2      | 0.8 |
|       | 40～49歳 | 123        | 37.4             | 66.7            | 12.2                 | 18.7             | 46.3             | 17.9            | 0.8 | 6.5       | -   |
|       | 50～59歳 | 119        | 37.8             | 62.2            | 14.3                 | 26.9             | 47.1             | 26.9            | -   | 8.4       | 1.7 |
|       | 60～69歳 | 133        | 55.6             | 75.2            | 21.8                 | 28.6             | 56.4             | 39.1            | 2.3 | 3.0       | 1.5 |
|       | 70歳以上  | 88         | 64.8             | 79.5            | 22.7                 | 30.7             | 64.8             | 39.8            | 1.1 | 3.4       | 2.3 |
|       | 女性全体   | 785        | 52.2             | 74.3            | 13.4                 | 25.6             | 63.4             | 47.8            | 2.2 | 2.9       | 1.9 |
|       | 20～29歳 | 79         | 27.8             | 70.9            | 11.4                 | 16.5             | 57.0             | 25.3            | 1.3 | 6.3       | 1.3 |
|       | 30～39歳 | 146        | 37.7             | 69.2            | 10.3                 | 17.8             | 71.2             | 41.1            | 2.1 | 3.4       | 2.1 |
|       | 40～49歳 | 136        | 50.0             | 66.2            | 14.7                 | 15.4             | 61.0             | 47.1            | 1.5 | 2.9       | 2.2 |
|       | 50～59歳 | 148        | 56.8             | 81.8            | 14.9                 | 29.1             | 60.1             | 54.7            | 0.7 | 2.7       | 2.0 |
|       | 60～69歳 | 161        | 68.9             | 81.4            | 19.3                 | 41.6             | 64.6             | 60.9            | 3.7 | 0.6       | 1.2 |
|       | 70歳以上  | 115        | 60.9             | 73.0            | 7.0                  | 27.0             | 63.5             | 45.2            | 3.5 | 3.5       | 2.6 |

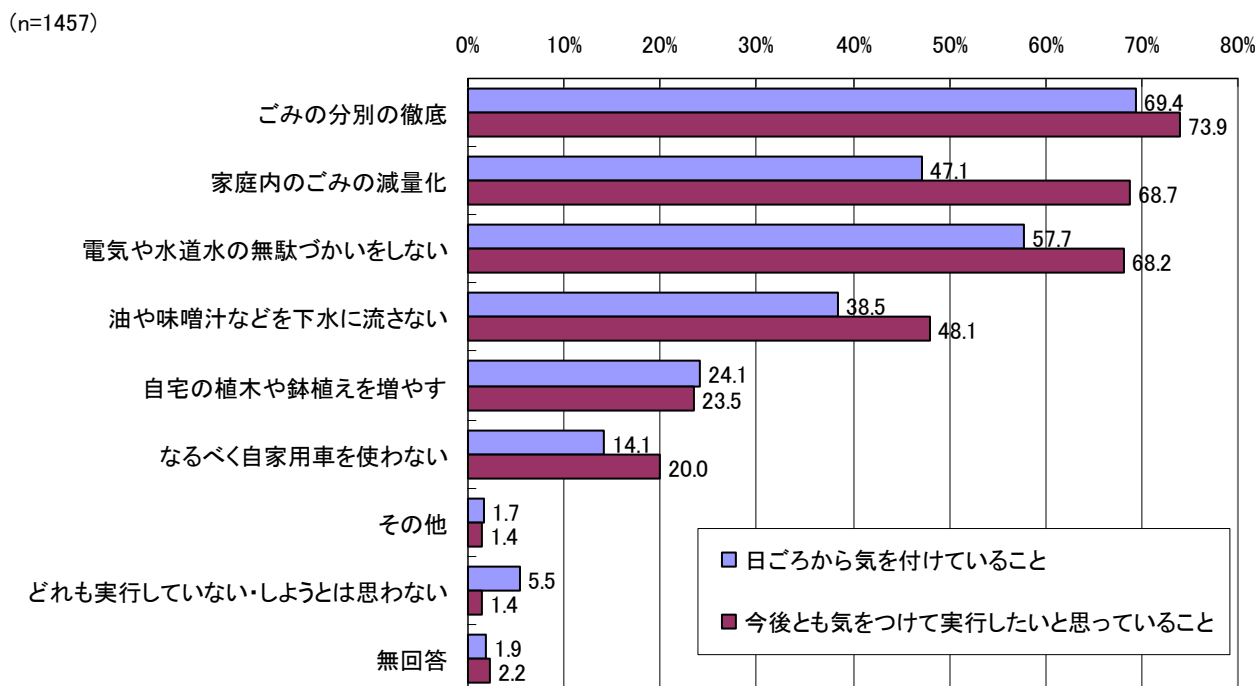
### (3) 環境のために今後とも気をつけて実行したいと思っていること

16-2 環境のために、今後または今後とも気をつけて実行したいと思っていることは何ですか。あてはまるものをいくつでも選んでください。

環境のために今後とも気をつけて実行したいと思っていることを聞いた結果最も多かったのは、「ごみの分別の徹底」(73.9%)であった。次いで、「家庭内のごみの減量化」(68.7%)、「電気や水道水の無駄づかいをしない」(68.2%)、「油や味噌汁などを下水に流さない」(48.1%)、「自宅の植木や鉢植えを増やす」(23.5%)が続く。



日ごろから気をつけていることと今後とも気をつけて実行したいと思っていることを比較すると、「自宅の植木や鉢植えを増やす」はほぼ同率であったが、それ以外では、今後とも気をつけて実行したいと思っていることの方が高い比率となっている。



## 【性別・年齢別】環境のために今後とも気をつけて実行したいと思っていること

性別・年齢別にみると、全体で1位であった「ごみの分別の徹底」は、男性50歳代、60歳代、女性30歳代、70歳以上以外で1位、特に、女性の50歳代、60歳代で高い比率となっている。

全体で2位であった「家庭内のごみの減量化」は男女とも加齢とともに比率の増加傾向がみられる。全体的に支持率は高いが、男性の20歳代、30歳代では比較的低く、60%を下回っている。

全体で3位であった「電気や水道水の無駄づかいをしない」は、男性60歳代、女性30歳代～60歳代で70%を超えた。反対に男性40歳代以下では60%程度かそれ未満の比率と比較的低い水準であった。

ほとんどの項目で男女とも若い層で環境を守るために何かに取り組む意識が低く、女性よりも男性の方が取り組む意識が低い。

|       |        | 全体<br>(実数) | 家庭内のごみの減量化 | ごみの分別の徹底 | なるべく自家用車を使わない | 自宅の植木や鉢植えを増やす | 電気や水道水の無駄づかいをしない | 油や味噌汁などを下水に流さない | その他 | 上記のどれも実行しようとは思わない | 無回答 |
|-------|--------|------------|------------|----------|---------------|---------------|------------------|-----------------|-----|-------------------|-----|
| 全体    |        | 1457       | 68.7       | 73.9     | 20.0          | 23.5          | 68.2             | 48.1            | 1.4 | 1.4               | 2.2 |
| 性別・年齢 | 男性全体   | 664        | 65.4       | 67.6     | 20.5          | 19.9          | 62.3             | 37.5            | 1.4 | 2.1               | 1.5 |
|       | 20～29歳 | 76         | 53.9       | 59.2     | 13.2          | 11.8          | 56.6             | 27.6            | 1.3 | 3.9               | 3.9 |
|       | 30～39歳 | 123        | 56.9       | 65.0     | 13.0          | 14.6          | 60.2             | 35.8            | 3.3 | 4.1               | 1.6 |
|       | 40～49歳 | 123        | 63.4       | 69.1     | 21.1          | 19.5          | 57.7             | 30.9            | 1.6 | 1.6               | -   |
|       | 50～59歳 | 119        | 68.1       | 62.2     | 20.2          | 15.1          | 63.0             | 34.5            | -   | 0.8               | 1.7 |
|       | 60～69歳 | 133        | 74.4       | 72.9     | 25.6          | 26.3          | 71.4             | 48.1            | 1.5 | 0.8               | -   |
|       | 70歳以上  | 88         | 73.9       | 76.1     | 28.4          | 31.8          | 62.5             | 45.5            | -   | 2.3               | 3.4 |
|       | 女性全体   | 785        | 71.8       | 79.6     | 19.5          | 26.4          | 73.4             | 57.2            | 1.5 | 0.6               | 2.7 |
|       | 20～29歳 | 79         | 64.6       | 74.7     | 11.4          | 15.2          | 64.6             | 39.2            | -   | 1.3               | 2.5 |
|       | 30～39歳 | 146        | 69.9       | 74.7     | 24.0          | 28.1          | 78.8             | 54.8            | 2.1 | 0.7               | 1.4 |
|       | 40～49歳 | 136        | 72.1       | 77.9     | 16.9          | 18.4          | 75.0             | 58.8            | 0.7 | -                 | 2.2 |
|       | 50～59歳 | 148        | 67.6       | 89.9     | 20.9          | 29.7          | 73.0             | 62.2            | 0.7 | 0.7               | 2.7 |
|       | 60～69歳 | 161        | 79.5       | 85.1     | 26.7          | 36.0          | 77.0             | 68.3            | 2.5 | -                 | 1.9 |
|       | 70歳以上  | 115        | 73.9       | 70.4     | 10.4          | 23.5          | 66.1             | 48.7            | 2.6 | 1.7               | 6.1 |

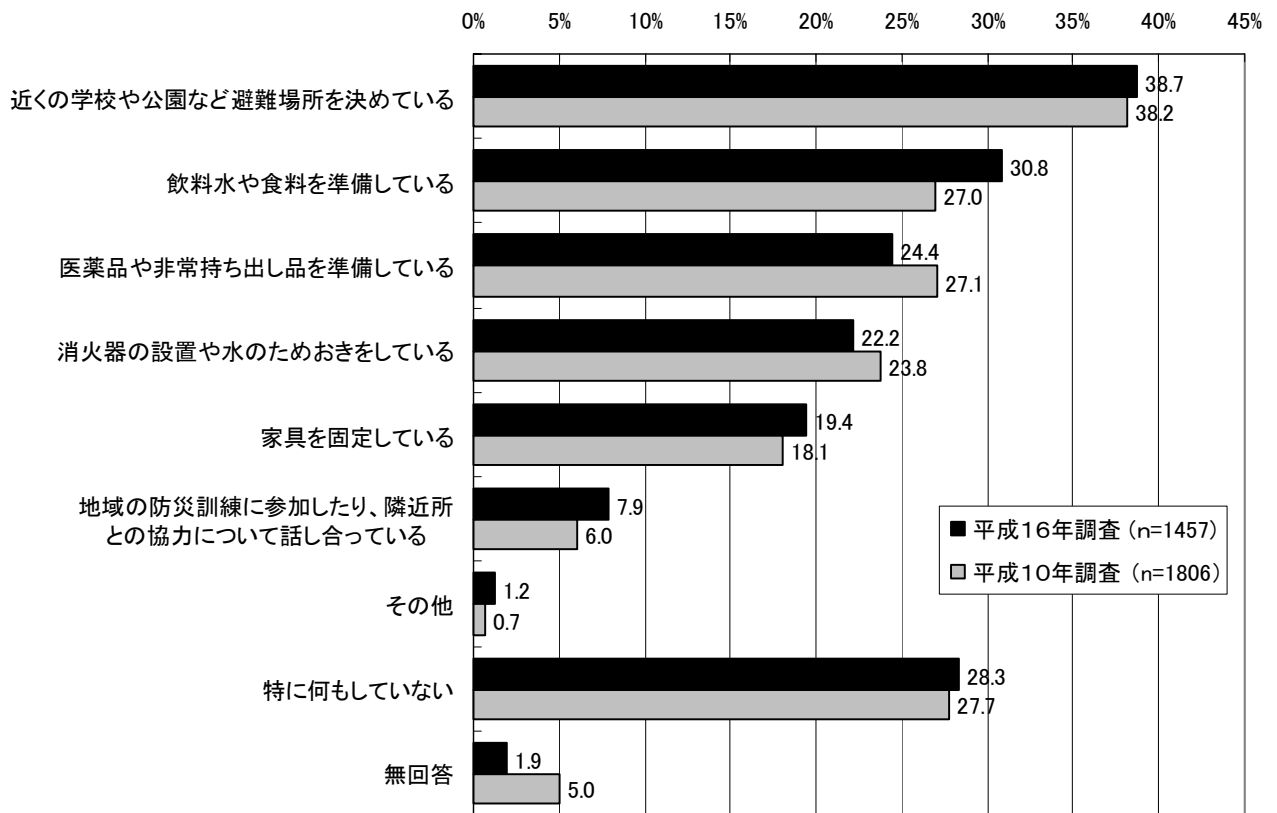
## 9 防災について

### (1) 地震や火災に備えてとっている対策

17 あなたの家では、現在、地震や火災に備えてどのような対策をとっていますか。  
あてはまるものをいくつでも選んでください。

地震や火災に備えてとっている対策を聞いた結果最も多かったのは、「近くの学校や公園など避難場所を決めている」(38.7%)であった。次いで、「飲料水や食料を準備している」(30.8%)、「特に何もしていない」(28.3%)、「医薬品や非常持ち出し品を準備している」(24.4%)、「消火器の設置や水のためおきをしている」(22.2%)が続く。

過去の調査(平成10年調査)と比較すると、大きな変化はみられないが、「医薬品や非常持ち出し品を準備している」、「消火器の設置や水のためおきをしている」がやや減少し、他の項目は少し増加している。



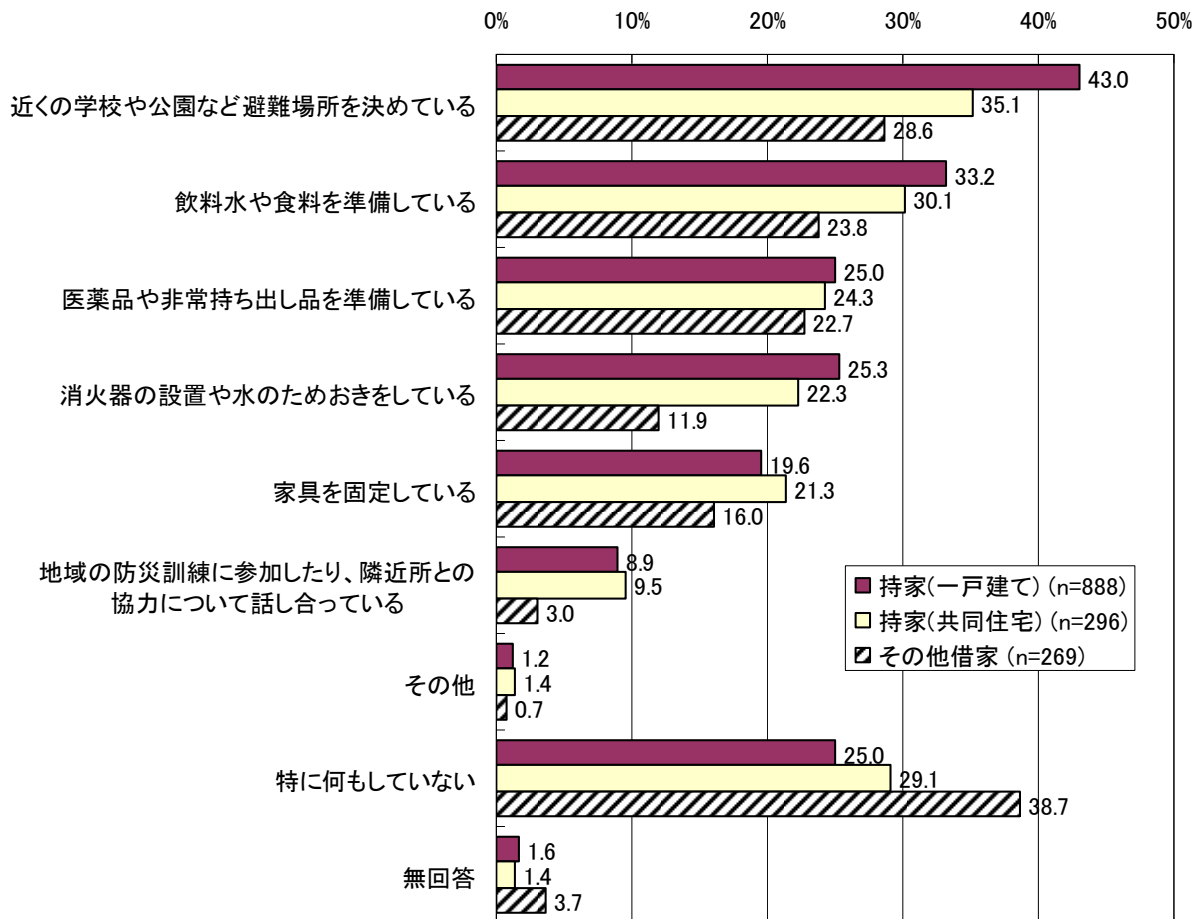


## 【住まいの形態（3区分）別】地震や火災に備えてとっている対策

住まいの形態(3区分)別にみると、「特に何もしていない」は、その他借家で最も高く **40%** 近くに達した。一方、持家(共同住宅)、持家(一戸建て)では、**30%** 未満であった。

「家具を固定している」で持家(共同住宅)、「地域の防災訓練に参加したり、隣近所との協力について話し合っている」でその他借家が **1** 位であったが、他の項目では持家(一戸建て)が **1** 位であった。

住まいの形態(3区分)間の比率の差はみられたが、地震や火災に備えてとっている対策の順位はほぼ同じであった。



## 【住まいの地域別】地震や火災に備えてとっている対策

住まいの地域別にみると、「特に何もしていない」の比率は、小松原、栗原中央・西栗原・南栗原、相武台・栗原・広野台、東原・さがみ野で **30%**を超えて高く、ひばりが丘、緑ヶ丘、立野台、座間で **25%**未満と低い。

全体で **1** 位であった「近くの学校や公園など避難場所を決めている」は、すべての地域で **30%**を越えているが、相武台・栗原・広野台、栗原中央・西栗原・南栗原、小松原などでは比較的低い比率であった。全体で **2** 位であった「飲料水や食料を準備している」は、新田宿・四ツ谷、相模が丘、栗原中央・西栗原・南栗原で比較的低い。

他に地域差が目立ったのは、「家具を固定している」において、新田宿・四ツ谷、緑ヶ丘では **10%**前後と比較的低く、立野台では **30%**を超えて高いことや、「地域の防災訓練に参加したり、隣近所との協力について話し合っている」において、立野台、緑ヶ丘、座間では **10%**を超えているが、栗原中央・西栗原・南栗原、東原・さがみ野では **5%**未満と比較的低いこと等であった。

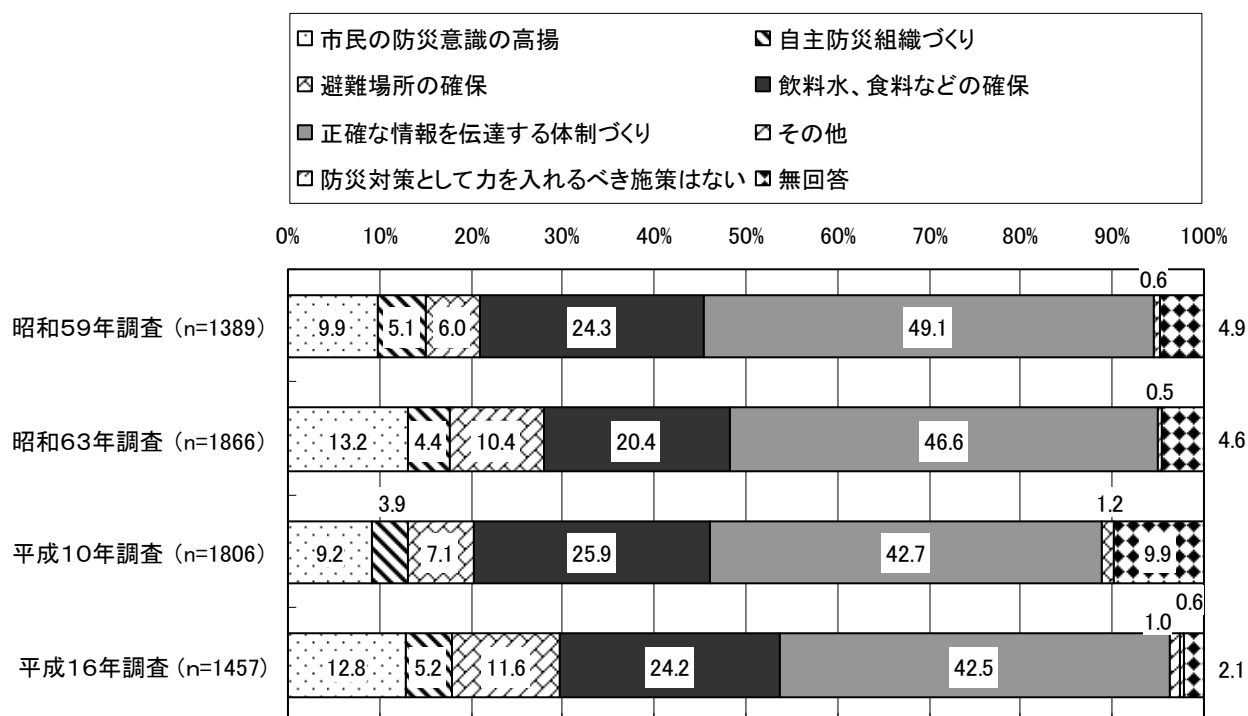
| %                          |              | 全体<br>(実数) | 近<br>場<br>の<br>学<br>校<br>や<br>公<br>園<br>な<br>ど<br>避<br>難<br>場<br>所<br>を<br>決<br>め<br>て<br>い<br>る | 家<br>具<br>を<br>固<br>定<br>し<br>て<br>い<br>る | 飲<br>料<br>水<br>や<br>食<br>料<br>を<br>準<br>備<br>し<br>て<br>い<br>る | 消<br>火<br>器<br>の<br>設<br>置<br>や<br>水<br>の<br>た<br>め<br>お<br>き<br>を<br>し<br>て<br>い<br>る | 医<br>薬<br>品<br>や<br>非<br>常<br>持<br>ち<br>出<br>し<br>品<br>を<br>準<br>備<br>し<br>て<br>い<br>る | 地<br>域<br>の<br>防<br>災<br>訓<br>練<br>に<br>参<br>加<br>し<br>た<br>り<br>、<br>隣<br>近<br>所<br>と<br>の<br>協<br>力<br>に<br>つ<br>い<br>て<br>話<br>し<br>合<br>っ<br>て<br>い<br>る | そ<br>の<br>他 | 特<br>に<br>何<br>も<br>し<br>て<br>い<br>な<br>い | 無<br>回<br>答 |
|----------------------------|--------------|------------|--|---|---|--|--|--|-------------|---|-------------|
| 全体                         |              | 1457       | 38.7   | 19.4                                      | 30.8  | 22.2   | 24.4   | 7.9  | 1.2         | 28.3                                      | 1.9         |
| 住<br>ま<br>い<br>の<br>地<br>域 | 新田宿・四ツ谷      | 59         | 35.6   | 8.5                                       | 23.7  | 23.7   | 22.0   | 5.1  | -           | 28.8                                      | 5.1         |
|                            | 座間           | 90         | 43.3   | 20.0                                      | 36.7  | 18.9   | 32.2   | 11.1   | 1.1         | 24.4                                      | 2.2         |
|                            | 入谷・明王        | 234        | 37.2   | 23.1                                      | 31.6  | 23.9   | 21.4   | 9.0  | 1.3         | 27.4                                      | 2.1         |
|                            | 立野台          | 70         | 47.1   | 32.9                                      | 37.1  | 21.4   | 30.0   | 17.1   | -           | 24.3                                      | 1.4         |
|                            | 緑ヶ丘          | 108        | 41.7   | 12.0                                      | 34.3  | 28.7   | 25.0   | 14.8   | 0.9         | 24.1                                      | 0.9         |
|                            | 相武台・栗原・広野台   | 141        | 30.5   | 16.3                                      | 33.3  | 22.0   | 27.7   | 7.1  | 2.1         | 32.6                                      | 2.8         |
|                            | 相模が丘         | 225        | 43.1   | 19.1                                      | 26.2  | 21.8   | 24.4   | 5.8  | 1.3         | 29.3                                      | 0.9         |
|                            | 小松原          | 59         | 30.5   | 20.3                                      | 32.2  | 11.9   | 23.7   | 6.8  | 1.7         | 35.6                                      | -           |
|                            | ひばりが丘        | 192        | 45.8   | 23.4                                      | 31.3  | 28.6   | 23.4   | 9.4  | 2.1         | 23.4                                      | 1.6         |
|                            | 東原・さがみ野      | 114        | 36.8   | 15.8                                      | 31.6  | 18.4   | 21.1   | 4.4  | 0.9         | 30.7                                      | 1.8         |
|                            | 栗原中央・西栗原・南栗原 | 164        | 30.5   | 17.1                                      | 26.8  | 16.5   | 22.6   | 1.8  | -           | 32.9                                      | 3.0         |
|                            | 無回答          | 1          | 100.0  | -   | -   | -  | -  | 100.0  | -           | -   | -           |

## (2) 防災対策として力を入れるべき施策

18 あなたは、防災対策として座間市が一番力を入れるべき施策は何だと考えますか。  
【一つだけ選んでください。】

防災対策として力を入れるべき施策を聞いた結果最も多かったのは、「正確な情報を伝達する体制づくり」(42.5%)であった。次いで、「飲料水、食料などの確保」(24.2%)、「市民の防災意識の高揚」(12.8%)、「避難場所の確保」(11.6%)、「自主防災組織づくり」(5.2%)が続く。

過去の調査と比較すると、「正確な情報を伝達する体制づくり」、「飲料水、食料などの確保」、「市民の防災意識の高揚」などの順で比率が高いということに変わりはない。

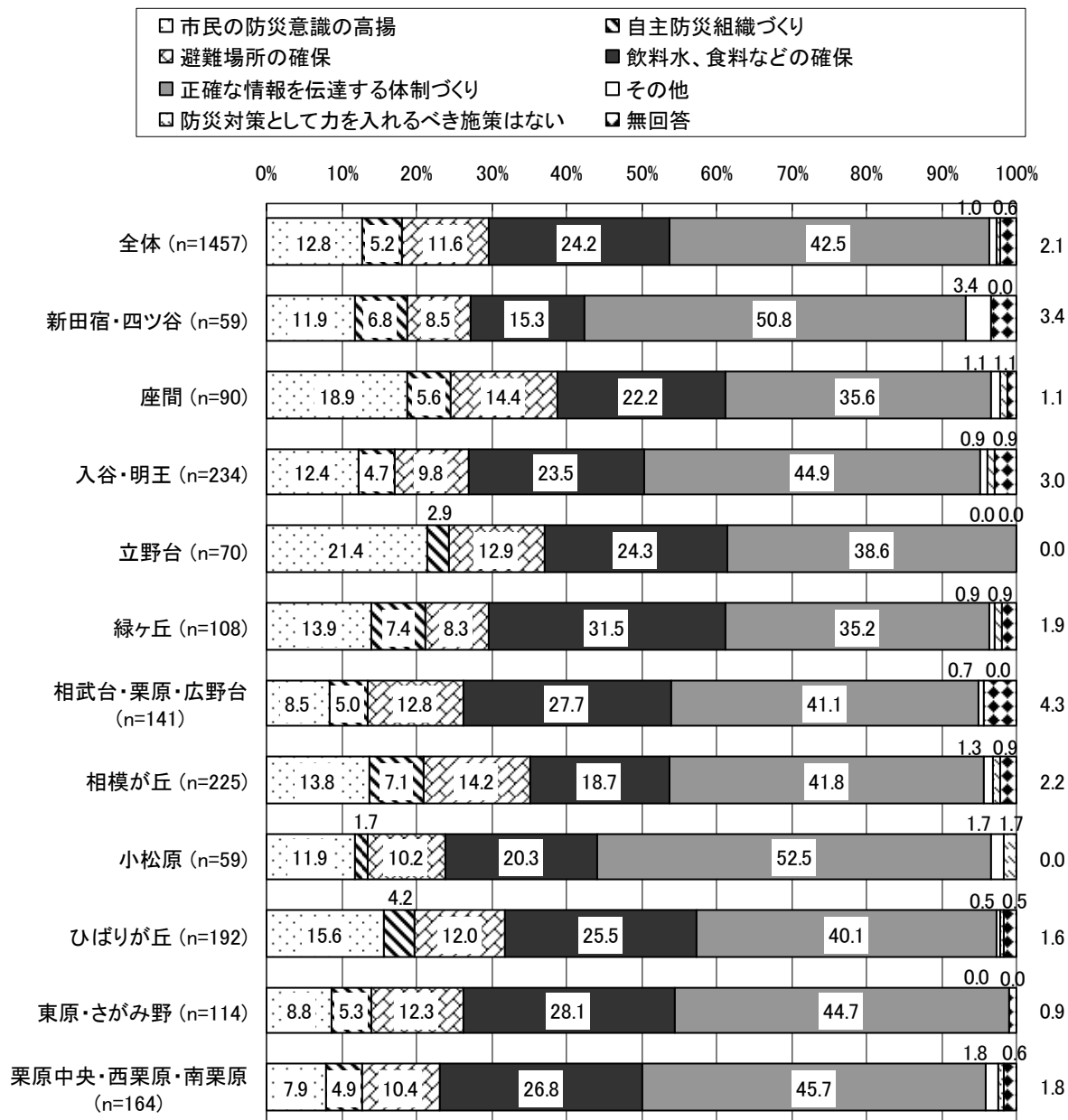


## 【住まいの地域別】防災対策として力を入れるべき施策

住まいの地域別にみると、全体で1位だった「正確な情報を伝達する体制づくり」は、小松原で最も高く、新田宿・四ツ谷、栗原中央・西栗原・南栗原、入谷・明王などでも高かった。一方、座間、立野台、ひばりが丘などでは低く、緑ヶ丘で最も低かったが、すべての住まいの地域で1位であった。

全体で2位だった「飲料水、食料などの確保」は、緑ヶ丘で最も高く、東原・さがみ野、相武台・栗原・広野台、栗原中央・西栗原・南栗原などでも高かった。一方、相模が丘、小松原、座間などでは低く、新田宿・四ツ谷で最も低かったが、すべての住まいの地域で2位であった。

全体で3位だった「市民の防災意識の高揚」は、立野台で最も高く、座間などでも高かった。一方、相武台・栗原・広野台、東原・さがみ野、小松原などでは低く、栗原中央・西栗原・南栗原で最も低かった。



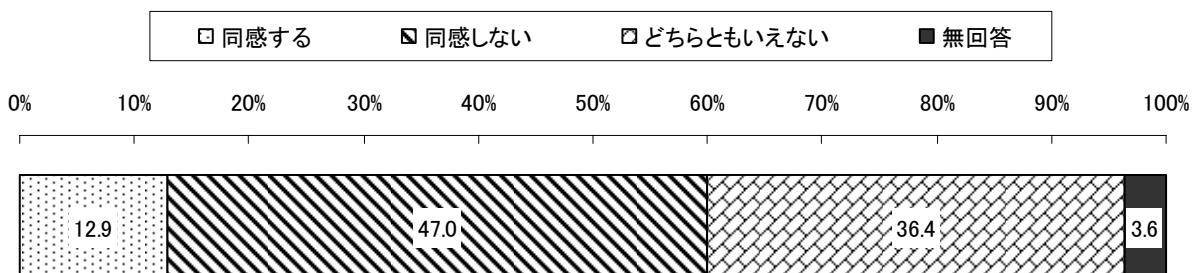
## 10 男女共同参画について

### (1) 「男は仕事、女は家庭」といった考えについて

19-1 「男は仕事、女は家庭」といった考えがあります。あなたは、どう考えますか。【一つだけ選んでください。】

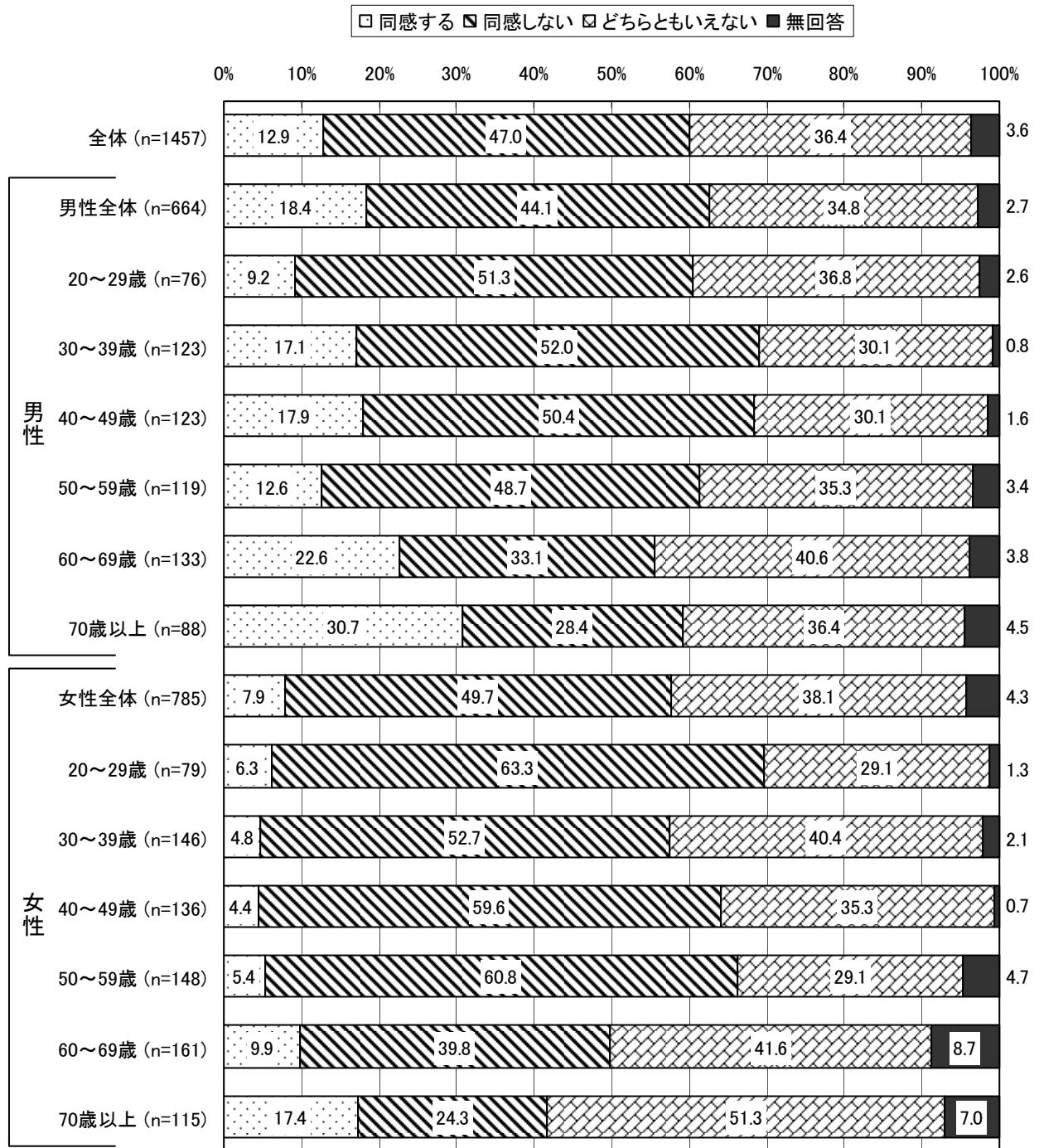
「男は仕事、女は家庭」といった考えについて聞いた結果は、「同感する」(12.9%)、「同感しない」(47.0%)、「どちらともいえない」(36.4%)であった。

(n=1457)



## 【性別・年齢別】「男は仕事、女は家庭」といった考えについて

性別・年齢別にみると、「同感する」の比率はどの年代においても女性より男性の比率が高くなっており、男女とも加齢にともなって比率が高くなる傾向がみられる。「同感する」が「同感しない」を上回っているのは男性70歳以上だけであった。

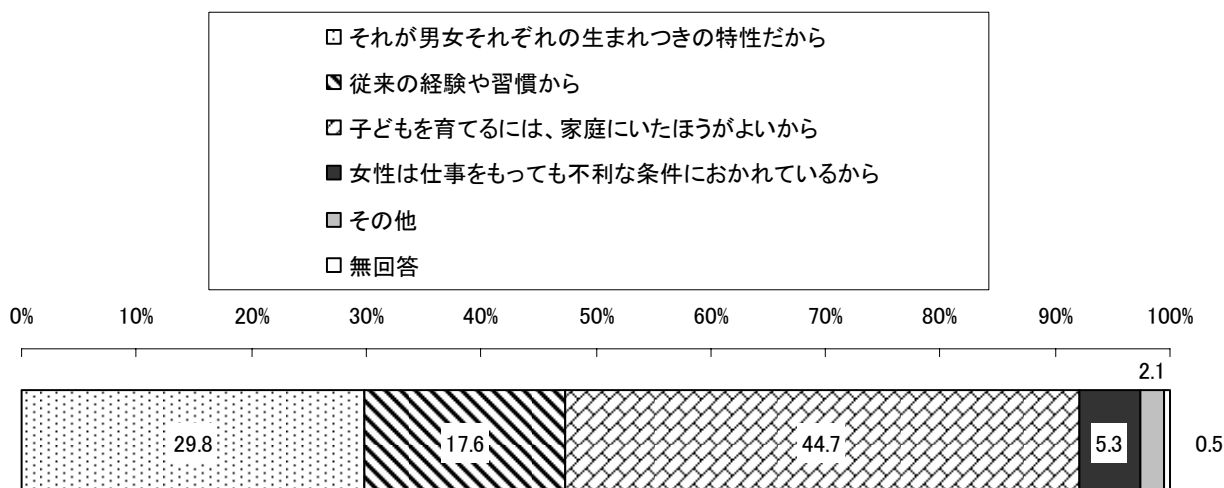


(2) 「男は仕事、女は家庭」といった考えに「同感する」理由

19-2 設問19-1で1とお答えの方にお伺いします。「同感する」理由は次のどれですか。  
【一つだけ選んでください。】

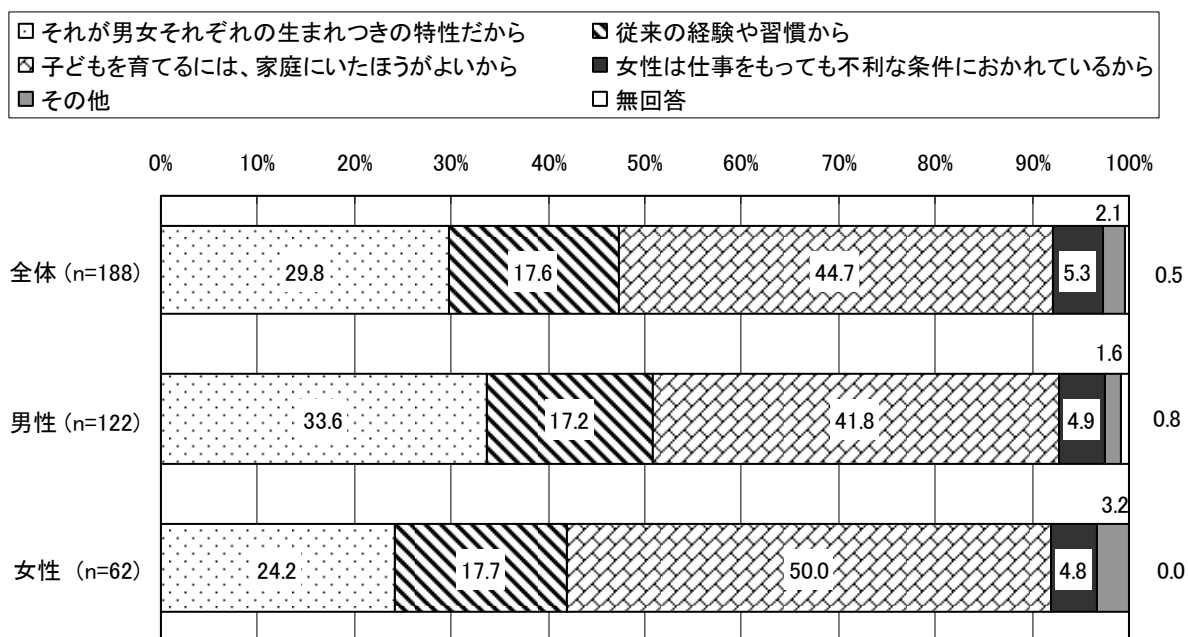
「男は仕事、女は家庭」といった考えに「同感する」理由を聞いた結果最も多かったのは、「子どもを育てるには、家庭にいたほうがよいから」(44.7%)であった。次いで、「それが男女それぞれの生まれつきの特性だから」(29.8%)、「従来の経験や習慣から」(17.6%)、「女性は仕事をもっても不利な条件におかれているから」(5.3%)、「その他」(2.1%)が続く。

(n=1457)



【性別】 「男は仕事、女は家庭」といった考えに「同感する」理由

性別にみると、項目の順位は男女とも全体と同じであったが、女性で「子どもを育てるには、家庭にいたほうがよいから」、男性で「それが男女それぞれの生まれつきの特性だから」の比率が比較的高くなっている。

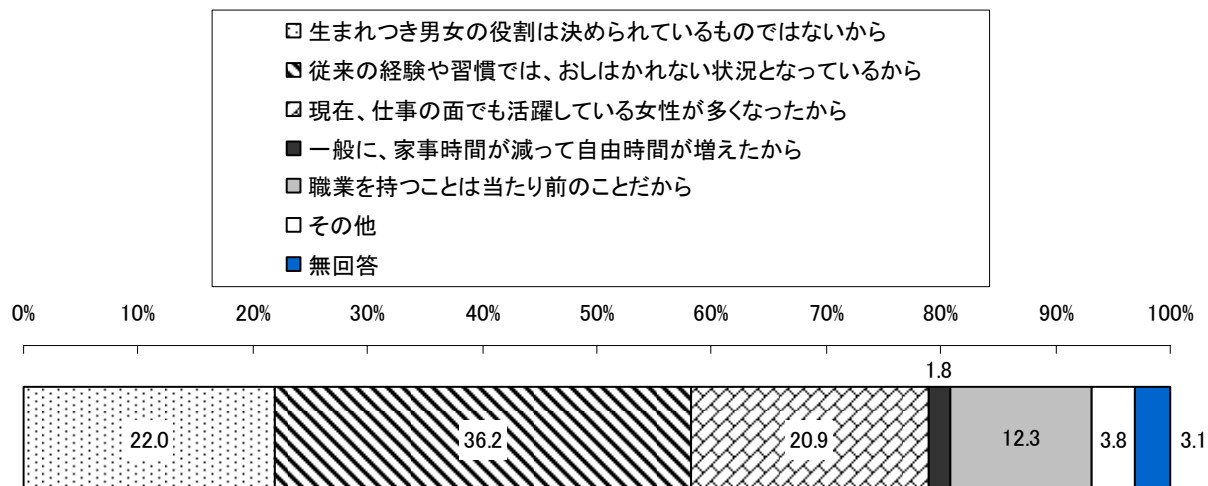


### (3) 「男は仕事、女は家庭」といった考えに「同感しない」理由

19-3 設問19-1で2とお答えの方にお伺いします。「同感しない」理由は次のどれですか。【一つだけ選んでください。】

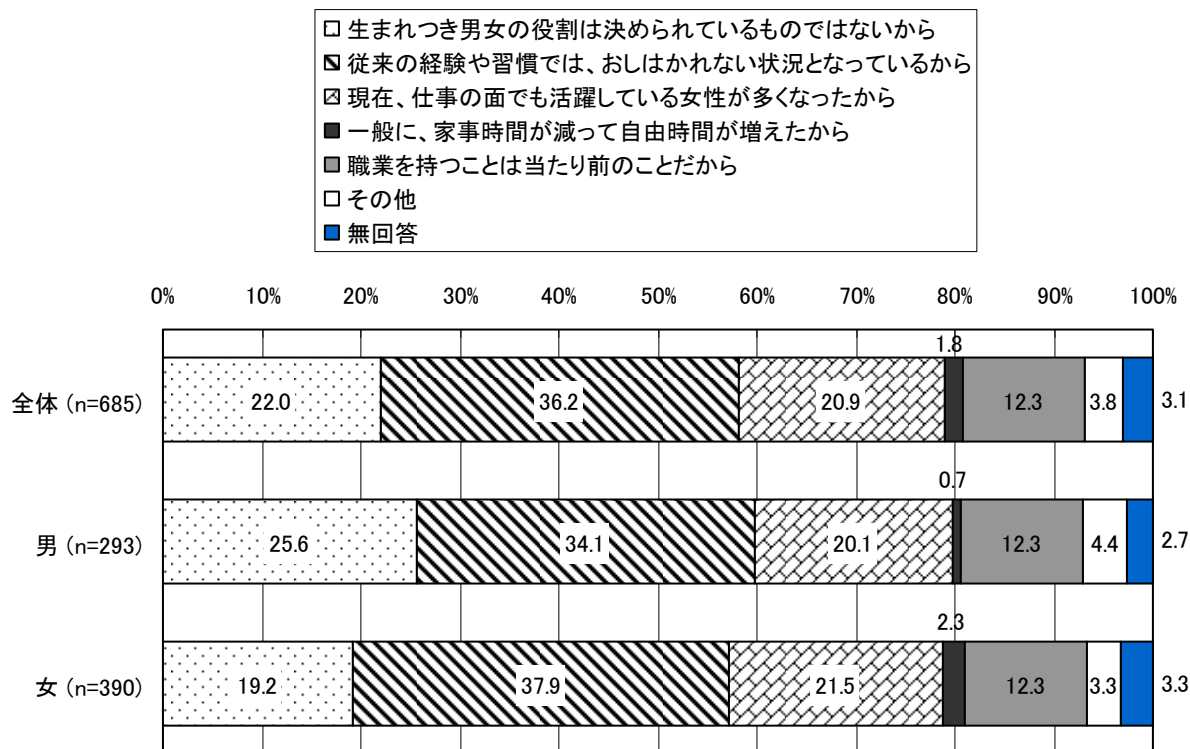
「男は仕事、女は家庭」といった考えに「同感しない」理由を聞いた結果最も多かったのは、「従来の経験や習慣では、おしはかれない状況となっているから」(36.2%)であった。次いで、「生まれつき男女の役割は決められているものではないから」(22.0%)、「現在、仕事の面でも活躍している女性が多くなったから」(20.9%)、「職業を持つことは当たり前のことだから」(12.3%)、「その他」(3.8%)が続く。

(n=1457)



#### 【性別】「男は仕事、女は家庭」といった考えに「同感しない」理由

性別にみると、男女とも支持率の順位は全体とほぼ同じであったが、女性で「現在、仕事の面でも活躍している女性が多くなったから」が2位、「生まれつき男女の役割は決められているものではないから」が3位と全体と比べて順位が入れ替わっている。また、「生まれつき男女の役割は決められているものではないから」の比率は、女性より男性の方が高くなっていることが目立つ。

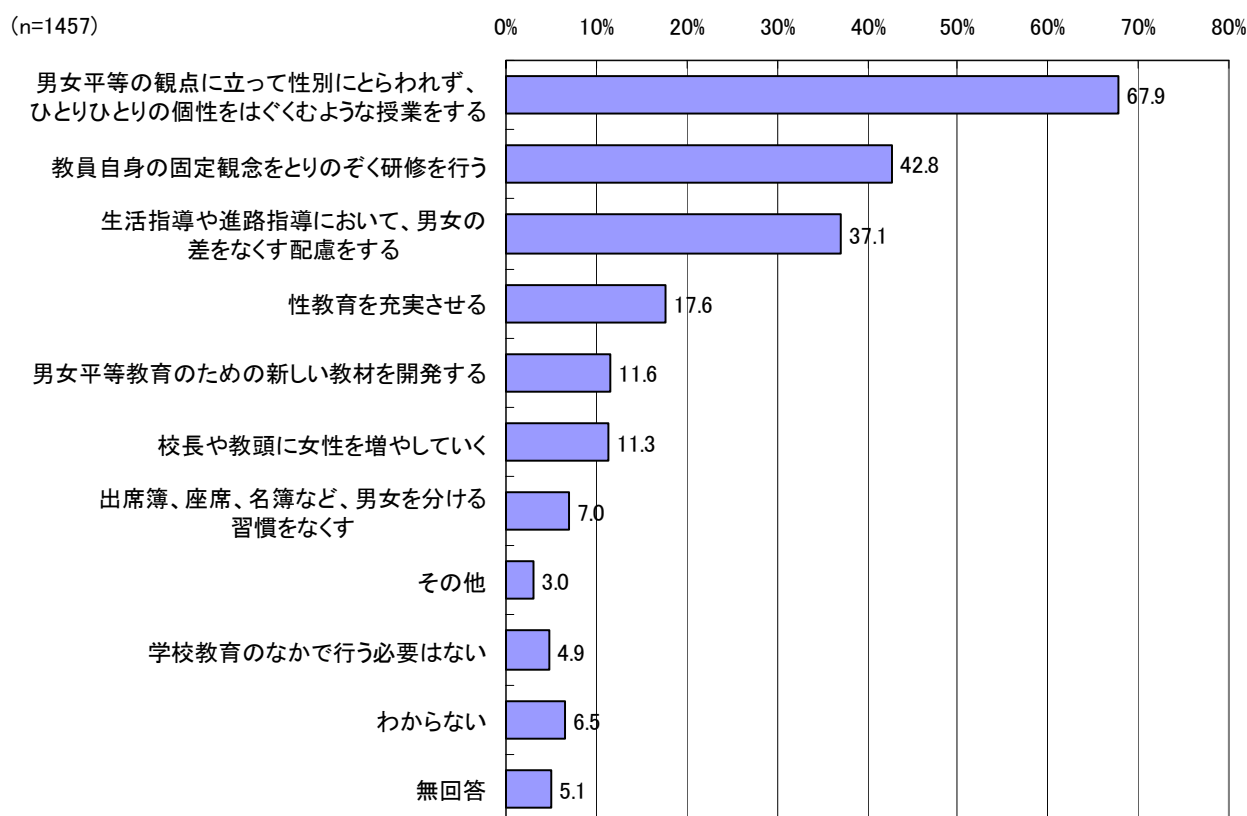




#### (4) 男女平等の観点から学校教育で取り入れてほしいこと

20 男女平等の観点から学校教育を進めるうえで、今後特に取り入れてほしいことや力を入れて欲しいと思うものを3つまで選んでください。

男女平等の観点から学校教育で取り入れてほしいことを聞いた結果最も多かったのは、「男女平等の観点に立って性別にとらわれず、ひとりひとりの個性をはぐくむような授業をする」(67.9%)であった。次いで、「教員自身の固定観念をとりのぞく研修を行う」(42.8%)、「生活指導や進路指導において、男女の差をなくす配慮をする」(37.1%)、「性教育を充実させる」(17.6%)が続く。



## 【性別・年齢別】男女平等の観点から学校教育で取り入れてほしいこと

性別・年齢別にみると、全体で1位だった「男女平等の観点に立って性別にとらわれず、ひとりひとりの個性をはぐくむような授業をする」は、すべての性別・年齢で1位であった。男性では加齢とともに比率は増加傾向にあるが、女性では70歳以上を除いて70%を超える高い比率を示している。

全体で2位だった「教員自身の固定観念をとりのぞく研修を行う」は、すべての性別・年齢で3位以上であった。男女とも50歳代で最も比率が高く、50%を超えた。

全体で3位だった「生活指導や進路指導において、男女の差をなくす配慮をする」は、男女とも60歳代で最も比率が高くなっており、加齢とともに比率が増加する傾向がみられる。

全体で4位だった「性教育を充実させる」は、男性の60歳代以上、女性の50歳代以上と比較的年齢の高い層で支持率が高いが、男性30歳代でも比較的高いことが目立つ。

全体で5位だった「男女平等教育のための新しい教材を開発する」は、男女とも加齢とともに比率が増加する傾向がみられる。

(その1)

|           |        | 全体<br>(実数) | むり性別に<br>ひとりとの<br>授業の個性<br>をはぐくむ | くお生活<br>すいて指導<br>配慮を男女<br>するの差を<br>なくす | をど出席<br>なく男女簿、<br>すをを座席、<br>分ける名簿<br>る習慣な | と教員<br>りの自身<br>ぞくの固定<br>研修観念<br>を行うを | や校長<br>してや教<br>いく頭に<br>女性を増 | 性教育を<br>充実させる | 新男女<br>しい平等<br>教材教育<br>を開発の<br>ための |
|-----------|--------|------------|----------------------------------|--|---|--------------------------------------|-----------------------------|---------------|------------------------------------|
| 全体        |        | 1457       | 67.9                             | 37.1                                   | 7.0                                       | 42.8                                 | 11.3                        | 17.6          | 11.6                               |
| 性別・<br>年齢 | 男性     | 664        | 61.9                             | 38.1                                   | 7.8                                       | 41.0                                 | 10.5                        | 16.9          | 11.4                               |
|           | 20～29歳 | 76         | 53.9                             | 38.2                                   | 10.5                                      | 31.6                                 | 21.1                        | 14.5          | 9.2                                |
|           | 30～39歳 | 123        | 55.3                             | 27.6                                   | 8.1                                       | 37.4                                 | 13.8                        | 20.3          | 6.5                                |
|           | 40～49歳 | 123        | 61.8                             | 36.6                                   | 6.5                                       | 34.1                                 | 4.1                         | 11.4          | 9.8                                |
|           | 50～59歳 | 119        | 65.5                             | 38.7                                   | 3.4                                       | 54.6                                 | 10.1                        | 12.6          | 12.6                               |
|           | 60～69歳 | 133        | 66.9                             | 47.4                                   | 9.0                                       | 46.6                                 | 6.8                         | 20.3          | 12.8                               |
|           | 70歳以上  | 88         | 65.9                             | 39.8                                   | 11.4                                      | 36.4                                 | 12.5                        | 22.7          | 19.3                               |
| 女性        | 785    | 73.2       | 36.3                             | 6.2                                    | 44.5                                      | 12.1                                 | 18.3                        | 11.7          |                                    |
| 20～29歳    | 79     | 78.5       | 22.8                             | 12.7                                   | 48.1                                      | 27.8                                 | 16.5                        | 7.6           |                                    |
| 30～39歳    | 146    | 73.3       | 27.4                             | 5.5                                    | 47.9                                      | 17.8                                 | 15.1                        | 13.0          |                                    |
| 40～49歳    | 136    | 77.9       | 33.1                             | 4.4                                    | 44.9                                      | 13.2                                 | 16.2                        | 8.1           |                                    |
| 50～59歳    | 148    | 79.1       | 42.6                             | 6.1                                    | 51.4                                      | 6.8                                  | 20.3                        | 9.5           |                                    |
| 60～69歳    | 161    | 76.4       | 47.2                             | 4.3                                    | 43.5                                      | 6.2                                  | 21.7                        | 14.3          |                                    |
| 70歳以上     | 115    | 52.2       | 37.4                             | 7.8                                    | 29.6                                      | 7.8                                  | 19.1                        | 16.5          |                                    |

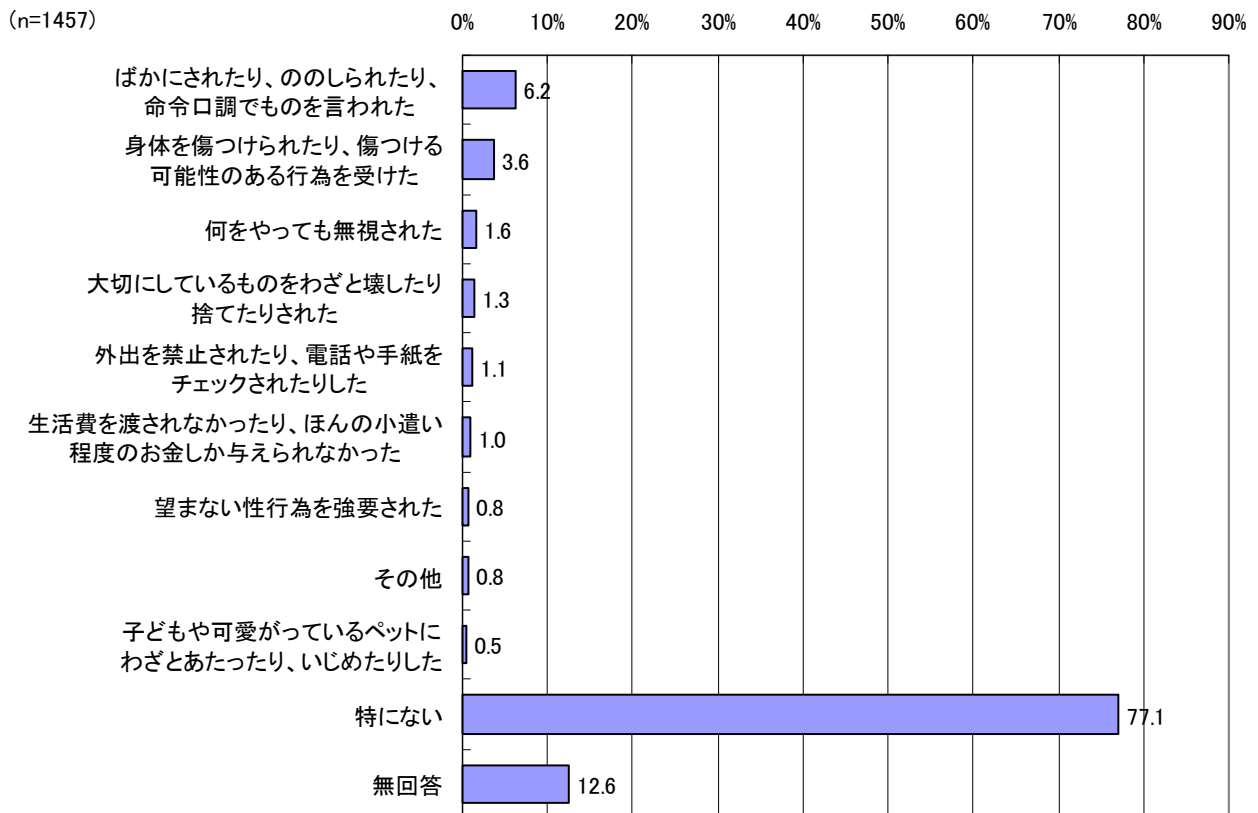
(その2)

|           |        | 全体<br>(実数) | その他 | 必要は<br>ない<br>学校<br>教育<br>の<br>なか<br>で<br>行<br>う | わ<br>か<br>ら<br>な<br>い | 無<br>回<br>答 |
|-----------|--------|------------|-----|---|-----------------------|-------------|
| 全体        |        | 1457       | 3.0 | 4.9   | 6.5                   | 5.1         |
| 性別・<br>年齢 | 男性     | 664        | 4.2 | 6.9   | 7.4                   | 4.1         |
|           | 20～29歳 | 76         | 5.3 | 7.9   | 9.2                   | 3.9         |
|           | 30～39歳 | 123        | 4.9 | 13.8  | 8.1                   | 1.6         |
|           | 40～49歳 | 123        | 6.5 | 10.6  | 8.9                   | 3.3         |
|           | 50～59歳 | 119        | 4.2 | 1.7   | 5.9                   | 5.9         |
|           | 60～69歳 | 133        | 3.0 | 3.8   | 6.0                   | 4.5         |
|           | 70歳以上  | 88         | 1.1 | 3.4   | 5.7                   | 5.7         |
| 女性        | 785    | 1.9        | 3.2 | 5.7   | 5.7                   |             |
| 20～29歳    | 79     | 2.5        | -   | 6.3   | 2.5                   |             |
| 30～39歳    | 146    | 1.4        | 4.8 | 5.5   | 1.4                   |             |
| 40～49歳    | 136    | 1.5        | 4.4 | 5.1   | 2.2                   |             |
| 50～59歳    | 148    | 1.4        | 3.4 | 3.4   | 5.4                   |             |
| 60～69歳    | 161    | 2.5        | 1.9 | 3.7   | 9.9                   |             |
| 70歳以上     | 115    | 2.6        | 3.5 | 12.2  | 12.2                  |             |

(5) 家庭内・家族間で起こる暴力で受けた具体的な内容

**21** 家庭内・家族間で起こる暴力、特にパートナー(夫・妻・恋人)といった親密な関係の男性からの暴力が問題になっています。あなたは、これまで具体的にどのようなことをされたことがありましたか。あてはまるものをいくつでも選んでください。

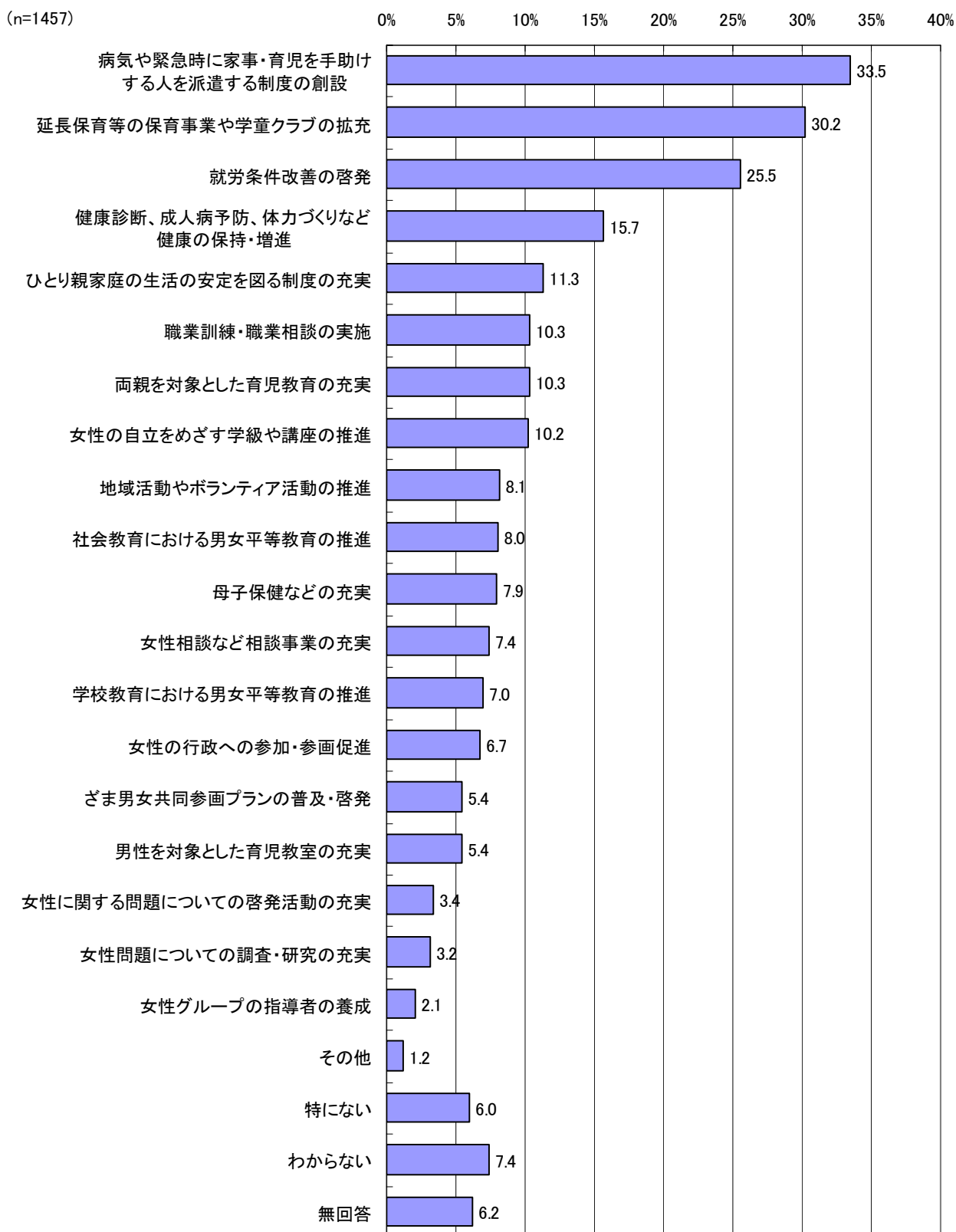
家庭内・家族間で起こる暴力で受けた具体的な内容を聞いた結果最も多かったのは、「特にない」(77.1%)であった。次いで、「ばかにされたり、ののしられたり、命令口調でものを言われた」(6.2%)、「身体を傷つけられたり、傷つける可能性のある行為を受けた」(3.6%)、「何をやっても無視された」(1.6%)、「大切にしているものをわざと壊したり捨てたりされた」(1.3%)が続く。「特にない」と「無回答」を除く《家庭内・家族間で起こる暴力を受けた》は 10.3%であった。



## (6) 男女共同参画社会を実現していくための施策

22 男女共同参画社会を実現していくために、座間市には、今後どのような施策に力を入れていくべきと考えますか。3つまで選んでください。

男女共同参画社会を実現していくための施策を聞いた結果最も多かったのは、「病気や緊急時に家事・育児を手助けする人を派遣する制度の創設」(33.5%)であった。次いで、「延長保育等の保育事業や学童クラブの拡充」(30.2%)、「就労条件改善の啓発」(25.5%)、「健康診断、成人病予防、体力づくりなど健康の保持・増進」(15.7%)、「ひとり親家庭の生活の安定を図る制度の充実」(11.3%)が続く。



## 【性別・年齢別】男女共同参画社会を実現していくための施策

性別・年齢別にみると、全体で1位だった「病気や緊急時に家事・育児を手助けする人を派遣する制度の創設」は、女性60歳代で最も高く、男女とも50歳代以上で1位であった。男性20歳代で他の層より比率が低いことが目立っている。

全体で2位だった「延長保育等の保育事業や学童クラブの拡充」は、男性40歳代、女性30歳代をピークに男女とも40歳代以下で高い比率を示している。

全体で3位だった「就労条件改善の啓発」は、男性は50歳代以下、女性は40歳代をピークに30歳代、50歳代で高い比率である。

全体で4位だった「健康診断、成人病予防、体力づくりなど健康の保持・増進」は、男女とも50歳代以上の高い年齢層および男性30歳代で高く、男女とも40歳代で最も低くなっている。

(その1)

| 性別・年齢 | %      | 全体<br>(実数) | 施策          |                         |                  |                       |                            |                          |                           |   |                                      |  |   |                  |   |
|-------|--------|------------|-------------|-------------------------|------------------|-----------------------|----------------------------|--------------------------|---------------------------|---|--------------------------------------|--|---|------------------|---|
|       |        |            | 女性問題<br>の充実 | 女性に<br>関する<br>活動の<br>充実 | 女性<br>の自立<br>の推進 | 就労<br>条件<br>改善<br>の啓発 | 女性<br>相談<br>など<br>相談<br>事業 | 延長<br>保育<br>等<br>の<br>拡充 | 派遣<br>する<br>制度<br>の<br>創設 | 病<br>気<br>や<br>緊<br>急<br>時<br>に<br>家<br>事<br>を<br>手<br>助<br>け<br>る<br>人<br>を<br>派<br>遣<br>す<br>る<br>制<br>度<br>の<br>創<br>設 | 健<br>康<br>の<br>保<br>持<br>・<br>増<br>進 | 健<br>康<br>診<br>断<br>・<br>成<br>人<br>病<br>予<br>防 | 母<br>子<br>保<br>健<br>な<br>ど<br>の<br>充<br>実 | 参<br>画<br>促<br>進 | 女<br>性<br>の<br>行<br>政<br>へ<br>の<br>参<br>加 |
| 全体    |        | 1457       | 3.2         | 3.4                     | 10.2             | 25.5                  | 7.4                        | 30.2                     | 33.5                      | 15.7  | 7.9                                  | 6.7  | 5.4                                       | 11.3             |   |
| 男性    | 男性全体   | 664        | 4.4         | 3.6                     | 7.5              | 25.2                  | 5.6                        | 26.2                     | 29.1                      | 16.4  | 9.2                                  | 6.8  | 7.8                                       | 10.7             |   |
|       | 20～29歳 | 76         | 3.9         | 2.6                     | 1.3              | 26.3                  | 6.6                        | 31.6                     | 13.2                      | 11.8  | 11.8                                 | 6.6  | 3.9                                       | 6.6              |   |
|       | 30～39歳 | 123        | 4.1         | 1.6                     | 5.7              | 28.5                  | 9.8                        | 35.0                     | 30.1                      | 16.3  | 18.7                                 | 4.1  | 4.9                                       | 11.4             |   |
|       | 40～49歳 | 123        | 3.3         | 4.1                     | 4.9              | 31.7                  | 3.3                        | 37.4                     | 30.9                      | 8.9   | 6.5                                  | 3.3  | 5.7                                       | 16.3             |   |
|       | 50～59歳 | 119        | 3.4         | 6.7                     | 9.2              | 30.3                  | 2.5                        | 20.2                     | 33.6                      | 16.0  | 4.2                                  | 13.4   | 8.4                                       | 11.8             |   |
|       | 60～69歳 | 133        | 8.3         | 3.0                     | 11.3             | 15.8                  | 6.8                        | 18.0                     | 31.6                      | 21.8  | 9.8                                  | 6.0  | 12.0                                      | 7.5              |   |
|       | 70歳以上  | 88         | 2.3         | 3.4                     | 11.4             | 17.0                  | 4.5                        | 13.6                     | 29.5                      | 23.9  | 2.3                                  | 8.0  | 11.4                                      | 9.1              |   |
| 女性    | 女性全体   | 785        | 2.3         | 3.1                     | 12.4             | 26.0                  | 8.9                        | 33.8                     | 37.3                      | 15.2  | 6.9                                  | 6.6  | 3.3                                       | 11.7             |   |
|       | 20～29歳 | 79         | 3.8         | 1.3                     | 16.5             | 16.5                  | 16.5                       | 48.1                     | 34.2                      | 13.9  | 17.7                                 | 6.3  | 3.8                                       | 16.5             |   |
|       | 30～39歳 | 146        | 2.7         | 2.7                     | 14.4             | 30.8                  | 9.6                        | 55.5                     | 34.2                      | 11.6  | 13.0                                 | 4.8  | 2.7                                       | 9.6              |   |
|       | 40～49歳 | 136        | 5.1         | 4.4                     | 8.8              | 42.6                  | 8.8                        | 39.0                     | 36.0                      | 7.4   | 5.1                                  | 5.1  | 2.9                                       | 11.8             |   |
|       | 50～59歳 | 148        | 1.4         | 5.4                     | 10.1             | 29.7                  | 8.1                        | 23.0                     | 38.5                      | 18.9  | 2.7                                  | 10.8   | 4.7                                       | 6.1              |   |
|       | 60～69歳 | 161        | 1.2         | 2.5                     | 16.8             | 19.3                  | 6.2                        | 28.0                     | 45.3                      | 16.8  | 3.1                                  | 6.8  | 3.7                                       | 13.7             |   |
|       | 70歳以上  | 115        | -           | 0.9                     | 7.8              | 11.3                  | 7.8                        | 12.2                     | 32.2                      | 22.6  | 4.3                                  | 5.2  | 1.7                                       | 15.7             |   |

(その2)

| 性別・年齢 | %      | 全体<br>(実数) | 施策   |   |   |   |   |   |   |             |                  |                       | 無<br>回<br>答 |
|-------|--------|------------|--|---|---|---|---|---|---|-------------|------------------|-----------------------|-------------|
|       |        |            | 職<br>業<br>訓<br>練<br>・<br>職<br>業<br>相<br>談<br>の<br>実<br>施 | 地<br>域<br>活<br>動<br>や<br>ボ<br>ラ<br>ン<br>テ<br>ィ<br>の<br>推<br>進 | 女<br>性<br>グ<br>ル<br>ー<br>プ<br>の<br>指<br>導<br>者<br>の<br>推<br>進 | 平<br>等<br>学<br>校<br>教<br>育<br>に<br>お<br>け<br>る<br>男<br>女<br>の<br>推<br>進 | 平<br>等<br>社<br>会<br>教<br>育<br>に<br>お<br>け<br>る<br>男<br>女<br>の<br>推<br>進 | 教<br>育<br>の<br>充<br>実<br>と<br>し<br>た<br>育<br>児<br>の<br>充<br>実 | 男<br>性<br>を<br>対<br>象<br>と<br>し<br>た<br>育<br>児<br>の<br>充<br>実 | そ<br>の<br>他 | 特<br>に<br>な<br>い | わ<br>か<br>ら<br>な<br>い |             |
| 全体    |        | 1457       | 10.3   | 8.1   | 2.1   | 7.0   | 8.0   | 10.3  | 5.4   | 1.2         | 6.0              | 7.4                   | 6.2         |
| 男性    | 男性全体   | 664        | 10.7   | 8.4   | 1.7   | 7.5   | 8.9   | 7.8   | 4.2   | 1.7         | 7.2              | 9.5                   | 5.4         |
|       | 20～29歳 | 76         | 7.9  | 7.9   | 1.3   | 5.3   | 13.2  | 14.5  | 6.6   | 5.3         | 5.3              | 18.4                  | 2.6         |
|       | 30～39歳 | 123        | 9.8  | 3.3   | 1.6   | 5.7   | 3.3   | 8.9   | 8.1   | 0.8         | 5.7              | 11.4                  | 1.6         |
|       | 40～49歳 | 123        | 8.1  | 5.7   | 1.6   | 5.7   | 4.1   | 6.5   | 4.9   | 2.4         | 9.8              | 8.1                   | 3.3         |
|       | 50～59歳 | 119        | 16.0   | 14.3  | 1.7   | 2.5   | 9.2   | 1.7   | 1.7   | 1.7         | 3.4              | 10.1                  | 7.6         |
|       | 60～69歳 | 133        | 12.8   | 12.0  | 1.5   | 12.8  | 12.8  | 8.3   | 2.3   | 0.8         | 6.8              | 6.0                   | 6.8         |
|       | 70歳以上  | 88         | 8.0  | 6.8   | 2.3   | 13.6  | 13.6  | 10.2  | 2.3   | -           | 13.6             | 5.7                   | 10.2        |
| 女性    | 女性全体   | 785        | 10.1   | 7.6   | 2.4   | 6.6   | 7.3   | 12.4  | 6.4   | 0.9         | 4.8              | 5.6                   | 7.0         |
|       | 20～29歳 | 79         | 10.1   | 3.8   | 1.3   | 1.3   | 7.6   | 17.7  | 10.1  | -           | 3.8              | 6.3                   | 1.3         |
|       | 30～39歳 | 146        | 11.6   | 5.5   | 1.4   | 4.8   | 4.1   | 15.1  | 11.0  | 0.7         | 1.4              | 6.2                   | 2.1         |
|       | 40～49歳 | 136        | 9.6  | 4.4   | 2.9   | 7.4   | 8.1   | 8.8   | 9.6   | 0.7         | 7.4              | 5.1                   | 2.9         |
|       | 50～59歳 | 148        | 14.9   | 10.1  | 3.4   | 7.4   | 10.8  | 12.8  | 4.1   | 1.4         | 4.1              | 2.0                   | 6.8         |
|       | 60～69歳 | 161        | 7.5  | 11.2  | 2.5   | 11.8  | 6.8   | 8.1   | 3.1   | 1.9         | 4.3              | 3.7                   | 12.4        |
|       | 70歳以上  | 115        | 6.1  | 8.7   | 2.6   | 3.5   | 6.1   | 14.8  | 1.7   | -           | 8.7              | 12.2                  | 14.8        |

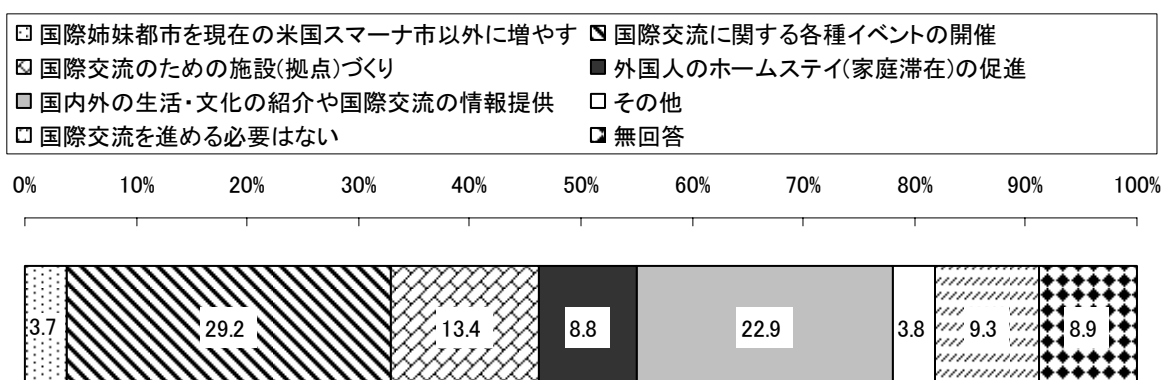
## 11 国際化について

### (1) 市民の国際交流を進めるために必要なこと

**23** あなたは市民の国際交流を進めるためにはどのようなことが一番必要だと思いますか。【一つだけ選んでください。】

市民の国際交流を進めるために必要なことを聞いた結果最も多かったのは、「国際交流に関する各種イベントの開催」(29.2%)であった。次いで、「国内外の生活・文化の紹介や国際交流の情報提供」(22.9%)、「国際交流のための施設(拠点)づくり」(13.4%)、「国際交流を進める必要はない」(9.3%)、「外国人のホームステイ(家庭滞在)の促進」(8.8%)が続く。

(n=1457)



## 【年齢別】市民の国際交流を進めるために必要なこと

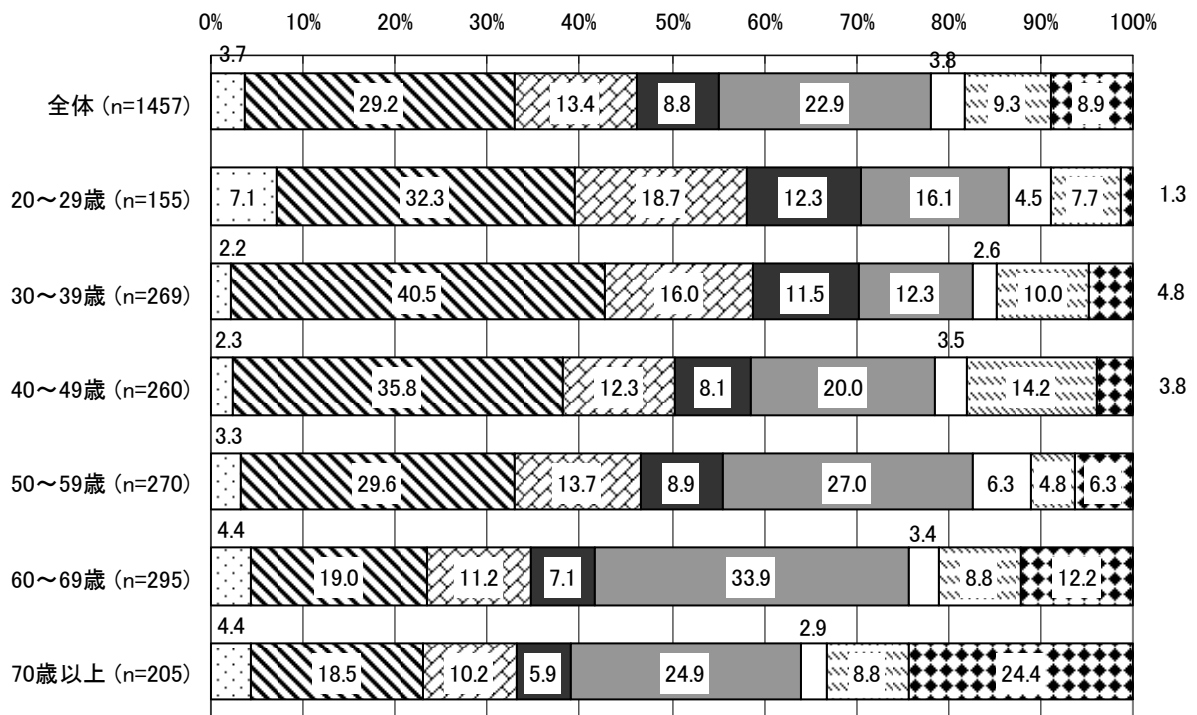
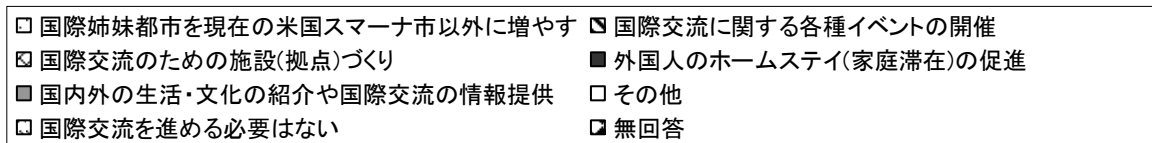
年齢別にみると、全体で1位だった「国際交流に関する各種イベントの開催」は、すべての年齢で1位または2位で、30歳代をピークに、加齢とともに比率は減少傾向にある。

全体で2位だった「国内外の生活・文化の紹介や国際交流の情報提供」は、すべての年齢で3位以上、60歳代以上では1位であった。比率も60歳代をピークに50歳代、70歳以上で高い。

年齢別にみると、全体で3位だった「国際交流のための施設(拠点)づくり」は、20歳代で最も高く、加齢とともに比率は減少する傾向にある。

年齢別にみると、全体で4位だった「国際交流を進める必要はない」は、40歳代で最も高く、50歳代で最も低かった。

年齢別にみると、全体で5位だった「外国人のホームステイ(家庭滞在)の促進」は、20歳代で最も高く、加齢とともに比率は減少する傾向にある。



## 12 自由意見

24 最後に、あなたのお住まいの地域、あるいは座間市全体で、今後どのような市民生活を送れるようにしていけばよいか、ご意見、ご提言などありましたら、ご自由にお書きください。

市政についての自由意見を求めたところ、556人から回答が寄せられた。1人で2つ以上の内容の記入がある場合もあるため、延べ意見数は922件であった。

### まちづくりに関する意見

94件

|                              |   |
|------------------------------|---|
| 子どもの遊び場の充実を図ってほしい            | 9 |
| 相武台前駅南口周辺の再開発を行ってほしい         | 8 |
| 街並みを美しくしてほしい                 | 7 |
| 高層マンション建設を規制してほしい            | 6 |
| きれいなまちづくりを望む                 | 5 |
| 電柱の地中化を推進してほしい               | 5 |
| 子どもが安心して歩けるまちにしてほしい          | 5 |
| 市役所の周りだけが整備されている             | 4 |
| 駅周辺の再開発を行ってほしい               | 3 |
| 街路樹を増やして美しいまちにしてほしい          | 3 |
| 高齢者が安心して住めるまちづくりをしてほしい       | 3 |
| 駅周辺の風俗店をなくしてほしい              | 2 |
| 放置自転車対策を強化してほしい              | 2 |
| 小田急相模原駅周辺の風俗店をなくしてほしい        | 2 |
| 都市ガスの広域化を図ってほしい              | 2 |
| 安全できれいなまちづくりを望む              | 1 |
| 子どもや年寄りが住みやすいまちをつかってほしい      | 1 |
| 一戸建てが多い住宅地のワンルームマンションは望ましくない | 1 |
| 入谷駅付近の開発と活性化を望む              | 1 |
| 建築基準法の遵守の徹底を図ってほしい           | 1 |
| 地域の特色を活かしたまちづくりを推進してほしい      | 1 |
| まずは安全なまちづくりを。国際交流などはそのあとだ    | 1 |
| まちづくりのプランがはっきりしない            | 1 |
| 駅周辺のまちを明るいイメージにしてほしい         | 1 |
| 駅前整備に向け住民参加の勉強会を行ってほしい       | 1 |
| 小田急相模原駅周辺をどうにかする都市計画を示してほしい  | 1 |
| 落ち着いた住宅街として、座間は発展してほしい       | 1 |
| さがみ野駅からの桜並木を保存してほしい          | 1 |
| 座間駅を中心に再開発を行ってほしい            | 1 |



|  |   |
|--|---|
| 相武台前駅南口の再開発により郊外の高級住宅地としてのイメージをつくってほしい | 1 |
| 相武台南口の再開発を行い、バスロータリーや駐車場の整備をしてほしい      | 1 |
| 道路沿いのプランターの花は不要である                     | 1 |
| 道路を拡幅して街路樹を植えてほしい                      | 1 |
| 街並みを整備して特色をだしてほしい                      | 1 |
| 歩行者が安心して歩けるまちづくりを行ってほしい                | 1 |
| 相武台地区南側の駐車場を拡充してほしい                    | 1 |
| 相武台前駅の踏切を整備してほしい                       | 1 |
| 統一感のある都市開発をすすめてほしい                     | 1 |
| 並木のある歩道がほしい                            | 1 |
| 坂が多いので自転車に乗ることもできず不便である                | 1 |
| 小田急線踏切による道路渋滞を解消してほしい                  | 1 |
| 駐車場を増やしてほしい                            | 1 |
| 駐輪場を増やしてほしい                            | 1 |

## ごみ処理に関する意見

4 1 件

|                              |    |
|------------------------------|----|
| ごみの収集回数を増やしてほしい              | 13 |
| 可燃ごみの収集回数を週3回にしてほしい          | 11 |
| ごみ集積所の整備をしてほしい               | 4  |
| ごみの不法投棄をなくしてほしい              | 4  |
| 土曜日のごみ収集は、せつかくの休日なのでやめてほしい   | 3  |
| 24時間、いつでもごみを出せるようにしてほしい      | 1  |
| ごみのポイ捨てを禁止する条例を制定してもよいのではないか | 1  |
| 粗大ごみや資源ごみを持ち込めば処理してくれる施設がほしい | 1  |
| リサイクルプラザは本当に必要なのか            | 1  |
| 栗原遊水地のごみ投棄の対策を講じてほしい         | 1  |
| たばこのポイ捨て禁止条例を制定してほしい         | 1  |

基地問題に関する意見

115件

|   |    |
|---|----|
| 航空機騒音を解消してほしい   | 41 |
| 航空機騒音対策を強化してほしい   | 18 |
| 米軍基地の縮小、返還を求める  | 15 |
| 米陸軍第一軍団司令部のキャンプ座間への移転に反対する                                    | 14 |
| キャンプ座間の返還・縮小を求める  | 7  |
| 米陸軍第一軍団司令部の移転の反対に市も真剣に取り組むべきである                               | 2  |
| 米陸軍第一軍団司令部の移転を市は全力で阻止してほしい                                    | 2  |
| 厚木基地に民間機もいれてはどうか  | 1  |
| 厚木基地の移転と在日米軍の縮小を望む  | 1  |
| キャンプ座間の問題については、市民の安全を第一に考えてほしい                                | 1  |
| キャンプ座間の一部返還を要求し、福祉やスポーツの施設をつくってほしい                            | 1  |
| キャンプ座間の機能強化が不安である   | 1  |
| キャンプ座間の施設を市民も使えるようにしてほしい                                      | 1  |
| キャンプ座間の存在が不安である   | 1  |
| キャンプ座間の人ともっと交流してはどうか  | 1  |
| 航空機騒音が無ければ住み良いまちである   | 1  |
| 航空機騒音対策対象地域を拡大してほしい   | 1  |
| 航空機騒音でテレビも見られない   | 1  |
| 航空機騒音の低減を求める  | 1  |
| 米軍の撤退を求める   | 1  |
| 米陸軍第一軍団司令部のキャンプ座間への移転について、反対するばかりでなく日本全体の国防の問題としてとらえることが必要である | 1  |
| 市は基地問題に真剣に取り組んでほしい  | 1  |
| 住宅地の上空をジェット機が飛ばないようにしてほしい                                     | 1  |

|  |    |
|--|----|
| 市立病院を設置してほしい                             | 13 |
| 総合病院がほしい                                 | 12 |
| 病院の充実を図ってほしい                             | 5  |
| 小児医療助成制度の対象年齢を引き上げてほしい                   | 4  |
| 福祉施策の充実を図ってほしい                           | 4  |
| 夜間休日診療の充実を図ってほしい                         | 3  |
| 車椅子利用者に配慮した道路づくりをしてほしい                   | 2  |
| 小児医療補助の充実を図ってほしい                         | 2  |
| 保育施設の充実を図ってほしい                           | 2  |
| 安心して子どもを育てられる環境を整備してほしい                  | 2  |
| 学童保育の充実を図ってほしい                           | 2  |
| 子育てのしやすい制度の充実を図ってほしい                     | 2  |
| 独居老人のための地域パトロールを強化してほしい                  | 2  |
| お年寄りに緊急事態が発生した場合、市にも連絡がはいるシステムを望む        | 1  |
| 延長保育や病児保育の充実を図ってほしい                      | 1  |
| 急坂には老人のための手すりを設置してほしい                    | 1  |
| 健康診断の対象年齢を低くしてほしい                        | 1  |
| 高齢者が孤立しないための施策を検討してほしい                   | 1  |
| 高齢者と小中学生が交流するイベントを実施してほしい                | 1  |
| 高齢者の体力づくり推進策を充実させてほしい                    | 1  |
| 高齢者や障害者が住みやすいまちにするため、歩道や音の出る信号機の設置をしてほしい | 1  |
| 高齢者対象のスポーツ教室などの充実を図ってほしい                 | 1  |
| 高齢者用スポーツ施設の充実を図ってほしい                     | 1  |
| 子どもたちを市全体で守るべきである                        | 1  |
| 子どもの医療給付の充実を図ってほしい                       | 1  |
| 子どもの検診や予防接種を出張所などでも行ってほしい                | 1  |
| 子育て中の母親のための施設がほしい                        | 1  |
| 子育て中の母親へのケアを充実させてほしい                     | 1  |
| 子育て中の母親同士の交流の場を多く設けてほしい                  | 1  |
| 児童手当支給対象の拡大を図ってほしい                       | 1  |
| 児童福祉の充実を図ってほしい                           | 1  |
| 車椅子利用者を念頭において工事をしてほしい                    | 1  |
| 弱者が安心して歩ける街並みを実現してほしい                    | 1  |
| 弱者が安心して暮らせる優しいまちづくりを行ってほしい               | 1  |
| 障害者が安心して移動できるまちづくりをしてほしい                 | 1  |
| 障害者への理解を深めてほしい                           | 1  |

|                                  |   |
|----------------------------------|---|
| 大学病院を誘致してほしい                     | 1 |
| 知的障害者の雇用を市は積極的に行うべきである           | 1 |
| 働くお母さんのための保育施設の充実を望む             | 1 |
| 働く者のことを考えた保育園を望む                 | 1 |
| 福祉サービスの総合相談カウンターを設けてほしい          | 1 |
| 保育に関しては、他市よりも遅れている               | 1 |
| 予防接種を各地区のコミュニティセンターで行ってほしい       | 1 |
| 立野台小学校区、中原小学校区それぞれに学童ホームを設置してほしい | 1 |
| 老人と子どものふれあいがほしい                  | 1 |
| 老人ホームの充実を図ってほしい                  | 1 |
| 老人用の施設を各地区につくってほしい               | 1 |

交通に関する意見

47件

|                                |   |
|--------------------------------|---|
| バスの便が悪い                        | 7 |
| 田園都市線を延長してほしい                  | 5 |
| 公共交通機関の充実を図ってほしい               | 4 |
| 交通網を整備してほしい                    | 3 |
| バス路線を増やしてほしい                   | 3 |
| 小田急相模原駅に急行をとめてほしい              | 2 |
| コミュニティバスを増やしてほしい               | 2 |
| 市内巡回バスを多く走らせてほしい               | 2 |
| 交通の便が悪い                        | 2 |
| 座間駅前の交通渋滞を解消してほしい              | 2 |
| 小田急線の急行がとまるようにしてほしい            | 1 |
| コミュニティバスの停留所が分かりづらい            | 1 |
| コミュニティバスの本数を検診のときなどは増やしてほしい    | 1 |
| コミュニティバスは、高齢者にとってありがたい         | 1 |
| コミュニティバスを小松原にも走らせてほしい          | 1 |
| 市営バスを運行してほしい                   | 1 |
| 市役所周辺の交通が不便である                 | 1 |
| 深夜のバス便をつくってほしい                 | 1 |
| 鉄道や商店街が不便である                   | 1 |
| 目久尻川沿いは、坂が多いのでコミュニティバスの停留所がほしい | 1 |
| 四ツ谷方面にコミュニティバスを走らせてほしい         | 1 |
| 路線バスの本数を増やしてほしい                | 1 |
| 栗原中から立野台小への道にバス停がほしい           | 1 |
| 交通の便が悪いので、市はバス便等の充実に取り組んでほしい   | 1 |
| 交通渋滞の緩和策を検討してほしい               | 1 |

## 交通安全対策に関する意見

27件

|  |   |
|--|---|
| 路上駐車を取り締まりを強化してほしい                                 | 7 |
| カーブミラーの設置箇所を増やしてほしい                                | 5 |
| 自転車利用者の交通マナーの向上を図ってほしい                             | 2 |
| 違法駐車を取り締まりを徹底してほしい                                 | 2 |
| 小田急相模原駅から東海大相模高校までの道路を早期に整備してほしい                   | 1 |
| カーブミラーが、損傷していたり、その方向が狂っている状態のまま放置されているが、これらを直してほしい | 1 |
| 交通安全対策の充実を図ってほしい                                   | 1 |
| 相模川沿いの道路でのダンプと人との事故が心配である                          | 1 |
| 相武台前駅南口の路上駐車対策を検討してほしい                             | 1 |
| 辰街道の路上駐車対策を検討してほしい                                 | 1 |
| 道路標識の充実を図ってほしい                                     | 1 |
| 踏切を立体交差にしてほしい                                      | 1 |
| 歩道を暴走する自転車の取り締まりを行ってほしい                            | 1 |
| 座間苑近くの交差点に信号を設置してほしい                               | 1 |
| 四ツ谷から西中への道路について、大型車の通行規制を行ってほしい                    | 1 |

|                                     |   |
|-------------------------------------|---|
| 中学校でも給食を実施してほしい                     | 8 |
| 学校にプールをつくってほしい                      | 3 |
| 大学を誘致してほしい                          | 3 |
| 小学校の通学路を整備してほしい                     | 3 |
| 学校の教員のレベルアップを図ってほしい                 | 2 |
| 小学校が遠い                              | 2 |
| 教育、文化、福祉を大切にしてほしい                   | 2 |
| 学校教育に力をいれてほしい                       | 1 |
| 学校の学区の見直しをしてほしい                     | 1 |
| 学校の授業にボランティア活動を導入すべきだ               | 1 |
| 学校のトイレをきれいにしてほしい                    | 1 |
| 小学校で老人とのふれあい給食を実施してほしい              | 1 |
| 小学校の校舎が古くて汚い                        | 1 |
| 小学校の施設の充実を望む                        | 1 |
| 小中学校が土曜日休みであるが、これをお年寄りとの交流にあてるとよい   | 1 |
| 小中学校校舎の老朽化対策を施してほしい                 | 1 |
| 小中学校の学区をなくしてほしい。現在は、30分以上歩いている      | 1 |
| 少年の夜間外出を取り締まるべきだ                    | 1 |
| 体育祭実施時の花火打ち上げは、なぜ中止したのか             | 1 |
| 通学路になっている私道は舗装してほしい                 | 1 |
| 通学路の整備を図ってほしい                       | 1 |
| 図書館がすばらしいので、質を落とさないように努力してほしい       | 1 |
| 図書館と学校図書室との連携を図ってほしい                | 1 |
| 図書館に準ずる施設の充実を図ってほしい                 | 1 |
| 図書館の空調を良くしてほしい                      | 1 |
| 図書館の蔵書が少ない                          | 1 |
| 図書館の洋書を充実させてほしい                     | 1 |
| 文化事業の充実を望む                          | 1 |
| 文化都市として、学校の誘致をしてほしい                 | 1 |
| 「国際学園都市」として、在日外国人とともに新文化都市をつくってはどうか | 1 |
| 小田急線各駅に文化施設を設置してほしい                 | 1 |
| 地区センター、図書館、教養講座などの充実を図ってほしい         | 1 |
| 古いものを大切にしてほしい                       | 1 |



スポーツ・レクリエーションに関する意見

19件

|  |   |
|--|---|
| 温水プールがほしい  | 6 |
| 屋内プールがほしい  | 3 |
| 総合運動場がほしい  | 1 |
| 運動公園がほしい   | 1 |
| 大型のプール、スケート場、野球場がほしい                                     | 1 |
| 大きなスポーツ施設がほしい  | 1 |
| スポーツ施設が少ない   | 1 |
| スポーツ施設が使いにくい   | 1 |
| スポーツ施設の予約システムを改善してほしい                                    | 1 |
| スポーツ施設の予約のために市役所の窓口にいなくてもよいようにしてほしい                      | 1 |
| スポーツセンターをつくってほしい   | 1 |
| テニスコートのインターネットによる利用申込みは、使用料の支払いのために平日に市役所に行かなければならず不便である | 1 |

道路に関する意見

113件

|                                 |    |
|---------------------------------|----|
| 市内全域の歩道を整備してほしい                 | 35 |
| 市内全域の道路を拡幅してほしい                 | 18 |
| 道路の排水を改善してほしい                   | 14 |
| 市内全域の歩道の段差を解消してほしい              | 10 |
| 市内全域の歩道を拡幅してほしい                 | 4  |
| 私道を舗装してほしい                      | 4  |
| 相武台地域の歩道整備を行ってほしい               | 3  |
| ガードレールの整備をしてほしい                 | 2  |
| 相武台地区南側の道路を拡幅してほしい              | 2  |
| 自動車が多いのに道幅が狭い                   | 1  |
| 南林間線からひばりが丘病院までの歩道を整備してほしい      | 1  |
| さがみ野駅周辺の歩道は段差が多いので整備してほしい       | 1  |
| 桜並木の歩道は、段差が多いので整備してほしい          | 1  |
| 私道の舗装に市も積極的に関与してほしい             | 1  |
| 車道に対して歩道を一段高くしてほしい              | 1  |
| 狭い道路が多いので一方通行規制を増やしてはどうか        | 1  |
| 狭い道が多いので、安心して歩ける道路整備をしてほしい      | 1  |
| 狭い道は一方通行にするか、歩道を確保してほしい         | 1  |
| 相武台東小付近の道路を拡幅してほしい              | 1  |
| 東海大相模高校前の歩道を整備してほしい             | 1  |
| 道路と歩道の区別がなく危険な場所が多い             | 1  |
| 高齢者が安心して歩ける歩道整備をしてほしい           | 1  |
| 歩行者の立場にたって歩道整備をしてほしい            | 1  |
| 歩道と車道をきちんと分離してほしい               | 1  |
| 歩道のない狭い道路は、一方通行にしてでも歩道をつくるべきである | 1  |
| 蓋のない側溝を整備してほしい                  | 1  |
| 谷戸山から座架依橋までの道路を早く整備してほしい        | 1  |
| 相武台前駅南口の道路が悪い                   | 1  |
| 辰街道の歩道の段差を解消してほしい               | 1  |
| ひばりが丘3丁目の道路が狭い                  | 1  |

上水道・下水道に関する意見20件

|                    |   |
|--------------------|---|
| おいしい座間の水を守ってほしい    | 5 |
| 雨水排水対策の充実を図ってほしい   | 4 |
| 地下水の保全を積極的に行ってほしい  | 3 |
| 雨水排水の調査をしてほしい      | 2 |
| 水道水がおいしい           | 1 |
| 水道水が年々まずくなっている     | 1 |
| 水道料金が高い            | 1 |
| 水道を100%地下水にしてほしい   | 1 |
| 私道の下水道工事を奨励してほしい   | 1 |
| 下水道に未接続の世帯を指導してほしい | 1 |

公園に関する意見

33件

|                             |   |
|-----------------------------|---|
| 公園の整備、充実を図ってほしい             | 7 |
| 公園が少ない                      | 5 |
| 子どもがボールで遊べるような公園を整備してほしい    | 2 |
| 公園内や周辺道路の清掃を行ってほしい          | 1 |
| 公園のごみの持ち帰り運動を推進してほしい        | 1 |
| 公園の樹木の手入れをしてほしい             | 1 |
| 公園の設備の充実を図ってほしい             | 1 |
| 公園のトイレ、砂場などを清潔に保ってほしい       | 1 |
| 公園のトイレの整備をしてほしい             | 1 |
| 公園の遊具などの安全性の確保をしてほしい        | 1 |
| 公園の遊具の充実を図ってほしい             | 1 |
| 公園遊具の定期的な点検・整備をしてほしい        | 1 |
| 芹沢公園に芝のオープンスペースを設けてほしい      | 1 |
| 芹沢公園を子ども達が安心して遊べる公園にしてほしい   | 1 |
| 芹沢公園を中心に多目的な総合運動場を設置してほしい   | 1 |
| 富士山公園の整備をしてほしい              | 1 |
| 谷戸山公園に大きなクリスマスツリーなどを置いてはどうか | 1 |
| 遊具がある公園が近くにほしい              | 1 |
| ひばりが丘3丁目に公園を設置してほしい         | 1 |
| 子ども向けの公園が少ない                | 1 |
| 相模川河川敷を憩いの場として整備してほしい       | 1 |
| 座間駅周辺に公園がない                 | 1 |

## 公共施設に関する意見

26件

|                              |   |
|------------------------------|---|
| 市役所への交通が不便である                | 8 |
| 公共施設の交通の便が悪い                 | 2 |
| 出張所の取扱い事務を増やしてほしい            | 2 |
| 市営住宅を増やしてほしい                 | 2 |
| 市営の墓地をつくってほしい                | 2 |
| 医療施設、スポーツ施設、公園等の充実・拡大を図ってほしい | 1 |
| 公共施設が利用しづらい                  | 1 |
| 公共施設の利用申込み方法の改善を検討してほしい      | 1 |
| 市庁舎が立派すぎる                    | 1 |
| 市民体育館の駐車場を増やしてほしい            | 1 |
| 市役所出張所は、土日や夜7時位までの利用ができるとうい  | 1 |
| 市役所の土曜開庁を望む                  | 1 |
| 市役所窓口を休日も開けてほしい              | 1 |
| 相模が丘地域の公共施設の充実を望む            | 1 |
| コミュニティセンターの駐車場が少ない           | 1 |

## 自然環境に関する意見

37件

|                                     |    |
|-------------------------------------|----|
| 緑地の保全をしてほしい                         | 18 |
| 自然を守るまちづくりをしてほしい                    | 4  |
| 自然を保護してほしい                          | 4  |
| 河川をきれいにしてほしい                        | 2  |
| 目久尻川をきれいに保ってほしい                     | 2  |
| 自然環境を保全してほしい                        | 2  |
| 市内に樹木が少ない                           | 1  |
| 市内の植樹を推進してほしい                       | 1  |
| 水源地の緑を大切にしてほしい                      | 1  |
| 谷戸山公園、かにかが沢公園など自然あふれる公園があることに感謝している | 1  |
| 林を守るための開発制限を行ってほしい                  | 1  |

## 商工業に関する意見

42件

|                             |    |
|-----------------------------|----|
| 商業の活性化を図ってほしい               | 16 |
| 大型商業施設を誘致してほしい              | 11 |
| 企業誘致をすすめてほしい                | 5  |
| 買い物が不便である                   | 3  |
| 駅周辺にデパートがほしい                | 1  |
| 飲食店の業務用機器の騒音が深夜まで及ぶので迷惑している | 1  |
| 飲食店の騒音で困っている                | 1  |
| 大型店舗や娯楽施設が少ない               | 1  |
| 買い物が市内でできない                 | 1  |
| 座間地区の商店街の活性化を図ってほしい         | 1  |
| 四ツ谷方面に大型スーパーマーケットがほしい       | 1  |

## 防犯対策に関する意見

69件

|                               |    |
|-------------------------------|----|
| 街灯の整備をしてほしい                   | 34 |
| 防犯対策の強化を図ってほしい                | 9  |
| 空き巣が多くて不安である                  | 2  |
| 治安が悪い                         | 2  |
| 夜道が暗い                         | 2  |
| 交番の充実を図ってほしい                  | 2  |
| 治安対策を強化してほしい                  | 2  |
| 小田急相模原駅付近の治安の向上を図ってほしい        | 2  |
| 犯罪の増加が気になる                    | 2  |
| 入谷駅付近が暗いので街灯を設置してほしい          | 1  |
| 入谷駅付近の雑草を刈ってほしい               | 1  |
| 入谷付近の防犯体制が甘い                  | 1  |
| 暗い道が多い                        | 1  |
| 公用車の「パトロール中」のステッカーは、よいアイデアである | 1  |
| まちのパトロールを強化してほしい              | 1  |
| さがみ野駅付近に交番を設置してほしい            | 1  |
| 市民の防犯意識の高揚を図ってほしい             | 1  |
| 犯罪に強いまちづくりをしてほしい              | 1  |
| 不法滞在の外国人が多い                   | 1  |
| 幼児に対する犯罪対策を充実させてほしい           | 1  |
| さがみ野駅周辺の治安対策を強化してほしい          | 1  |

## 防災に関する意見

13件

|                                     |   |
|-------------------------------------|---|
| 災害時の避難場所の充実を図ってほしい                  | 2 |
| 防災無線が聞こえにくい                         | 2 |
| 鈴鹿長宿の湧き水は、災害時に必要となる水である             | 1 |
| 災害時に正確に情報が伝わるまちづくりを望む               | 1 |
| 災害時の情報伝達のための訓練を実施してほしい              | 1 |
| 災害時のために市が備えているものについて、市民にわかりやすくしてほしい | 1 |
| 災害時の避難場所を周知徹底してほしい                  | 1 |
| 災害発生時に備えるため、地域の連携が望まれる              | 1 |
| 防災対策に力をいれてほしい                       | 1 |
| 防災対策について、市の現状を市民に説明してほしい            | 1 |
| 防災無線のスピーカーの数を増やしてほしい                | 1 |

コミュニティに関する意見

37件

|  |   |
|--|---|
| 近所付き合いを深めたい                                  | 2 |
| 自治会の退会者が増えている                                | 2 |
| 地域イベントへの若者の積極的な参加を求める                        | 2 |
| 地域の交流がほしい                                    | 2 |
| 挨拶や声をかけあうことが大切である                            | 1 |
| 行政だけではなく市民一人ひとりがボランティアなどで住み良いまちづくりにとりくむべきである | 1 |
| 郷土意識の醸成を図ってほしい                               | 1 |
| 近隣の市町村とも連携して住みやすさの向上を図ってほしい                  | 1 |
| これからは、地域のために活動したい                            | 1 |
| 自治会、子ども会の活動に活気がない                            | 1 |
| 自治会運営の見直しを求める                                | 1 |
| 自治会活動の運動会や祭りなどは無意味。ごみ掃除や防災活動に限定すべきである        | 1 |
| 自治会加入者を増やすためのイベントを開催してはどうか                   | 1 |
| 自治会加入は強制にしてもよいのでは                            | 1 |
| 自治会と行政の連携を密にすべきである                           | 1 |
| 自治会の会員減少をくいとめるため、自治会だよりなどの発行をしてはどうか          | 1 |
| 自治会の活性化を望む                                   | 1 |
| 自治会の組織強化が必要である                               | 1 |
| 自治会の必要性を広報紙でアピールしてほしい                        | 1 |
| 自治会はあまり意味がないので、なくてもよい                        | 1 |
| 自治会未加入者にも生活ルールを伝える手段を検討してほしい                 | 1 |
| 地域活動の指導者の育成を図ってほしい                           | 1 |
| 地域住民の交流のため、自治会のイベントを行うべきである                  | 1 |
| 地域のイベント情報が少ないので、地域ごとのHPをつくったほうがよい            | 1 |
| 地域のイベントや挨拶運動を推進してはどうか                        | 1 |
| 地域のコミュニティづくりに市のバックアップがほしい                    | 1 |
| 地域の文化を子どもたちに伝える努力をすべきである                     | 1 |
| 地域の連帯の強化を図るべきである                             | 1 |
| 人と人の関係がもっと優しくなるとよい                           | 1 |
| 緑ヶ丘地区にコミュニティセンターを設置してほしい                     | 1 |
| 市民レクの参加者が少ないため、もう開催は無理である                    | 1 |
| 住み良いまちにするためには、普段からの心のふれあいが大切である              | 1 |
| 飲食が可能な地域の気軽なコミュニケーションのための施設がほしい              | 1 |



その他の意見

51件

|                                     |   |
|-------------------------------------|---|
| 市長の在職が長すぎる                          | 5 |
| ペットの散歩でのマナー向上のための指導をしてほしい           | 3 |
| 市職員の人数を減らしてはどうか                     | 2 |
| 市の将来設計をわかりやすく示してほしい                 | 2 |
| 市の封筒の下半分が再利用できるアイデアはよいと思う           | 2 |
| 新聞を購読していない家にも「広報ざま」が届くようにしてほしい      | 2 |
| 意識調査を行うのはよいことだ                      | 1 |
| 海老名、綾瀬、大和等との合併を                     | 1 |
| 外国人が多く不安                            | 1 |
| 外国人に対するインフォメーションの充実(ごみの出し方など)を図るべきだ | 1 |
| 学校の校庭の土ぼこりがひどい                      | 1 |
| 広報ざまの写真に我が子が写っており不愉快だった             | 1 |
| 国際交流の充実を求める                         | 1 |
| 国際交流よりも災害時に備え、国内の都市と交流すべきである        | 1 |
| 子どものころからの国際交流が大切である                 | 1 |
| このアンケートのように、市民の意見をきいてくれることはありがたい    | 1 |
| 財政の立て直しを全力で行ってほしい                   | 1 |
| 座間市の名所をつくるべきである                     | 1 |
| 市議会議員が多すぎる                          | 1 |
| 市職員の前向きな行動を望む                       | 1 |
| 市職員の身だしなみやマナーが悪い                    | 1 |
| 市長、議員に定年制の導入すべきである                  | 1 |
| 市町村合併によるスケールメリットについて検討をすべきだ         | 1 |
| 市に活気がない                             | 1 |
| 市の職員と話をする機会が多くほしい                   | 1 |
| 市の職員は、ふさわしい服装をしてほしい                 | 1 |
| 市が市民の声をきく場をつくってほしい                  | 1 |
| 市役所に活気がない                           | 1 |
| 市役所の職員に愛想がない                        | 1 |
| 市役所の職員の意識や知識のレベル向上を望む               | 1 |
| 市役所の職員の対応が悪い                        | 1 |
| 市役所の雰囲気暗い                           | 1 |
| 市役所窓口の職員に笑顔が少ない                     | 1 |
| 借金のない座間市財政を実現してほしい                  | 1 |
| 職員の質が悪い                             | 1 |
| 電波中継基地の設置を検討してほしい                   | 1 |

|                                  |   |
|----------------------------------|---|
| 市のリーダーシップによりまちづくりに参画したい          | 1 |
| 住民票取得や納税のため土曜日も開庁してほしい           | 1 |
| 女性が働きやすい環境をつくってほしい               | 1 |
| 農業用水路の安全確保をしてほしい                 | 1 |
| モラルを守らない犬・猫の飼い主に対し、市として罰則を設けてほしい | 1 |

## IV. 調査票

# 平成16年度座間市民意識調査

### ご協力をお願い

日ごろから市政の推進に多大なご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、市では、市民の皆様のご意見を市政の参考とし、住み良い座間市をつくるため市民意識調査を実施することになりました。

この意識調査は、市内にお住まいの20歳以上の市民のなかから、無作為に選ばせていただいた3,000人の方々にご協力をお願いしております。

ご回答いただいた結果につきましては、統計的な処理をいたしますので、あなたの意見が外部に漏れたり、ほかの目的に使用されたりすることは決してありません。

調査の結果は、今後の市政運営の貴重な資料として活用してまいります。

お忙しいところ恐縮に存じますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成16年12月

座間市長 星野勝司

### 記入上のお願い

- 1 この調査票は、必ず**封筒の宛名のご本人**がお答えください。なお、ご本人が記入できない場合は、ご家族の方などが聞き取りのうえ記入していただいても結構です。
- 2 お答えは、あてはまる**選択肢の番号を○で囲んでください**。ただし、**8**は選択肢の番号を該当する枠内に一つずつご記入ください。
- 3 お答えは、「一つだけ選んでください」、「3つまで選んでください」、「あてはまるものをいくつでも選んでください」など**示された数の範囲**で選んでください。
- 4 記入が終わりましたら、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて**12月28日(火)**までにご投函ください。
- 5 調査票にも封筒にも、あなたのお名前、ご住所を書く必要はありません。

この調査についてのお問い合わせは、次にお願いたします。

座間市企画部 市民情報課 広聴・情報公関係  
電話 046-252-8144(直通)

**最初に、あなた自身のことについてお伺いします。**

それぞれ、あてはまる番号を○で囲んでください。

**ア** あなたの性別は。【一つだけ選んでください。】

1. 男                      2. 女

**イ** あなたの年齢は(平成16年11月1日現在)おいくつですか。【一つだけ選んでください。】

1. 20～29 歳                      4. 50～59 歳  
2. 30～39 歳                      5. 60～69 歳  
3. 40～49 歳                      6. 70 歳以上

**ウ** あなたのご職業は何ですか。【兼業の方は、主な職業を一つだけ選んでください。】

自営業またはその家族従業者

1. 商工・サービス業  
2. 農林業  
3. その他自由業(作家、弁護士など)

常勤の勤め人

4. 専門・技術職(医師、教授、技師など)  
5. 事務職(一般事務、経理、営業など)  
6. 労務職(店員、工員、作業員など)

その他

7. 人材派遣会社への登録  
8. パート、アルバイト、内職  
9. 学生  
10. 専業主婦  
11. 無職  
12. その他(                      )

**エ** 設問**ウ**で1から9とお答えの方にお伺いします。あなたの勤務地(通学地)はどこですか。【一つだけ選んでください。】

1. 自宅                                      4. 横浜市・川崎市  
2. 座間市内                              5. その他の県内  
3. 県央地域(相模原市・厚木市・大和市  
海老名市・愛川町・清川村)      6. 東京都内  
7. その他(                      県)

オ あなたの同居の家族構成はどれですか。【一つだけ選んでください。】

- |               |                 |
|---------------|-----------------|
| 1. 単身世帯       | 4. 三世代世帯(親と子と孫) |
| 2. 夫婦のみ       | 5. その他( )       |
| 3. 二世代世帯(親と子) |                 |

カ あなたのお住まいは次のうちどれにあてはまりますか。【一つだけ選んでください。】

- |               |               |
|---------------|---------------|
| 1. 持家(一戸建て)   | 5. 公社・公団の共同住宅 |
| 2. 持家(共同住宅)   | 6. 公営住宅       |
| 3. 民営借家(一戸建て) | 7. 官・公舎       |
| 4. 民営借家(共同住宅) | 8. その他( )     |

キ あなたはいつごろから座間市にお住まいですか。【一つだけ選んでください。】

- |                    |                    |
|--------------------|--------------------|
| 1. 昭和 19 年以前       | 5. 昭和 50 年～昭和 59 年 |
| 2. 昭和 20 年～昭和 29 年 | 6. 昭和 60 年～平成 6 年  |
| 3. 昭和 30 年～昭和 39 年 | 7. 平成 7 年以降        |
| 4. 昭和 40 年～昭和 49 年 |                    |

ク あなたがお住まいの地域はどこですか。【一つだけ選んでください。】

- |               |                  |
|---------------|------------------|
| 1. 新田宿・四ツ谷    | 7. 相模が丘          |
| 2. 座間         | 8. 小松原           |
| 3. 入谷・明王      | 9. ひばりが丘         |
| 4. 立野台        | 10. 東原・さがみ野      |
| 5. 緑ヶ丘        | 11. 栗原中央・西栗原・南栗原 |
| 6. 相武台・栗原・広野台 |                  |

## 座間市の生活環境についてお伺いします。

1 あなたが座間市にお住まいになった主な理由は何ですか。【一つだけ選んでください。】

1. 手ごろな家や土地があったから
2. 結婚や家族の転居にともなって
3. 仕事や学校の関係で
4. 自分の生まれ育ったところだから
5. 通勤・通学が便利だったから
6. 親兄弟や親戚が近くにいたから
7. 自然環境や土地柄が良かったから
8. 自分の家や土地があるから
9. その他( )

**2-1** あなたは、これからも今の場所に住み続けたいと思いますか。それとも他へ移りたいと思いますか。【一つだけ選んでください。】

1. 住み続けたい
2. 市内で移りたい
3. 市外へ移りたい
4. わからない

**2-2** 設問**2-1**で1とお答えの方にお伺いします。今の場所に住み続けたい理由は何ですか。【一つだけ選んでください。】

1. 自分の家や土地があるから
2. 住みなれて愛着があるから
3. 自然環境や土地柄がよいから
4. 自分が生まれ育ったところだから
5. 通勤・通学などが便利だから
6. 仕事や学校の関係で
7. 親兄弟や親戚が近くにいるから
8. 人間関係が良いから
9. 子どもの生活環境、教育環境がよいから
10. 何となくイメージがよいから
11. その他( )

**2-3** 設問**2-1**で2または3とお答えの方にお伺いします。他のところに移りたい主な理由は何ですか。【一つだけ選んでください。】

1. 自然環境が悪いから
2. 公共施設や病院が不十分だから
3. 自分の家や土地ではないから
4. 通勤・通学などが不便だから
5. 仕事や学校の関係で
6. 何となくイメージがぱっとしないから
7. 日常の買い物が不便だから
8. 地代・家賃が高いから
9. 人間関係が良くないから
10. 子どもの教育の関係で
11. 高級店や娯楽施設が少ないから
12. 航空機騒音がひどいから
13. その他( )

- ③ あなたは、お住まいの周辺の環境にどの程度満足されていますか。  
【次のア～ツそれぞれの事項について、あてはまる番号を一つずつ選んでください。】

|                    | 満<br>足 | ま<br>あ<br>満<br>足 | ふ<br>つ<br>う | や<br>や<br>不<br>満 | 不<br>満 |
|--------------------|--------|------------------|-------------|------------------|--------|
| 例 地震や火災に対する安全性は    | 1      | ②                | 3           | 4                | 5      |
| ア 飲み水は             | 1      | 2                | 3           | 4                | 5      |
| イ 日当たりや風通しなどは      | 1      | 2                | 3           | 4                | 5      |
| ウ 日常の買い物は          | 1      | 2                | 3           | 4                | 5      |
| エ 台所・風呂などの排水処理は    | 1      | 2                | 3           | 4                | 5      |
| オ ごみ処理は            | 1      | 2                | 3           | 4                | 5      |
| カ 周囲の自然環境は         | 1      | 2                | 3           | 4                | 5      |
| キ 雨水の排水は           | 1      | 2                | 3           | 4                | 5      |
| ク 通勤・通学の便は         | 1      | 2                | 3           | 4                | 5      |
| ケ 市役所や出張所への行きやすさは  | 1      | 2                | 3           | 4                | 5      |
| コ 治安や風紀は           | 1      | 2                | 3           | 4                | 5      |
| サ 病院や診療所などは        | 1      | 2                | 3           | 4                | 5      |
| シ 地震や火災に対する安全性は    | 1      | 2                | 3           | 4                | 5      |
| ス 公園や子どもの遊び場は      | 1      | 2                | 3           | 4                | 5      |
| セ 街並みなどの景観は        | 1      | 2                | 3           | 4                | 5      |
| ソ 文化・スポーツ・娯楽などの施設は | 1      | 2                | 3           | 4                | 5      |
| タ 交通安全について         | 1      | 2                | 3           | 4                | 5      |
| チ 道路の整備状況は         | 1      | 2                | 3           | 4                | 5      |
| ツ 騒音・大気汚染などは       | 1      | 2                | 3           | 4                | 5      |

- ④ 設問③のアからツまでの項目を総合的に考えて、あなたのまわりの環境はいかがですか。  
【一つだけ選んでください。】

1. 住みやすい
2. まあ住みやすい
3. どちらともいえない
4. やや住みにくい
5. 住みにくい

## 地域活動についてお伺いします。

5 あなたは今後どのような近所づきあいをしていきたいと思いませんか。  
【一つだけ選んでください。】

1. お互いに助け合うなど親密なつきあいをしたい
2. 世間話をする程度の気軽なつきあいをしたい
3. あいさつ程度のつきあいをしたい
4. 近所づきあいはしたくない
5. その他( )

6-1 あなたはどのような地域活動に参加していますか。実際に参加している団体・活動すべてに○を付けてください。

1. 自治会
2. 農協・商工会など経済団体
3. 子供会
4. 婦人会
5. 老人クラブ
6. PTA
7. さま遊友クラブ
8. スポーツ団体
9. 趣味・学習・伝統文化などの団体活動
10. 高齢者、身体・知的・精神障害者などに対する社会福祉活動
11. 国際交流・環境など社会福祉以外のボランティア(社会奉仕)活動
12. リサイクル、不用品交換会などの消費生活活動
13. その他( )
14. 特に活動していない

6-2 設問6-1で「14. 特に活動していない」とお答えの方にお伺いします。活動していない主な理由は何ですか。3つまで選んでください。

1. 家族の反対や世話など家庭の事情で
2. どのような活動が行われているのかあまり知らないから
3. 近くに参加したい団体・活動がないから
4. 活動する時間がないから
5. 健康・体力にあまり自信がないから
6. 知り合いがいないから
7. 参加したくないから
8. その他( )



## 市民参加や広報、情報化についてお伺いします。

7] あなたは身のまわりのことで要求や問題があった場合、それを市政に反映させるためにどのような方法をとりますか。【一つだけ選んでください。】

1. 市議会に陳情する。
2. 市長あてに手紙・電子メールを出す。
3. 自分で直接市役所に連絡する。
4. 自治会を通して連絡する。
5. 住民運動を通して伝える。
6. 地元の有力者に頼む。
7. 言っても無駄だと思う。
8. その他( )

8] あなたは現在、自分自身の日常生活に役立つ情報を知るためにどのような媒体(メディア)を使っていますか。よく使う順に3つ選んで、あてはまる選択肢の数字を下の口の中に1つずつ記入してください。

- |                 |               |                      |
|-----------------|---------------|----------------------|
| 1. 「広報ざま」などの広報紙 |               |                      |
| 2. テレビ          |               |                      |
| 3. ラジオ          | 1番よく使う媒体の番号   | <input type="text"/> |
| 4. 新聞・雑誌        |               |                      |
| 5. 書籍・チラシ       |               |                      |
| 6. インターネット      | 2番目によく使う媒体の番号 | <input type="text"/> |
| 7. ポスター・看板・掲示板  |               |                      |
| 8. 自治会の回覧版      |               |                      |
| 9. テレフォンサービス    | 3番目によく使う媒体の番号 | <input type="text"/> |
| 10. ファックスサービス   |               |                      |
| 11. ダイレクトメール    |               |                      |
| 12. 家族・友人・知人    |               |                      |
| 13. その他( )      |               |                      |

9] 市のお知らせについては、「広報ざま」のほか、今後どのようなものを使うと便利だと思いますか。あてはまるものをいくつでも選んでください。

1. ビデオテープの貸し出し
2. 市役所や各出張所などでのビデオ上映
3. 録音テープによる電話サービス
4. テレビ
5. ラジオ
6. ケーブルテレビ
7. ファックスサービス
8. 新聞折り込みのタウン紙
9. インターネット
10. その他( )

10 最近、「高度情報化」という言葉がよく使われます。このような時代に、今後、座間市はどのようなことを重点的に行えば良いとお考えですか。【一つだけ選んでください。】

1. 情報産業や研究機関を振興・誘致することで、働く場を確保するとともに情報化に強い人材を育てる。
2. インターネットやケーブルテレビなどを活用し、必要な情報を市民が得やすい環境を整える。
3. 市役所の情報化を進め、行政サービスや仕事の効率を向上させる。
4. コンピュータの使い方などの市民向けの講座を開き、多くの市民が情報化に対応できるようにする。
5. その他( )
6. 特に情報化に対応する必要はない。

11-1 あなたは、家、学校・職場、外出先などの日常の場面でインターネットを利用することがありますか。【一つだけ選んでください。】

1. 利用することがある
2. 利用することはない

11-2 設問11-1で「1. 利用することがある」とお答えのかたにお伺いします。インターネットの主な利用場所はどこですか。あてはまるものすべてを選んでください。

1. 家
2. 職場
3. 学校
4. その他( )

11-3 設問11-1で「1. 利用することがある」とお答えの方にお伺いします。座間市のホームページを閲覧したことがありますか。【一つだけ選んでください。】

1. ある
2. ない

11-4 設問11-3で「1. ある」とお答えの方にお伺いします。現在のホームページに満足していますか。【一つだけ選んでください。】

1. 満足
2. まあ満足
3. ふつう
4. やや不満
5. 不満

11-5 設問11-1で「1. 利用することがある」とお答えの方にお伺いします。今後、座間市のホームページは、どのような内容について充実を図るべきとお考えですか。3つまで選んでください。

1. 暮らしのガイド
2. 市政情報
3. 公共施設案内の予約
4. イベント等のインフォメーション
5. その他( )

## 健康づくりについてお伺いします。

12 あなたは、ご自身の健康づくりのために今後どのようなことが重要だとお考えですか。2つまで選んでください。

1. 定期検診などによる健康管理
2. 市の健康相談などで自分に合った健康や医療の情報・知識を得る。
3. 生活習慣病(成人病)などを予防する食生活
4. スポーツ・レクリエーションなどでの体力づくり
5. 過労防止のための適切な休養
6. その他( )
7. 特にない

## 高齢化社会についてお伺いします。

13 あなたは、高齢者が安心して暮らしていくには、今後どのようなことが大切だとお考えですか。現在、高齢でない方は、ご自身が高齢になったときを考えてお答えください。2つまで選んでください。

1. 病気にかからないよう、生活指導や健康診断などの充実
2. 病気にかかったときのための医療対策の充実
3. 介護が必要になったときのための福祉サービスの充実
4. 働く場の確保
5. 年金の充実
6. 文化・スポーツ活動、老人クラブへの参加など生きがいをもつこと
7. 子や孫との同居など、一人暮らしを避けること
8. 老人ホームなど高齢者福祉施設の充実
9. 老後の生活を支える安心で歩きやすい道路や公共施設の整備
10. その他( )
11. 特にない

## 自由時間(余暇)についてお伺いします。

14 今後、あなたが自由時間を過ごすために、どのような施策・施設が必要だとお考えですか。  
3つまで選んでください。

1. スポーツ大会や文化イベントの開催
2. スポーツ施設の整備
3. 公民館・コミュニティセンターなど学習・文化活動の場の提供
4. 学校施設などの一般開放
5. 学習情報やスポーツ・レクリエーション情報の提供
6. 学習、スポーツ・レクリエーション指導者の養成・紹介
7. スポーツ教室やレクリエーション教室の開催
8. 趣味・教養講座の開催
9. スポーツ・レクリエーション団体への活動支援
10. 国際交流・環境など社会福祉以外のボランティア(社会奉仕)活動
11. 「清川自然の村」など野外活動施設の充実
12. 市民農園の整備
13. その他( )
14. 特にない

## 環境問題についてお伺いします。

15 座間市に住んでいて、一番気になる環境問題は何ですか。【一つだけ選んでください。】

1. 大気汚染(自動車の排気ガスなど)
2. 地下水の汚染
3. 河川の汚染(相模川など市内の河川)
4. 騒音、振動(工場・自動車など)
5. 航空機騒音
6. その他( )
7. 気になる環境問題はない

16-1 あなたは環境のために日ごろから気を付けて実行していることがありますか。  
あてはまるものをいくつでも選んでください。

1. 家庭内のごみの減量化に努めている。
2. ごみの分別を徹底して行っている。
3. なるべく自家用車を使わない努力をしている。
4. 自宅の植木や鉢植えを増やしている。
5. 電気や水道水の無駄づかいをしない。
6. 油や味噌汁などを下水に流さない。
7. その他( )
8. 特に何もしていない。

16-2 環境のために、今後または今後とも気を付けて実行したいと思っていることは何ですか。  
あてはまるものをいくつか選んでください。

1. 家庭内のごみの減量化
2. ごみの分別の徹底
3. なるべく自家用車を使わない。
4. 自宅の植木や鉢植えを増やす。
5. 電気や水道水の無駄づかいをしない。
6. 油や味噌汁などを下水に流さない。
7. その他( )
8. 上記のどれも実行しようと思わない。

### 防災についてお伺いします。

17 あなたの家では、現在、地震や火災に備えてどのような対策をとっていますか。  
あてはまるものをいくつか選んでください。

1. 近くの学校や公園など避難場所を決めている。
2. 家具を固定している。
3. 飲料水や食料を準備している。
4. 消火器の設置や水のためおきをしている。
5. 医薬品や非常持ち出し品を準備している。
6. 地域の防災訓練に参加したり、隣近所との協力について話し合っている。
7. その他( )
8. 特に何もしていない。

18 あなたは、防災対策として座間市が一番力を入れるべき施策は何だと考えますか。  
【一つだけ選んでください。】

1. 市民の防災意識の高揚
2. 自主防災組織づくり
3. 避難場所の確保
4. 飲料水、食料などの確保
5. 正確な情報を伝達する体制づくり
6. その他( )
7. 防災対策として力を入れるべき施策はない

## 男女共同参画についてお伺いします。

19-1 「男は仕事、女は家庭」といった考えがあります。あなたは、どう考えますか。  
【一つだけ選んでください。】

1. 同感する
2. 同感しない
3. どちらともいえない

19-2 設問19-1で1とお答えの方にお伺いします。「同感する」理由は次のどれですか。  
【一つだけ選んでください。】

1. それが男女それぞれの生まれつきの特性だから
2. 従来 of 経験や慣習から
3. 子どもを育てるには、家庭にいたほうがよいから
4. 女性は仕事をもっても不利な条件におかれているから
5. その他

19-3 設問19-1で2とお答えの方にお伺いします。「同感しない」理由は次のどれですか。  
【一つだけ選んでください。】

1. 生まれつき男女の役割は決められているものではないから
2. 従来 of 経験や慣習では、おしはかれない状況となっているから
3. 現在、仕事の面でも活躍している女性が多くなったから
4. 一般に、家事時間が減って自由時間が増えたから
5. 職業をもつことは当たり前のことだから
6. その他

20 男女平等の観点から学校教育を進めるうえで、今後特に取り入れてほしいことや力を入れて欲しいと思うものを3つまで選んでください。

1. 男女平等の観点に立って性別にとらわれず、ひとりひとりの個性をはぐくむような授業をする
2. 生活指導や進路指導において、男女の差をなくす配慮をする
3. 出席簿、座席、名簿など、男女を分ける習慣をなくす
4. 教員自身の固定観念をとりのぞく研修を行う
5. 校長や教頭に女性を増やしていく
6. 性教育を充実させる
7. 男女平等教育のための新しい教材を開発する
8. その他
9. 学校教育のなかで行う必要はない
10. わからない

21 家庭内・家族間で起こる暴力、特にパートナー(夫・妻・恋人)といった親密な関係の男性からの暴力が問題になっています。あなたは、これまで具体的にどのようなことをされたことがありましたか。あてはまるものをいくつでも選んでください。

1. 身体を傷つけられたり、傷つける可能性のある行為を受けた
2. 何をやっても無視された
3. ばかにされたり、ののしられたり、命令口調でものを言われた
4. 大切にしているものをわざと壊したり捨てたりされた
5. 子どもや可愛がっているペットにわざとあたったり、いじめたりした
6. 生活費を渡されなかったり、ほんの小遣い程度のお金しか与えられなかった
7. 外出を禁止されたり、電話や手紙をチェックされたりした
8. 望まない性行為を強要された
9. その他( )
10. 特にない

22 男女共同参画社会を実現していくために、座間市には、今後どのような施策に力を入れていくべきと考えますか。3つまで選んでください。

1. 女性問題についての調査・研究の充実
2. 女性に関する問題についての啓発活動の充実
3. 女性の自立をめざす学級や講座の推進
4. 就労条件改善の啓発
5. 女性相談など相談事業の充実
6. 延長保育等の保育事業や学童クラブの拡充
7. 病気や緊急時に家事・育児を手助けする人を派遣する制度の創設
8. 健康診断、成人病予防、体力づくりなど健康の保持・増進
9. 母子保健などの充実
10. 女性の行政への参加・参画促進
11. ざま男女共同参画プランの普及・啓発
12. ひとり親家庭の生活の安定を図る制度の充実
13. 職業訓練・職業相談の実施
14. 地域活動やボランティア活動の推進
15. 女性グループの指導者の養成
16. 学校教育における男女平等教育の推進
17. 社会教育における男女平等教育の推進
18. 両親を対象とした育児教育の充実
19. 男性を対象とした育児教室の充実
20. その他( )
21. 特にない
22. わからない

## 国際化についてお伺いします。

23 あなたは市民の国際交流を進めるためにはどのようなことが一番必要だと思いますか。  
【一つだけ選んでください。】

1. 国際姉妹都市を現在の米国スマーナ市以外に増やす。
2. 国際交流に関する各種イベントの開催
3. 国際交流のための施設(拠点)づくり
4. 外国人のホームステイ(家庭滞在)の促進
5. 国内外の生活・文化の紹介や国際交流の情報提供
6. その他( )
7. 国際交流を進める必要はない

## 全体を通した自由意見をお聞かせください。

24 最後に、あなたのお住まいの地域、あるいは座間市全体で、今後どのような市民生活が送れるようにしていけば良いか、ご意見、ご提言などがありましたら、ご自由にお書きください。

・あなたのお住まいの地域のまちづくりについて

・座間市全体のまちづくりについて

・その他

## ご協力ありがとうございました。

調査はこれで終わりです。調査票は同封の返信用封筒(切手不要)に入れて12月28日(火)までにご投函ください。